

2. 可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水、補助給水ピット/燃料取替用水ピットへの補給の接続口(3/3)

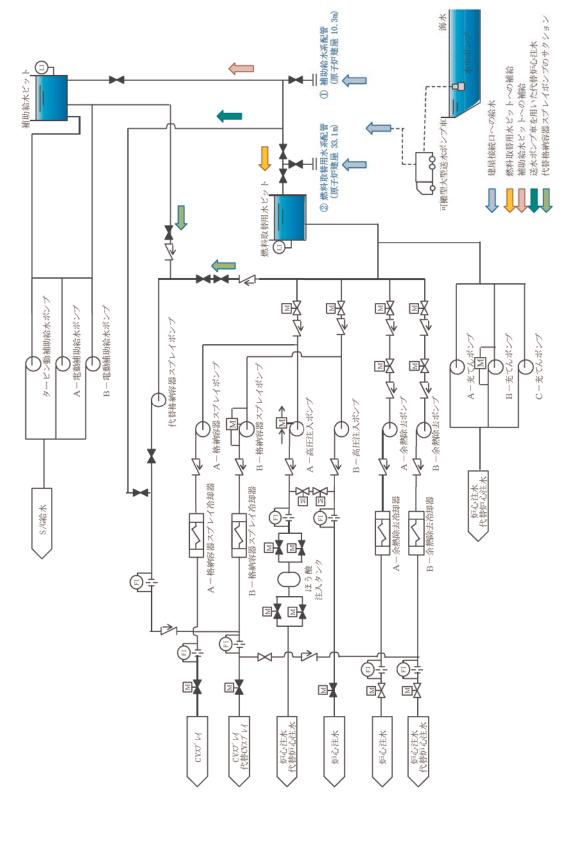


図2-3 概略系統図

まとめ

| | 取水場所 | ホーろ敷設ルート | 接続日配置 |
|---|---|--|---|
| 可搬型大型送水ポンプ 車による原子炉補機冷 却水系統への海水送水 | ・3 号スクリーン室 | ・合計2ルートを確保。 ・建屋の東側廻り、西側廻りの両方のルートを確保。 ・建屋内にて、一部重複ルートあり。 | ・Bトレン側原子炉補機冷却水配管 (原子炉建屋 東側 (ディーゼ)・発電機建屋)又は (原子炉建屋 東側 (ディーゼ)・発電機建屋)又は 西側からアクセスし、接続) ・Aトレン側原子炉補機冷却水配管 (原子炉建屋 東側 (ディーゼ)・発電機建屋)又は西 側からアクセスし、接続) ・確律な原子炉建屋内の異なる区面に配置してい あ。 |
| 可搬型大型送水ポンプ 車による代替炉心注 水、補助給水ピット及 び燃料取替用水ピット への補給 | ・3 号スクリーン室 | ・合計2ルートを確保。 ・建屋の東側廻り、西側廻りの両方 のルートを確保。 | 水 速し 潜 補り 建 |
| まとめ (評価) | 防潮堤内に取水箇所を確 保しており、問題ない。 | ・独立した2ルート以上を確保しており、問題ない。 ・ホースは任意の場所に敷設できる機動性があるため、一部重複ルートに対しても問題ない。 | ・位置的分散を図った複数の接続口(屋内)を設 置しており、問題ない。 |
| | 設置許可基準第 43 条第 3 項 ことを防止するため、位置的 おり、確実な取水・注水が可 | ·可基準第 43 条第 3 項(接続口)に関する対応については、共防止するため、位置的分散を図った複数の接続口の設置ととも確実な取水・注水が可能となるよう配慮している。 | 設置許可基準第 43 条第 3 項(接続口)に関する対応については、共通要因(地震、津波他)により接続できなくなる ことを防止するため、位置的分散を図った複数の接続口の設置とともに、ホース敷設ルートについても同様に対応して おり、確実な取水・注水が可能となるよう配慮している。 |

| 別紙 | | がある場 | | また、③の機)機能との同 、表 1 の①、 | (〇:使用する) | | | | ・複数の機能の | 同時使用はな し | ・それぞれの機能に必要な容量を確保して | 811 |
|---|--|--|---|--|----------|--------|---------------------------------|---|--|---|--|--|
| 10日本日の兼用について | | 量(同時に使用する可能性 | トレていることを確認した。 | itc使用することはない。 ると考えられ、①及び②の 事項に適合している。なお -係る要求事項はない。 |) | 6 | 可搬型大型送水ポンプ車によ る代替炉心注水 | 第47条(原子炉冷却材圧力バ ウンダリ低圧時に発電用原子 炉を冷却するための設備) | - | Ι | I | Ι |
| 「」 | 記のとおりである。 | それぞれの機能に必要な容動 | 1の兼用に係る要求事項に適合 | 「であるが、複数の機能を同時、及び炉心が既に損傷してい、 ととにより、上記の基準要求∃ 5が、これらの条文に接続口に | | 3 | 可搬型大型送水ポンプ車による 燃料取替用水ピットへの補給 | 第 56条 (重大事故等の収束に必 要となる水の供給設備) | Ι | I | 0 | 0 |
| | 用している。 1の兼用に係る要求事項は下 | の接続口を使用する場合は、 続口を設けること。 | が設置許可基準規則の接続□ | 価のシナリオは表1のとおり =心冷却機能は喪失している. こ必要な容量を確保している 文は第 56 条と第 47 条である | | Θ | 可搬型大型送水ポンプ車によ る補助給水ピットへの補給 | 第 56 条 (重大事故等の収束に 必要となる水の供給設備) | 0 | 0 | Ι | I |
| 可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水、 | 標記の接続口は3つの機能を1つの接続口で兼用している。 一方、設置許可基準規則第43条における接続口の兼用に係る要求事項は下記のとおりである。 | (設置許可基準規則第 43 条 解釈第 6 項) 第 3 項第 3 号について、複数の機能で一つの接続口を使用する場合は、それぞれの機能に必要な容量(同時に使用する可能性がある場 合は、合計の容量)を確保できるように接続口を設けること。 | 本資料においては以下のとおり、標記の接続口が設置許可基準規則の接続口の兼用に係る要求事項に適合していることを確認した。 | 標記の接続口を使用する重大事故等の有効性評価のシナリオは表1のとおりであるが、複数の機能を同時に使用することはない。また、③の機能を使用する状況においては常設 SA 設備による炉心冷却機能は喪失している、及び炉心が既に損傷していると考えられ、①及び②の機能との同時使用の可能性はない。従って、それぞれの機能に必要な容量を確保していることにより、上記の基準要求事項に適合している。なお、表1の①、②及び③の機能が関連する設置許可基準規則の条文は第56条と第47条であるが、これらの条文に接続口に係る要求事項はない。 | (表1) | 接続口の機能 | (関連する設置許可基準規則 条文:第43条以外) | 有効性評価シナリオ | 全交流動力電源喪失 (全交流動力電源喪失+原子炉 補機冷却機能喪失+RCP シール LOCA) | 全交流動力電源喪失 (全交流動力電源喪失+原子炉 補機冷却機能喪失(RCb シール LOCA な L)) | 格納容器過圧破損、原子炉容器外の溶融燃料-冷却材 相互作用、溶融炉心・コンクリート相互作用(大10CA +ECCS 注水機能喪失+格納容器スプレ/機能喪失) | 格納容器過温破損、高圧溶融物放出/格納容器雰囲気 直接加熱(全交流動力電源喪失+補助給水機能喪失) |

共-5-10

共一6 竜巻影響を考慮した保管場所

1. 屋外重大事故等対処設備の竜巻防護に関する基本方針

竜巻による影響により,屋外に設置又は保管する重大事故等対処設備(以下,屋外重大事 故等対処設備という)は、竜巻による影響を受けた場合にあっても重大事故等に対処する ための機能を損なうことがないよう設計する。

具体的には、竜巻の特性を踏まえ、以下の設計方針とする。

竜巻は、重大事故等対処設備に影響を与える共通要因であり、竜巻以外の自然現象による 共通要因と比較し、竜巻による影響は局所的である特徴がある。このため竜巻による影響 により、屋外重大事故等対処設備が重大事故等に対処するための機能を同時に損なわない よう位置的分散を図って保管することにより機能維持を図る設計方針とする。

また, 竜巻影響を受けた屋外重大事故等対処設備が飛来物化し, 他の設備に悪影響を及ぼ さないよう固縛する設計とする。これら竜巻の特徴を考慮した設計方針の考え方について は, 2.項に記載する。

位置的分散を図って共通要因故障を防止する設計方針については,許可基準43条(重大事故等対処設備)の要求事項のうち,共通要因故障防止に関する要求事項である2項3号, 3項5号,7号の要求事項を満足する設計方針とする。

また, 竜巻による影響により飛来物化することを防止する悪影響防止を目的とした固縛に ついての設計方針は, 悪影響防止の1項5号の要求事項を満足する設計方針とする。 許可基準43条のうち上記条項の設計方針は, 3.項に記載する。

屋外重大事故等対処設備の竜巻防護の設計方針に基づいた具体的な位置的分散については 4.項,悪影響防止のための固縛については 5.項に記載する。

また,屋外重大事故等対処設備以外の竜巻防護設計については,添付2に記載する。

2. 竜巻防護に関する設計方針の考え方

3項に示す竜巻防護についての設計方針(まとめ資料記載)は、竜巻の特性を踏まえ、 位置的分散による機能維持及び飛来物化による悪影響を防止するため、次の考え方に より設定する。

2.1 機能維持のために位置的分散を採用する考え方

竜巻による影響は、地震等による影響に対し局所的なハザードであり、竜巻通過部の 影響は大きいが、最大風速半径よりも外側では離隔距離に応じ竜巻影響は減衰する特 徴がある。敷地内全体に対し局所的な影響となる竜巻による影響についても、同時機 能喪失を防止することで重大事故等に対処するための機能を有効に発揮するよう、で きる限り位置的分散を図って保管することとする。

また, 竜巻以外の共通要因による機能喪失を防止するよう, それぞれのハザードの特 性を考慮して必要な防護措置を取る必要があり, 局所的な影響となる航空機落下, 周 辺構造物又は保管物などからの悪影響を考慮すると, 同時機能喪失を防止するため, 同一箇所に保管するのではなく, 分散して保管することにより同時に影響を受けるこ とを防止することができる。位置的分散を図った配置設計においては, 竜巻影響を考 慮した分散以外にも, その他共通要因故障を防止するための対策, 高台に保管(津波), 耐震地盤に保管(地震), 建屋からの離隔(テロ等) などを含め共通要因故障防止とし ての考慮事項を総合的に判断し, 配置設計を行う。

2.2 悪影響防止のための固縛方式の考え方

竜巻による影響として,直接被害を受け機能喪失した設備が飛散・横滑りすることで, 他設備への悪影響要因となることを防止する必要があり,位置的分散を図り保管した うえで,飛来物化することを防止し,位置的分散を図っている他設備へ影響を及ぼさ ないよう飛散防止固縛を行う必要がある。

代替非常用発電機を除く屋外重大事故等対処設備は,可搬型重大事故等対処設備であ り,重大事故等の収束のための機能を確立するためには,必要箇所への運搬移動・配 置を行う必要があり,必要時の即応性を確保する必要がある。竜巻影響による風荷重 を考慮し,飛散・転倒などによる機能喪失を防止するため,滑動しないよう固縛・固 定とした場合には,可搬型重大事故等対処設備の即応性への影響があり,泊発電所の 自然環境として冬期間の積雪・寒冷状態も含めると固縛装置取り外しの操作性が低下 することも考えられる。

また,動的機器を積載した状態にて保管する設備が多数あり,地盤との完全固定をした場合には,地震加震力の入力点となり,滑動が期待できる保管状態より地震荷重の 観点では厳しい保管状態となる。

これらは、総合的に重大事故等時の確実な操作性を低下させることとなり、できるだけ操作性を犠牲にせず竜巻影響を考慮した固縛方法として、固縛対象とする設備に応じ、地震影響に対し悪影響のない飛散防止固縛の設計を行う。

- 3. 竜巻影響を考慮した設計方針
- 3.1 竜巻防護に関する重大事故等対処設備の設計方針(43条)
- (1)保管場所及び共通要因故障の防止(43条2項3号,3項5号,7号)

共通要因故障の要因である竜巻による影響を考慮し,屋外重大事故等対処設備(常設重 大事故等対処設備及び可搬型重大事故等対処設備)については,重大事故等に対処するた めの機能を全て同時に損なうことがないよう,次のとおりの位置的分散を図って保管する 方針とする。

(同時機能喪失を図る設備)

常設重大事故等対処設備 ⇔ 設計基準事故対処設備

可搬型重大事故等対処設備 ↔ 設計基準事故対処設備及び常設重大事故等対処設備 (設計方針)

> <u>常設重大事故防止設備は、設計基準事故対処設備等の機能と同時にその機能が損なわれる</u> おそれがないように、設計基準事故対処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処設備 等と位置的分散を図り屋外に設置する。

> <u>可搬型重大事故等対処設備は、設計基準事故対処設備等又は常設重大事故等対処設備の機</u> 能と同時にその機能が損なわれるおそれがないように、設計基準事故対処設備等を防護する とともに、設計基準事故対処設備等の配置も含めて常設重大事故等対処設備と位置的分散を 図り複数箇所に分散して屋外に保管する。

(2) 悪影響防止(43条1項5号)

竜巻影響を考慮した機能維持のための設計方針として、悪影響防止のための固縛により 位置的分散を図って保管している他設備について機能維持する方針とすることから、屋外 重大事故等対処設備の風荷重を考慮した悪影響防止についての方針を次のとおりとする。

風荷重による浮上がり及び横滑りを考慮し、必要により当該設備の落下防止、転倒防止、 固縛の措置をとり、屋外に設置又は保管することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計と する。屋外の可搬型重大事故等対処設備は、他の設備との離隔距離及び保管場所の位置関係 を考慮し、必要により固縛の措置をとり、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とするととも に、固縛により当該重大事故等対処設備の操作性等に悪影響を及ぼさない設計とする。 3.2 重大事故等対処設備の設計方針のうち位置的分散に関する方針(43条3項7号) 竜巻影響に対する設計方針は、位置的分散及び悪影響防止のための固縛により必要 な機能を維持する設計とするが、屋外重大事故等対処設備の共通要因故障防止に関す る設計方針として、可搬型重大事故等対処設備については、飛来物(航空機落下等) 及び故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対して、次のとおり建屋から の離隔を確保して保管する。

竜巻影響に対する位置的分散を図った設計については, 飛来物他の影響を考慮した 位置的分散も合わせて考慮した配置設計とする必要がある。

(同時機能喪失を図る設備)

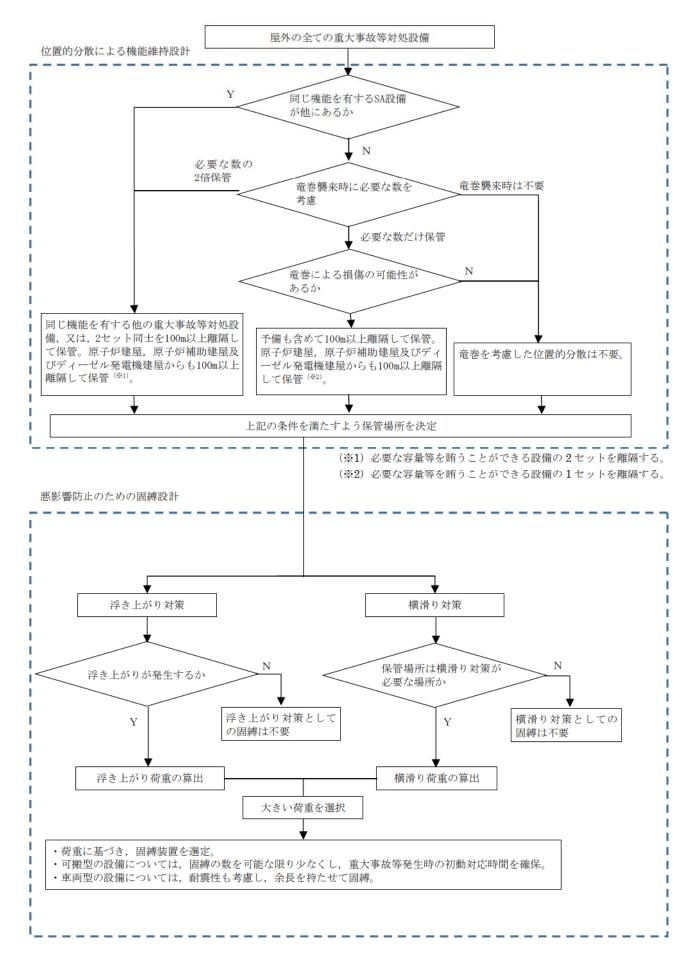
可搬型重大事故等対処設備 ⇔ 設計基準事故対処設備及び常設重大事故等対処設備 (設計方針)

> 屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち,原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は 電力を供給する注水設備及び電源設備は、必要な容量等を賄うことができる設備の2セット について、また、原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及 び電源設備以外のものは、必要な容量等を賄うことができる設備の1セットについて、設計 基準事故対処設備等及び常設重大事故等対処設備が設置されている原子炉建屋、原子炉補助 建屋又はディーゼル発電機建屋から100mの離隔距離を確保するとともに、少なくとも1セ ットは、当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する屋外の常設重大事故等対処設 備からも100mの離隔距離を確保した上で複数箇所に分散して保管する。

> また,当該可搬型重大事故等対処設備がその機能を代替する循環水ポンプ建屋内の設計基準事故対処設備から100mの離隔距離を確保した上で複数箇所に分散して保管する。

3.1 項の設計方針に基づく竜巻防護に関する設計方針のフローを次葉に示す。

また,屋外重大事故等対処設備の分散配置について 4.項 及び 固縛方法について 5.項に 記載する。なお,これらは,設計進捗により変更となることがある。



- 4. 位置的分散による機能維持設計
 - 4.1 位置的分散による機能維持の設計方針

位置的分散による機能維持設計においては、「2. 竜巻防護に関する設計方針の考え 方」及び「3.1 竜巻防護に関する重大事故等対処設備の設計方針」に基づき、位置的 分散を考慮した保管により、機能を損なわない設計とする。

(1) 同じ機能を有する重大事故等対処設備が他にある設備

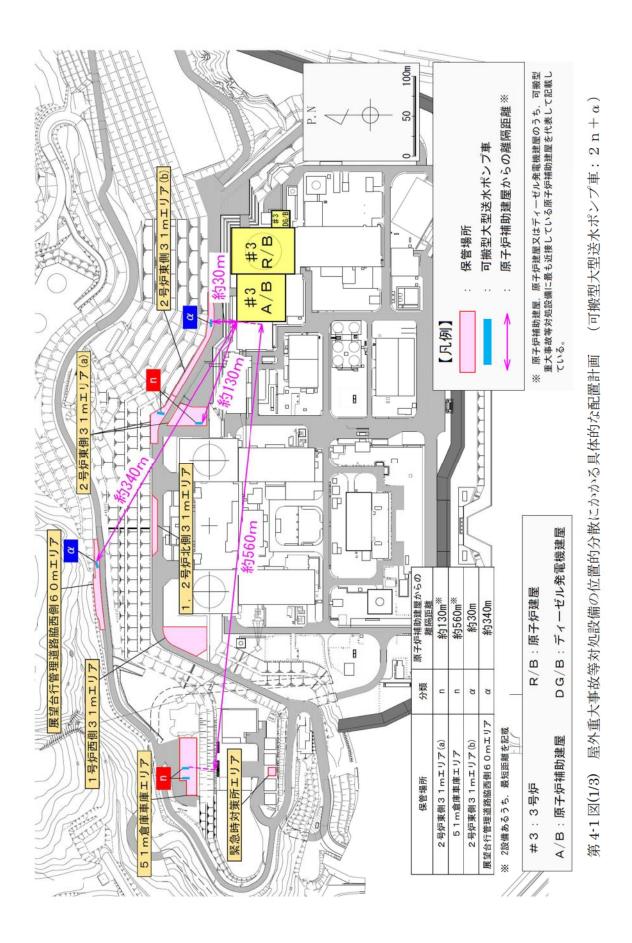
同じ機能を有する重大事故等対処設備が他にある屋外重大事故等対処設備については、同じ機能を有する重大事故等対処設備(設計基準事故対処設備を兼ねている重大事故等対処設備も含む)を防護するか、又は同じ機能を有する重大事故等対処設備(設計基準事故対処設備を兼ねている重大事故等対処設備も含む)と 100m 以上の離隔距離を確保した保管場所を定めて保管することにより、竜巻により同じ機能を有する設備が同時に機能を喪失することがない設計とする。なお、 バックアップは、機能維持をはかるための設計を踏まえ、位置的分散を考慮した 保管場所を定めて保管する。

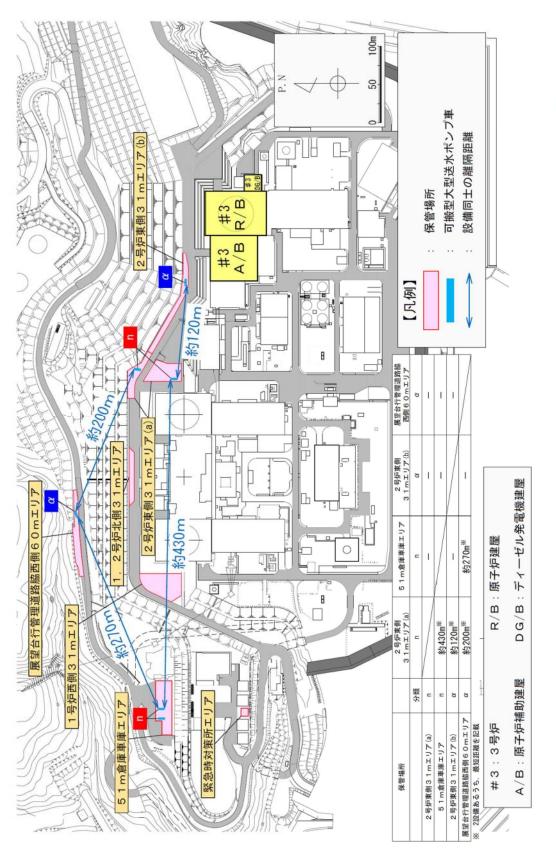
(2) 同じ機能を有する重大事故等対処設備がバックアップのみの設備

同じ機能を有する重大事故等対処設備がバックアップのみの屋外重大事故等対 処設備については、竜巻によって1台が損傷したとしても必要数を満足するよう、 バックアップも含めて分散させ、100m 以上の離隔距離を確保した保管場所を定め て保管することにより、竜巻により同じ機能を有する設備が同時に機能を喪失す ることがない設計とする。

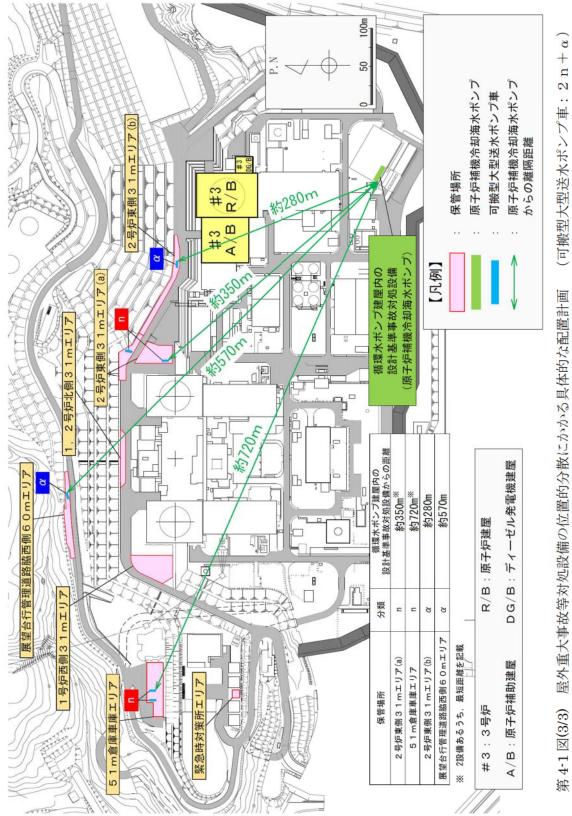
また、原子炉格納容器,使用済燃料ピット及びこれらの設備が必要となる事象の発 生を防止する設計基準事故対処設備,重大事故等対処設備を内包する原子炉建屋,原 子炉補助建屋及びディーゼル発電機建屋から100 m以上の離隔距離を確保した保管場所 を定めて保管する^(※1)ことにより,同じ機能を有する設備が同時に機能を喪失するこ とがない設計とする。

- (※1) 重大事故等に対処するための機能を維持するため、原子炉建屋又は原子炉 補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備又は電源設備については2 セット、それ以外は1セットについて離隔距離を確保して保管する。
- 4.2 位置的分散による機能維持の設計方針に基づく屋外重大事故等対処設備の保管場所
 「4.1 位置的分散による機能維持の設計方針」に基づき決定した屋外重大事故等対
 処設備の保管場所及びその位置的分散について第4-1~4-9 図に示す。

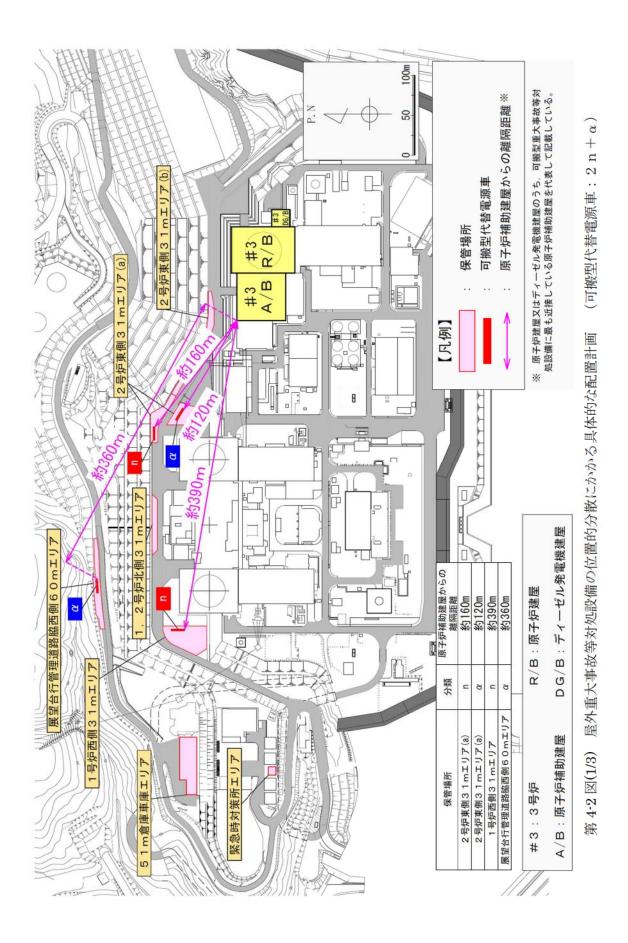


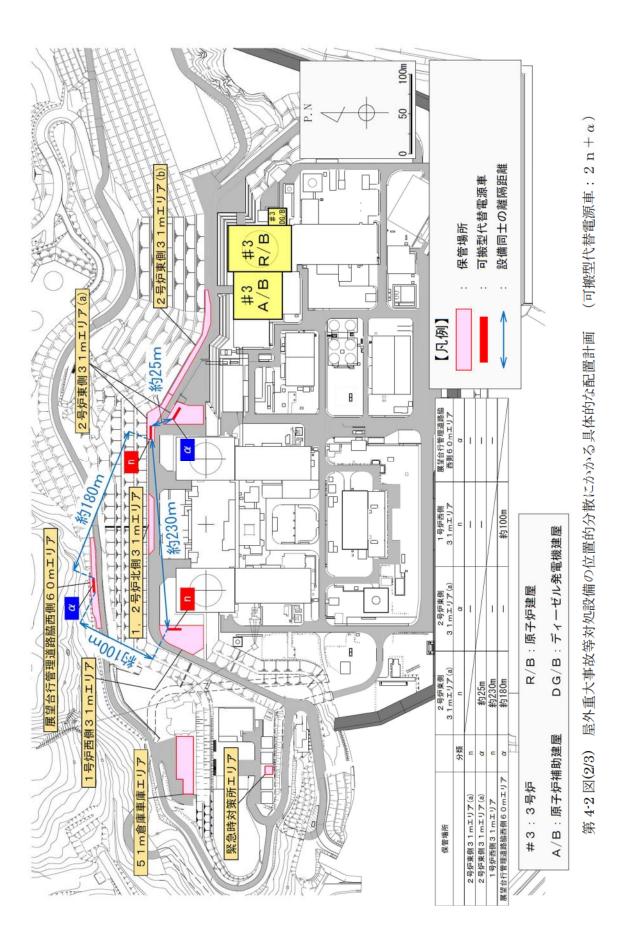


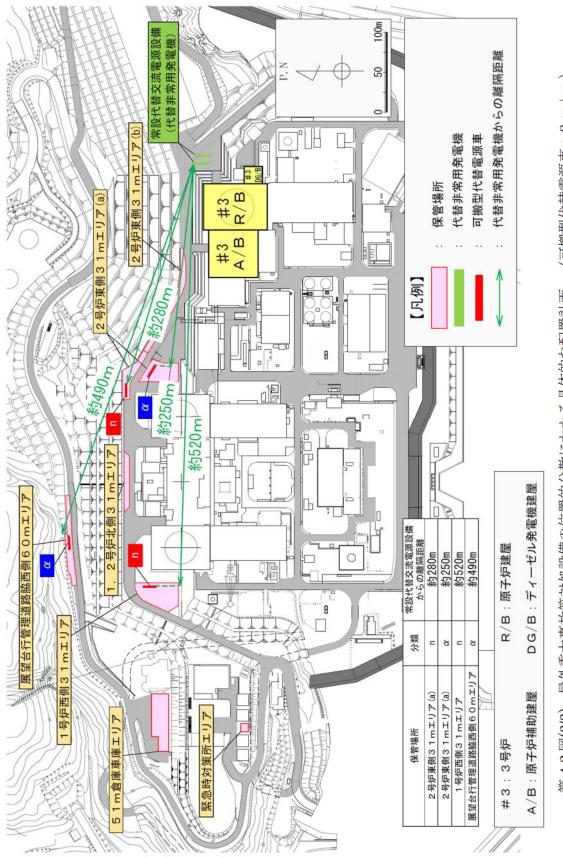




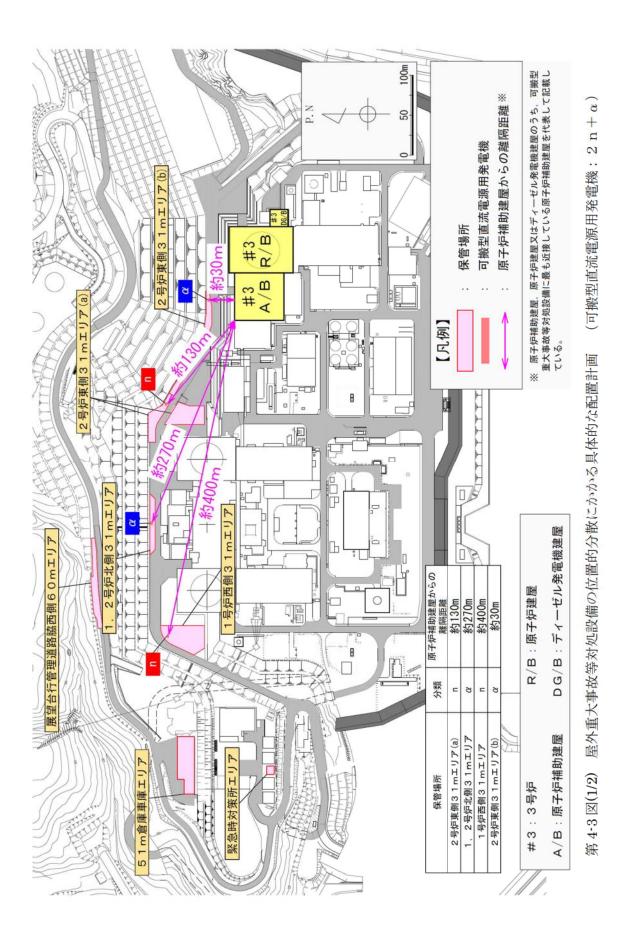


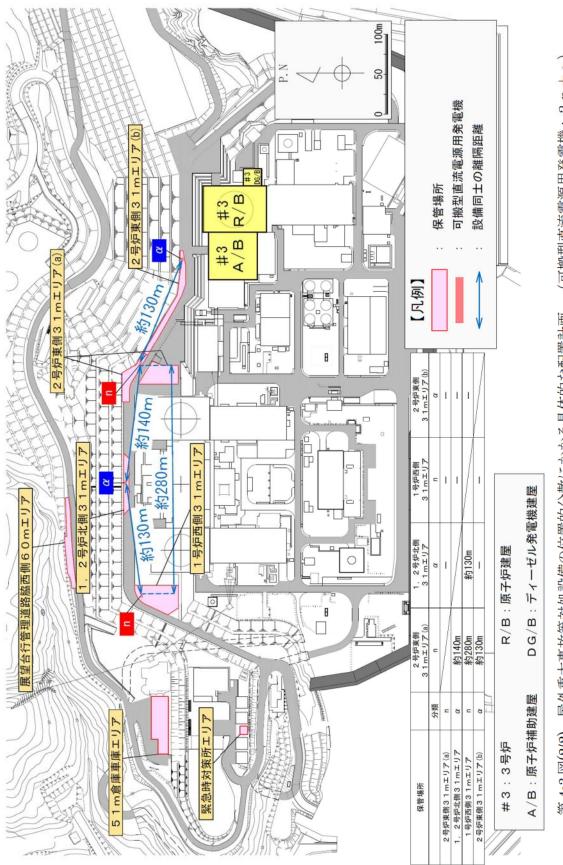




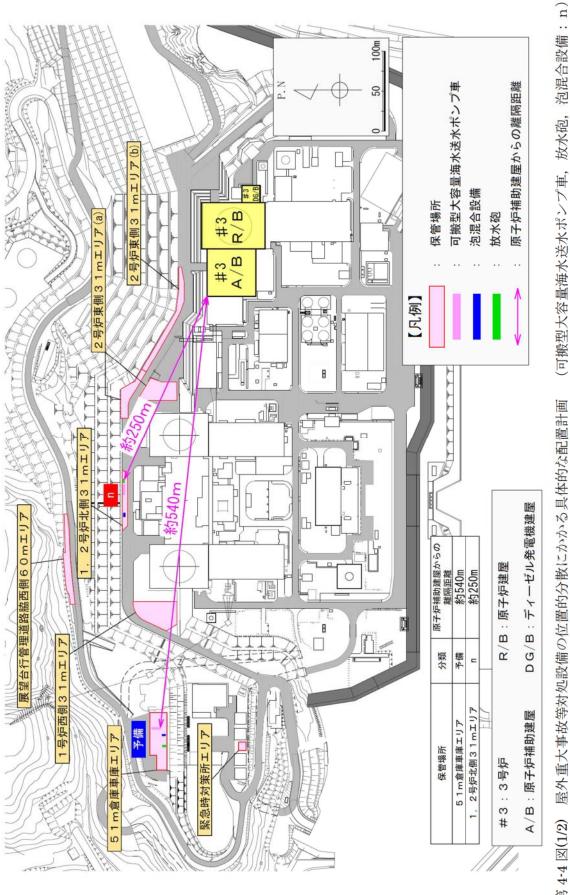


(可搬型代替電源車: $2 n + \alpha$) 屋外重大事故等対処設備の位置的分散にかかる具体的な配置計画 第4-2 図(3/3)

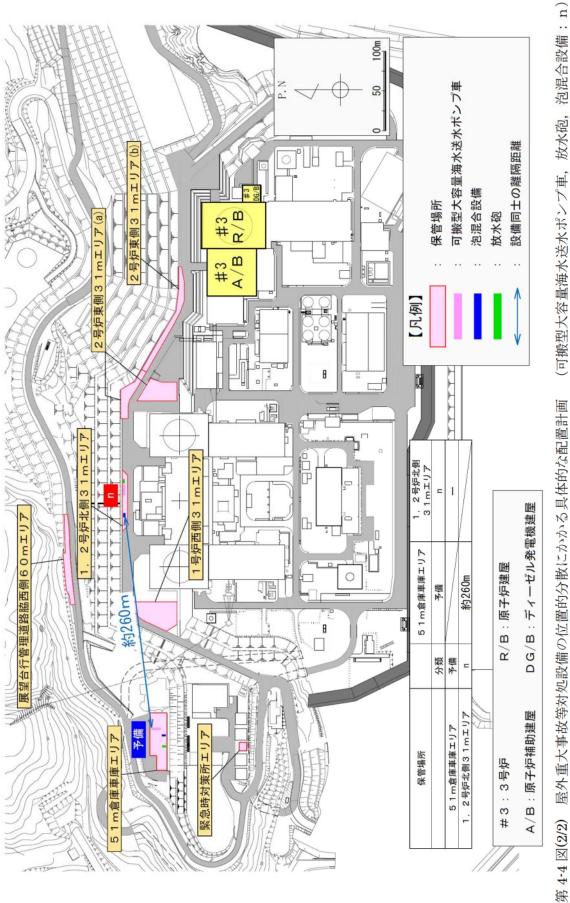




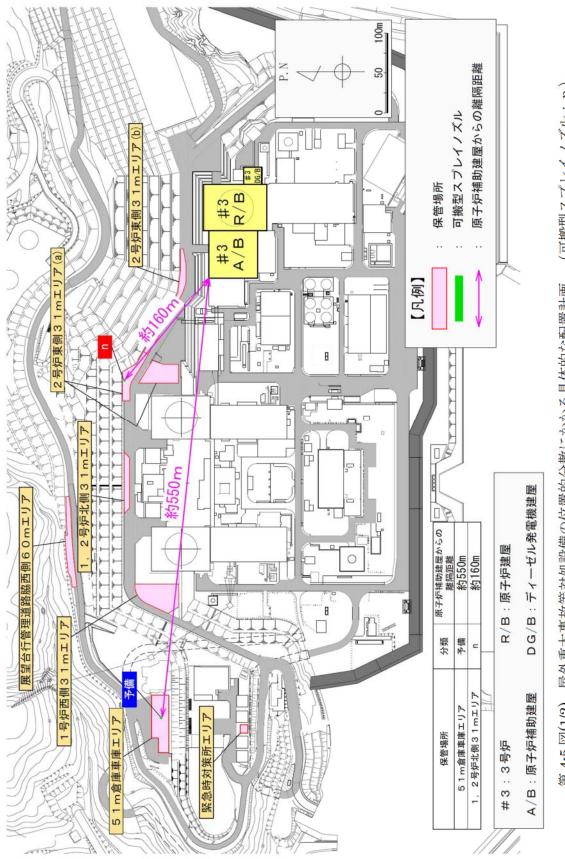
(可搬型直流電源用発電機: $2 n + \alpha$) 屋外重大事故等対処設備の位置的分散にかかる具体的な配置計画 第4-3 図(2/2)



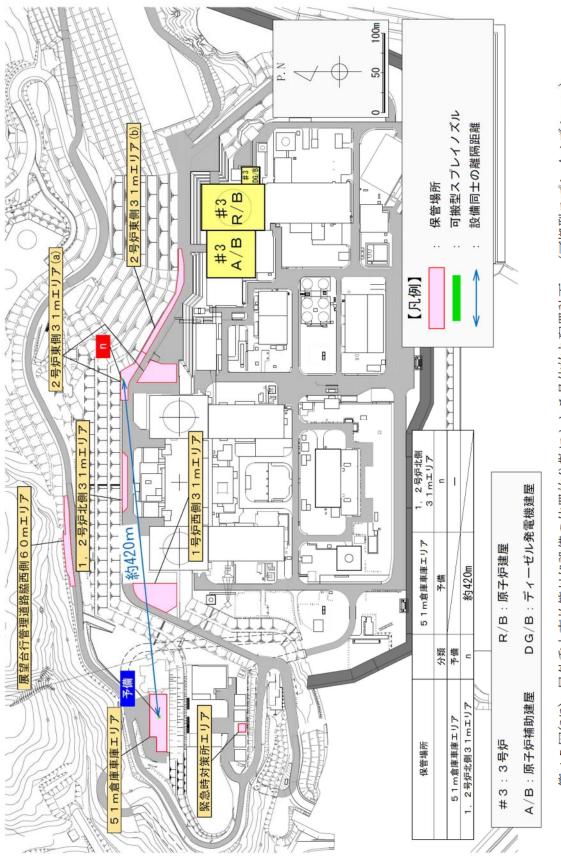




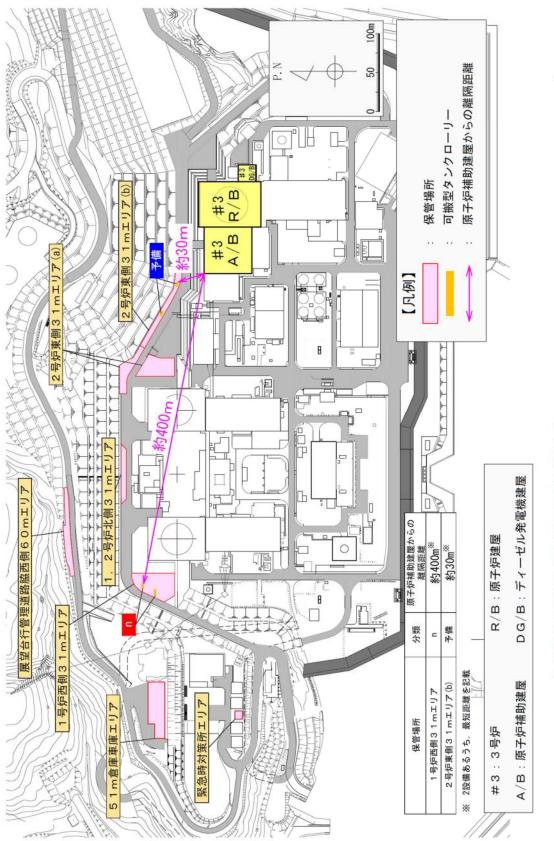
共-6-16



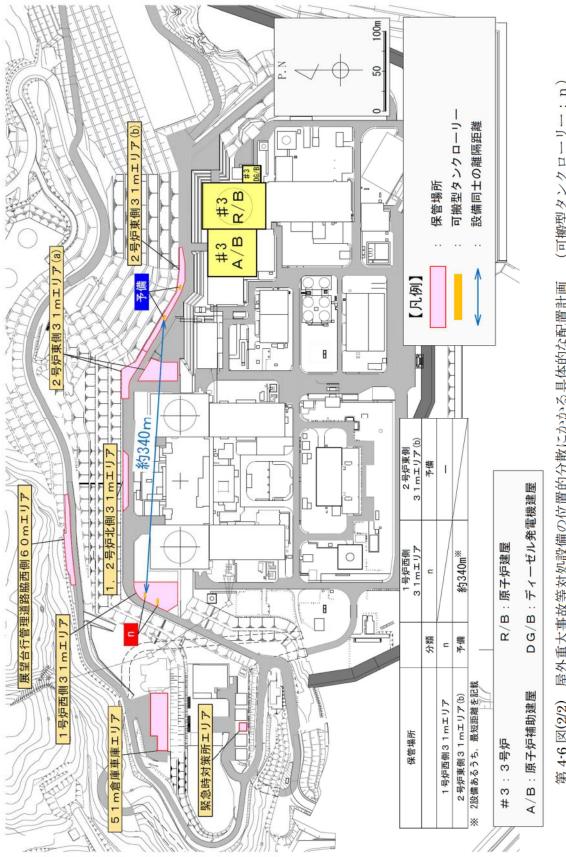




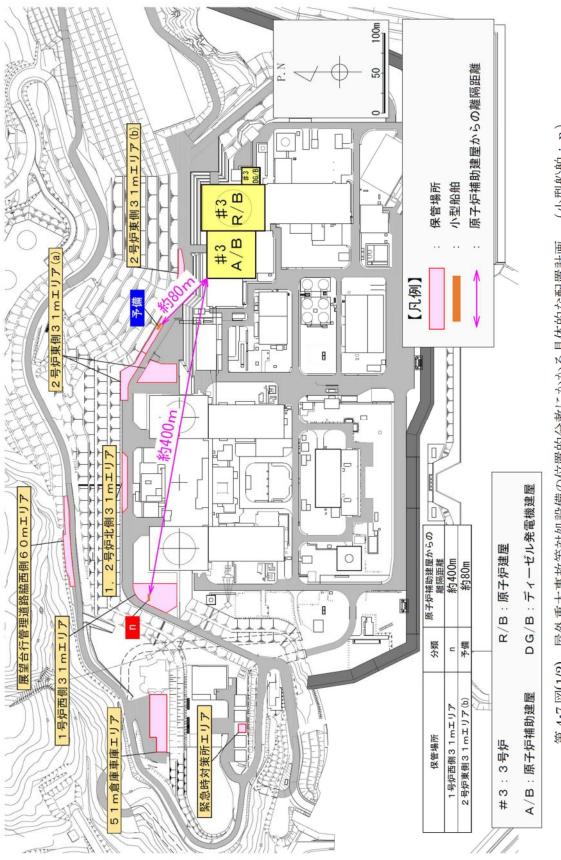




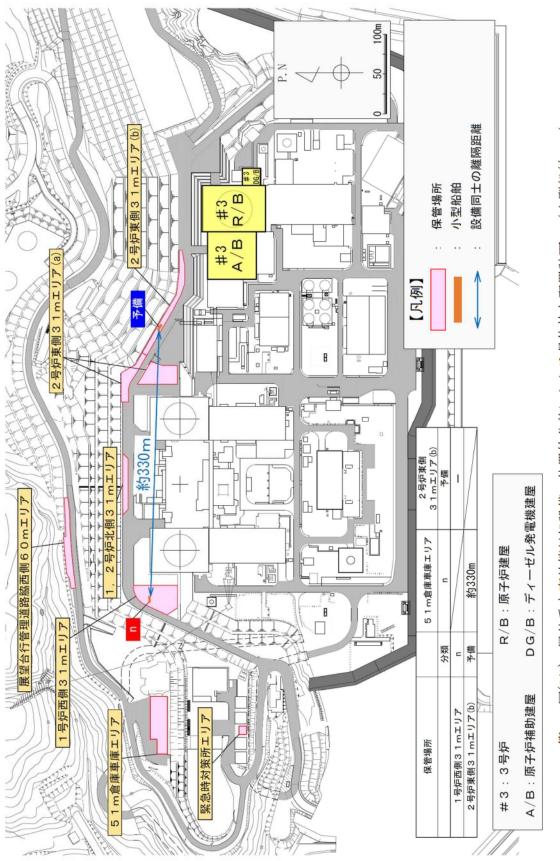
(可搬型タンクローリー:n) 屋外重大事故等対処設備の位置的分散にかかる具体的な配置計画 第4-6 図(1/2)



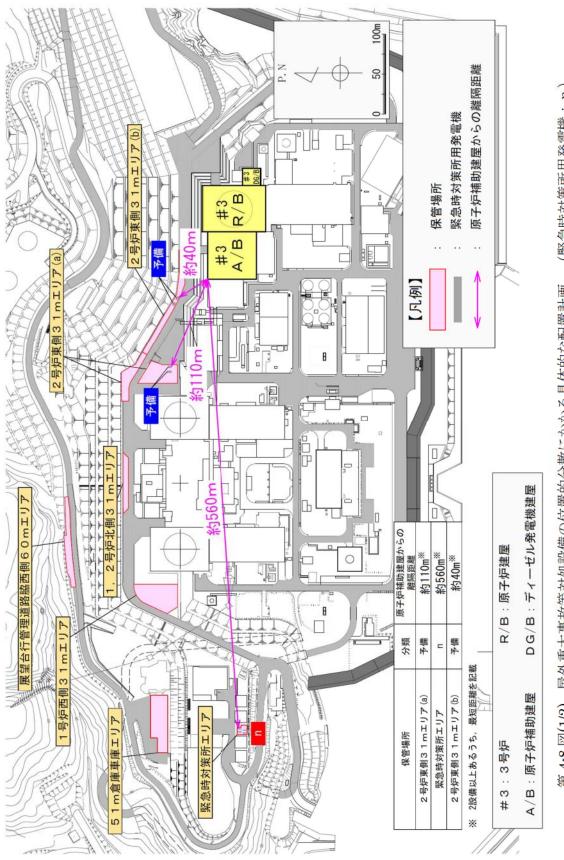


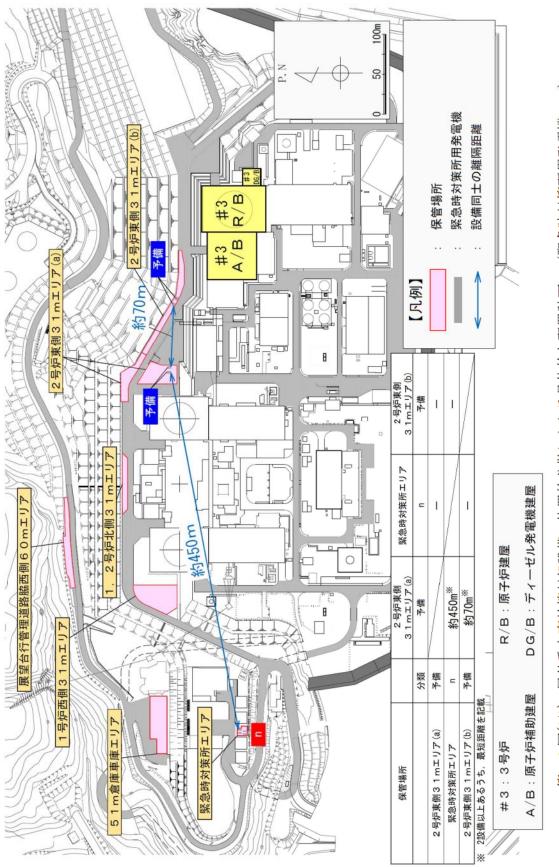


(小型船舶:n) 屋外重大事故等対処設備の位置的分散にかかる具体的な配置計画 第4-7 図(1/2)

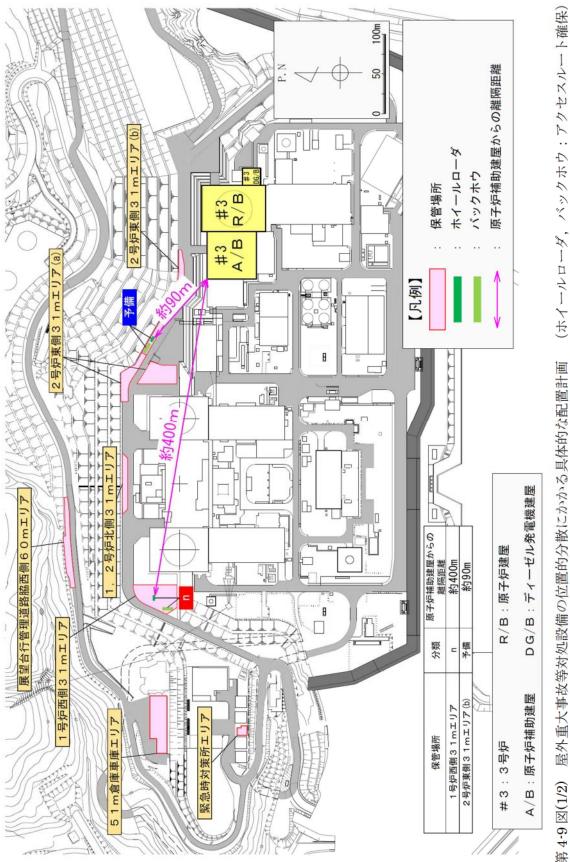




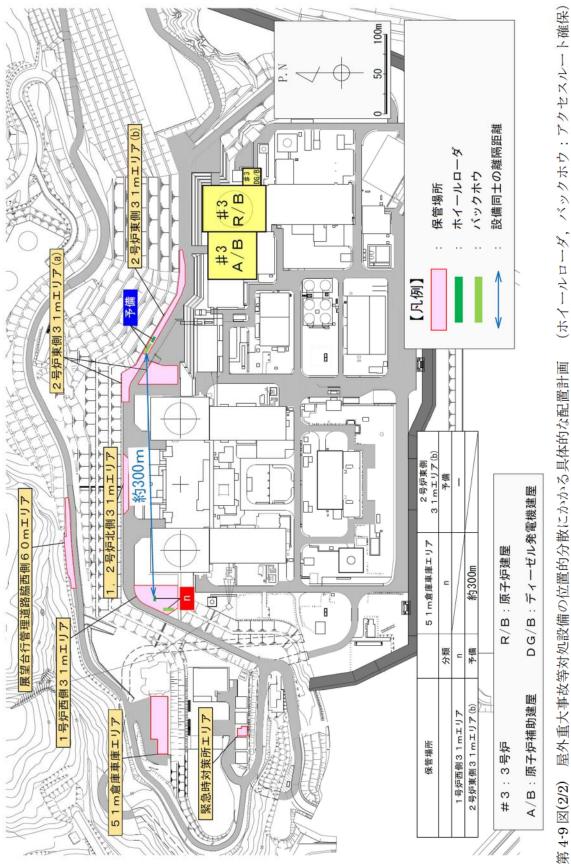














- 5. 悪影響防止のための固縛設計
 - 5.1 固縛の設計方針

悪影響防止のための固縛については、「4. 位置的分散による機能維持設計」に示す 位置的分散とあいまって、浮き上がり又は横滑りによって設計基準事故対処設備(防 護対象施設)や同じ機能を有する他の重大事故等対処設備に衝突し、損傷させること のない設計とするため、全ての屋外の重大事故等対処設備を検討の対象とする。

固縛装置の設計においては,風荷重による浮き上がり及び横滑りの荷重並びに保管 場所を踏まえて固縛の要否を決定し,固縛が必要な場合は,発生する風荷重に耐える 設計とする。

固縛が必要とされた重大事故等対処設備のうち可搬型の設備については,重大事故 等発生時の初動対応時間を確保するために,固縛装置の数を可能な限り少なくする設 計とする。固縛が必要とされた重大事故等対処設備のうち車両型の設備については, 固縛装置が耐震設計に影響を与えることがない設計とする。

5.2 固縛対象設備の選定の考え方

屋外の全ての重大事故等対処設備を対象に,浮き上がり発生の有無,横滑り対策の要 否を検討し,固縛対象設備を選定する。なお,複数の設備をコンテナ,車両に保管して いる場合は,コンテナ,車両毎に固縛対象設備を選定する。

5.3 設計荷重

屋外重大事故等対処設備の固縛装置の強度評価に用いる荷重として, 竜巻の風荷重 によって, 固縛対象設備が浮き上がり又は横滑りを起こした場合に, 固縛装置に作用 する荷重を設計荷重とする。なお, 浮き上がり及び横滑りの荷重の両方を考慮する設 備については, 両者を比較し, 大きい荷重を設計荷重とする。

浮き上がりに伴い固縛装置に作用する荷重の算出については,空力パラメータから 算出される全体浮力が自重よりも大きく浮き上がると判断される設備に対して行う。

横滑りに伴い固縛装置に作用する荷重の算出については,固縛対象設備が横滑りに よって移動した場合に防護対象施設に衝突する可能性がある設備を,横滑りを考慮す る設備に対して行うが,固縛装置の設計における保守性を確保するため,固縛対象設 備の地表面の摩擦力を考慮しないこととする。

竜巻の風速としては,設置(変更)許可を受けた最大風速100 m/sを使用することと する。

以上の設計方針に基づく固縛装置の概要及び評価例を添付1に示す。

泊発電所3号機 屋外重大事故等対処設備の竜巻固縛について

1. 概要

泊発電所3号機の屋外重大事故等対処設備の竜巻防護については、位置的分散による機能 維持と、固縛による悪影響防止により達成する方針としている。本資料は、悪影響防止のた めの固縛装置の概要について説明するものである。

2. 固縛装置の設計方針

固縛装置については、「固縛対象が竜巻時に移動しない固縛装置」と「固縛対象が竜巻時に 移動することを考慮する固縛装置」に分けられる。これらの設計方針について以下に示す。

- 2.1 固縛対象が竜巻時に移動しない固縛装置の設計方針
- ・固縛装置は、固縛対象設備に作用する竜巻による横滑り荷重又は浮き上がり荷重に対して、 その移動を制限し、設計基準事故対処設備や同じ機能を有する他の重大事故等対処設備に 衝突し、損傷させることのないよう竜巻による荷重により固縛装置の構成部材が破断しな い設計とする。(アンカーについては弾性域におさえる)
- ・固縛装置の強度設計においては、複数の固縛装置が固縛対象に設置されている場合にあっても、装置単体で設計荷重(風速100 m/s の静荷重)に耐える設計とする。
- ・耐震設計に影響を与えることがない設計とする。
- 2.2 固縛対象が竜巻時に移動することを考慮する固縛装置の設計方針
- ・固縛装置は、固縛対象設備に作用する竜巻による横滑り荷重又は浮き上がり荷重に対して、 その移動を制限し、設計基準事故対処設備や同じ機能を有する他の重大事故等対処設備に 衝突し、損傷させることのないよう竜巻による荷重により固縛装置の構成部材が破断しない設計とする。(アンカーについては弾性域におさえる)
- ・固縛装置の設計に当たっては、衝撃荷重を考慮した場合でも、固縛装置が破断しないよう に設計荷重(風速100 m/s の静荷重)に対して2倍以上の裕度を持たせる設計とする。
- ・耐震設計に影響を与えることがない設計とする。
- 3. 固縛方法及び固縛装置の構成(固縛対象が竜巻時に一定の移動を許容する例)

固縛対象が竜巻時に移動することを許容する例としては、車両型の屋外重大事故等対処設備 が上げられる。固縛装置の構成を図1,固定材を図2~3に示す。高強度繊維ロープにて、車 両と固定材を結ぶことにより悪影響防止を図る。また、固縛装置の取り付けイメージを図4に 示す。なお、連結補助材(シャックル等)は使用しない。

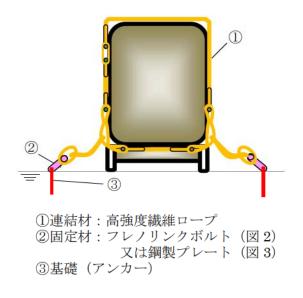


図1 固縛装置の構成



図2 フレノリンクボルトイメージ



図3 鋼製プレート



図4 固縛装置の取り付けイメージ

4. 固縛装置の強度評価結果例(固縛対象が竜巻時に移動することを考慮する例)

| 対象車両 | : 可搬型代替電流 | 原車 | | |
|--------|-------------|----------|-------------------|-------------|
| 車両諸元 | : 長さ 16.59m | 幅 2.438m | 高さ 4.99 2m | 重量 47,910kg |
| 風荷重 | : 607 kN | | | |
| 固縛数 | :7箇所 | | | |
| 強度評価結果 | : 設計荷重(表 1 | .) | | |

| | 双王· [[] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] [] | 1017 动民反时 Ш 和 不 | |
|----------|--|-----------------|-------|
| 評価対象 | 作用する荷重(kN) | 許容限界(kN) | 裕度 |
| 連結材 | 44 kN | 250 kN | 5.68 |
| 固定材 | 87 kN | 294 kN | 3. 37 |
| 基礎(アンカー) | 87 kN | 294 kN | 3. 37 |

表1:設計荷重における強度評価結果

作用する荷重が、許容限界に対して2以上の裕度があることを確認した。

以 上

添付2

許可基準 43条の要求事項と竜巻防護に関する設計方針

| 計り基準43 余の要求事項と軍巷防護に関する | n - Marine Die - New Annual Statement auf Bernardmann - Bart Burk - Bernstein Bernstein, inder Bernstein Bernstein Bernstein - Bernstein Bernstein - Bernstein - Berns |
|---|---|
| 第 43 条要求事項 | 竜巻防護に関する設計方針(下線部は本文3項記載) |
| 多様性及び独立性,位置的分散 第2項2号(共用の禁止) 二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。 | 第2項2号【対象外】 共用の禁止に関する要求であり, 竜巻防護設計に 関係する要求事項ではない。 |
| 第2項第3号(常設設備の共通要因故障防止) 常設重大事故防止設備は,共通要因によって設計基 準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損な われるおそれがないよう,適切な措置を講じたもの であること。 | 第2項第3号【対象】 外部からの衝撃による損傷防止が図られた建屋内 に設置するか,設計基準事故対処設備等の機能と 同時にその機能が損なわれるおそれがないよう に,設計基準事故対処設備等を防護するとともに, 設計基準事故対処設備等と位置的分散を図り屋外 に設置する。 |
| 第3項第3号(可搬-常設の接続口) 常設設備と接続するものにあっては,共通要因によ って接続することができなくなることを防止するた め,可搬型重大事故等対処設備(原子炉建屋の外か ら水又は電力を供給するものに限る。)の接続口をそ れぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものである こと。 | 第3項第3号【対象】 異なる建屋面の隣接しない位置に複数箇所設置す るか,建屋内の異なる区画に複数箇所設置し異な る建屋面から接続できる設計とする。 |
| 第3項第5号(可搬設備の保管場所) 地震,津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響,設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。 第3項第7号(可搬設備の共通要因故障防止) 重大事故防止設備のうち可搬型のものは,共通要因によって,設計基準事故対処設備の安全機能,使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう,適切な措置を講じたものであること。 | 第3項第5号及び7号【対象】 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋 内に保管するか、設計基準事故対処設備等又は常 設重大事故等対処設備の機能と同時にその機能が 損なわれるおそれがないように、設計基準事故対処 処設備等を防護するとともに、設計基準事故対処 設備等の配置も含めて常設重大事故等対処設備と 位置的分散を図り複数箇所に分散して屋外に保管 する。 |

| 第 43 条要求事項 | 竜巻防護に関する設計方針(下線部は本文3項記載) |
|---|--|
| 2. 悪影響防止 第1項第5号(悪影響防止) 工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。 | 第1項5号【対象】 外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋 内に設置又は保管することで,他の設備に悪影響 を及ぼさない設計とするか,又は風荷重による浮 上がり及び横滑りを考慮し,必要により当該設備 の落下防止,転倒防止,固縛の措置をとり,屋外 に設置又は保管することで,他の設備に悪影響を 及ぼさない設計とする。屋外の可搬型重大事故等 対処設備は,他の設備との離隔距離及び保管場所 の位置関係を考慮し,必要により固縛の措置をと り,他の設備に悪影響を及ぼさない設計とすると とにも,固縛により当該重大事故等対処設備の操 作性等に悪影響を及ぼさない設計とする。 |
| 3.容量等 第2項第1号(常設設備の容量等) 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。 第3項第1号(可搬設備の容量等) 想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、 +分に余裕のある容量を有するものであること。 | 第2項第1号及び第3項第1号【対象外】 設備の容量等に関する要求であり, 竜巻防護設計 に関係する要求事項ではない。 |

| 第 43 条要求事項 | 竜巻防護に関する設計方針(下線部は本文3項記載) |
|---|---|
| 4.環境条件等 第1項第1号(環境条件) 想定される重大事故等が発生した場合における温度,放射線,荷重その他の使用条件において,重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。 | 第1項第1号【対象外】 重大事故等時の環境条件として設定する自然現象としては風(台風)に包絡されるため,竜巻防護設計に関係する要求事項ではない。 第1項第6号及び第3項4号【対象外】 放射線影響を考慮した操作環境に関する要求であり,竜巻防護設計に関係する要求事項ではない。 |
| 第1項第6号(操作環境) 想定される重大事故等が発生した場合において重大 事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことがで きるよう,放射線量が高くなるおそれが少ない設置 場所の選定,設置場所への遮蔽物の設置その他の適 切な措置を講じたものであること。 第3項第4号(可搬設備の操作環境) 想定される重大事故等が発生した場合において可搬 型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け,及び 常設設備と接続することができるよう,放射線量が 高くなるおそれが少ない設置場所の選定,設置場所 への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたもの であること。 | |

| 第 43 条要求事項 | 竜巻防護に関する設計方針(下線部は本文3項記載) |
|---|---|
| 5. 操作性の確保 第1項第2号(確実な操作性) 想定される重大事故等が発生した場合において確実 に操作できるものであること。 | 第1項第2号【対象外】 操作性に関する要求であり, 竜巻防護設計に関係 する要求事項ではない。 |
| 第1項第4号(切替性) 本来の用途以外の用途として重大事故等に対処する ために使用する設備にあっては,通常時に使用する 系統から速やかに切り替えられる機能を備えるもの であること。 | 第1項第4号【対象外】 通常時の系統からの切替性に関する要求であり, 竜巻防護設計に関係する要求事項ではない。 |
| 第3項第2号(接続性) 常設設備(発電用原子炉施設と接続されている設備 又は短時間に発電用原子炉施設と接続することがで きる常設の設備をいう。以下同じ。)と接続するもの にあっては、当該常設設備と容易かつ確実に接続す ることができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子 炉施設が相互に使用することができるよう、接続部 の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであ ること。 | 第3項第2号【対象外】 可搬設備と常設設備の接続性に関する要求であ り, 竜巻防護設計に関係する要求事項ではない。 |
| 第3項第6号(アクセスルート) 想定される重大事故等が発生した場合において,可 搬型重大事故等対処設備を運搬し,又は他の設備の 被害状況を把握するため,工場等内の道路及び通路 が確保できるよう,適切な措置を講じたものである こと。 | 第3項第6号【対象】 屋外のアクセスルートは、複数のアクセスルートの中から早期に復旧可能なアクセスルートを確保するため、障害物を除去可能なホイールローダ1台(予備1台)及びバックホウ1台(予備1台)を保管、使用する。 屋内のアクセスルートは、外部からの衝撃による損傷の防止が図られた建屋内に確保する設計とする。 |
| 6. 試験・検査 第1項第3号(試験・検査) 健全性及び能力を確認するため,発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。 | 第1項第3号【対象外】 設備の試験・検査に関する要求であり, 竜巻防護設 計に関係する要求事項ではない。 |

共-7 重大事故等対処設備の外部事象に対する防護方針について

重大事故等対処設備の外部事象に対する防護方針について

1. 概要

重大事故等対処設備については、待機時及び機能要求時に適切な設計条件を与える必要がある。重 大事故等対処設備の待機時の外部事象に対する耐性を確保するに当たっては、共通要因故障(設置許 可基準規則第四十三条第2項第三号、第四十三条第3項第七号)、接続箇所(同第四十三条第3項第 三号)、保管場所(同第四十三条第3項第五号)、アクセスルート(同第四十三条第3項第六号)の各 観点で、第六条外部事象説明資料にて網羅的に収集した事象に加え、重大事故等対処設備に特有の事 象を考慮する。さらに各事象の発生可能性や影響度等を踏まえ重大事故等対処設備に影響を与えるお それがある事象を選定する。

なお、機能要求時の外部事象は、環境条件において考慮する。

2. 重大事故等対処設備に対し設計上考慮する事象

重大事故等対処設備の多様性,位置的分散等の設計に際し考慮する外部事象は,第六条での設計基 準事故対処設備への検討を踏まえ抽出する。

発電所敷地で想定される自然現象(地震及び津波を除く。)については,網羅的に抽出するため に,発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず,国内外の基準や文献等に基づき収集し た洪水,風(台風),竜巻,凍結,降水,積雪,落雷,地滑り,火山の影響,生物学的事象,森林火 災等の事象を考慮する。

また,発電所敷地又はその周辺において想定される原子炉施設の安全性を損なわせる原因となるお それがある事象であって人為によるもの(故意によるものを除く。)(以下「外部人為事象」とい う。)は,網羅的に抽出するために,発電所敷地及びその周辺での発生実績の有無に関わらず,国内 外の基準や文献等に基づき収集した飛来物(航空機落下等),ダムの崩壊,爆発,近隣工場等の火 災,有毒ガス,船舶の衝突又は電磁的障害等の事象を考慮する。

以上に加えて,重大事故等対処設備による対応が期待される,故意による大型航空機の衝突その他 のテロリズムを考慮する。

3. 重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事象の選定

「2.」に挙げた設計上考慮する事象のうち,重大事故等対処設備に影響を与えるおそれがある事 象の選定を行う。

第六条での検討結果より,発電所敷地及びその周辺での発生の可能性,重大事故等対処設備への影響度,事象進展速度や事象進展に対する時間余裕等の観点から,重大事故等対処設備に影響を与える おそれがある事象として,自然現象(地震及び津波を除く。)として洪水,風(台風),竜巻,凍結, 降水,積雪,落雷,地滑り,火山の影響,生物学的事象,森林火災及び高潮,外部人為事象として飛 来物(航空機落下),ダムの崩壊,爆発,近隣工場等の火災,有毒ガス,船舶の衝突及び電磁的障害 を選定する。

以上に加えて、重大事故等対処設備による対応が期待される、故意による大型航空機の衝突その他

のテロリズムを選定する。

4. 重大事故等対処設備に対し設計上考慮する外部事象に対する評価

風(台風), 竜巻, 凍結, 降水, 積雪, 落雷, 火山の影響, 生物学的事象, 森林火災, 爆発, 近隣 工場等の火災, 有毒ガスに対する評価結果を表1に示す。

また,洪水,地滑り,高潮,飛来物(航空機落下),ダムの崩壊,船舶の衝突,電磁的障害及び故 意による大型航空機の衝突その他のテロリズムに対する評価を以下に示す。

なお,原子炉建屋の外から水又は電力を供給する可搬型重大事故等対処設備と常設設備との接続口 に対する評価については,「共-5 可搬型重大事故等対処設備の接続口について」に詳細を記載す る。

(1) 洪水

敷地周辺の河川と発電所の間には丘陵地があることから、敷地が洪水による被害を受けること はない。

(2) 地滑り

重大事故等対処設備を内包する原子炉建屋等及び屋外における可搬型重大事故等対処設備(可 搬型モニタリングポストを除く)の使用場所は地滑りにより影響を受ける範囲にない。また,可 搬型モニタリングポストの使用場所は地滑りにより影響を受ける可能性があるが,当該箇所にア クセス不能となった場合には原子炉中心から同じ方向に可搬型モニタリングポストを設置して測 定するため,影響は受けない。

(3) 高潮

高潮の影響を受けない敷地高さに設置(非常用取水設備を除く。)・保管する設計とする。

(4) 飛来物(航空機落下)

屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち,原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力 を供給する注水設備及び電源設備は,必要な容量等を賄うことができる設備の2セットについ て,また,原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備 以外のものは,必要な容量等を賄うことができる設備の1セットについて,設計基準事故対処設 備等及び常設重大事故等対処設備が設置されている原子炉建屋,原子炉補助建屋又はディーゼル 発電機建屋から100mの離隔距離を確保するとともに,少なくとも1セットは,当該可搬型重大 事故等対処設備がその機能を代替する屋外の常設重大事故等対処設備からも100mの離隔距離を 確保した上で複数箇所に分散して保管する設計とする。また,当該可搬型重大事故等対処設備が その機能を代替する循環水ポンプ建屋内の設計基準事故対処設備から100mの離隔距離を確保し た上で複数箇所に分散して保管する設計とする。

(5) ダムの崩壊

発電所周辺にダムはないため、敷地がダムの崩壊による被害を受けることはない。

(6) 船舶の衝突

船舶の衝突の影響を受けない敷地高さに設置(非常用取水設備を除く。)・保管する設計とする。

(7) 電磁的障害

環境条件として考慮し,電磁波によりその機能が損なわれるおそれのある設備については,ラ インフィルタや絶縁回路を設置することによりサージ・ノイズの侵入を防止する。鋼製筐体や金 属シールド付ケーブルの適用等,電磁波の侵入を防止する処置を講じた設計とする。

(8) 故意による大型航空機の衝突その他のテロリズム

屋外の可搬型重大事故等対処設備のうち,原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力 を供給する注水設備及び電源設備は,必要な容量等を賄うことができる設備の2セットについ て,また,原子炉建屋又は原子炉補助建屋の外から水又は電力を供給する注水設備及び電源設備 以外のものは,必要な容量等を賄うことができる設備の1セットについて,設計基準事故対処設 備等及び常設重大事故等対処設備が設置されている原子炉建屋,原子炉補助建屋又はディーゼル 発電機建屋から100mの離隔距離を確保するとともに,少なくとも1セットは,当該可搬型重大 事故等対処設備がその機能を代替する屋外の常設重大事故等対処設備からも100mの離隔距離を 確保した上で複数箇所に分散して保管する設計とする。また,当該可搬型重大事故等対処設備が その機能を代替する循環水ポンプ建屋内の設計基準事故対処設備から100mの離隔距離を確保し た上で複数箇所に分散して保管する設計とする。

5. 重大事故等対処設備の外部事象に対する防護方針

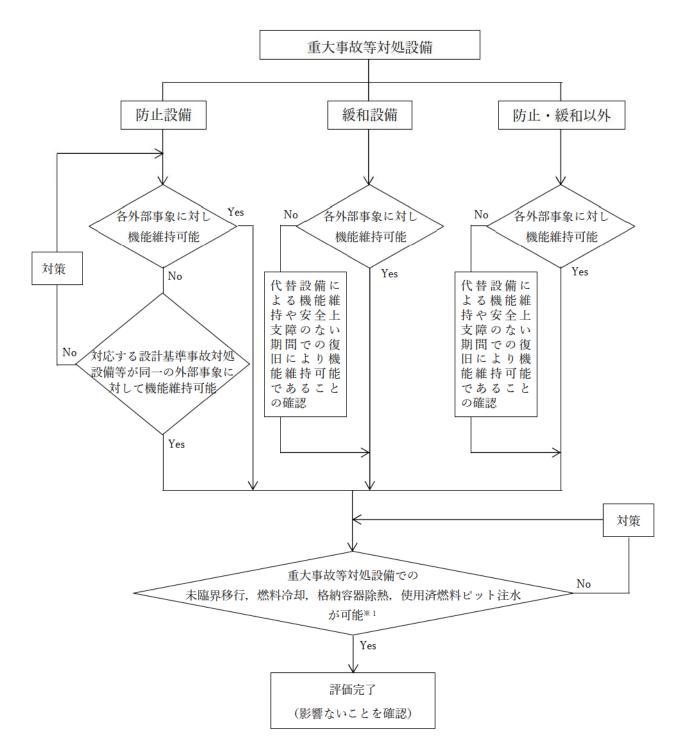
第四十三条の要求を踏まえ,設計基準事象によって,設計基準事故対処設備等の機能と重大事故等 対処設備の機能が同時に損なわれることがないことを確認するとともに,重大事故等対処設備の機能 が喪失した場合においても,位置的分散又は頑健性のある外郭となる建屋による防護に期待できる代 替手段等により必要な機能を維持できることを確認する。

重大事故等対処設備の機能維持は、以下の方針に従い評価を実施する。

- (1) 重大事故防止設備は、外部事象によって対応する設計基準事故対処設備等の機能と同時にその 機能が損なわれるおそれのないこと
- (2) 重大事故等対処設備であって,重大事故防止設備でない設備は,代替設備若しくは安全上支障のない期間内での復旧により機能維持可能であること
- (3)外部事象が発生した場合においても、重大事故等対処設備によりプラント安全性に関する主要 な機能(未臨界移行機能,燃料冷却機能,格納容器除熱機能,使用済燃料ビット注水機能)が維 持できること(各外部事象により重大事故等対処設備と設計基準事故対処設備等の機能が同時に 損なわれることはないが、安全上支障のない期間内での復旧により機能維持可能であることを確 認する)

外部事象による重大事故等対処設備への影響評価フロー並びに方針(1)及び(2)に対する評価結果を それぞれ図1,表1に示す。方針(3)に示した,プラント安全性に関する主要な機能は,以下に例示す るとおり重大事故等対処設備により維持される。

- ・未臨界移行機能:手動による原子炉緊急停止,原子炉出力抑制(自動),原子炉出力抑制(手動),ほう酸水注入
- ・燃料冷却機能:代替炉心注水(代替格納容器スプレイポンプ)
- ·格納容器除熱機能:格納容器内自然対流冷却
- ・使用済燃料ピット注水機能:使用済燃料ピットへの注水(可搬型大型送水ポンプ車)



※1:各外部事象により重大事故等対処設備と設計基準事故対処設備等が同時に損なわれることはないが、安全上支障のない期間内での復旧により機能維持可能であることを確認。

第1図 外部事象による重大事故等対処設備の影響評価フロー

表 5-1 外部事象に対する重大事故等に対処するための機能を有する設備の影響評価

人内 〇:各体部体験に対しな全物能を組みできる スは各体部体験にされる通信を考慮した場合でも、対応する設計素単具を施設が各体部体験に対しな分離能を相対できる(均利型値) 又は各体部体象により相信を考慮して、特特設備による機能値対や交会上支部のない期間での修修等の対応方可能(編和設備)が止でも通知でもない設備) 一:他の項目でで発現 ※ 20%:第「から通い違信, 2.1%:第「かう通い要信, 2.1%:長子が指摘容器, 2.1%:第一十十本の発電機構成, 1.1%:第二次を通いて

常設解決重要重大事場防止 設備

| | | | | | | | | | | | | 自然現象に | 自然現象による影響 | | | | | | | | | 4.9 | 外部人為非象による影響 | 義部を | | Ĩ |
|--------------------------|-------------------------------|-------------------------|-----------------------------|-------------|-------------|---|-----|----------|----------|----------|------|--------|---|-------------------------------|------------|----------------------------|---------|--------|----------|-------|-----------|--|----------------|------|---------------|------------|
| 222221-m[3630 | | 重大中国的财政回知的 | 分散 | 保管·設置 | 属(台) | (伊風) | 能影 | \vdash | 操設 | \vdash | 基本 | 18 | 剣 | 銀縦 | | 火山の影響 | | 生物学的事象 | | 森林火災 | 44 | 04.50 | 近隣工場等の火 | 火災 | 有能ガス | Ì. |
| | | | | | 部 価 価 | 防護方法 靜 | | 第一章 | 訪護方法 | 建価 | 防護方法 | 部 値 | 助義方法 値 | 課 助養方法 | 5法 詳 | | 法解 | | 4 詳 前 | 助置方法 | 24 (ff | 肪 | 課 助拠方法 | (法 部 | 訪義方法 | 512 |
| | ほう酸水注入 | 充てんポンプ | 常設耐淡重要重大非构成止 設備 | A/B | 0 1 | () () () () () () () () () () () () () (| 後屋内 | _ | 使出现 | 0 | 途尾内 | 0 | 金屋内 〇 | が思惑 | о м | M HER | 0 N | 包密彩 | 0 | 经局付 | 0 | 使用外 | () 建用内 | 0 H | 化图书 | N/ |
| | (ほう能タンク →充てんライ | ほう酸フィルタ | 常設創造重要重大非趨勢止. 設備 | A/B | 0 1 | () () () () () () () () () () () () () (| 後屋内 | 0 | 机制度 | 0 | 途尾内 | 0 | 金屋内 〇 | () 建屋内 | о м | M REM | - H | 使居内 | 0 | 使用内 | 0 | 後尾内 | () 建层内 | A 0 | 使同对 | R4 |
| | 2 | 再生熟交换器 | 常設耐造重要重大非為防止 設備 | c.v | 0 1 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 使困难 | 0 | 机制制 | 0 | 建屋内 | 0 | () () () () () () () () () () () () () (| が困惑 | о м | M MAR N | 0 N | 何易致 | 0 | MINUS | 0 | € Million | MM44 O | M 0 | 经指标到 | M |
| 第44条 緊急停止失 | ほう酸水注入 | 燃料収替用水ビット | 常設銅造重要重大非胡飾止 設備 | R/B | () () | া পালক | 使屠凶 | 0 | 使困难 | 0 | 建屋内 | 0 | (美国内) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1 | 「「「「」」の「「」」では「」」 | <u>्</u> | M MARK | 0 N | 使尿内 | 0 | 사া해공 | 0 | € Million | দাসক্ষ 🔿 | 0 W | 内的羽 | F t |
| 敗時に発電用原子炉を 未臨界にするための設 | (熟料県株田木 パット→光へん | 充てんポンプ | 常設網造重要重大非胡動止 設備 | A/B | <u>ک</u> | () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 建居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金尾内 〇 | () 建居内 | <u>्</u> | ABERIA | ۰ ۲ | 缝屋内 | 0 | 经用内 | 0 | 使用的 | () 修用内 | M () | 使用的 | NJ. |
| 641 | ライン) | 再生熱交換器 | 常設耐淡重要工作場時止 | c/v | 8 | ি পালক | 建屋内 | 0 | 使居内 | 0 | 缝屋内 | 0 | 金屋内 〇 | 28년에 | <u></u> | | ۰ ۲ | 建屋内 | 0 | 전해장 | 0 | 使困惑 | O BERM | м О | 科學科研究 | h |
| | ほう酸水注入 | 高圧注入ポンプ | 常設耐濃重要重大非規約止 設備 | A/B | 0 1 | () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 他是内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金属内 〇 | () 建屋内 | ্য | 後居内 | о н | 建星内 | 0 | 修品内 | 0 | 建屋内 | 0 建屋内 | м () | 使用对 | hi |
| | (燃料販替用水 ビット→安全注 | ほう酸注入タンク | 常設創造重要重大非易防止 | 8/B | - | () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 的關係 | 0 | 建屋内 | 0 | 使展内 0 | () 建屋内 | ্য | 建原内 | 0 Fr | 缝屋内 | 0 | 탄행과 | 0 | (Billing) | O BENN | 4 0 | という | Fy. |
| | 入ライン) | 燃料低替用水ビット | 常設耐貴重要重大非易防止 設備 | R/B | B | () () () () () () () () () () () () () (| 使屠凶 | 0 | 使民内 | 0 | 缝屋内 | 0 | 金属内 〇 | の建築 | ্য | 後屋内 | о 14 | 缝屋内 | 0 | 使图录 | 0 | জাধান (| O Mail | ч 0 | 内部項 | Feb |
| | | 高圧注入ポンプ | 常設耐貨重要重大非易防止 | A/B | - | () () () () () () () () () () () () () (| 進屍内 | 0 | 绝尾内 | 0 | 缝屋内 | 0 | () () () () () () () () () () () () () (| () 健康内 | ् | を見る | 0 Fr | 缝屋内 | 0 | 建碱内 | 0 | A Mark | の原語 | - H | 使用付 | ły |
| | | 加圧器進がしず | 常設耐货重要重大事材的止 設備 | 0 N3 | - | () () () () () () () () () () () () () (| 進星内 | 0 | が見得 | 0 | 缝屋内 | 0 | 金属内 〇 | () 建屋内 | ্ | 後居内 | ۰ ۲ | 缝屋内 | 0 | 修品内 | 0 | 修品的 | の記録 | M 0 | 使同时 | |
| | | 燃料取替用水ビット | 常設銷貨重要重大非 <i>结</i> 防止 設備 | R/B | - | () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | 0 | 金属内 〇 | () 建屋内 | ্ | 建屋内 | 0 F | 缝屋内 | 0 | 使同功 | 0 | · (1997) | O MAN | м 0 | 使制动 | Fri- |
| | 一次系のフィードアンドブヨー | 余熱酔去ポンプ | 常設耐貴重要重大非易防止 設備 | A/B | - | () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | 0 | 金属内 〇 | () 健居内 | ्र | 金属内 | 0 17 | 缝屋内 | 0 | 신원공 | 0 |) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1 | শাসক ০ | ч 0 | 사망에고 | Fri |
| | ド(南田注入ポ ンプ) | 余熱訴去治却器 | 常設耐貨重要重大非易防止 | 8/B | - | 어퍼와 | 他是内 | 0 | 的關係 | 0 | 建居内 | 0 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | の場合 | ্য | | 0 F | 進星内 | 0 | 使用内 | 0 | (BHRM) | () 健康時 | 4 0 | 使用时 | ł. |
| | | 格納容器再循環サンプ | 常設耐貨重要主大事場防止 設備 | 6/V | 0 8 | 아프라 | 進星内 | 0 | が見得 | 0 | 缝屋内 | 0 | 金属内 〇 | () 建屋内 | ্ | 後居内 | о И | 建星内 | 0 | 使出到 | 0 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | () 健居内 | м 0 | を行います | Fri |
| | | 格納容器再循環サンプスクリー ン | 常設創造重要重大非規約止。 | c.v | () () | ি পালক | 使尿道 | 0 | 使居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金属内 〇 | () 建屋内 | ্য | 後居内 | ۰ ۲ | 建屋内 | 0 | 修局所 | 0 | 後屋内 | () 健居内 | о н | 外的业 | hi |
| | | ほう酸注入タンク | 常設耐貴重要重大非規約止 設備 | A/B | - | () () () () () () () () () () () () () (| 建星内 | 0 | 他是内 | 0 | 建居内 | 0 | () () () () () () () () () () () () () (| () 建原内 | <u></u> | A SERIA | 0 14 | 缝屋内 | 0 | 使用内 | 0 | Will C | 0 2 64M | 4 0 | 内部事 | h |
| | | 蓄圧タンク | 常設個貨重要重大非規約止 設備 | 6/V | <u>ه</u> | 아말화 | 使屠凶 | 0 | 他居内 | 0 | 建屋内 | 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | · | <u></u> | (建居内 | о 4 | 建屋内 | 0 | Manas | 0 |) 전철화 | শান্ধক্ষ 🔿 | ч 0 | NPN 35 | Fri |
| | 番屈注入 | 蓄圧タンク出口介 | 常設鋼缆重要重大非线防止 設備 | 0 N 3 | - | () () () () () () () () () () () () () (| 使居内 | 0 | 他居内 | 0 | 建屋内 | 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | () 建居内 | <u></u> | | | 缝屋内 | 0 | 使用内 | 0 | - Milling | 「「「「「」」」 | м () | 使得得 | h |
| 第45条 原子炉冷却 材圧カバウンダリ高圧 | | タービン動植助給水ポンプ | 常設銷貨重要重大非規約止 該價 | R/B | N | 여러와 | 使屠凶 | 0 | 他居内 | 0 | 建屋内 | 0 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | () 建屋内 | <u></u> | 使居内 | 0 Fr | 建屋内 | 0 | 经属内 | 0 | ekily (| 0 <u>wand</u> | ч 0 | 内的事 | R. |
| 時に発進用原子炉を冷 却するための設備 | | 主満筑進がしか | 常設網貨重火車場動止 設備 | R/B | <u>ه</u> | ি পাশক | 使困惑 | 0 | 使苦闷 | 0 | 建屋内 | 0 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | が困惑 | <u>्</u> र | M MARK | 0 N | 何渴愁 | 0 | 机测察 | 0 | A MAN | 「「「「」」 | 0 N | 内的事 | M |
| | 蒸気発生器二次 値による何心治 | 補助給水ピット | 常設網缆重要重大非线防止 設備 | R/B | 0 18 | фын O | 修星内 | 0 | 的时间 | 0 | 缝屋内 | 0 | () () () () () () () () () () () () () (| が居政 | о м | M SER M | о н | 缝屋内 | 0 | 循環內 | 0 | 能限内 | () 能限内 | M 0 | 化制 | M |
| | 却(タービン働 補助給水ポンプ | 蒸気発生器 | 常設解設重要重大事結時止 | c/v | 0 18 | () () () () () () () () () () () () () (| 後屋内 | 0 | 的制度 | 0 | 建屋内 | 0 | 金屋内 〇 | () 進展内 | о м | Maria (| о н | 途尾内 | 0 | 能同对 | 0 | 환 분에 (| O MH | M 0 | 经 4814 | M |
| | の機能回復) | タービン動植助給水ポンプ観動 蒸気入口が | 常設耐貨重要重大非杨防止 設備 | R/B | | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 德屈内 | 0 | Philippe | 0 | 绝居内 | 0 | · () () () () () () () () () () () () () (| () 進星内 | <u>୍</u> | 後居内 | <u></u> | 缝屋内 | 0 | 低居内 | 0 | রুদ্ধান ে | 6 建塔内 | м 0 | 能開始 | R. |
| | | 主燕氣管 | 常設網鏡重要重大非規防止 該價 | c.// R/B | 0 (1) | 金居内 〇 | 後星内 | 0 | 的品质 | 0 | 继星内 | 0 | 金屋内 〇 | () 建屋内 | о М | 後居内 | ч ч | 继尾内 | 0 | 使困难 | 0 | 1111 | () 建居内 | 4 O | 建同内 | M |
| | | 電動補助給水ポンプ | 常設個貨重要重大非均約止 設備 | R/B | 0 1 | () () () () () () () () () () () () () (| 後星内 | 0 | 他回到 | 0 | 途尾内 | 0 | 金屋内 〇 | () 建居内 | о м | MHHHHHHH (| 0 N | 建屋内 | 0 | 使困难 | 0 | 後屋内 | NHH O | 0 H | 使同内 | Fyt |
| | 燕氣発生器二次 | 主諸知道がしか | 常設銅貨重要重大非均均止 設備 | R/B | 0 1 | (他内) | 後星内 | 0 | 他同时 | 0 | 途尾内 | 0 | 金屋内 〇 | が見致 | о м | 後居内 | о И | 继星内 | 0 | 住民内 | 0 | 使居内 | い 一部 の | м 0 | 使同外 | Бł |
| | 施行よるなら沿 本(出場部号称 大士、人の保険 | 補助給水ピット | 常設銅貨重要重大非均均止 設備 | R/B | 0 1 | () () () () () () () () () () () () () (| 後星内 | 0 | 他同时 | 0 | 途尾内 | 0 | 金屋内 〇 | が足迹 | о м | 使用的 | о И | 建屋内 | 0 | 任同 | 0 | 使居内 | () 後居内 | м 0 | 建局外 | Ы |
| | 本ホンシの機能同義() | 蒸気発生器 | 常設銅貨重要重大非規約止 設備 | c/v | 0 18 | 途 屈内 〇 | 後尾内 | 0 | 的副母 | 0 | 途尾内 | 0 | 途尾内 | () 建屋内 | о м | 建居内 | ۰ ۲ | 進屋内 | 0 | 继屈内 | 0 | 後屋内 | () 健康内 | ч 0 | 使出进 | |
| | | 主燕知管 | 常設個貴重要重大非規約止 該資 | c.// R/B | 0 8 | 修 居内 〇 | 進屋内 | 0 | 他居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 後屋内 | () 建屋内 | <u></u> | 後居内 | ۰ ۲ | 建星内 | 0 | 继属内 | 0 | 後屋内 | () 建原内 | н О | 使同外 | H |
| 民例 〇:各外部非象に対し安全機能を維持できる | 対し安全機能を維 | 特できる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

民間 〇: 各外部事業に対し安全機能を維持できる 又は各外部事業により近後をお組んを知道した場合でも、対応する認時基礎が各外部事業におしな今機能を維持できる(防止退機) 又は各外部事業により対策を考慮して、特別2階による機能能や安全士と部のない期間での修覧の対応が可能(機和設備,防止でも緩和でもない設備) - : 他の項目にて修理 ※ 8.8:: 原子が提用、N1:: 原子が指導助進出、CN:: 原子や装飾資品, BG8: デノーゼル発展時間、GF92:: 所四本計一プ連用

| | | | | | | | | | | | | 自然現象に | 自然現象による影響 | | | | | | | | | 8 | 外部人為事象による影響 | 業品をおい | | |
|--|------------------------------|--------------------------|----------------------|--------------|--------------|---|-------------------|----------------|------|----|------|--------|--|---|---|---------------|---|---|--------------------|-------|----|----------|---------------------------------------|---|---------------|--------------|
| 2422年 | | 重大非常常对处理的 | 幼獣 | 保管·設置 参加* | 属(台) | (台風) | 能影 | \mid | 法统 | | 降水 | 18 | ÷ | 新新 | | 火山の影響 | 響 | 生物学的事象 | 4 | 旋林火災 | | 研究 | 近磷工物造 | の火災 | 有能ガフ | ĸ |
| | | | _ | | 部 術 助設 | 時進方法 詳 佰 | 4 助義方法 | ^法 第 | 防漠方法 | 推進 | 防護方法 | 端 第 | 防護力法 種 | are Aff | 助進方法 | 游 街 防護 | 助義方法 章 | 辦 防護方法 值 | ^法 第篇 | 助置方法 | 改進 | 訪進力法 | 排 助幾 | 防线方法 詳 | 助義方法 | 方法 |
| | | 加圧器進がし弁 | 常設耐炭重要重大非核防止 設備 | 6/V | 0 18 | 0 村田建 | 後尾内 | 0 | 继星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金屋内 〇 | (1) 後4 | 金星内 (| 0 <u>18</u> 4 | জিলাপ (| () 建屋内 | ч I | 使居内 | 0 | 使用内 | () 後月 | 6 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 使同外 | Ma |
| | | 高圧注入ポンプ | 常設創造重要重大事結防止 設備 | A/B | <u>کھ</u> | া পাশক | 년 종년 년 | 0 | 何速感 | 0 | 使困难 | 0 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | শক্ষ 📀 | · 机制造 | 147 | া দাসক | () 建原内 | ۰ N | Minas | 0 | Millings | N 433 O | ্ থাগস্ব | 内容性量 | Fy18 |
| | | 燃料化特用水ビット | 常設耐造重要重大事結防止 設備 | R/B | <u>چ</u> | ি পালয় | 德居内 | 0 | 他居内 | 0 | 建居内 | 0 | 金尾内 〇 | 0 سل | 建屋内 | ۰ ا | 建居内 | 建屋内 | ۰ ۲ | 使用内 | 0 | 使用内 | 0 | WHAN O | 使用的 | - Fyle |
| | - 次系のフィー ドアンドブリー | 余熟読去ポンプ | 常設耐蝕重要主大事結防止 設備 | A/B | <u>ه</u> | () () () () () () () () () () () () () (| 使星内 | 0 | 继星内 | 0 | 發展內 | 0 | 0 村屋道 | ر الألم | 金星内 〇 | ۰ ا | 建屋内 | () 建료内 | ۰ ۲ | 長星 | 0 | 使用内 | 建场 | () | 使用动 | 사면 |
| | F(高圧注入ポ ンプ) | 余熱除去冷却器 | 常設耐貨重要重大非易防止 設備 | A/B (| 0 1 | ④ 化 | 修星内 | 0 | 缝屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 使用内 | 0 <u>8</u> 84 | 後屋内 | 0 181 | জিলাশ (| () 建屋内 | ۰ ۱ | 使困避 | 0 | 使用内 | 0 <u>&</u> H | @RM O | 建局内 | M |
| | | 格納容器再新環サンプ | 常設耐淡重要工作結构止 設備 | c/v | R | () () () () () () () () () () () () () (| 서골환 | 0 | 建屋内 | 0 | 使困惑 | 0 | 6 전쟁 | শক্ষ 🔿 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | ۰ به | ্য দাসক | () 建屋内 | 0 h | 村洲事 | 0 | 机制建 | 0 B H | া পালক | 使局外 | M |
| | | 格納容器再循環サンプスクリーン ン | 常設耐貴重要重大非規約止 設備 | 6/V | N | 《 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 | (전문) 전 문) 신 | 0 | 绝星内 | 0 | 建屋内 | 0 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | ر الله ا | 金尾内 〇 | · (111) | 建屋内 | 建屋内 | 0 Fr | 同調要 | 0 | 同時間 | 13 O | <u>е мин</u> | 使用对 | Ma |
| | | ほう酸注入タンク | 常設耐貴重要重大非規約止 | A/B | - | ি পিলি | 使居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | ~ 0 | 金属内 〇 | <u>।</u> भुद्ध | 使居内 | <u>ا</u> | 建居内 | () 進展内 | <u>।</u> | 使用的 | 0 | 使問題 | の種類的 | 0 642 | 内部州国务 | Fy Ig |
| | | 蓄圧タンク | 常設耐货重要业大事场防止 設備 | c/v | 8 | () () () () () () () () () () () () () (| 修足内 | 0 | 绝星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金屋内 〇 | 0 <u>8</u> 85 | 金尾内 〇 | ۰ ۱ | 建居内 | () 建居内 | ۰ ۲ | 使出动 | 0 | 使用内 | 0 13 | C MHA | 사망 사 공 | hyle |
| | 备止狂人 | 養圧タンク出口弁 | 常設耐貨重要重大事結防止 設備 | 0 N3 | () () | ি পালক্ষ | が居塾 | 0 | 建屋内 | 0 | 使困难 | 0 | 金属内 〇 | O كَلَيْ ا | (基本) | 0 1 | জ্ঞান (| 38년에 | ۰ H | 使困避 | 0 | 机图象 | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | () () () () () () () () () () () () () (| 使国外 | 사람 |
| | | 電動補助給水ポンプ | 常設耐装重要重大非易防止 設備 | R/B | 8 | 《 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 | 位星建 | 0 | 绝星内 | 0 | 建屋内 | 0 | (集内) 〇 | ر الله ا | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | · (111) | 建屋内 | () 建屋内 | 0 Fr | 机制制 | 0 | 使原内 | 0 1 | (金属内) | 使用时 | PARA. |
| | | タービン動油助給水ポンプ | 常設耐貴重要重大非規約止 設備 | R/B | - | () () () () () () () () () () () () () (| ((전 전 전 전 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | ٠ ٥ | 進屋内 〇 | 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1 | 使居内 | · (월) | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 建屋内 | 0 Fr | 机制动 | 0 | 继属内 | N38 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 化物料 | Ma |
| | 燕氣発生器二次 | 高現院水ゴット | 常設耐貨重要重大非規約止 設備 | R/B | <u>ی</u> | 아퍼와 | が足強 | 0 | 他是内 | 0 | 继属内 | 0 | 進屋内 〇 | ۰ <u>ال</u> الم | 金尾内 | · · | 建屋内 | 建屋内 | 0 F | いが取 | 0 | 신철광 | গস্বয় | ে পালক | 内部項 | MR |
| | 他によるや心浴 | 主義知道がしか | 常設耐貴重要重大非胡動止 設備 | R/B | ₽ | () () () () () () () () () () () () () (| 後屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金屋内 〇 | () 建屋内 | | ر ا | 登 尾内 | () 建居内 | <u></u> । | 建居内 | 0 | 建居内 | 0 1 | 6 時間 | 建局位 | Phile No. |
| 100 A 6 % 101 Z 6126 H | | 蒸気液生器 | 常設耐能重要重大非規約止 設備 | 6/V | 0 8 | ি পালক | が足塗く | 0 | 绝星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金属内 〇 | ۰ <u>ال</u> الم | 金属内 〇 | · 변환 | 建居内 | 建屋内 | о н | 使活动 | 0 | 使居内 | 0 1 | <u>екар</u> | 使用业 | M |
| おまっ来 ニュールロート 材圧力パウンダリを減 にすえための時間 | | 主满知管 | 常設創設重要求手術協力上 設備 | C/V R/B | - | () () () () () () () () () () () () () (| 修星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | • | 金屋内 〇 | ر الألم | 登토内 (| 0 181 | 建屋内 | 建屋内 | ۰ ۲ | 使困避 | 0 | 使屋内 | (基) | 使用M 〇 | 使用外 | M |
| | | タービン鶏袖助給水ポンプ | 常設個錢重要重大事胡防止 設備 | R/B | <u>ه</u> | ি পালক | 서咨察 | 0 | 经局付 | 0 | 建屋内 | 0 | ি পিলক | শক্ষ 🔿 | · (111) | 1 | া দাশক | দান্নক্র 🔿 | 0 h | 内测导 | 0 | Minas | N39 0 | া পালক | 校開發 | hill |
| | | タービン商油助給水ポンプ第6動 蒸気入口が | 常設爾貴重要重大事胡称止 設備 | R/B | () () | (한편) | が遅寒 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | ি পিশ্বক | শক্ষ ০ | 後 尾内 (| - 1 1 1 | ্য দাশ্রক | 「「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「」」の「」」の「」」の | 0 Fr | 네바퐈 | 0 | 使同时 | 1. O | ি পালক | | 金属内 |
| | 蒸気発生器二次 側によるが心治 | 油助院水ゴット | 常設解読重要重大事胡動止 設備 | R/B | - R | () () () () () () () () () () () () () (| 修星内 | 0 | 的图 | 0 | 建厚内 | 0 |) (新聞) | ۰ الألا | <u>ф</u> кар | <u>्</u> | | () 建居内 | 0 N | NUM | 0 | 使用内 | 0 8 H | © Milling | 使用的 | Kylp |
| | 母(ダーロノ類 油助給水ポンプ の機能回殺) | 蒸気発生器 | 常設酮造重要重大非均均止 設備 | c/v | ۵ ه | গ্রিম্বাপ 🔿 | 修星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 途屋内 | 0 |) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | ر الله | <u>њ</u> ем (| 0 184 | aberda C | () 建屋内 | ч I | 途尾内 | 0 | 使用内 | 0 Kth | WHH O | 建晶体 | 탄생 |
| | | 主浙知遇がしか | 常設個貨重要重大非均均止 設備 | R/B | 0 1 | ্য পাসক | 「「「「「「」」」 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | شیر به ا | | ক্ষমণ (| - 197 | ্য পালক | দান্নক্ষ 🔿 | - H | 树脂赛 | 0 | 树图要 | 198 O | O MHA | 使用时 | NB |
| | | 主燕氣管 | 常設個錢重要重大事胡動止 該價 | C/V R/B | 0 1 | ্য পালক | が出致 | 0 | 建屋内 | 0 | 途屋内 | • | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | শক্ষ 🔹 |) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 1496 | া পালক | い 途尾内 | - H | 탄범과 | 0 | 서방歌 | 1988 O | O MHAR | 使用对 | 사면 |
| | | 電動補助給水ポンプ | 常設耐造重要重大非規防止 設備 | R/B (| 0 (1) | ্ পশ্ৰক্ষ | 使居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | • | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | শক্ষ 🔿 | (基本) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二 | 0 MB | জন্ধান (| () 建屋内 | о н | 财制事 | 0 | 机制造 | N38 0 | O MNR | 科研研 | M |
| | 蒸気発生器二次 | 補助給水ピット | 常設網造重要重大非胡動止 設備 | R/B (| 0 1 | ি পালক | 使居内 | 0 | 建根内 | 0 | 使困难 | • | ি পিলক | رية <u>ا</u> | 使服内 | 0 181 | া দাসক | (加速) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1 | 0 N | いきの事 | 0 | 서희광 | N33 () | া পাগৰ | 内的事 | Ma |
| | 他によるいらら 村(信飯補助給 | 蒸虹晚生器 | 常設耐造重要重大事結防止 設備 | C/V | 0 1 | 여관광 | 使居内 | 0 | 绝星内 | 0 | 使用的 | 0 | <u>ек</u> и (| ۰ الالم | фыр (| 0 1 | ্য দাস্বয় | () 建屋内 | ۰ ۲ | 树洲羽 | 0 | 使限内 | 1448 O | O Million | 内部務 | N |
| | 本ホンプの機能 回復) | 主諸知遇がしか | 常設耐造重要重大事結防止 設備 | R/B (| 0 1 | <u>ек</u> и () | 建星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | <u>Ф</u> ыр | 0 <u>8</u> 84 | 建屋内 (| 0 181 | фын (| () 建堤内 | о М | 使出对 | 0 | 机制制 | 0 <u>8</u> 84 | SERIA O | 科特特 | R/H |
| | | 主满知管 | 常設耐淡重要重大非協防止 設備 | C/V R/B | 0 1 | 金属内 〇 | 金星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金屋内 〇 | 0 <u>1</u> | 金尾内 (| 0 184 | ¢kai∧ (| () 建屋内 | о н | 使用丹 | 0 | 使居内 | 0 6 4 | 建屋内 〇 | 使同外 | Ma |
| | 歩つが影器迅峰 | 加圧器進がしか操作用可搬型業 素ガスボンベ | 可搬型重大非结等对処款值 (防止) | R/B | <u>ه</u> | ি পালঞ্জ | 後星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 後居内 | 0 س | 建屋内 | 0 181 | فلالم (| 必足違い | ۹ (N | 使居内 | 0 | 使用内 | 1989 O | () | 使用动 | MA |
| | の機能回復 | 加圧器進がしか操作用パッテリ | 可撤退重大非结等对処设值 (防止) | A/B C | 0 1 | ্র প্রাপন্থ | 後尾内 | 0 | 继尾内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金属内 〇 | ر الالا | 金屋内 (| 0 All | 建 局内 | () 建屋内 | 0 Fr | 村洲事 | 0 | 使原内 | 0 S EN | BRIM | 内的事 | NB |
| | 加圧器進がしか の機能回復 | 加圧器進がしか | 常設耐造重要重大事胡防止 設備 | C/V (| <u>گ</u> | ি পালক্ষ | 後尾内 | 0 | 建屋内 | 0 | 使居内 | 0 | 〇 · 년광承 | ۰ ۱ | 金尾内 〇 | -197 1 | €MRM | 「小田山」 | о њ | 使困难 | 0 | 机制造 | 133 O | ○ 村洲赛 | 和物理 | h/B |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| 有能ガス | 防漠方法 | 内部審 | 建局外 | httm35 | いいます | 内的事 | NPM服 | 同時要 | 内的事 | 内经州国家 | Fy1841 335 | 사람공 | 科研發 | を見る | 分散机器 | 使制得 | 使同时 | 發展時 | 科纳 勒 |
|--|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|--|---|--|---|--|---|--|
| | 推 編 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 「韓工場等の火災 | 訪幾方法 | 时制载 | 使用的 | 使用内 | 建居内 | Manas | 터레콜 | 同語事 | 建居内 | 使出现 | Mag | 建居内 | 科教教 | 使居内 | 57 IK mE.W | 缝际内 | 使喝闷 | 缝刷内 | 建局内 |
| 記録 | 計価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 体死 | 防器方法 | 时期事 | 建居内 | 使用内 | 机制造 | 化的研 | Manas | 化洲亚 | 利用部 | 建塔内 | 서배평 | 建居内 | 继属内 | 时出现 | 57 HK M.97 | 建居内 | 한태장 | 机制度 | 绝竭内 |
| | 推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 森林火災 | 防粪方法 | 使原因 | 何别致 | 서범죄 | 机制造 | Mana | 년반광 | Fel 24 35 | 使用内 | 1년 1년 | Fy1241395 | 한번과 | 化四 | 使出外 | 防火排内 (分散危险) | 机制建 | 신원장 | 机制服 | 化图察 |
| - H | 新闻 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| ~ | # | | | | | | | | | | | | | | ्र ² | | | | |
| 生物学的事象 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | · 년 11월 종 () |
| - | 66 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 火山の影響 | 防護方法 | いとする | 同時 | 同時 | が居内 | 서內容 | 서習事 | 네酒宴 | 同時 | 阿洲羽 | 対対象 | 신권평 | MPAR | が習事 | 影響なし (適切に酔妖) | 네놀露 | 년놀죵 | 서놀露 | 서관교 |
| 1 | 推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 務借 | 防護方法 | 使居内 | 建屋内 | 徒星内 | 健居内 | 建屋内 | 使居内 | 使屠肉 | 建屋内 | 建内 | 使居内 | 使居内 | 他最内 | 使星内 | 分散配置 | 何是感 | 선물發 | 何思發 | 包括 |
| 1 | 推備 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 截雪 | 防護方法 | 建屋内 | 缝屋内 | 缝屋内 | 使星内 | 继星内 | 继星内 | 建屋内 | 缝屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 使星边 | 能限例 | 使星内 | 旅餐なし (適切に除雪) | 继星内 | 经屋内 | 建品内 | 位是孙 |
| 1 | 新催 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 琴木 | 防漠方法 | 建品内 | 使困避 | 使困避 | 建械内 | 建居内 | 建屋内 | 使屠肉 | 建屋内 | 使居内 | 短期的 | 建品内 | 建屋内 | 使困难 | 影響なし | 机星内 | 선물산 | 村酒宴 | 使居内 |
| 1 | 16 년 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 大学 | 防蔑方法 | 使苦心 | 同語研 | 和品质 | 机制度 | 机制度 | 机制度 | 서놀랐 | 使困讶 | 使喝闷 | 好習事 | 机制度 | 使害的 | が開発 | 総響なし | 6/124QF | Fel 24139 | Fel 24439 | 난관재 |
| 1 | 新演 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| T | | | | | | | | | | | | | | | u u | | | | |
| 10 W | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 신물發 |
| | 8 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 属 (台風) | 防護方法 | 建屋内 | 何四朝 | 네놀랐 | 御屋内 | 使居内 | 使居内 | 서咨事 | 网络网 | 6년 24 4 35 | 何見後 | 建品内 | 绝禄内 | 使出的 | 総響なし (回線等) | 和服务 | 建晶内 | 经服务 | 建屋内 |
| - | 推 摧 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 1*11 - EXEL | | C/V | R/B | c.v | 8/V | A/B | R/B | c.v. | 8/V | R/B | A/B | R/B | R/B | R/B | 展外 | A/B | c.v. | c.v. | : R/B |
| 分類 | | 常設重大非结緩和設備 | 常設創造重要重大事結防止 設備 | 常設個貴重要重大事場動止 設備 | 駦詇酠撌蟗喛重大亊栛絊止 詇礩 | 常設圖透重要重大事場防止 設備 | 常設圖透重要重大事場動止 設置 | 常設個貴重要重大事場動止 設備 設備 | 常設個貴重要重大準備防止 設備 | 常設創造重要重大事結防止 設備 | 常設圖透重要重大事場動止 設備 | 常設耐費重要重大非局防止 設備 | 常設圖造重要重大非局防止 設備 | 常設個貴重要重大事場動止 設備 設備 | 可被型重体的常材地改简 | 绺醍醐鑽電要重大事 <i>補助</i> 止 設備 | 绺醍醐霞重要重大事 <i>结</i> 的止 | 绺禔闝撌承婴乖仧亊栛絇劜 鼗稽 | 常設個說重要重大事 <i>結動</i> 止 設備 |
| 重大事故等対処設備 | | 山田淵遙がしか | | | *熱齢 去ポンプ人口弁 | | | 印生熱交機器 | | 営業収替用水ビット | | | 鉄柳像骨田水ビット | | 機関大型送水ボンブ車 | | | 1 | 安全注入ポンプ再発環サンプ側 人口 6/V 外側隔離水 |
| EC. | | 加圧器進がし弁 による一次冷却 加 系統の減圧 | 0.4 | | 余熱除去系統の 隔離 (18-1.0CA 余 発生時) | 新心注水 (CH 差 P) | 使して | <i>₩</i> E | 代格知心注水 (B-CSP) B | 激し | r ₩ | ~ 5 | | | 代替90心注水 (可提税ポンプ 車() (1次治単村換 「1次治単村換 「2次治協会、プ ロントライン系 機能強失時) | ~ | | | <u>a</u> × |
| 設設許可基準 | | | 第46条 原子如冷却 | 材圧力バウンダリを減 圧するための設備 | | | | | | | | | | 第47条 原子炉冷却 はモカペウング10年に | 和工業では 加するための設備 加するための設備 | | | | |
| Active and the state of the sta | 的大体的消息医输出 分類 """" 现(12周) 电容 或断 种水 电气 命语 文目10時費 15時作号中集 每种火头 "每次 点滴上每多0次说 ———————————————————————————————————— | 3.7%*14665480.00466 - 2.4%*1.7%*1465480.00466 - 2.4%*1.7%*1455480.00456 - 2.4%*1.7%*245475454 - 2.4%*1.7%*245475454 - 2.4%*1.7%*24547454 - 2.4%*1.7%*24547454 - 2.4%*1.7%*24547454 - 2.4%*1.7%*24547454 - 2.4%*1.7%*24547454 - 2.4%*1.7%*24547454 - 2.4%*1.7%*24547454 - 2.4%*1.7%*2454745474 - 2.4%*1.7%*2454745474547454745474547454745474547454 | KCY-MAGRARUARI KCY- | $ \begin{tabular}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$ | $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | Introduction: (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | Image: The problem of the prob | Interfaciency of the probability o | The interpretation of the interpretation interpretationt interpretation interpretation interpretation interpretation in | Interpretation Interpr | International conditional condi | Matrix Fill and f | Image: constrained by the sector of | Image: second |

人間 C:各外部市なにおし安へ輪籠を崩れてきる Xは各外部市なによる相段を考慮した場合でも。対応する返け県単昇発動設が各外部事業に対し交会機能を組結できる(以上型鋼) - はた各外部により相段を考慮して、代料設備による機能用料を交合上を抑めない加速での修成等の対応が可能(成和設備、助止でも成和でもない設備) - : 他の知日でも外別 ※ なぁ: 以子が使用、N:: 以子が通用した用、CN: 医子やは偽鋼が出, non: ディーセル発電機能構成, CP/8: 所開水ボンプ運用

| | 17 | 防漠方法 | 经 期利益 | 建局外 | 使用的 | 使同外 | 内部項 | 经国外 | 化铅丹 | AL MAN | 신문 나십시 | 분사람식 | 타내내 공동 | 使用外 | 使制动 | 内的研究 | 使同外 | 建局外 | 建晶体 | P Instal | 分散危险 |
|-------------|---------------|---------|---|--------------------|--------------|-------------------------|--------------------|-----------------------------------|--------------------|--|--------------------|--------------------|---|--------------------|--------------------|---|--------------------|--------------------|--|--------------------|--|
| | 有毒ガス | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 書店る | - | 法 新 | 0 | 0 N | 0 N | 0 | 0 | 0 4 | 0 | 0 N | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 4 | 0 | 0 | 0 | <u>о</u> . |
| 外部人為事象による影響 | 近隣工場等の火災 | 訪進方法 | 「「「「」」 | 使居内 | M 州羽 | 使居内 | 使同时 | 经济 重 | 能用内 | 建原内 | 建居内 | MINI | PUH IN | 建屋内 | Manas | 使出现 | 机制制 | 经原因 | 使用内 | 经运行 | 20 IK MC M |
| % # | 124 | 推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 N |
| | 体系 | 訪進方法 | 니버팖 | 使居内 | 使用内 | 使星内 | 년철종 | 使原因 | MHW | MBA | 使用内 | 서희광 | MINUS | 使用内 | 使同内 | 使早内 | 使原因 | NIMW | 서범광 | 建局内 | 57 HARL 20 |
| - | | 201 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 森林火災 | 防漠方法 | 能同內 | 建居内 | 同時期 | 使居内 | 년환공 | 使情况 | 使用内 | 使图察 | 建居内 | いいの | が出現 | 经局内 | 使肉 | 使用研 | 树科赛 | 机制载 | 缝刷内 | 使詞源 | 局火排付 (分散配部) |
| | | 建催 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 生物学的事象 | 防護方法 | 机量数 | 缝屋内 | 建屋内 | 建固 | 建屋内 | 缝屋内 | 建居内 | 使屠肉 | 循展内 | 使屠肉 | 修用的 | 建屋内 | 缝屋内 | 缝屋内 | 缝屋内 | 健居内 | 健居内 | 缝屋内 | 総響なし (開口部昭止) |
| | | 推 値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 火山の影響 | 防漠方法 | NUMAR | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 机制度 | 建屋内 | 建屋内 | 使居内 | 的困難 | 發展內 | 建屋内 | 使增厚 | 建屋内 | 使皆辱 | 建屋内 | 使居内 | 総響なし (適切に転火) |
| | 1 1 | ¥ 第 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 業能 | 励蔑方法 | 6d Brigg | 建屋内 | 使用的 | 進屋内 | 使屠政 | 使用的 | 修服的 | 使尿内 | 缝屋内 | 使屠凶 | 發展的 | 建内 | 建屋内 | 使居内 | 缝屋内 | 使屠内 | 使屋内 | 缝候内 | SHIKKLIN |
| | | 浙 価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自然現象による影響 | 截雪 | 防護方法 | NIMITY | 建屋内 | 使居内 | 建屋内 | 使困难 | 建屋内 | 使用的 | 缝屋内 | 缝屋内 | 使屠凶 | 修用的 | 缝屋内 | 使星内 | 使居内 | 使屋内 | 使屠肉 | 继星内 | 缝械内 | 総響なし (適切に際点) |
| 自然月 | | 推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 降水 | 防護方法 | 허매파 | 建屋内 | 使尿内 | 建屋内 | 使尿内 | 建屋内 | 缝屋内 | 建屋内 | 缝屋内 | 建屋内 | 發展的 | 建内 | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 使困难 | 建固 | 建屋内 | 影響 |
| | | 推備 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 冰結 | 防護方法 | 시험과 | 使苦闷 | 机制度 | 建屋内 | 机制制 | 使苦闷 | Pri Maria | 신전장 | 使苦闷 | 何對我 | 64 Hays | 使居内 | 使困窘 | 使用内 | 机制度 | 同詞 | 使困避 | 机制度 | 総務なし |
| | H | 推 価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 花客 | 助漢方法 | 신반꽃 | 缝屋内 | 建屋内 | 缝星内 | 建屋内 | 建屋内 | 继星内 | 建屋内 | 建屋内 | 使星内 | 建星内 | 建屋内 | 發展內 | 建屋内 | 建屋内 | 使居内 | 建屋内 | 建屋内 | 2011K WT WL |
| | \square | 推備 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 風 (台風) | 防護方法 | NIMOR | 建居内 | 使用的 | 绝星内 | 建屋内 | 建居内 | と言語 | 何對我 | 绝尾内 | 네酒宴 | 经用税 | 绝屈内 | 년환종 | 绝根内 | 使困避 | 同時 | 何出致 | 建械内 | 総勝なし (原御等) |
| | | 26 第 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 保管• 設置 該面# | IC IN | A/B | Ψ/Υ | C/V | C/V | A/B | R/B | A/B | R/B | A/B | A/B | R/B | с.// | A/B | R/B | A/B | R/B | R/B | R/B | 展外 |
| | 分紙 | | 》 中的新作业资源的编辑者 | 常設動設重要重大事績防止 設備 | 常設個貴重要重大事場訪止 | 常設動設重要重大事績防止 設備 | 常設動造重要重大事構動止 設備 | 常設動資重要重大非均均止 設備 | 常設耐濃重要重大非胡防止 設備 | 常設個錢重要重大非胡紡止 設備 | 常設耐読重要重大非結約止 設備 | 常設個錢重要重大非胡加止 設備 | 常設耐費重要重大非均均止 設備 | 常設個錢重要重大事場時止 設備 | 常設動造重要重大事結防止 設備 | 常設動造重要重大事材防止 設備 | 常設網貨重要重大非均動止 設備 | 常設個還重要重大事胡防止 設備 | 常設個錢重要重大非胡約止 設備 | 常設個貨車要重大事績防止 設備 | 可把帮杀你动动的 |
| | 重大非错等并处设备 | | 違う酸注人タンク | B-格納容器スプレイボンプ | B-格納容器再務環サンプ | B - 格納容器再循環サンプスク リーン | B-格納容器スプレイ治却器 | B 一安全注入ポンプ再結環サン ブ個人口 C/V 外側隔離水 | 高圧注入ポンプ | 燃料収替用水ビット | ほう能注入タンク | 充てんポンプ | 燃料低谷田水ビット | 再生熟交換器 | B-格納容器スプレイポンプ | 燃料収得用水ビット | B-格納容器スプレイ冷却器 | 代料除納容器スプレイボンプ | 燃料収替用水ビット | 活世院大ゴット | 可能見大明辺水ホンプル |
| | Ш. | | 再発環運転(S 1P) (1 次治単材波 失事案が発生し でいる場合、プ ロントライン系 機能喪失時) | | | <u>戦し</u> | n WE | 機能與失踪力 | 新心治水 (SI P) | (1次治却材換 (1次治却材換 大事参が発生し ている場合、フ | | 新心治水 (CH P) | (1次治却材換 火非参が発生し 大いる場合、フ | | | (1次治却林貴 (1次治却林貴 (1次第45項上し) (1、2三人) | (茶 | (4496/21×) | (1次治却林貴 (1次治却林貴 火事参が発生し イいる場合、フ | | 代幹部心注水 (可搬型ボンブ 40) (1次治却対換 失事案が発生し ている場合、フ ロントライン系 構能使失助) |
| | 認識許可挑戰 | | | | | | | | | | | | 材圧カバウンダリ低圧 時に発信用原子炉を冷 却するための設備 | | | | | _ | | | |

共-7-9

| etcor c etcor </th <th>およでHidRisNetWat2046 35枚 作業学・認定 (14)(14)(14)(14)(14)(14)(14)(14)(14)(14)</th> <th>(4.19.4、2.242) (4.19.4、2.242) (4.19.4、24.4、24.4、24.4、24.4、24.4、24.4、24.4、2</th> <th>展(台風) 將 前進方法</th> <th>風 (台風) 防護方法</th> <th></th> <th></th> <th>竜巻 励護方法</th> <th>波結 評 防護方法 価</th> <th>陳水 防護方法</th> <th>自然現象による影響 航雪 部 前 前 近法</th> <th>にによる影響 執守 防護力法 詳</th> <th>落谙 新護方法</th> <th>深 街</th> <th>火山の影響 防護方法</th> <th>(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)</th> <th>物学的非象 防護方法 2</th> <th>森林火災 洋 助進方法</th> <th>1 1 1 1</th> <th>4 44.26 10.26.57.15</th> <th>外部人為非象による影響 近隣11陽等の火災 評 前進方法</th> <th>修による影響 場等の火災 防護方法 詳</th> <th>有待方ス 助義方法</th> | およでHidRisNetWat2046 35枚 作業学・認定 (14)(14)(14)(14)(14)(14)(14)(14)(14)(14) | (4.19.4、2.242) (4.19.4、2.242) (4.19.4、24.4、24.4、24.4、24.4、24.4、24.4、24.4、2 | 展(台風) 將 前進方法 | 風 (台風) 防護方法 | | | 竜巻 励護方法 | 波結 評 防護方法 価 | 陳水 防護方法 | 自然現象による影響 航雪 部 前 前 近法 | にによる影響 執守 防護力法 詳 | 落谙 新護方法 | 深 街 | 火山の影響 防護方法 | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 物学的非象 防護方法 2 | 森林火災 洋 助進方法 | 1 1 1 1 | 4 44.26 10.26.57.15 | 外部人為非象による影響 近隣11陽等の火災 評 前進方法 | 修による影響 場等の火災 防護方法 詳 | 有待方ス 助義方法 |
|--|---|--|----------------------|---|---|-----|------------|-------------------|------------|--------------------------------------|------------------------|------------|-----|-----------------|--|-----------------|----------------|------------------|---------------------------|---------------------------------------|---------------------------|--------------|
| · | 代特統輸資源スプレイポンプ 常設動度産要重大単成的止. 定備 | R./B O SEMINY | ⊖ Mitti@ | C Minda | | 金属 | M | | | | | | 0 | 御品内 | | | | 0 | | | | |
| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 焼料R4秒H1水ビット 常欲網点電気要重大事績最小止 R/B 〇 建属四角 〇 設備 | R/B 0 5254214 0 | | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | | | 進屋内 | | | | | | 0 | 建屋内 | | | | 0 | - 19916 | | | |
| Matrix Matrix< | 補助給水ビット 常設網営産要重大事績認知: R/B 〇 建属内 〇 建属内 | R/B O 55549 | の服用 | 建晶内 | 0 | | 缝屋内 | | 使困惑 | | | | 0 | 经营业 | | | | 0 | | | | |
| 0 68.041 0 68.041 0 88.041 0< | 可能性大能送水ポンプ車 (約41) (約41) (約41) (約41) (約41) (約41) (約41) | 居务 〇 総勝なし (ANN49等) | (MNN なし) (MNN (A) | 総勝なし (MBP等) | | (I | 分散配置 | | | | | | 0 | 総響なし (適切に除伏) | 0 | | | 0 | | | | |
| (-) (-) <td>- 光てんポンプ 沿設網設備要求大市品的止: A/B 〇 建晶内9 〇 設備</td> <td>서왕(新) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1</td> <td></td> <td>네酒宴</td> <td>0</td> <td></td> <td>使習到</td> <td></td> <td>使居内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>树洲羽</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>262-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> | - 光てんポンプ 沿設網設備要求大市品的止: A/B 〇 建晶内9 〇 設備 | 서왕(新) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1 | | 네酒宴 | 0 | | 使習到 | | 使居内 | | | | 0 | 树洲羽 | | | | 0 | 262-3 | | | |
| ···································· | 総邦和休仲旧水ビット 常設確認確定形大事論的社: R/B 〇 建時内 〇 設備 | R/B O 585RP4 | SELEPA | 他居内 | 0 | | 進星内 | | 使居的 | | | | 0 | 内运动 | | | | 0 | 3 - 10 - 10 - 10 - 10 | | | |
| $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | 所生独交機器 常欲難低所要用大中級的止。 c// 動詞中 〇 | C/V 0 SENEIM | ন্দান্নক্স 🔿 | 使用内 | 0 | | 使居内 | | 建居内 | | | | 0 | Pri seggi | | | | 0 | | | | |
| | A-GHE注入ポンプ 常認範UE電缆重大事品的4 A/B 〇 建晶矾4 〇 22倍 | A/B 🔾 Abiti/4 | の施展内 | 村洲寨 | 0 | | 途尾内 | | 使居内 | | | | 0 | 内理研 | | | | 0 | | | | |
| (-) (-) <td>可機能大売送水ポンプ車 (約4) 現代 (約4) 現代 (約4) 11 (約4) (約4) (約4) (約4) (約4) (約4) (約4)</td> <td>星外 ○ 総響なし (回時等)</td> <td> </td> <td>影響なし (回時等)</td> <td></td> <td></td> <td>分散配置</td> <td></td> <td>影響なし</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>影響なし (適切に除灰)</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>10000</td> <td></td> <td></td> <td></td> | 可機能大売送水ポンプ車 (約4) 現代 (約4) 現代 (約4) 11 (約4) (約4) (約4) (約4) (約4) (約4) (約4) | 星外 ○ 総響なし (回時等) | | 影響なし (回時等) | | | 分散配置 | | 影響なし | | | | | 影響なし (適切に除灰) | 0 | | | | 10000 | | | |
| (-) (-) <td>A-総納容器時額編サンプ 常設練設備要重大事品協力: C/V 〇 建原因 〇 設備</td> <td>MIH母好 〇 N/3</td> <td>에 깜歌</td> <td>同語</td> <td>0</td> <td></td> <td>缝尾内</td> <td></td> <td>建星内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>使回应</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> | A-総納容器時額編サンプ 常設練設備要重大事品協力: C/V 〇 建原因 〇 設備 | MIH母好 〇 N/3 | 에 깜歌 | 同語 | 0 | | 缝尾内 | | 建星内 | | | | 0 | 使回应 | | | | 0 | 1 | | | |
| C BRINH C BRINH <thc< th=""> BRINH <thc< th=""></thc<></thc<> | A - 林納官器再前端サンプスク 常設網貨重要で大事が約4年 C/V 〇 建展内 ○ リーン | 常設廠貸重大事局約4止 c/V 〇 建展内 設備 | M图3 〇 | 서ằ發 | 0 | | 缝尾内 | | 建屋内 | | | | 0 | 何回到 | | | | 0 | 11574 | | | |
| 0 88414 0 | A-送金社点ポンプ時務環サン 常認範提電報手術級防止: R/B 〇 建原码 〇 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 | 常設解錄重要重大非均約4 比 R/B 〇 建展内 設備 | の総合 | 建局内 | 0 | | 建屋内 | | 使屋内 | | | | 0 | 内洲羽 | | | | | 환태권 | 5 <u></u> . 1 | | |
| 0 20444 0 204444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 20444 0 204444 0 20444 <td< td=""><td>ほう確注人タンク 常説網貨重要求生活的止: A/B 〇 勉励内 〇 設備</td><td>A/B O A/B</td><td>の総局内</td><td>好習發</td><td>0</td><td></td><td>缝星内</td><td></td><td>使居内</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>科学研究</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td></td><td></td><td></td><td>200</td></td<> | ほう確注人タンク 常説網貨重要求生活的止: A/B 〇 勉励内 〇 設備 | A/B O A/B | の総局内 | 好習發 | 0 | | 缝星内 | | 使居内 | | | | 0 | 科学研究 | | | | 0 | | | | 200 |
| 384(4) 0 384(4) 0 <td>務納容器スプレイポンプ 常設重先生結緩和設備 A/B 〇 建品内 〇</td> <td>V/B ○ 经抵付</td> <td>M범33</td> <td>绝屈内</td> <td>0</td> <td></td> <td>继属内</td> <td></td> <td>绝局内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>独居内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> | 務納容器スプレイポンプ 常設重先生結緩和設備 A/B 〇 建品内 〇 | V/B ○ 经抵付 | M범33 | 绝屈内 | 0 | | 继属内 | | 绝局内 | | | | 0 | 独居内 | | | | 0 | | | | |
| 0 88414 0 | 数和保仲田水ビット 常設和大事品級和認知 R/B 〇 勉振内 〇 | R/B O 5854614 | MJHQY O | 他居内 | 0 | | 好習到 | | 经居内 | | | | 0 | い習慣 | | | | 0 | | | | |
| 0 28-64 ··· 0 28-64 ··· <td< td=""><td>条動容器スプレイ治理器 常設電大学が装置配置船 A/B 〇 登展内 ○</td><td>M/B6454</td><td>M2000</td><td>经服务</td><td>0</td><td></td><td>使服持</td><td></td><td>建屋内</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>机制造</td><td></td><td></td><td></td><td>0</td><td>1,1277</td><td></td><td></td><td></td></td<> | 条動容器スプレイ治理器 常設電大学が装置配置船 A/B 〇 登展内 ○ | M/B6454 | M2000 | 经服务 | 0 | | 使服持 | | 建屋内 | | | | 0 | 机制造 | | | | 0 | 1,1277 | | | |
| 0 258414 0 2544144 0 254414 0 | 代料活動資源スプレイポンプ 常設重た作品職業記録 R/B ○ 登場内 ○ | R/B | N WHAT | 经展内 | 0 | | 化图例 | | 建厚内 | | | | 0 | 财困事 | | | | 0 | | | | |
| | 総160K外目14ビビット 常設全化大手法規模和2348 R/B 〇 284月4 〇 | M394338 O | নাপ্রক্ষ 🔿 | 5-1 29-13-5 | 0 | | 使居内 | | | | | | 0 | 线展内 | | | | 0 | | | | |
| | 利用額約ませット 次設約50×14366666123660 R./B 〇 25564799 〇 | R./B O 22046PM | দাসক্ষ 🔿 | 난반대 | 0 | | 使喝酒 | | | | | | 0 | 的對象 | | | | 0 | | | | |

人用 〇:各外部市なに対し文人機能を組みできる 又は各外部市なにより損化を用めても、対心する2014.単い具金属2046名が由金に対し文分機能を組持できる(約4-23個) 又は各外部すなにより損化を考慮して、代料20個による機能簡単や文全上支部のない期間での修復写の対応が可能(緩和設備、防止でも緩和でもない23個) - : 他の項目にて他別 ※ なヵ:炭子が建用、An:炭子が温明速用、CA:炭子が精緻容易。BG1:ディーゼルを低級範疇品、GPA:新闻本計ンプ建用

| | | | | | | | | | | | | 自然現象による影響 | 義術2 | | | | | | | | | 外部 | 外部人為非象による影響 | 業務の | | |
|---|---|--------------------|-----------------------|---------------|---|----------------|-------|----|-----------|--------|-------|---|------------------|------|----|-----------------|----|------------------------|---------------|--|--------------|--|-------------|-----|--------|-------|
| 認識的許可以得 | | 重大事故等対処認備 | 分散 | 保管• 設置 检元* | 展 (台風) | H | 化化 | ļ | 報送 | * | 幕木 | 航雪 | $\left \right $ | 犯從 | | 内山の影響 | 生物 | 学的事象 | 林林 | 旋林火災 | 御死 | | 近隣工場等の火災 | 災 | 有毒ガス | Π |
| | | | | | 絆 防護方法 価 | 防止 詳 | 防護方法 | 推進 | 防護方法 | 祥 師 | 防護方法 | 游 術 助義方法 | が法 詳 価 | 防漠方法 | 推進 | 防漠方法 | 解 | 防護方法 | 詳 価 助 | 助進方法 | 24 ISB | 助義力法 催 | 助推力法 | 200 | 助義方法 | = |
| | | 電動補助絵水ボンプ | 常設耐貨重要重大事構防止 設備 | R/B | () 38년(M | о М | 建星内 | 0 | 使困避 | | 使居内 | () 张토内 | <u></u> भ | 包括致 | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | * | 使居内 | 0 | 사관화 | 使用诗 | 0 | 使国外 | 1000 |
| | 勝気発生器二次 値による知ら治 | タービン酸油助給水ポンプ | 常設耐淡重要重大非規約止 設備 | R/B | () 建료内 | о М | 缝屋内 | 0 | 经营业 | | 建居内 | の経済の | <u></u> भ | 네팔歌 | 0 | 建局内 | 0 | 建屋内 | 0 | (전문) (| (W) | 金属内 〇 | 使图察 | 0 | 使制建 | |
| | 」 「他助給水ホ ンプ」 | 補助給水ピット | 常設耐設重要工大事場防止 設備 | R/B | () 建居内 | े स | 建屋内 | 0 | 使居内 | | 使居内 | () 健康時 | ্ | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | 0 |) Mara | 0 | Май | Maria | 0 | 内部事 | |
| | (1次治却材換 失事象が発生し | 主義気通がしか | 常設耐貴重要手 設備 設備 | R/B | | े स | 建屋内 | 0 | 使困难 | | 使尿内 | () 建屋内 | <u></u> | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | <i>•</i> |) (1) (1) | 0 | ে পালক | 建属内 | 0 | 化物学 | |
| | ていない場合、フロントライン | 素気液生器 | 常設耐貴重要手 設備 設備 | 6/V | () 建료内 | े स | 建屋内 | 0 | 使居内 | × | ~ 어쩐종 | () 建居内 | ্ | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | ~ | 金居内 | 0 | 使用M 〇 | 使出身 | 0 | 사망지공 | |
| | 糸機肥炭失時) | 主燕知管 | 常設耐費重要工作場路止 設備 | C/V R/B | N BERN | о М | 建屋内 | 0 | 使困境 | · · | 修星内 | 建屋内 |) 태 | 建屋内 | 0 | 他屋内 | 0 | 建固 | 0 | 使用的 | 0 | 金 Minute | 建晶内 | 0 | 内的事 | |
| - | 素包發作器一次 | 電動補助結本ポンプ | 常設耐設重要重大非規約止 設備 | | MH48 | े स | 建星内 | 0 | 经居内 | | 修品内 | 後屋内 | · ~ | 他早时 | 0 | 進星内 | 0 | 建居内 | 0 | ~ 년관광 | (¥) | 0 村田建 | 建屋内 | 0 | MPH | |
| | 備によるが心治 相(補助約米米 | タービン動補助結本ポンプ | 常設耐設重要重大非規防止 設備 | R/B | MB48 0 | ы М | 建屋内 | 0 | 包括 | • | 使困难 | · (1111) |) 태 | 经运行 | 0 | 建屋内 | 0 | 使困难 | | Mara | 0 | Will O | 机制制 | 0 | 使同外 | |
| | ンプ) (代格電 (1) | 油助給水ビット | 常設耐貴重要重大非規約止 設備 | R/B | M M M M | о м | 建屋内 | 0 | 经营业 | × | 金属内 | · · · · · · · · · · · · · · · | <u></u> | 使尿内 | 0 | 建屋内 | 0 | 使屋内 | ~ | 修制列 | 0 | O MMA | 建碱内 | 0 | 内陸国委 | |
| | (1次沿却材設 失事象が発生し | 主義気遣がしか | 常設耐貴重要重大非規約止 設備 | R/B | | 0 M | 建屋内 | 0 | 经最内 | | 修展内 | · (환료)서 | ି କା | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建居内 | 9 9 | () · · · · · · · · · · · · · · · · | 0 | ● Milling | 经原内 | 0 | 使用外 | |
| | ていない場合、 サポート系機能 | 蒸気発生器 | 常設耐賞重要重大非規約止 設備 | c.v < | NIHW O | м О | 缝屋内 | 0 | 机制度 | • | 金星内 | · 88년 14 | <u>्</u> | 他是内 | 0 | 使出的 | 0 | 建四 | ~ | 修用内 | 133 | • • • • • • • • • • • • • • • • • • • | 使用的 | 0 | 机构 | |
| | 喪失時) | 主燕知管 | 常設耐設重要工大事構成止 設備 | C/V R/B | 이 38년 14 | ы М | 建屋内 | 0 | 经运行 | × | 使困难 | · 86년 | · 태 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建居内 | | ~ 년문화 | 0 | Ш ың () | 使品内 | 0 | 使同时 | 20.00 |
| | 新心治水 (CH P) | 「充てんポンプ | 常設個貨重要重大非規防止 設備 | | h)원종 〇 | м О | 缝屋内 | 0 | 的同时 | • | 途屋内 | が足迹 | · 태 | 使居内 | 0 | 绝际内 | 0 | 建居内 | ~ | 使用内 | N | 金品内 〇 | 建屋内 | 0 | 使同外 | |
| | (運転停止中の 場合、フロント | 燃料低替用水ビット | 常設置造正要重大非易防止 | R/B | MNAR O | 0 M | 使居内 | 0 | 机制度 | • | 使居内 | MRA O | े स | 使困事 | 0 | 使同使 | 0 | 使居内 | ۳ 0 | (Marana) | 0 8 | O MINT | 机制制 | 0 | 外部委 | |
| 01-002972.000 W L F 300 | ライン系機能費 失時) | 1. 再生熟交機器 | 常設耐貴重要重大非規防止 設備 | c.v | の開始 | ۰ الا | 缝尾内 | 0 | Manak | • | 使服内 | 「「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「」」の「」」の「」」の | <u>्</u> | 使用的 | 0 | 使出的 | 0 | 能展内 | 0 | 使用内 | 0 | ARM O | 机制造 | 0 | 内的事 | |
| - 第44千米 - 以上20倍4 村庄カバウンダリ低圧 社会会の田屋 746-44 | 新心治休 (SI P) | 高圧注入ポンプ | 常設耐炭重要重大非協防止 設備 | A/B | N SERIA | ں الا | 建居内 | 0 | Martin | • | 修星内 | MR M | <u>୍</u> | 机制制 | 0 | 的制制 | 0 | 他是内 | ~ | 使用内 | 193 | C Million | 使用的 | 0 | 经局付 | 19.00 |
| 町に2000円以1-2020 却するための設備 | (運転停止中の 単令、フロント | 燃料低替用水ビット | 常設耐度重要重大非規防止 | R/B | M と で の と M と の の | े स | 缝屋内 | 0 | 机制度 | | 建居内 | 전품화 〇 | <u>्</u> | 使居内 | 0 | 绝际内 | 0 | 建居内 | 0 | 使用的 | 0 | ()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()() | いたい | 0 | 使用的 | |
| _ | ライン系機能費 失時) | ↓ ほう酸注入タンク | 常設耐設重要重大非規約止 設備 | A/B | 小田敷 | े स | 建屋内 | 0 | 使困避 | • | 金屋内 | () 後屋内 | <u>୍</u> | 他是内 | 0 | 绝际内 | 0 | 建固 | ~ | 使困避 | 0 | 金属M 〇 | 建屋内 | 0 | APPA P | |
| | 代格如心注水 (B-CSP) | B - 格納容器スプレイポンプ | 常設耐設重要重大非規約止 設備 | A/B | 서 2007 | о м | 建屋内 | 0 | 机制度 | • | 使居内 | · 28년/ | <u></u> | 使尿应 | 0 | 建屋内 | 0 | 使星内 | ~ 0 | Mala | 0 | O MBAR | Manas | 0 | 신하고 | |
| | (運転停止中の 場合、フロント | 燃料収替用水ビット | 常設耐貴重要重大非規約止 設備 | R/B | 이 58년에 | 0 M | 建屋内 | 0 | 绝尾内 | × | 修星内 | が遅速 | <u></u> | 继尾内 | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | ~ | (1) (1) (1) | 0 | Май | 机制造 | 0 | 内侧羽 | |
| | ライン系機能換 失時) | ↓ B−格納容器スプレイ冷却器 | 常設解读重要重大非结构止 設備 | 8/B | () 26년에 | े स | 建屋内 | 0 | 利用剤 | | ~ 서관국 | 後屋内 | ্ | 他是内 | 0 | 他居内 | 0 | 建居内 | •• • | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 0 | 金属内 〇 | 时期事 | 0 | 建局外 | |
| | 代格知心注水 (代格CSP) | 代替給納容器スプレイボンプ | 常設耐能重要重大事構成止 設備 | R/B | 0 SERIM | о М | 缝屋内 | 0 | 使困境 | | 使居内 | 建屋内 | <u>्</u> | 使居内 | 0 | 建局内 | 0 | 缝屋内 | | 使用外 | 0 | O Milling | Pol Mark | 0 | 使得内 | |
| | (運転停止中の 場合、フロント | 燃料取得用水ビット | 常設耐貨重要重大事構防止 設備 | R/B | () 建居内 | о М | 建星内 | 0 | 使困避 | | 使居内 | 서품화 () | <u></u> भ | 包括致 | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | • | 使居内 | 0 | O MBA | 使出外 | 0 | 使同外 | 1000 |
| | ライン系機能改 失時) | ・ 補助給水ビット | 常設耐能重要重大事構動止 設備 | R/B | 建居内 | о м | 建屋内 | 0 | 使困难 | 0 | 使尿内 | () 建屋内 | о M | 使困避 | 0 | 建局内 | 0 | 建居内 | 0 | 使用内 | 0 | () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 使同内 | |
| | 代科が心注水 (可被型ボンプ 市) (運転停止中の 場合、プロント ライン系機能換 失時) | 本である。 | 可機管重大中佔等於包藏2個 (約止) | 居外 | (MWW等) | () วง | SHERE | 0 | 帯着なし | ± | 影響なし | (通知に除生) (通知に除生) | ない (制能) | 派强和传 | 0 | 総響なし (適切に酔尿) | 0 | 勝響なし (開口部関止) | 0 48 42 | (2017년·3414-65) 6년-11년·26-62월 | 0 8 | 0 Internet | 分散配置 | 0 | 分散起翼 | 2 |
| | 耳口) 1日) | 高田注入ポンプ | 常設納貸重要重大事場防止 設備 | A/B | (1) 전문14 | м 0 | 使居内 | 0 | 使困境 | 0 | 使用内 | (이 26년~) | о _М | 使星的 | 0 | 继属内 | 0 | 继尾内 | 0 | WERM | 0 | 使居内 | 使居内 | 0 | 使用外 | 0.00 |
| | (運転停止中の 場合、フロント | 松納容器再発環サンプ | 常設耐貴重要重大非協防止 設備 | c.v | দান্নক্র | ы М | 使困难 | 0 | 机制度 | | 金属内 (| · (111) (| о _М і | 材料赛 | 0 | 继属内 | 0 | 继尾内 | 0 |) Millings | 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 使居得 | 0 | 使闷外 | |
| | ライン系機能換 失時) | 格納容器再消還サンプスクリーン | 常設耐濃重要重大非結約止 設備 | c/v | () (1994) | м О | 绝居内 | 0 | 的影响 | 0 | 進展内 | () 施展内 | о М | 建居内 | 0 | 继属内 | 0 | 途尾内 | 0 | 能用付 | 0 1 | фин O | 能用的 | 0 | 建胡州 | 3.00 |
| 民例 〇:各外部事象に対し安全機能を維持できる | こ対し安全機能を乱 | いたろう | | | | | | | \square | | | | | | | | | | | | | | | | | |

民間 〇:含米部体案に対し安全機能を描述できる 又は各体部体案により当時を考慮した場合でも、対応する認計規則対象施設が各体部体案に対し安全機能を維持できる(約止送機) 又は各体部体験により当時を考慮した場合が確して、体型設備による機能競科や安全士と抑いない原則での修復等の対応が可能(機能設備、防止でも緩和でもない設備) 一:他の項目にて依照 ※ 8.8:版子が提用、M.8:版子が指用感情。CM:原子や精神質點、BG8:デノーゼル発電機構成。GP/8:新国本計ソプ使用

| | 有能ガス | 助義方法 | 经局付 | 经管理 | 사망사고장 | 사라네 공동 | ないない | F412H 335 | 化타내고 | 년년년 년 | 使問題 | Fy1241 - 23 | Philip 33 | Pith 23 | 经时代 | 신만에 공동 | 사망시 공동 | PASH 23 | 分散政約 | 1 /12/1/375 | 化铅料 | M841 735 | 使同外 | 分散設置 | FVBM 33 | MIN W | 化品付 |
|-------------|----------------|--------|---|---------------------------|--------------------|----------------------|------------------------|--------------------|----------------------------------|--------------------|--------------------|--|--------------------|--------------------|--------------------------|------------------------|--------------------|--------------------|---|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|----------------------|----------------------|------------------------|------------------------------------|
| * | _ | 新運 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 外部人為事象による影響 | 専工場等の火災 | 防漠方法 | 秘密發 | 建居内 | 建屋内 | 经属内 | Manas | 使用的 | 使用内 | 建屋内 | 使用持 | 使图动 | Mag | MHB | 能限内 | 使用的 | 建屋内 | 建碱内 | 分散波程 | MMB | 健居内 | 机制载 | 使居内 | 分散設置 | 네까콩 | 建碱内 | 缝际内 |
| 外部人 | 12 | 2019年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 体况 | 助義方法 | 서면관 | Maria | 建局内 | 桥制委 | 使用的 | Phile as | 使图码 | 나바퐈 | 使同外 | 内的羽 | 化物学 | 例對限 | 能開始 | 低品油 | 使用内 | 使制制 | 分散波器 | 化物理 | 「「「「」 | いい | 使用州 | 分散型的 | Mara | 建碱内 | 建品内 |
| | - | 推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 森林火災 | 助進方法 | 使困避 | 使出现 | 使用内 | 使图察 | 서방광 | が計算 | 好習發 | 使困惑 | 使当我 | 好習事 | 使情况 | 使用的 | 한배종 | 네酒宴 | 位出业 | 使苦闷 | 防火带内 (分散波徑) | 同時 | 使出现 | 재배광 | 發展内 | 的火带丹() ())(组织的) | 네酒宴 | 使困惑 | 能限内 |
| | _ | 新催 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 生物学的事象 | 防護方法 | 使星的 | 他是内 | 建屋内 | 缝屋内 | 缝屋内 | 使用内 | 進星内 | 後星内 | 後尾内 | 使尿内 | 使尿内 | 他是内 | 缝犀内 | 建厚内 | 使星内 | 缝屋内 | 総響なし (開口部閉止) | 绝暴内 | 使用内 | 德屋内 | 後星内 | 影響なし (開口部関止 | 使屠凶 | 進展内 | 建屋内 |
| | _ | 26 倍 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 火山の影響 | 防漠方法 | 何速速 | 他是的 | 建居内 | 使喝闷 | 绝尾内 | 使用内 | 同時 | 使困惑 | 同語 | 同語家 | 经财务 | 利用的 | 利益が | 使苦闷 | 使困避 | 建屋内 | 影響なし (適切に除民) | 阿洲亚 | 同語家 | 使困惑 | 建居内 | 影響なし (適切に除死) | 同語家 | 建居内 | 他是内 |
| | _ | 新福 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 記縦 | 助幾方法 | 使困难 | 建城内 | 發展內 | 使居内 | 缝屋内 | 發展內 | 秘密内 | 继星内 | 继星内 | 何是必 | 缝屋内 | 继星内 | 继尾内 | 建屋内 | 使困避 | 缝屋内 | 分散配置 | 继尾内 | 建固 | 如图题 | 缝屋内 | 分散配置 | 何渴愁 | 继尾内 | 缝幌内 |
| * | | 新福 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自然現象による影響 | 執貨 | 防漠方法 | 如西亚 | 後星内 | 建屋内 | 使屋内 | 缝屋内 | 使居内 | 서놀랑 | 後星内 | 使出动 | 년놀황 | 使屠凶 | 循星内 | 進屋内 | 세濟要 | 使居内 | 缝屋内 | 旅暢なし (適切に除雪) | 包括重 | 财新事 | 使居内 | 使星内 | 影響なし (適切に除雪) | 何對爭 | 继星内 | 進星内 |
| Ē1 | _ | 建価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 縣木 | 防漠方法 | 如野蚕 | 使居内 | 進屋内 | 使屋内 | 建屋内 | 建居内 | 如雪歌 | 徒星内 | 使星内 | 何渴愁 | 使尿内 | 循環内 | 建屋内 | 使困惑 | 使居内 | 建屋内 | 影響なし | 绝际内 | 如酒宴 | 使困境 | 徒星内 | 影響なし | 何渴愁 | 進屋内 | 建内 |
| | | 詳 価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 報送 | 防護方法 | 何淵遵 | 机制度 | 使苦闷 | 机制钢 | 的运行 | 6/12MQB | 机图察 | 继星内 | 继星内 | 서놀라 | 机制钢 | 使出的 | 继展内 | 同語動 | 네팔 | 的图 | 影響なし | 建屋内 | 네놀라 | 机图 | 建屋内 | 影響なし | 财害 | 继属内 | 建城内 |
| | _ | 詳価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 危害 | 助護方法 | 如雪麥 | 经局内 | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 何暑寒 | 建屋内 | 使星内 | 何對我 | 建屋内 | 建星内 | 進屋内 | 使困境 | 使困避 | 建屋内 | 分散混雜 | 建屋内 | 何謝憂 | 短星内 | 建屋内 | 消化波道 | 何對我 | 建屋内 | 進展内 |
| | _ | 推備 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 属 (台風) | 防護方法 | 御屋内 | 网络 | MHR | 机制制 | 建屋内 | 使出 | 에팔歌 | 建居内 | 使居内 | 同語歌 | 使坚持 | 机图纸 | 建屋内 | 에관종 | 使苦闷 | 经运行 | 影響なし (国動等) | 如唇迹 | 에관爾 | が習家 | 建居内 | 影響なし (MM/等) | 何對戰 | 建居内 | 建械内 |
| | | 新福 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 保官• 22前 位本* | 10/100 | : R/B | ¥/8 | 5 V/B | c.v | c.v. | A/B | 2 B/B | 2 R/B | : R/B | E/B | : R/B | 5 C/V | 1 C/V R/B | 2 B/B | E/B | : R/B | 展外 | 5 A/B | 2 B/B | C/V | 2 A/B | 1 R.M. | c.v | 5 C/V | : R/B |
| | 分類 | | 常設個還重要重大事場動止 設備 | 常設耐貸重要重大非為約止 設備 | 常設創造重要重大非規防止 該價 | 常設鋼賞重要重大事胡動止 設備 | 常設圖賞重要重大事結時止 設備 | 常設鋼缆重要重大非线防止 設備 | 常設創造重要重大事場防止 設備 | 常設耐能重要重大非结防止 設備 | 常設創設重要重大事績動止 設備 | 常設圖還重要重大事結時止 設備 | 常設耐濃重要重大事結防止 設備 | 常設展賞重要重大非相對止 設備 | 常設耐能重要重大非協助止 設備 | 常設動設重要重大事場訪止 設備 | 常設圖造重要重大事結防止 設備 | 常設鋼造重要重大事構防止 設備 | 可被理重大事法等对知识情 (防止) | 常設耐造重要重大非均均止 設備 | 常設創造重要重大事場防止 設備 | 常設鋼造重要重大事場防止 設備 | 常設耐鉄重要重大非結防止 設備 | 可搬型重大事故等对処設備 (防止) | 常設圖還重要重大事結時止 設備 | 常設展費重要重大非局防止 設備 | 常設耐貨産要重大非均均止 |
| | 重大中陆的对处国际的 | | 安全注入ポンプ再務環サンプ側 入口 6/1 外側隔離介 | ほう酸注入タンク | B-株納容器スプレイボンプ | エイキ部族 挿器容勝約-日 | B 一格納容器再新環サンプスク リーン | B-林納容器スプレイ冷却器 | B-安全注入ポンプ再循環サン プ組入口 C/V 外側隔線介 | 電動補助給水ポンプ | タービン動植助給水ボンプ | イベコ水場館乗 | 主義知道がしか | 浙知论生器 | 主滿氣管 | ビ ベボナイエン 諸林勝勝特計 | マニント | 油塩乾米パット | 可被党大型送水ポンプ市 | B-充てんポンプ | 燃料取得用水ビット | 再生熟交機器 | A-高圧注入ポンプ | 可機型大型送水ボンブ車 | ∠ ペム惣接垣器参機粉−V | A 一格納容器再積端サンプスク リーン | A - 安全注入ポンプ再新環サン ブ側入口 6// 外側隔線介 |
| | ~ | | (3) 決地協議社 (3) 法地理部地区 (3) 法地理部地区 | 場合、フロント ライン系機能換 失時) | | 代替再循環運転 (B-CSP) | (運転停止中の 場合、フロント | ライン系機能換 失時) | | | 蒸気発生器二次 種に下る組込め | 西 (1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | (運転停止中の 場合、フロント | ライン系機能換 失時) | | 代替知る注水 (代約CSP) | (代特電源!) (運転停止中の | 場合、サポート 系機能喪失時) | 代替知込注水 (可機型ポンプ 車() (運転停止中の 場合、サポート 系機能喪失時) | 代替が心注水 (CHP(角己 | 治却1) (週66件止中の | 場合、サポート 系機能喪失時) | | 代格再循環運転 (A-SIP | (海水沿却)) (運転停止中の | 場合、サポート 系機能喪失時) | |
| | 設置許可基準 | | | | | | | | | | | | | | 第47条 原子始治却 林圧力パウンダリ低圧 | 時に発進用原子炉を冷 却するための設備 | | | | | | | | | | | |

共-7-12

| $ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $ | | | | | 保修 : 35部 | | | | | | 自然 | 自然現象による影響 | | | | | | | | A.W. | 外部人為事象による影響 | 能得 | | Ĩ |
|---|---|-----------|---------|--------------------|---------------------------------|-----|---|------|--------|----|-----|-----------|---|------|---------|---------------|-------|-------------------|-------|--------|--------------|----|--------------|----------|
| International Internat | KAP. | 重大事故等対処設備 | | 幼園 | (本日 - 100mm) 箇所 [#] | - H | T | - 68 | 報送 - 1 | 幕大 | 144 | 载雪 | | 能能 | 影響 | 11 | - H | | 44.22 | in in | 近隣工場等の火災 | | 有能ガス | Т |
| Memory methods. Memory methods. Memory memo | | | | | _ | | | | | | | 防護方法 | _ | 助護方法 | 護方法 | | | | | | 防损力法 | | 助義方法 | 1 |
| Image: state in the state in | 代本部第 (A-S (法法符) (法法符) (法法学) (法法学 | 14 Q.4 | | 俗説劇講派更重大事場的止 説後 | | | | | | | 0 | 建居内 | 0 | 线尾内 | 행류신 | | | | | 1040 | 建碱内 | 0 | 科学校 | |
| MontholeMonthol | | 電動補助給水ポン | | 常設耐能重要重大事場時止 設備 | | | | | | | 0 | 缝尾内 | 0 | 建屋内 | 电压内 | | | 222 | | | 建居内 | 0 | 化的 | |
| Jubble Line | 满 风 绝生。 | | | 常設網設重要重大非均衡止 設備 | | | | | | | 0 | 缝屋内 | 0 | 继尾内 | 德居内 | | | | | | Fd Im Th | 0 | 科科 | |
| | 「御兄子の」 「「「御」」 「小」」 (字) | | 10 | 常設耐貨重要重大事績動止 設備 | | | | | | | 0 | 建屋内 | 0 | 發展內 | 网络内 | | | | | | MINES | 0 | 和制备 | |
| | () () () () () () () () () () () () () (| | 46 | 常設耐貨重要重大事結時止 設備 | | 0 | | | | | 0 | 缝屋内 | 0 | 發星內 | 使居内 | | | 2 2 | | - | 使居内 | 0 | 建局内 | <u> </u> |
| | 8日、小系機能費 | | 40 | 常設耐能重要重大事場的止 設備 | | | | | | | 0 | 缝候内 | 0 | 使居内 | 아뱀과 | | | | | | 使限内 | 0 | 内部務 | |
| | | 主族风管 | 40 | 常設耐能重要重大事場時止 設備 | | 0 | | | | | 0 | 建屋内 | 0 | 缝屋内 | 「空気」 | | | | CARRE | 11000 | Maray | 0 | 内部研究 | |
| Province Concerning Decisional D | 新心治水 P) (第間的) | - 3 | | 常設重大非結緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 發展內 | 0 | 發展內 | 化出现 | | | | | | 建屋内 | 0 | 化图片 | |
| Matrix for the formation of the fo | 子が終始 第への落 及び防止 | | 4 | 常設重大非結緩和誤償 | | 0 | | | | | 0 | 缝屋内 | 0 | 發展內 | 和智慧 | | 1.4.1 | 1.0.0 | | | 同語歌 | 0 | 「小学」 | |
| | | ほう酸注入タン | | 常設重大事結緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 使喝闷 | 0 | 继尾内 | 电标内 | | | 20 - 20 134 | | - | 同時電 | 0 | 使刚对 | 6 |
| HOMENTIALLY- REACH-HANKARIAN IR O BUH< O | | | | 常設重大非結緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 缝刷内 | 0 | 進屋内 | 追딡凸 | | | 1000 | | | 使用内 | 0 | Men 49 | <u> </u> |
| ABREAGANE SIZERYFAMBRAGE VI C EMM C EMM </td <td>主が読載 第への容 及び防止</td> <td></td> <td>4</td> <td>常設重大事基緩和設備</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>建居内</td> <td>0</td> <td>進屋内</td> <td>바람서</td> <td></td> <td></td> <td>21425</td> <td></td> <td></td> <td>使出身</td> <td>0</td> <td>Public</td> <td>Ĭ</td> | 主が読載 第への容 及び防止 | | 4 | 常設重大事基緩和設備 | | | | | | | 0 | 建居内 | 0 | 進屋内 | 바람서 | | | 21425 | | | 使出身 | 0 | Public | Ĭ |
| #CLAFT \$2260:FAMMENDE AR 0 \$6044 0 | 第73年188 子好袖機 能が健全 場合) | | | 常設重大非结緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 建居内 | 0 | 進星内 | 心로서 | | | 20 1 1 1 | | | 니까좋 | 0 | Manas | ŕ |
| BENEMENTAL-7-1 SIZERCY-FAMBERIZED KP C REMM C REMM <thc< th=""> REMM C</thc<> | が心治水 P) (滑脂的) | | | 常設重大事結緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 建晶内 | 0 | 修屋内 | 한테스 | | 10.0 | | | | 同時載 | 0 | Public Stand | 1 |
| #1488.288 R2:87.454.666664266 CV CV 20 80.444 C | 子が統備 部への落 及び防止 参力の約1 | 燃料取得用水ビッ | <u></u> | 常設重大非結緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 缝屋内 | 0 | 使国政 | 아팔화 | | | 04100 | | .3142A | 어플용 | 0 | 化탄망 | |
| B | | | | 常設重大非易緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 绝屈内 | 0 | 经居内 | 서팔했 | | | | | | 使用荷 | 0 | 村田田 | |
| | 代格が込 (B-C (統細的) | | レイポンプ | 常設重大非易緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 继帰内 | 0 | 使習得 | 的短期 | | | 1000 | | | 使品牌 | 0 | 化태생 | |
| ○ NHAT | 子炉路線 第への落 及び時止 線力部的 | | 4 | 常設重大非結緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 建四 | 0 | が習録 | 네콤 | | | 2005 | 0.010 | | 局治理 | 0 | Polish 28 | |
| | 子炉油機 能が健全 場合) | | 韓国党アイ。 | 常設重大事為緩和設備 | | 0 | | | | | 0 | 建居内 | 0 | 继星内 | 电星内 | | | 6 | | | 好出我 | 0 | দ্বাদ্বান্য | 2.2 |

民国 〇:各本原中象に対し安全観察を組みできる 以西 〇:各本原中象に対しなる組むた場合でも、対応する認証本単れ象徴的から外が市象に対し安全機能を組みてきる(以上記録) 、は各外が事業により組織を考慮して、代料認識による機能離外や栄全上支部の広い期間にの修設物の対応が可能(繊和認識、以止でも繊維でもない認識) 一:他の項目にて発展 米 郎 1: 以子が確保、ル1: 以子が通知意味、C /: 防子が繊維指結、BG 1: ディーセル発電機能は、GP 15: 新環心計一 ※ B 1: 以子が確保、ル1: 以子が通知

| | | | | A2.66 01.101 | | | | | | | | 自然現象による影響 | よる影響 | | | | | | | | | 外部人 | 外部人為非象による影響 | | |
|--|---|---|---|--|--------------------------|---|---|----------|------|----|------|---------------------------------------|---------------------------|---|----|-------|----|--------|-----|----------|---|--------|-------------|-----|---------------|
| 2423年9月集中 | ų | 重大事故等科处副增 | 分類 | (朱官•武)(() (前)()* | 属(台風) | | 10 C | 1 | 経営 | | 降水 | 截当 | | 銀線 | 1 | 火山の影響 | | 生物学的非象 | - | 旋林火災 | 44.22 | - III | 近隣工場等の火災 | - | 伯祿ガス |
| | | | | - | # 60 | 助護方法 # | 群 助護方法 佰 | 法価 | 防護方法 | 产值 | 防護方法 | ж Ю | 防漠方法 詳 | F 助漢方法 | 法価 | 防護方法 | 推進 | 防護方法 | * 倍 | 防護方法 | 译 助義方法 | 防止解 | 防漠方法 | 治 道 | 防漠方法 |
| | 代替がら注水 (代替CSP) (液酸がらの原 | 代特格納容器スプレイポンプ | 常設重大非結緩和設備 | R/B | अ | <u>র</u> টারাশ (| () (1997) | <u> </u> | 科習慣 | 0 | 绝威内 | () () () | ্র ধ্যান্দ্র | Prinds (| 0 | 地區內 | 0 | 经增益 | 0 | 化制度 | C senar | 0 14 | 化图书 | 0 | 化的 |
| | 子如條納容器下 第への落下速低 及び時止、交流 動力電源及び原 | 松和政権団水ビット | 常設重大非為緩和設備 | R/B | <u>بة</u> | 建居内 | · · · · · · · · | 0 | 네가파 | 0 | 서對發 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 이 사람發 | দান্দ্রক্ত 🔇 | 0 | 内害物 | 0 | 绝暴内 | 0 | 使用内 | (1) 一 | 0 M | 서변화 | 0 | 修研外 |
| | 子が油酸冷却機 能が健全である 場合) | イベラ水場伽眼 | 機當時麵給非大正這當 | R/B | <u>ه</u> | 建居内 | · (111) (| 0 | 네가파 | 0 | 서對爭 | ه | 이 번째(新 | দান্দ্রন্থ 🗸 | 0 | 同語服 | 0 | 建屋内 | 0 | 신비화 | 서버 왕 〇 | 0 M | 니約事 | 0 | 的時間 |
| | 代替新込注水 (CHP (自己 治知)) (2000001-0000 | B-充てんポンプ | 常設電大車場線和設備 | A/B | ₩ ○ | 後居内 | 後屋内 | 0 | 的品质 | 0 | 魏杲内 | | 後居内 | が居地 | 0 | 使居的 | 0 | 後屋内 | 0 | 아버장 | 0 88804 | 0 N | 建品的 | 0 | 使用者 |
| | (13940001)、COULIN 子炉除納容器下 第への落下遅延 良び防止、全交 | 燃料収替用水ビット | 常設重大非易緩和設備 | R/B | | 後居内 | 〇 後居内 | 0 | 内别致 | 0 | 發展內 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | ③ 使用内 | 년 문 과 | 0 | 使居的 | 0 | 继屋内 | 0 | 使居内 | (時時) | O MP | 後居内 | 0 | 逢雨内 |
| 第47条 原子炉冷却 林圧カバウングリ鉱圧 | 流動力電源喪失 又は原子が補機 冷却機能喪失 時) | 前生熱交機器 | 常設重大事為緩和設備 | 0 V3 | <u>چ</u> | 絶居内 | 建星内 | 0 | 的智慧 | 0 | 建居内 | ي ا | 途尾内 | が苦張 | 0 | 使居内 | 0 | 後星内 | 0 | 장태성 | 0 EERM | 0 N | 建居内 | 0 | 產品內 |
| - 時に発発用原子がを冷 却するための設備 | 代格956注水 (代格CSP) (代格昭潔) | 代特統納容器スプレイポンプ | 常設重大非易緩和設備 | R/B | <u>چ</u> | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 建居内 | 0 | 包括 | 0 | 建居内 | | 途尾内 | が苦張 | 0 | 使居内 | 0 | 後星内 | 0 | 장태과 | 建晶体 | 0 | 建屋内 | 0 | 產品內 |
| | (溶細的) 心の原 子炉除納容器下 第への落下連延 及び時止、全交 | 熱料取得用水ビット | 常設重大事結緩和設備 | R/B | ् स् | - প্রান্ধার্ম | 建居内 | · | 机异构 | 0 | 继尾内 | 뒷 〇 | 。 後居内 | 「「「「」」の「「」」では、「」」の「「」」の「「」」の「」」の「」」の「「」」の「」」の「」」の「」」の | 0 | 他居内 | 0 | 低品内 | 0 | 사람화 | · (토네가 | 0 14 | 建品内 | 0 | 修品적 |
| | 液動力電源喪失 又は原子が補機 冷却機能喪失 時) | 油場株式ビット | 常設重大事品緩和設備 | R/B | <u>چ</u> | 御屋内 | 建居内 | 0 | 的智慧 | 0 | 建居内 | | · 後居内 | が苦張 | 0 | 他居内 | 0 | 後星内 | 0 | 산태서 | () () () () () () () () () () () () () (| 0 M | 建居内 | 0 | 使同外 |
| | | 余熱除去ポンプ | 常設耐线重要重大非核防止 設備 | A/B | 0 1 | 御 居 内 〇 | · 28년/4 | 0 | 使居内 | 0 | 缝尾内 | 0 | · (111) | 後居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建居内 | · (1111) | 0 14 | 建居内 | 0 | 윤태어 |
| | 低压時時銷還 | 器由公主领域金 | 常設解读重要重大事故的止 設備 | A/B | - F |) 위험화 | না নার্য 🖉 | 0 | 同語寡 | 0 | 树脂砂 | - F | 이 년절광 | が国家 | 0 | 何到到 | 0 | 缝屋内 | 0 | Manag | MBE O | 0 M | 同語歌 | 0 | 使制剂 |
| | 余熱除去運転 | 務納容器再新環サンプ | 常設顧貴重要重大事構成止 設備 | 0 N3 | 0 7 | 後居内 | () 後居内 | 0 | 建星内 | 0 | 建品内 | <u>ه</u> | 金屋内 〇 | 後居内 | 0 | 使出身 | 0 | 缝屋内 | 0 | 使居内 | 0 8 EM | 0 M | 秘문과 | 0 | 使用小 |
| | | 格納容器再積曜サンプスクリー ン | 常設備資産要重大非均時止 | 0 N3 | <u>्</u> | ~ 년월(朝 | 0 8 8.14 | 0 | 机制制 | 0 | 使展内 | ا | <u>Ф</u> КИ | 使展内 | 0 | 的星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 的制造 | | O M | Millias | 0 | 사망시 35 |
| | | 電動植助給水ポンプ | 常設耐換重要重大事構的止 設備 | R/B | 0 8 | 建居内 | | 0 | 经局内 | 0 | 進星内 | <u>ل</u> ه | 後屋内 〇 | 金属内 | 0 | 的制度 | 0 | 继尾内 | 0 | 继星内 | () 後년서 | ah O | 後尾内 | 0 | 使同外 |
| | 兼信務作規一会 | タービン動油助給水ポンプ | 常設創造重要重大非均的止 | R/B | <u>्</u> | ~ 년원종 | 0 8 5.614 | 0 | 机制制 | 0 | 使展内 | ا | <u>Ф</u> КИ | 使展内 | 0 | 的星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 网络歌 | 0 8 8.6614 | O MP | 机制造 | 0 | 内部有 |
| 第48条 最終に一下 シンケク酸素酸化サイス | 銀行よる行心治 | 補助給水ビット | 常設爾德重要重大非統的止 設備 | R/B | <u>्</u> | গ্রুদ্ধান 🔾 | ् अद्वास | · | 建制度 | 0 | 進尿内 | <u>برا</u> | জিল্লান 🔾 | 建原内 | 0 | 他居内 | 0 | 缝屋内 | 0 | 意思内 | () 進展内 | 0 | 能明州 | 0 | 使用的 |
| として、読を騙送する ための設備 | ノノン (フロソトサイ ノ麻酸能収失 | 主浙奴遣がしか | 常設虧錢重要重大非結時止 設備 | R/B | 0 8 | জিল্লাপ 🔾 | () 26년년 | 0 | 的關係 | 0 | 進展内 | <u>گ</u> | 金属内 〇 | 金属内 | 0 | 的星内 | 0 | 缝屋内 | 0 | enerol (| 使用内 | O M | 能展刊 | 0 | 使制作 |
| | â | 蒸気発生器 | 常設爾該重要重大事構成止 設備 | 0 N3 | ۰ ۳ | না দা দা না | () 建居内 | 0 | 的習慣 | 0 | 建居内 | ه | 後居内 〇 | 使用州 | 0 | 内理的 | 0 | 建屋内 | 0 | 「「「」 | 0 6 54M | O M | 使出动 | 0 | 能開始 |
| | | 主浙风管 | 常設創造重要重大事物防止 | C/V R/B | <u>ه</u> | <u>Ф</u> КИ | () 26년 14 | 0 | 村野蚕 | 0 | 建展内 | ال ة ال | ● 전쟁(新) | 使居内 | 0 | 内理研 | 0 | 建屋内 | 0 | 同時發 | O MAN | O M | 村洲羽 | 0 | 化物研 |
| 凡例 〇: 各外部事業に対し、 又は各分部事業にこ 又は各分部事業にこ 一: 他の項目にて物理 ※ 8/8: 底子句違信。) | に対し安全機能を維 ド傘による損傷を考」 ド傘により損傷を考」 で整理 - 心B:原子が執 | KM 〇:各外部事業に対し安全機能を維持できる Xは各外部事業による利益を参加した場合でも、対応する認体基準対象施設が各外部事業に対し安全機能を維持できる(防止設備) Xは各分部事業により到損を考え出して、代料設備による機械組持や安全上支部のない期間での修良等の対応が可能(適和設備、防止でも成績でもない設備) 一:他の項目にて装置 ※ 8/8:以子の確認のない。2/8:第子の結果地提供。C/2:第子の時勤労品」の8:第子イーナルを包含機械は、CP2:第四本はシア進展 | 単対象施設が各外部事象に対し や安全上支部のない期間での修 16.61:ディーゼル発電機械員, | 安全機能を維持で 莨等の対応が可 首 GP/8: 新環水ボ | できる(助) 他(緩和設) やプ徳県 | 止説師) 第一時止でも | 飯和でもないぶ | (88) | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | 自然現象(| 自然現象による影響 | | | | | | | | | 2 | 外部人為非象による影響 | による影響 | | <u> </u> |
|--------------------------|---|--|----------------------|------------|------------------|--------------------------------------|---|---|--------|--------|------|--------|---|----------------|---|--|--------------|-----------------|----|-----------------|--------|------------|--------------|------------------|----------------|----------|
| 33575For13536 | | 重大事故等対処政備 | 分類 | 保管・設置 | 属 (台 | (台風) | 危险 | | 採業 | H | 降水 | 8 | 截当 | 常常 | | 火山の影響 | | 生物学的事象 | - | 森林火災 | * | 体死 | 近佛工物沿 | 「場等の火災 | 有能ガス | ЧZ |
| | | | | | 27 (65 (65 | 法 | 辞 価 関連進方法 | _{方法} 部 価 | 防護方法 | 第 第 | 防護方法 | 祥 佰 | 防護方法 4 | 部 価 1588 | 方法 | 將 防護方法 領 | 法解 | 防蔑方法 | 推進 | 防粪方法 | 祥 御 | 助義方法 | 214 E5/2 | 新進方法 前 | 3F 10.2 | 助義方法 |
| | (14.5) (14.5) | C, D-格納容器再循環ユニット | 常設置電光事構成止。 設備 | 6/V | |) Millings | - 18FH | 继属内 | を思う | 0 | 继星内 | 0 | 施居内 | ر الله | 使用内 | 0 Static | <u>ः</u> | 继尾内 | 0 | 继用内 | 0 | 秘문에 | 8 | 86 REM | 8 | 能相外 |
| | r - 184K) (プロントライ ソ系機能良失 時) | 可機関大型送水ポンプ車 | 可搬型重大事品等对包設備 (防止) | E# | 88 0 | 総勝なし(回動物) | 〇 一 一 | 幼散配置 | 影響なし | 0 | 影響なし | ** §9 | 総響なし (適切に除当) | 0 | 幼骸配置 | 影響なし (適切に除尿) | <u>्</u> र्भ | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火排闩 (分散起置) | 0 | 分散而影響 | 0 24 | 分散配置 | 34 | 分散配置 |
| | 代替油酸冷却 (SIP(海水 冷却)) | 可機型大型送水ボンプ車 | 可被理重大事務等於包設備 (防止) | <u>в</u> | | 影響なし (回線等) | () () () | 分散配置 | 影響なし | 0 | 影響なし | ** §9 | 振響なし (適切に除当) |) 3416 | 311KRUM | 影響なし (適切に除尻) | it RKI O | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火排付 (分散起置) | 0 | 分散而到 | 0 31 | S IKEE | 0 848 | 分散配置 |
| | (フロントライ ン系機能炎炎<(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロントライ(フロント)(フロントライ(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント)(フロント) | A-高圧注入ポンプ | 常設個貨車要重大事場動止 設備 | A/B | | - দাশক | - 198 | 이 번째화 | 同語研 | 0 | 建城内 | 0 | 修理的 | - R | ~ 서관장 | い と の に し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の の の の の し の の の の の の の の の の の の の | 0 F | 机制造 | 0 | 机制载 | 0 | 时制歌 | 8 | 建树 树 | | が時代 |
| | | 電動植助給水ポンプ | 常設創造重要重大事構防止 設備 | R/B | |) (1111) (1111) | 147F | 途屋内 〇 | 建屋内 | 0 | 進屋内 | 0 | 建屋内 〇 | <u>ک</u> | · 전문과 | 建료内 | 0 | 建星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | ه | 建屋内 | | 建局州 |
| | 蒸気発生器二次 | タービン動植助給水ポンプ | 常設圖資重要重大事場協止。 | R/B | × | の目内 | 0 184 | 金屋内 〇 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 發展内 () | - | 金尾内 〇 | | 0 | 缝屋内 | 0 | 使用用 | 0 | 使同归 | 3 | Personal C | 3 | PL MSH J |
| 第48条 最終ヒート シンクへ触を輸送する | 億によるがら沿 車(油助給水ボ | 補助絵水ビット | 常設耐貴重要重大事結結止 | 8/8 | | の目的 | ۰ ال الة | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | (한 전 전 전 전 전 | - | 金尾内 (| M MARK | 0 F | 缝屋内 | 0 | 同時事 | 0 | 使原内 | W | WMM | 3 | Frish 35 |
| ための設備 | ンプ)(代料電調) | 主義知識がしか | 常設耐貴重要重大事結結止 設備 | R/B | | の居内 | ۰ پید | 建屋内 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 〇 | - 2 | 金尾内 〇 | 0 SBURH | · | 建屋内 | 0 | 建居内 | 0 | 使居内 | | WHM O | 8 | 建用的 |
| | (サポート 96歳 能換(3時) | 蒸気流生器 | 常設解決重要重大事務防止 | 0 N3 | 0 | 金属内 | ায়া ০ | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 使困难 | 0 | 使尿内 | 0 | (基本) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1 | ۵ الا | (基本) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二) (二 | M MARK | ۰ ۱ | 使困闷 | 0 | Mittag | 0 | 使尿内 | 0 18 | WHIN C | 0 18 | Prish 35 |
| | | 主燕氣管 | 常設創造重要重大非趨防止 | C/V R/B | 0 | を見ゆ | 0 HRH | () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 後足内 (| 0 18 | 後 尾内 (| の経済 | 4 O | 包括 | 0 | 同時期 | 0 | 使星内 | 0 1 | 使用利 | 0 18 | 使用内 |
| | 格納容器內自然 対流冷却(C/V 再循環ユニッ | C、D-統納管器再発環止ニット | 常設制資産要重大事為時止 | с.v | ~ |) 서관(() | ् भुद्ध | () () () () () () () () () () () () () (| 内害項 | 0 | 建属内 | 0 | ~ 씨쌈퐈 | R | 使居内 | い 習 録 。 | 0 7 | 建咸内 | 0 | 使制發 | 0 | 建属内 | स् | <u> ৫</u> ৬৫м | N | 机物源 |
| | ト: 箱水) (サポート系機 能換(時) | 可被型大型送水ボンブ車 | 可被兇重大事法等対処款備 (防止) | 屈外 | | 総響なし (回時等) | 0 371181 | SHIKKUK | 影響なし | 0 | 影響なし | ** §9 | 総響なし (適切に除止) | 0 308 | SHIKKUK | 勝様なし (適切に除死) (適切に除死) | د الالا | 影響なし (開口第関止) | 0 | 助火排丹 (分散起罪() | 0 | STIRE MARK | 0 24 | 37 IK MAN | 0 | 分散形成 |
| | 代替油酸沿却 (SIP(海水 沿却)(代約電 | 可機関大型送水ポンプ車 | 可被理重大非易等对组改值 (防止) | E4 | | 影響なし (回納等) | 分散 | 31KRU20 | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし (適切に除雪) | 〇 3416 | 分散配置 | 影響なし (適切に除災) | it Auxi | 影響なし (開口衛閉止) | 0 | 防火排丹 (分散起影() | 0 | 9 IKAUN | 0 34 | 3 IKRUM | 24 | 分散配置 |
| | 線()) (サポート系機 能没少時) | A-高圧注入ポンプ | 常設耐濃重要重大事場的止 設備 | A/B | 0 |) দাশস্থ্য | 1987 O | 이 번질(新) | 同習研 | 0 | 建居内 | 0 |) - ··································· | 0 18 | 이 사람활 | দান্দ্রক্ত 🔤 | о h | 继尾内 | 0 | 使制發 | 0 | 허濟家 | 3 | উ দ্ধান C | ه | 사람세국동 |
| | | C, D-格納容器再消躁ユニット | 常設耐貴重要重大事場的止 | 0 N3 | · · | 建居内 | 0 MBH | 金屋内 〇 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建星内 〇 | <u>ک</u> | <u></u> Шарана 1000 (1000) | 建居内 | ۰ ۲ | 建屋内 | 0 | 使用内 | 0 | 使用内 | 0 | 使用内 | 0 1 | 金山村内 |
| | | C, D - 原子炉油換冷却水ポン ブ | 常設個貨重要重大非規約止 該價 | R/B | |) 서 브 죵 | 「「「「」」の「「」」の「「」」の「「」」の「」」の「「」」の「」」の「」」の | <u>ା</u> ମ୍ବ | 继属内 | 0 | 建屋内 | 0 | 發星內 (| ۵ ۲ | 途足内 (| () 建료内 | 0 | 년골裵 | 0 | 使困惑 | 0 | 使居内 | 0 18 | 建屋内 | 8 | 建树村 |
| | 格赖容器内自然 对流论如(C/V | C, D-原子炉油機冷却水冷却 器 | | R/B | 0 | <u>Фы</u> ни | ر الله | 修 居内 〇 | 建晶内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 〇 | ر ال | 修足内 (| (1) 전문(H) | ۹ ۱ | 進星内 | 0 | 能同问 | 0 | 他居内 | ک | 1 Maria | 0 | 科特州国务 |
| | 再 術 編ユニッ ト: CCW) | 原子衍袖機治却水サージタンク | 常設解設重要重大事務時止 | R/B | 0 8 | 建居内 | ر اللغة | 金星内 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 〇 | ۰ ا | <u>њ</u> ем (| () 建层内 | 4 O | 進星内 | 0 | 能同内 | 0 | 能同时 | 0 <u>*</u> | 建城内 (| 0 10 | 能用計列 |
| | (がらの著しい 損傷防止、フロ | 原子毎補機治却水サージタンク 加圧用可搬型塗素ガスボンベ | 可搬型重大非结等对处跌值 (防止) | R/B C | 0 | 建品内 | 0 <u>4</u> 84 | () 서희歌 | 建屋内 | 0 | 使屋内 | 0 | 後足内 | 0 18 | 金星内 (| () 建居内 | 4 O | 建屋内 | 0 | 使用内 | 0 | 继星内 | 0 # | ④ Keinel C | 0 B | 建品外 |
| 第49条 原子如格納 | ントライン系機 能度気跡) | | 常設圖資重要重大事場訪止。 | CHP/B C | | (전문) (| 0 防護対策実施 | 電火施 〇 | 使困惑 | 0 | 建屋内 | 0 | (111) (111) | <u>ک</u> | 登 년 전 | い 新 | 0 6 | ()時重金) ()な響線 | 0 | 秘문内 | 0 | 使居内 | 0 W | WHAN C | | Prish as |
| 容器内の冷却等のため の設備 | | C、D 一原子炉油機冷却海水ボ ンプ出口ストレーナ | 常設解決重要重大事結結止 | 641/B | R | 建屋内 | 0 訪過対策実施 | 准実施 〇 | 使喝酒 | 0 | 建屋内 | 0 | (전철) (| - | 金尾内 (| N MARIN | 0 | 影響なし (多重性) | 0 | 同洲亚 | 0 | 使原内 | ه | 使同时 | ن ه | 内部每 |
| | | C、D一原子炉油機冷却水冷却 器筋水入口ストレーナ | 常設展設重要重大事務時止 | R/B | × | 建居内 | ر الألا | 建屋内 〇 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建居内 〇 | <u>چ</u> | 建居内 | | ۰ ۲ | 建屋内 | 0 | 修用内 | 0 | 建居内 | 0 8 | 建居内 | 0 1 | 能用州 |
| | 代替絵軸容器ス プレイ (代替C | | 常設耐蚀重要重大非均均止 設備 | R/B | × |) NIMO | 0 1919 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 使困避 | 0 | 建固度 | 0 | 後居内 | <u>ا</u> | <u></u> | MIN 0 | <u>о</u> | 缝屋内 | 0 | 使用的 | 0 | 建居内 | 0 | енн | 8 | 춘내웨어 |
| | SP) (がらの者しい 損傷防止、フロ | 燃料取得用水ビット | 常設網貨車要重大非胡動止 設備 | R/B | 1 |) NBB | 0 KBH | ● ● | 何利亚 | 0 | 建屋内 | 0 | 後居内 | 0 18 | · (1993) | দান্দ্রক্র | о Б | 建园内 | 0 | Millings | 0 | 使同内 | 0 8 | њим (| ن ه | 환네하 |
| | ントライン系機 能喪失時) | 油助院水ビット | 常設動造重要重大非构動止 設備 | R/B | R () | ্ মালান | শ্বয় | 金屋内 〇 | 543433 | 0 | 缝漏内 | 0 | 後居内 | - | 修服内 | দাস্র্ব্যয় 🔿 | <u>्</u> | 建屋内 | 0 | Millings | 0 | 建居内 | 0 8 | 修用内 | 0 | 内排用了 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

民國():各者部分案におし文金機能を規制できる 又は各外部事業による損傷を予想した場合でも、対心する認証某限其条備設計各外部事業に対し其全機能を備持できる(防止認識) 又は各外部事業により損傷を考慮して、代料設備による機能解判や安全上支部のない問題での修復等の対応が可能(機能設備、防止でも適相でもない設備) 一:他の項目にて依照 ※ BR:成子が確認、AB:成子が指助意見、cA:成子や液動容認。BGB:ディーセル発出機能局、GPA:結構本計と乙種県

| - | | | | | | | | | | | | 自然現象による影響 | よる影響 | | | | | | | _ | | 外部人為当 | 外部人為非象による影響 | | |
|--|---|--|---|------------------------------------|---|-------------------------|---|----------------|------|----|------|-----------|---|------|----|-----------------|------------------------|---|------------------|--------------------|------|-------|-------------|----------|---------------|
| 設置許可基準 | 重大事故等科処設備 | 112240 | 3/復 | 保管• 設置 参加* | 属 (台 | 台風) | 金谷 | H | 報送 | | 降水 | 結合 | H | 無能 | × | 目の影響 | 生物学的 | 的非象 | 森林火災 | | 体死 | 近線五 | 場等の火災 | 41.8 | 体ガス |
| | | | | | 34 (6) D52 | ab遊方法 ² 6 | 辞 価 防護方法 | ∰ 第 ∰ | 防護方法 | 洋油 | 防護方法 | 將 術 防護 | 防護方法 詳 | 助護方法 | 建価 | 防護方法 | 詳 師 | 防漠方法 詳 | 助進方法 | 法 筆 | 助進力法 | 新編 | 防護方法 | 18 18 | 防護方法 |
| 代格統納容器ス プレイ (代格C | | 代格統納容器スプレイボンプ 常 | 常設個貴重要重大事協防止 設備 | R/B | 0 1 | - পালক্ষ | · (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11 | ۰ ۲ | 同語歌 | 0 | 使出於 | 138 | 어퍼화 | 네콤發 | 0 | 何謝歌 | 0 | 이 번째환 | 아버파 | 0 1 | 何国研 | 0 | 서관광 | 0 | 使同内 |
| 2 K) (4C M R (第) (第) | 5 ピノ (たぐ所は (約) (約) むの者しい (約) むの者しい | - | 常設個錢重要重大事場防止 該價 | R/B | 0 | 後居内 | () 後료(M | о _М | 建居内 | 0 | 後星内 | - T | () 사람() () () () () () () () () () () () () (| 發展內 | 0 | 继星内 | 0 264 | () () () () () () () () () () () () () (| 使用持 | 0 | 使用州 | 0 | 建료内 | 0 | 建晶体 |
| 相(055)は、サポ 一ト系機能喪失 所) | :、サポ 観絶炎失 | 4 | 常設個貨重要重大非局防止 設置 | R/B (| 0 8 |) দাশক্ষ | দান্দ্রক্ষ 🔷 | о _К | 네꽐荻 | 0 | 短期的 | 136 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 네꽐麥 | 0 | 何謝狼 | 197 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | Milliage | 0 1 | 树树 | 0 | 신원광 | 0 | 内的事 |
| 株価で設置内自然 対抗活血(C/V 再発電ニニッ ト:前水) | | 可被党大型送水ポンプ車 | 可機型重大非易等於処設備 (約止) | 。 一 | | 影響なし (回動等) | 分散配置 | 0 34 | 影響なし | 0 | 影響なし | (1697) | 第零なし (適切に除当) | 分散配置 | 0 | 影響なし (適切に除尻) | | 勝頼なし (開口総開止) | 助火带内 (分散和20) | े <u>र</u> ब्रि | 分散而望 | 0 | 分散起资 | 0 | 分散配置 |
| (かんの着しい 植間部に、サポ 一下系織能送失 時) | с, т | りー格納管器再発展工ニッ 2 | 给設備資重改重大事場場止 設備 | 0 V 3 | | 後居内 | · 小田村 | О К | 使居民 | 0 | 선물관 | 198 | 途尾内 | 發展內 | 0 | 서파포 | ۰ گا | 金属内 | 後尾内 | 0 | MENT | 0 | 使用内 | 0 | 经局外 |
| | C, D-格 ト | C, D-格納容器再領環ユニット | 常設重大非結緩和設備 | 0 N.3 | 0 1 | | () 建屋内 | ۰ ۱ | 机制酸 | 0 | 建屋内 | 198 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 经局内 | 0 | 使困境 | 0 281 | () () () () () () () () () () () () () (| MENT | 0 | 使居内 | 0 | 使居内 | 0 | 使同内 |
| | C, D-原 プ | C, D - 原子炉油機冷却水ボン ブ | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 1 | 1111 | () 建屋内 | ۰ ۲ | 经局内 | 0 | 建屋内 | 137 | () () () () () () () () () () () () () (| 發展內 | 0 | 使民内 | 0 MB | () () () () () () () () () () () () () (| MIH 35 | 0 | 使居内 | 0 | 使居内 | 0 | 化时间 |
| 格納容器内自然 | | C, D-原子炉油裹冷却水冷却 器 | 常設重大非結緩和設備 | R/B (| 0 1 | · 아버링 | () 建屋内 | ۹ (| 机制砂 | 0 | 建屋内 | 138 | 使用用 | 经局内 | 0 | 使困境 | 0 281 | 使用用 | MENT | 0 | 使居内 | 0 | 使居内 | 0 | 使同内 |
| 再 新 課 ユ ニ ッ ト : CCW) | | 原子が袖機治却水サージタンク | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 W | - দাসক | мвж () | о њ | 서治政 | 0 | 使尿内 | 1376 | 어퍼화 | 使居内 | 0 | Manag | 137 | • 서퍼政 | Mittage | 0 1 | 财料业 | 0 | Withus | 0 | 内的研究 |
| (格納容器級組 防止、フロント | | 原子炉油機造却水サージタンク 加圧用可機塑塗素ガスボンベ | 可搬型重大事格等对処設備 (截和) | R/B | 0 1 | 1111 | の建築 | ۰ ۲ | 使苦闷 | 0 | 建屋内 | 137 | 아프화 | 發展內 | 0 | 使民内 | 0 MB | () () () () () () () () () () () () () (| MIH 35 | 0 | 使居内 | 0 | 使居内 | 0 | 化时间 |
| ライン系機能改 失時) | | C、D-原子炉油機冷却滴水ボ ンプ | 常設重大非佔緩和設備 | CWP/B | 0 1 | · 아버지 | 0 防護対策実施 | 実施 〇 | 使苦闷 | 0 | 建屋内 | 137 | 아프화 | 發展內 | 0 | 使民内 | (象) (象) | 影響なし (多重性) 〇 | 신원국 | 0 | 使居内 | 0 | 使居内 | 0 | 化时间 |
| 第49条 原子切除剂 | C、D - 原子 ンプ出ロスト | C、D -原子炉油機冷却滴水ボ ンプ出ロストレーナ | 常設重大非结緩和設備 | CWP/B | 0 1 | 建居内 | - 助護対策実施 | 头施 〇 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 147 | 使用内 | 建屋内 | 0 | 内运动 | (多) (多) | 除し (新生) | 使用用 | 0 | 使居内 | 0 | 修品内 | 0 | 使用有 |
| 容器内の冷却等のため の設備 | C、D - 原子炉油 器前水入口ストレ | C、D 一原子炉油機冷却水冷却 器筋水入口ストレーナ | 常設重大非結緩和設備 | R/B (| 0 1 | | () 建屋内 | ۹ (| 네팔 | 0 | 建屋内 | 138 | 어퍼화 | 经局内 | 0 | 使苦闷 | 0 281 | () () () () () () () () () () () () () (| 使出致 | 0 | 전범광 | 0 | 使同内 | 0 | 운데시 |
| 代替除額容器スプレイ(代称C | | 代料納納容器スプレイボンプ | 常設重大非结緩和設備 | R/B | <u>ه</u> | 建居内 | () 建属内 | 0 Fr | 经营业 | 0 | 建屋内 | 138 | <u>ф</u> ый | 缝屋内 | 0 | 机制制 | ر الله | () () () () () () () () () () () () () (| h/imige | 0 | 한말한 | 0 | 机制制 | 0 | 化物理 |
| S P) (赤葉容器成当 県中: イロント | 3 P) (格納容器破損 (熱約28歳損 数約44件用水ピット ち止、フロント | 水ピット | 常設重大非总統和設備 | R/B | 0 1 | া পালক | が早新 | ۰ ۲ | 建居内 | 0 | 建屋内 | ر الله | 서관광 | 建屋内 | 0 | 建居内 | 0 <u>1</u> | 씨광황 | NIME | 0 | 经附款 | 0 | 建碱内 | 0 | 经同时 |
| ライン系機能炎 火酔) | 機能要補助給水ビット | 2 F | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 10 | 他居内 | () 建분권 | ۹ ۱ | 他居内 | 0 | 建居内 | 0 1361 | <u>Ф</u> ЕМ () | 途尾内 | 0 | 他展内 | 0 <u>18</u> 4 | <u>Ф</u> ЕМ () | SENSING. | н О | 他用州 | 0 | 建居内 | 0 | 使用时 |
| 代格銘輪容器スプレイ(代称C | | 代料絡納容器スプレイボンプ | 常設重大非為緩和設備 | R/B | 0 1 | 範疇内 | () 後屋内 | ч (| 继星内 | 0 | 建居内 | 0 ¥F | <u>њ</u> ем () | 建品内 | 0 | 继星内 | 後月 | 金屋内 〇 | 途尾内 | 0 | 化同时 | 0 | 使居内 | 0 | 建树外 |
| SP)(代約45 3(1) (成績約52.564 | S P) (代料電 (1) 数和依得用水ビッ (A) 数据依得用水ビッ | はビット | 常設重大非為緩和設備 | R/B | 0 1 | を見る | 後屋内 | ч О | 继星内 | 0 | 继星内 | 0 ¥F | <u>њ</u> ем () | 途屋内 | 0 | 继星内 | 0 <u>(</u> | 金屋内 〇 | 修用内 | 0 | 使居内 | 0 | 建品内 | 0 | 经局付 |
| 防止, サポート 系機能要失時) | +ポート (実時) (実時) | 4 K | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 8 | 他居内 | () 建료内 | ۰ ا | 绝限内 | 0 | 建屋内 | 0 | 金属内 〇 | 途屋内 | 0 | 继属内 | 0 <u>8</u> 84 | <u>њ</u> ери О | 發展內 | 0 | いとう | 0 | 建原内 | 0 | 经同内 |
| 条値内認定施 経済が加(C/V 再活線により、 | | 可被殺大犯送水ポンプ車 | 可機理重大非易等対処設備 (緩和) | 居外 | | 影響なし (周齢等) | 0 541664242 | 0 38 | 影響なし | 0 | 影響なし | (164)10 | 影響なし (適切に除雪) | 幼散配置 | 0 | 影響なし (適切に除戻) | (回日) (回日日) | 影響なし (開口常閑止) | 助火带内 (分散和200) | 0 (M | 分散和到 | 0 | 分散起置 | 0 | 分散配置 |
| 下: 印水/ (保納容易成別 (保納容易成別) (保納公司) 係後後後火時) | с, D- ŀ | ~ ニニッ | 常設重大事局緩和設備 | 0 N/3 | <u>ه</u> | - দালক্ষ | · · · · · · · · · · · · · · · | - N | 네배종 | 0 | 서淵發 | 138 | () 時間 | 에뀀發 | 0 | Fyl Halfs | 138 | 《 科書書》 | 修過意 | 0 4 | 하면화 | 0 | 使用内 | 0 | 사망시 국동 |
| | 格納容器ス | 格納容器 スプレイボンプ | 常設個貴重要重大事場防止 設備 | A/B (| 0 1 | - প্রাঞ্জার্ক | 서점화 | 0 h | 同語事 | 0 | 建屋内 | 137 | 6 6 7 7 8 7 8 7 8 7 8 7 8 8 9 9 | 使屋内 | 0 | 网洲耶 | 138 | () () () () () () () () () () () () () (| Manage | 0 1 | MINT | 0 | Millings | 0 | Minute |
| 売業会話スプレ イ | | 絵納容器スプレイ治却器 | 常設制造重要重大非均均止 設備 | A/B (| 0 1 | WHIM (| が困惑 | ۰ ۲ | 使出的 | 0 | 缝星内 | 148 | <u>ф</u> щи () | 建屋内 | 0 | 使出内 | 0 MBH | <u>Ф</u> ЕМ 0 | 使用时 | 0 | 使用州 | 0 | 使用的 | 0 | 使用外 |
| 応報省語スプレイ再発展 | 3スプレ 数相取替用水ピット 3 | | 常設個貨重要重大事材結合止 設備 | R/B | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | ALL N | 約34.00 | ۰ H | 네놀라 | 0 | 建屋内 | 1376 | ি পিল্লগ্ৰ | 建屋内 | 0 | 网洲铜 | 138 | мям | 每時時 | 0 4 | 使用的 | 0 | 机树脂 | 0 | 使用付 |
| | | 格納容器再循環サンプ | 常設耐貴重要重大事構動止 設備 | 6/V | ر | 御 留 内 〇 | () 建屋内 | ۹ ۱ | 绝属内 | 0 | 建屋内 | ر الله | ④ (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 缝尾内 | 0 | 绝限内 | ر الله | 金属内 〇 | HIHE | 0 | MHT | 0 | 建居内 | 0 | 化树枝 |
| K例 ○:各外部事業に対し安全機能を維持できる とした。対応する認識法律の対応を考慮した場合でも、対応する認証法律特殊機能が各外部事業に対し安全機能を維持できる(防止認備) 又は各分活事業により組役を考慮して、代料認確による機能提供や安全上と等のない期間での換償等の対応が可能(適相認備) ー:他の項目にて依頼 ※ 08:以行動提用, V3:以行動油助提用, CN:以行わば助信品, ECN:第7→一十×を定能機構用, CNV:約3:約3:44×××× | 機能を維持できる 損傷を考慮した場合で 損傷を考慮して、代利 損傷を考慮して、代利 1.6(子が補助進星、C/ | こも、対応する認計基理ネ 総備による機能統約や3 V:原子が時納容器、no/ | 〇:各外部市場に対し安全機能を避砕できる 以は各外部をによる時間を考慮した現在でも、対応する認時集単社条構設が各先部身線に対し安全機能を通行できる(助 又は各外部隊客による時間を考慮して、代替3時による機能解約や安全と上刻ののない期間での修復なの対応が可能(緩和設 工業分析が確認、NB:原子時期の担任、Cパ:低子や総納容器、BGのドディーゼル会現時就通。 (PF)1:第四本ホンア活転 ※ Bの:近子の後期、NB:原子の抽測症状、Cパ:低子か後着容器、DGのドディーゼル会現時就通。 (PF)1:第四本ホンア活動 | (全機能を維持。 (等の対応が可) #1/8: 循環水ボ | できる(助) 能(緩和設) 代ンプ途県 | 仕設備) 備, 防止でも | 観和でもない。 | (8) | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | 自然現在 | 自然現象による影響 | | | | | | | | | A.R. | 外部人為事象による影響 | 無限な | | Ĩ |
|---------------------------------|--|---|----------------------|--------------|----|------------------------|--------------|---|--|----------------|------|------|-----------------|--------------|---|-----------------|-------------|-----------------|----|----------------|---|--|---------------------------------------|----------------|---------|------|
| 1444 Jun Alexandre | | 重大中战等对处理确 | 分類 | 保管•設置 約m* | al | (台風) | 能容 | | 「「「「」」 | | 降水 | | 航雪 | 制業 | | 火山の影響 | - | 生物学的事象 | 4 | 森林火災 | 44.52 | | 近隣工場等の火災 | C ME | 有能ガス | Π |
| | | | | | 詳価 | 防護方法 | 詳 値 | 防旋方法 術 | | 院 部 | | 推進 | ENIX | 217 (16 | 防装方法 詳 | | 法籍 | 防護方法 | 推進 | 防盗方法 | 24 IU-32 | 1/12 B | ¥ 助拠方法 | 14 18 18 | 助義方法 | |
| 第49条 原子句格納 管器内の冷却等のため の設備 | 格納容器スプレ イ 格納容器スプレ イ | ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ | 绺醍醐鑽電要重大非动動止 設備 | V/3 | 0 | 时 时事 | 0 11 | • 사람(新) | い 新 新 新 新 の の の の の の の の の の の の の | о м | 使居内 | 0 | 使困难 | <u>ه</u> | 이 전문과 | দা স্পন্ধ | 0 | 네팔꽃 | 0 | 네洲發 | 8 | ~ 허위화 | Miniation C | 0 | 利納重 | |
| | 格納容器スプレ イ (CSP) | 格納容器スプレイボンプ | 常設重大非結緩和設備 | Α/Β | 0 | 使用内 | | 使展内 | M MAR (| о M | 建屋内 | 0 | 使居内 | 0 | <u>ф</u> ым | M MARK | 0 | 使尿内 | 0 | 经运行 | 0 | O Military | MINUS | 0 | 经标识 | |
| | (交流動力電波) 及び原子が補機 | 燃料取得用水ビット | 常設重大事結緩和設備 | R/B | 0 | 建屋内 | | 金属内 〇 | 後属内 | м O | 缝屋内 | 0 | 建屋内 | 0 1 | 金属内 〇 | A SERIA | 0 | 進星内 | 0 | 使困难 | 0 8 | (한) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1 | MINUS | 0 | 使同内 | |
| | 冷却機能が弛全 である場合) | 糸納容器スプレイ冷却器 | 常設重大非紡績和設備 | 8/V | 0 | 建屋内 | ¥ | ④ 内当委 | 0 SERPI | ں الا | 缝屋内 | 0 | 缝屋内 | <u>ک</u> | 金屋内 〇 | Mada Maria | 0 | 使尿内 | 0 | 使展内 | 0 8 | • • • • • • • • • • • • • • • • • • • | 使用时 | 0 | 机构型 | |
| | | C、D - 格納容器再循環ユニット | 常設重大非結緩和設備 | C/V | 0 | 建屋内 | 8 0 | () () () () () () () () () () () () () (| (한토内) | ज | 發展內 | 0 | 建内 |) 왕 | 아말화 | · 18년 년 | 0 | 進屋内 | 0 | 전철장 | 0 | Мала | শাসক্ত 🔾 | 0 | 内部委 | |
| | | C, D - 原子包油鐵沿却水ボン プ | 常設重大非紡績和設備 | R/B | 0 | 他早内 | 8 0 | () () () () () () () () () () () () () (| | о М | 建居内 | 0 | 建内 | ₩ ○ | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | 0 | 進屋内 | 0 | 桥周围 | 0 1 | 金属内 〇 | () 建层内 | 0 | が時間 | |
| | 格納容器内自然 対流沿加(C/V | C, D一原子炉油融冶却水冷却 器 | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 | いと思い | 8 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | MER N | ି ମ | 發展內 | 0 | 桥星桥 | <u>گ</u> | 아프광 | PAIR A | 0 | 金星内 | 0 | 修用剂 | | O MINUS | MH B | 0 | Phil 33 | |
| | 再結構ユニッ ト: CCW) | 原子が袖機冷却水サージタンク | 常設重大事務緩和設備 | R/B | 0 | 他是内 | ه | () () () () () () () () () () () () () (| MEM C | о M | 進屋内 | 0 | 修展内 | <u>گ</u> | () () () () () () () () () () () () () (| MENT | 0 | 绝屋内 | 0 | 修用的 | 0 | 金属内 〇 | NH N | 0 | 使同时 | |
| | (交流動力電源) 及び原子が補機 | 原子好補機治却水サージタンク 加圧用可機理窒素ガスポンペ | 可機型重大非結等対処設備 (截和) | R/B | 0 | 化出动 | 8 | () () () () () () () () () () () () () (| () 38년 M | о М | 缝屋内 | 0 | 建内 | 0 # | Ф.Б.Ф. | MINES (| 0 | 進屋内 | 0 | 桥田登 | (1) | 6 約33 | () 建居内 | 0 | 和問題 | |
| | 冷却機能が健全 である場合) | | 常設重大事結緩和設備 | CWP/B | 0 | 建居内 | 0 Bh | 防護対策実施 〇 | (한편년) | о M | 建屋内 | 0 | 發展內 | 0 1 | <u>Ф</u> ЕМ О | A BEH | 0 | 影響なし (多重性) | 0 | 使居内 | () () | фын O | (建居内 | 0 | 使同外 | 200 |
| | | C、D - 原子が油酸冷却海水ボ ンプ出ロストレーナ | 常設重大半結緩和設備 | CHP/B | 0 | 建屋内 | 0 10180 | 防護対策実施 | (建屋内 | े स्र | 缝屋内 | 0 | 發展內 | <u>ک</u> | () | の理由 | 0 | 影響なし (多重性) | 0 | 長星 | 8 | ে পশ্ৰক | দাগন্ধ 🔾 | 0 | 사태공 | |
| 第50条 应子结线轴 | | C, D -原子如油鐵治却水治却 器施水入口ストレーナ | 常設重大事品緩和設備 | R/B | 0 | 建屋内 | 88 0 | () <li< td=""><td>の原因の</td><td>о м</td><td>缝屋内</td><td>0</td><td>建内</td><td>() 왕</td><td>① 「「「「」」</td><td></td><td>0</td><td>绝尾内</td><td>0</td><td>使得到</td><td>8</td><td>① Maina</td><td>Millings</td><td>0</td><td>使同外</td><td></td></li<> | の原因の | о м | 缝屋内 | 0 | 建内 | () 왕 | ① 「「「「」」 | | 0 | 绝尾内 | 0 | 使得到 | 8 | ① Maina | Millings | 0 | 使同外 | |
| 容器の過圧破損を防止 するための設備 | 代替統納容器ス プレイ (代替C | | 常没重大非结酸和识值 | R/B | 0 | 建居内 | * | 進屋内 〇 | | · 태 | 建居内 | 0 | 建屋内 | € | <u>ф</u> ын | | 0 | 缝屋内 | 0 | 建居内 | R | ени О | (1) 建油油 | 0 | 使用付 | |
| | SP) (交流動力電源) ************** | 燃料配券用水ビット | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 | 树納爾 | 0 28 | 金属内 〇 | M MARK | о М | 何渴望 | 0 | 使用的 | ۰ ش | 使用用 | Million (| 0 | 财料要 | 0 | 使用内 | 1 I I I I I I I I I I I I I I I I I I I | 0 Mata | MH43 | 0 | いかま | 39 |
| | ※O%17,1%116% 冷却機能が能全 である場合) | 補助給水ビット | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 | 机制制 | ¥ | () () () () () () () () () () () () () (| MINO C | о М | 财困避 | 0 | 使困难 | <u>ه</u> | Фанина | Manas | 0 | 使困难 | 0 | 使用内 | 0 | • • • • • • • • • • • • • • • • • • • | MH B | 0 | 사망시 콜3 | 105 |
| | 格納容器内自然 対流冷却(C/V 再循環ユニッ ト:前水) | C、D-終納皆器再発環エニット | 常設重大非体緩和設備 | с.// | 0 | 서환경 | | 後屋内 | (J) 建硫化 | о М | 後屋内 | 0 | 後尾内 | 0 # | 後尾内 | が習得 | 0 | 途星内 | 0 | 선범장 | 0 | 後屆內 | 建居内 | 0 | 建同内 | |
| | (全交流動力電 氮又は原子炉油 機冷却機能喪失 時) | 可機関大型送水ボンブル | 可被兇重大非易等於処設備 (截有) | 展外 | 0 | 影響なし (国 時 等) | 0 1 | 分散配置 | (1)(1)(2)(3)(4)(4)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5 | ں بر | 影響なし | 0 | 振動なし (適切に除金) | 38 | 0 Shikelin | 影響なし (適切に除尻) | ر الآلان | 影響なし (開口部関止) | 0 | 訪火帯内 (分散起部) | 846 O | 5) [K M37 | 27-16-67.5% | 0 | 分散配置 | 2 |
| | 代特格納容器ス プレイ (代替C SD) (44400 | 代特絡納容器スプレイポンプ | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 | 使居内 | | · | 「「「「」」の「「」」 | м 0 | 建屋内 | 0 | 使苦爱 | 0 # | () () () () () () () () () () () () () (| M MR M | 0 | 继星内 | 0 | 使四分 | 0 | · (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | · 윤료内 | 0 | 缝刷外 | |
| | SE7) (174798 第1) (全交流動力能 | 小にどれた | 常設重大非紡績和設備 | R/B | 0 | 同語家 | | 이 체험활 | N PAR | о M | 使皆好 | 0 | 6년 24 국장 | ه | 이 해결활 | M MAR N | 0 | 同時 | 0 | NIMAS | 0 | া পালক | শানক 🛛 | 0 | 内的事 | |
| | 氯又は原子炉袖 機冷却機能喪失 時) | イベスや時期 | 常設重大非紡績和設備 | R/B | 0 | 同習家 | | 씨팜황 | MHAR C | о м | 建屋内 | 0 | 位置要 | 0 1 | • · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | NI PHIE | 0 | 包括致 | 0 | 同時 | 0 1 | €RM ○ | <u> (188</u>) | 0 | 连局内 | |
| | 格納裕器スプレ イ(CSP) | 格納容器スプレイボンプ | 常設重大非結緩和設備 | Α/Β | 0 | 建居内 | 0 28 | 建屋内 〇 | (한국가) | м () | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | <u>њ</u> ен О | (建居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 经局内 | 0 # | 後居内 〇 | 0 建居内 | 0 | 建局内 | |
| | (交流動力電源) 及び原子が補機 | 燃料収替用水ビット | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 | 继屈内 | 0 28 | 進屋内 〇 | 後居内 | м 0 | 途屋内 | 0 | 继星内 | 0 18 | 途屋内 〇 | | 0 | 進屋内 | 0 | 继星内 | 0 10 | 金屋内 〇 | () 建居内 | 0 | 使同外 | |
| 部 5.1 条 - 16 子前放軸 | 冷却機能が健全 である場合) | 称納容器スプレイ冷却器 | 常設重大非紡績和設備 | A/B | 0 | を見る | 0 28 | () () () () () () () () () () () () () (| PARA C | о M | 缝屋内 | 0 | 建居内 | 0 18 | <u>Ф</u> ЕМ 0 | PL REPA | 0 | 他是内 | 0 | 能用内 | 0 | C MINA | の時間 | 0 | 内部国 | |
| 容器下部の溶融が込を 冷却するための設備 | 代替絵納容器ス プレイ (代替C | 代料格納容器スプレイボンプ | 常設重大非結截和設備 | R/B | 0 | 建成内 | 88 () | 建屋内 | A MARIN | ر الا | 建屋内 | 0 | 继属内 | <u>ی</u> | 建屋内 | A SENETH | 0 | 建屋内 | 0 | 的制品 | N | 1. Mikily | C REMM | 0 | 建树外 | |
| | SP) (交流動力電源 及75位子が油機 | 燃料収替用水ビット | 常設重大事結緩和設備 | R/B | 0 | 建居内 | | 途屋内 〇 | 0 SBRIN | ря I | 建居内 | 0 | 建内 | <u>گ</u> | <u>ф</u> ын | (জালান | 0 | 進展内 | 0 | 能用件 | 0 | <u>е</u> нии О | 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 0 | 使同内 | 1051 |
| | 冷却機能が健全 である場合) | イベコオ装饰映 | 常設重大非均緩和設備 | R/B | 0 | 시관(중) | 0 | 한편화 | NINTE C | о M | 使居内 | 0 | 何對要 | 0 | () (111) () (111) () | 「小田邸」(| 0 | 同語發 | 0 | 년팔광 | 1 | O MHH | 이원종 (| 0 | 使同外 | |
| 民例 〇:谷外館非線に対し安全機能を維持できる | 対し安全機能を維 | 오루고생 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

KM の1、各外の中家におくどや暖暖を出せてきる XL 名から中来におくどを暖止た場合でも、おらする認い基準弁金値記者外部事業にした今晩後を離社できる(防止設備) XL 各外係事業などより組体を考慮して、代料設備による機能解決や交差人上と第のかい期間での修設での対応が可能(厳和設備、防止でも緩和でもない設備) 一:他の頂目にて発現 ※ R 0 : 以子が注意、AB : 成子の補助虚化、C / : 以子が常新活品、BC8 : ディーゼみを電機整局、OP/8 : 納異水ドンプ速量

| | | | | | | | | | | | | 自然現象 | 自然現象による影響 | | | | | | | | | % | 外部人為事金による影響 | 「名影響 | | Ĩ |
|--|-----------------------------------|---------------------------------------|---|-------|----------|----------------|--|------------------|-------------|----|------|------------------------|---|---|--------------------------|----------------------|----|-----------------|--------|--|------------------------------|---------------------------|-------------|------------------|--------|--------|
| 22223年=136761 | | 重大事情的外级最短期 | 分類 | 保管·設置 | 属 (台 | (台風) | 驼路 | | 建物 | | 降水 | 8 | 執当 | 推推 | | 火山の影響 | 4 | 物学的事象 | 林林 | 森林火災 | 体死 | | 近隣工場等の火災 | 火災 | 有能ガス | Ĩ. |
| | | | | | 24 B5 | 法 | 課 価 防護方法 | 5法 詳 佰 | _ | 推進 | 訪護方法 | 詳 値 | 坊法 | 游 術 助義方法 | 方法 詳 | \vdash | 推進 | 訪護方法 | ¥ 値 | 法 | 將 備 助養方法 | 加法研 | | (法 部 | 助義方法 | 诜 |
| | 代替統納容器ス プレイ(代替C SD)(中4605 | 代特格納容器スプレイボンプ | 常設重大非总統和設備 | R/B | 1 | 使用为 | | (M) | 何到到 | 0 | 继星内 | 0 | 後屋内 〇 | | 0 Ma | が習得 | 0 | 低星内 | 0 | 發展內 | 0 | O MR | 建屋内 | м 0 | 建同内 | Ч |
| 第51条 原子が除納 容器下部の溶融が込を 冷却するための設備 | 题() (全交流動力能 | 燃料取得用水ビット | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 1 | 内洲亚 | 建屋内 | 0 M | 机制度 | 0 | 建居内 | 0 | 後尾内 | · · · · · | eps | を転付 | 0 | 继星内 | 0 | 使同时 | 0 | O Mara | 신제공 | M O | 和影响 | Ч |
| | 黨又は原子如補 機治加機能喪失 時) | 補助給水ビット | 常設重大非易緩和設備 | R/B | 1 | 机制制 | দাস্রক্ষ 🔷 |) HI | 54254335 | 0 | 他開始 | 0 | 修足内 (| শেষক্ষ 🔷 | O MB | NI MARK | 0 | 使服务 | 0 | ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~ | MH I | O Ma | দালক্ষ 🔤 | 0 W | 内的事 | h |
| | 水素濃度低減 (原子炉格納容 | | 常設重大非結緩和設備 | c/V | 0 | 使用内 | () 建屋内 | 0 M | 使用内 | 0 | 後屋内 | 0 | 建屋内 〇 | () 建屋内 | eih 🕓 | を見てい | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 181 | 使同内 | 後屋内 | м 0 | 建同外 | Ч |
| | 器内水素処理袋 部() | 原子が格納容器内水素処理装置 温度 | 常設重大事場緩和設備 | 0 N3 | 1 | 여善家 | | O M | 使困惑 | 0 | 使星内 | 0 | 11111 | 使用剤 | <u>।</u> | を見てい | 0 | 建屋内 | 0 | 同時要 | 0 | еви 0 | 後居内 | M 0 | 使图码 | ħ |
| | 水素濃度低減 | 格納容器水素イグナイタ | 常設重大非結緩和設備 | 0 N/3 | 0 | 建居内 | 이 建료内 | 0 M | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | ・ 建国内 〇 | 전문内 | Ma | 後屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | MENT | ● 建居内 | O MB | 使困难 | A 0 | 使品处 | R |
| | (特徴容器水素 イグナイタ | 格納容器水素イグナイタ温度 | 常設重大非結緩和設備 | c/v | 0 | 処居内 | · · · · · · · · · · · · · · · | 0 M | 使尿内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建居内 〇 | 26.14 (1974) | O M≊ | 後尾内 | 0 | 建屋内 | 0 | Manag | O & REM | eth O | MHR | A 0 | 使用型 | ħ |
| 第52条 水素硼化厂 | | 可機関格納容器内水素濃度計測 ユニット | 可機型重大非结等対処設備 (截在) | R/B | | 建屋内 | () 建原内 | 0 M | 使同功 | 0 | 建居内 | 0 | 建屋内 〇 | () 建居内 | Ma | ABRIN (| 0 | 建星内 | 0 | 使用的 | 6 建居内 | eth O | 金属内 | M 0 | 科特科理 | N |
| よる原子炉格納容器の 破損を防止するための | | 可機型ガスサンプル冷却器用冷 却ポンプ | 可機型重大非结等対処決備 (截年) | R/B (| 0 | 如图题 | M国歌 | 0 M | い言葉 | 0 | 使居内 | 0 | · (1) | () 建居内 | O MB | が対象 | 0 | 随星内 | 0 | Manas | MBH BB O | O MB | MHR | 0 W | 内部事 | W |
| 設備 | | 可機型代替ガスサンプリング圧 縮装置 | 可機型重大非结等対処設備 (截年) | R/B (| 0 | 使居内 | () 建屋内 | O MI | 包括 | 0 | 使居内 | 0 | · 전문서 (| の建築 | <u>े</u> भ | M MARK | 0 | 使星的 | 0 | 신권광 | MBB O | O MB | 使用持 | о М | 사태공 | N |
| | 水素濃度監視 | 格納容器空気サンプルライン編 離分操作用可機型塗素ガスボン ペ | 可搬型重大非总等对処政備 (緩和) | R/B | 7 | Marg | 서 품종 | ି ମ ା | দে শ্রুৱন্ত | 0 | 建屋内 | 0 | (전문) | 년물화 〇 | O Ma | N/MAR | 0 | 使屠凶 | 0 | Manas | দাশক্ষ 🛛 🔿 | O MR | দালক | 0 W | NPN 35 | ħ |
| | | 可機型大型送水ボンプ車 | 可撤型重大非益等对処设備 (截和) | 居外 (| 0 # 9 | 影響なし (BB酸等) | () 分散配置 | 15 N | 影響なし | 0 | 影響なし | ** ∰ 0 | 影響なし (適切に除雪) (| ○ 分散配置 | RUN O |) 影響なし (適切に酔尻) | 0 | 影響なし (開口部関止) | 0 | 助火带内 (分散配置) | 0 <u>948697</u> | O MAN | 分散起资 | 0 387 | 分散配置 | 185 |
| | | 格納容器等Ⅲ気ガス試料採取設 億 | 常設重大非紡績和設備 | R/B | 0 | | () 建屋内 | 0 MI | 使居内 | 0 | 建星内 | 0 | | () 建屋内 | 0 Mile | が困惑 | 0 | 缝星内 | 0 | | 0 2 8.EM | O Mile | 修星内 | о к | 科学者 | T. |
| | アニュラス空気 浄化設備による | アニュラス党気楽化ファン | 常設重大非均緩和設備 | R/B | 0 | দাস্রায় | শেল্লন্দ্র | O 643 | দা শ্রম্য | 0 | 使困难 | 0 | · (1997) | দান্দ্রন্থ 🔿 | 0 Ma | Phi Hanga | 0 | 使困难 | 0 | পশ্ৰায় | 1987 O | ি শিলগ্র | PANAR C | м 0 | NBIT | R |
| | 水素排出 (交流動力電源 B.rednosemists | アニュラス空気浄化フィルタユ ニット | 常設重大事為緩和設備 | R/B | 1 | 经居内 | 0 SEL | <u>е</u> ми () | 他喝內 | 0 | 建居内 | 0 | 建屋内 | が見違い | 0 Mil | NI PROFESSION | 0 | 他展内 | 0 | 「「「「」」 | 133 | 64844 | 「「「「「」」」 | о <mark>и</mark> | 建局村 | W |
| 第53条 水素硼強に | <u>他全である場</u> 合) | 排风筒 | 常設重大非佔緩和設備 | | | 影響なし | 〇 補修を実施 | :実施 〇 | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | (1)(1)(2)(3)(4)(4)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5) | \$r 0 | > 影響なし | 0 | 影響なし | • | 影響なし (| 「影響なし | ær O | 影響な | c 13 | 影響なし | ŗ |
| よる原子が建屋等の損 傷を防止するための設 | アニュラス塗気 浄化調備による | Bーアニュラス空気浄化ファン | 常設重大事品緩和設備 | R/B (| 0 | 使品内 | () 建屋内 | O MI | 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 後足内 (| () 後居内 | Mail | を見てい | 0 | 建屋内 | 0 | 经局付 | NRM O | O MB | 後居内 | м | 使同外 | Ч |
| (II) | 水素排出 (全交彩動力法 | Bーアニュラス空気浄化フィル タユニット | 常設重大非結緩和設備 | R/B | 0 | 如当家 | (전품화) | O M3 | 如對我 | 0 | 使星内 | 0 | (111) (111) | ゆ国歌 | o Ma | 使用剤 | 0 | 建星内 | 0 | NET | мва 8 | O MB | (전쟁 | M 0 | 사반자공 | N |
| | 縦又は直流電源 が喪失した場 | アニュラス全量排気介操作用可 機型窒素ガスボンベ | 可推想重大非结等对処设值 (截和) | R/B (| 1 | Mark | M M M M | O M | 材料研 | 0 | 使尿内 | 0 |) · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | দায়ক্ষ 🔿 | O MB | M MARK | 0 | 使尿内 | 0 | Manas | O BENN | O MR | Millia | 0 W | 化物研 | ħ |
| | 合) | 排気筒 | 常設重大非結緩和設備 | 屋外(| - | 影響なし | ○ 袖修を実施 | :実施 〇 | 影響なし | 0 | 影響なし | • | 影響なし | 影響なし | te () | > 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし(| () 影響なし | tat O | いた。 | c 0 | 影響なし | د د |
| | 水素濃度整視 | 可接型アニュラス水素濃度計測 ユニット | 可機型重大非結等対処設備 (截和) | R/B | 0 | 建屋内 | 施료内 | iria 🛛 | 继星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | () 後료内 | е ма | | 0 | 继星内 | 0 | 修居内 | Ф.К.И. | eth O | 使用内 | м 0 | 建局内 | Ч |
| | 使用済燃料ビッ トへの注水 | 可機性大型送水ボンブ車 | 可操型重大非结等对如政備 (防止) | R# | 0 | 影響なし (国時等) | O 5000 00000000000000000000000000000000 | 0 MW | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) 〇 | >) 秋極部 | () Miles | 単語なし (適切に除成) | 0 | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火带内 (分散危险) | 0 30版 | 分散起置 | 分散配置 | 1 0 | 分散配置 | 180 |
| | 使用済燃料ビッ | 可機型大型送水ポンプ車 | 可機型重大非易等対処設備 (截和) | | 0 #8 | 影響なし (国時等) | O 5000 Kinitist | 0 MW | お響なし | 0 | 影響なし | * % | 影響なし (適切に除雪) | 分散配置 | ○ 2.87 | > 影響なし (適切に除成) | 0 | 影響なし (別口部関止) | 0 | 防火带内 (分散起置) | 0 9.18.6438 | O MAN | 50 BK MURK | 0 387 | 动散配器 | 745 |
| | 1-222111 | 可援型スプレイノズル | 可機型重大非结等対処設備 (緩和) | 屋外 | 0 # 9 | 影響なし (回動等) | 分散配置 | 15 N | 影響なし | 0 | 影響なし | ** § | | 分散配置 | د الا | | 0 | 影響なし (開口部関止) | 0 | - | O SPIRATE | O MIN | 分散和部 | C MR | 分散配置 | 1.M.S |
| 第54条 使用清燃料 | 线科K线梯(第 | 可機型大容量海水送水ポンプ車 | 可機型重大非结等対処設備 (截和) | E4 | 0 # 8 | 影響なし (国時等) | 分散配置 | 0 MR | 影響なし | 0 | 影響なし | ** g | | ○ 分散配置 | O MIN | - | 0 | 影響なし (開口部関止) | 0 | 1 | O SHKAUR | O MAN | 分散配置 | 0 200 | 分散配置 | M |
| 貯蔵槽の治却等のため の設備 | 版曲1488時1年 等) ~の放水 | 放水磁 | 可機型重大非结等対処設備 (截年) | E# | 0 | 影響なし (BBB等) | 0 34184 | 311KR4# | 影響なし | 0 | 影響なし | ** 8 9 0 | 影響なし (適切に除雪) (| 分散配置 | () MW | > 影響なし (適切に除成) | 0 | 影響なし (開口當関止) | 0 | 助火带内 (分散起置) | 0 <u>9 18 69 18</u> | O MAN | 分散配置 | aw o | 分散危险 | W. |
| | る戸林線紀田の | 使用済態料ビット水位 (MHH) | 常設備實重要重大地執助止 設備以外の 常設重大事局助止設備 常設重大事局額和設備 | R/B | N | 修用内 | () 建层内 | O MI | 他是内 | 0 | 進展內 | 0 | | 後展内 | 0 File | 後期内 | 0 | 继尾内 | 0 | 建品内 | 0 BERM | ein O | 後展内 | м 0 | 後周外 | v |
| | 税還のト | 使用済営科ビット水位 (可載型) | 可機型重大事結等対処設備 (防止・緩和) | R/B | | 서범죄 | 金星内 | O MI | 使居内 | 0 | 机制造 | 0 | 途居内 | 後星内 | 이 테르 | 後期内 | 0 | 建居内 | 0 | 「「「「」」 | 使用内 | O Ma | 经居内 | A 0 | 和图象 | F. |
| n tei ⊖ • A tei service - et i di Alieve÷ en | | | | | | | | | | | | | | | | | 1 | | | | | | | | | 1 |

人内 〇:各外市体をに対しな全地能化を組みでもる 又は各外市体をによる相似を考慮した場合でも、対応する設計基準対象施設が各外部事業に対しな分娩能を組持できる(以上型鋼) 又は各外市体をにより相似を考慮して、特別2時による機能加持や安全上支部のない加密での修復等の対応が可能(施設部)。 一:他の加訂でて管理 米 泡油:低子が建築」、N1:低子が清助地振用。LN1:低子が精動指出。DG1:ディーゼネ発信機構成品、ロP/9:K高級未出アプ建築

共-7-18

| | | | | | | | | | | | | 自然現象 | 自然現象による影響 | | | | | | | | | * | 外部人為事象による影響 | 業項をよっ | | Ĩ |
|-------------------------|--|--|---|---------------|-------------------|------------------|---|-----------------|--------------------------|--------------|---------|-------|------------------------------------|-----------------|---|---|---|-----------------|----|-----------------|-----|---------|--------------|--|------------------------|---------|
| 2423年9月44年 | | 重大事時使等封建設備 | 分類 | 保管• 設置 参加* | 属 (台風) | 台風) | 金客 | H | 報送 | H | 縣木 | | 執当 | 務借 | 4 | 火山の影響 | <u>ية</u> | 生物学的事象 | | 森林火災 | 4 | 研究 | 近隣工場等の火災 | の火災 | 有能ガス | Х |
| | | | | | 新館 | 防護方法 | 辞 価 協護方法 | 新新 | F 助義方法 | 法解 | | 推進 | 防護方法 | 314 416 1032 | 防能方法 ³ | # 防護方法 価 | が法部 | 訪護方法 | 推進 | 防護方法 | 祥 臣 | 助義方法 | IF ISA | 15. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18. 18 | 淋 助義 | 訪幾方法 |
| 第54条 使用清燥料 | | 使用済営林ビット構成 (All HI) | 常設備使重要重大地協訪止 設備以外の 常設重大事局防止設備 常設重大事局越和設備 | R/B | • | 他同时 | · · | 0 MI | Fri Hallis | ч 0 | い智慧 | 0 | 使居内 | · 御 | 後尾内 | · · · · · · · · · · · · · · · | भ | 何别意 | 0 | 使用的 | 0 | 신원광 | 0 8 | 建居内 | 0 BBH | 桥桥桥 |
| 野蔵槽の冷却等のため の設備 | 使用派題科ビットの監視 | 使用済燃料ビット可搬型エリア モニタ | 可搬型重大事故等对処股值 (防止・緩和) | R/B A/B | • |) (네)) | が困惑 | 0 MI | · 전환화 | о h | 使困难 | 0 | 使星内 | <u>ه</u> |) · 년 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 | দাস্রক্ষ 🔿 | <u>्</u> र | 包雪赛 | 0 | MIMUS | 0 | 신려좌 | ه | 1 Millia | 133 | 内部国 |
| | | 使用済穂料ビット監視カメラ (使用済穂料ビット監視カメラ 空治装置(注)を含む。) | 常設重大非結緩和設備 | | · | 「「「「」」 | · 28년 14 | ্ | 「「「「」」を見る | <u>о</u> | 建内 | 0 | 缝尾内 | <u>برا</u> | 建居内 | 「「「「」」を見る | ্ | 缝尾内 | 0 | 환태현 | 0 | 建居内 | 0 | 登내 어 〇 | 0 | 使同外 |
| | 大気への格散着 創 (からの者しい) | 可機型大容量海水送水ポンプ車 | 可搬型 重大 非易等 科処設備 (截和) | 展外 | | 総響なし (N4444年) | 分散配置 | | 影響なし | ں بر | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 0 | 31KRUR | ○ ○ (適切に除死) | し () () () () () () () () () () () () () | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火带内 (分散配置) | 0 | 分散配置 | 0 348 | 3 IRAUR | | 分散配置 |
| | | 飲水稻 | 可接受重大事品等对処款值 (截年) | 展外 | <u>ی</u> بود ا | 影響なし (国御等) | 分散配部 | 0 6156 | () 影響な(| ہ د | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に称当) | 。 第 | 分散配置 | ・ 影響なし ・ 適切に除成) | ਂ 1 (ऑ-18 | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火带内 (分散私置) | 0 | 分散配置 | 0 201 | 分散配置 | | 分散配置 |
| | 流洋への乾俵御 詞 (がえのましい 損傷時及び原子 が絡動容認の彼 植時) | 放动性物質吸收剂剂 | 可被型重大非易等转包设备 (截条) | 屈外 (地下) | ** O | 影響なし | 総勝なし | ر بر | (注意) | ۰ ب | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし | 総構なし ○ | د بر | 部務なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響ない | | 総勝なし | | 縦響なし |
| | 大気への被散着 割 (使用済燃料ビ | 可被型大型送水ポンプ車 | 可搬型 北大非易等并処設備 (截年) | 居外 | 0 | 影響なし (BBB等) | 0 34K6428 | 0 61% | 影響なし | ں ب | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除信) | 3 | 分散配置 | 総載なし (適切に際尻) |) الا الا | 影響なし (開口第閉止) | 0 | 防火排丹 (分散起罪) | 0 | 分散重置 | 24 | 37 IK NO 1 | 0 分散 | 分散配置 |
| 第55条 工場等外へ | ット内燃料体等 の者しい組偽 時) | ルズノナイズな酒種垣 | 可撤理重大非劫等对処設備 (截和) | 展外 | 34 ¹⁰ | 影響なし (国時等) | 分散配置 | ۰ ۳۳ | いたり | ں بر | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 。 第 | 分散配置 | ・ 影響なし ・ ・ (通知に除成) ・ ・ ・ | े भूभ | 影響なし (開口部閉止) | 0 | 防火带内 (分散起置) | 0 | 分散產業 | 0.04 | 分散起罪 | 分散 | 分散配置 |
| の飲料性物質の施設を 抑制するための設備 | 大気への核散御 創 (他田済戦林ビ | 可機型大容量海水送水ポンプ車 | 可操想重大非易等对処设备 (截和) | 居外 | 0 | 影響なし (国時等) | 分散配部 | 0 81% |) 影響な(| ہ د | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 3 | 3-Weight (| 影響なし (適切に除成) | ں بر (Xi | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火带内 (分散起罪() | 0 | 分散看望 | 94 | 9 IKEE | 分散 | 分散配置 |
| | | bit Asili | 可接望 武大 华劫等 於処設備 (載年) | 展外 | 0 # 5 | 影響なし (国政等) | 分散配置 | 0 61% | 影響なし | ہ در | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | · 第 | 分散配置 | 影響なし (適切に除尻) | ् भ | 影響なし (開口第四止) | 0 | 防火带内 (分散起置) | 0 | 分散產業 | 54 | SP IK NOW | 公務会 | 分散配置 |
| | 第洋への乾限部 司 (使用決整料ビ ット内整料体等 の者しい組織 時) | 网络动物动物动物 | 可被型重大市动等对包设值 (鉱作) | 尾外 (地下) | | 総書なし | 総勝なし 総勝なし | ر بر به | 2000 総勝なし | ۰ ڊ | 総響なし | 0 | 影響なし | | 2.1 | 振繕なし () | د بر | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 怒舞なし | 0 | 影響なし | 第 3 3 3 3 | 影響なし |
| | | 可機型大容量海水送水ボンプ車 | 可搬型重大非结等并処設備 (截和) | 展外 | 0 | 影響なし (BB時等) | 分散配置 | еж () | > 影響な(| о 1: | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除信) | 0 34 | AIKRUN (| 影響なし (適切に除展) | ы. 1998) | 影響なし (明口第関止) | 0 | 助火排内 (分散起置) | 0 | 分散和部 | 0 21 | SHKREW C | () 分散 | 分散配置 |
| | 航空機器科火災 への泡消火 | 融水湖 | 可搬现重大事品等对処股值 (截年) | 16.4 | | 影響なし (国脚等) | () 分散配置 | 0 MB | () 新舞な(| о 1: | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 0 | 31KRW | 影響なし (適切に除展) | ید (Magenta) | 北暦なし (開口部開止) | 0 | 訪火带內 (分散起置) | 0 | 分散重要 | 0 21 | 9 IKER | | 分散危险 |
| | | 빯쟱븃꽎핞 | 可搬型重大事品等对処股值 (截年) | 16世 | 0 33 10 | 影響なし (国動等) | 0 348.64287 | 0 MR | の時間なし | о <u>1</u> ; | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 0 | 311KNUW | |) (Mwi ۱۳ | (刊協憲口組) つな暴奪 | 0 | 訪火排內 (分散起置) | 0 | 分散而到代 | 0 34 | 分散配置 | 0 21版 | 分散配置 |
| | | 燃料取得用水ビット | 常設耐貴重要重大事材的止 設備 | R/B | • | B RM | () 建居内 | (M | A BERM | 4 O | 绝星内 | 0 | 缝尾内 | ۰ گ | 施屋内 (| () 建居内 | о м | 缝尾内 | 0 | 能保持 | 0 | 化内 | 0 | 16 MH | 0 184 | 金田州 |
| | ーの(糸の) イー ドアンドブリー ド | 高圧注入ポンプ | 常設耐貨重要重大事材的止 設備 | A/B | 1 | を見る | () 建原内 | (M | Print C | ч р | 绝星内 | 0 | 建屋内 | ۵ ۴ | 修用内 | N MARIN | о м | 建屋内 | 0 | 使用内 | 0 | 机制建 | 0 | ШRM C | 0 <u>1</u> | 使用剂 |
| | £ | 加圧器逃がしか | 常設個遺重要重大事結防止 設備 | C/V | 0 | 建星内 | · · · · · · · · · · · · · · · | (M | M HORE | о ł | 他是他 | 0 | 建屋内 | ۰ گ | 金星内 (| の開催 | о м | 建屋内 | 0 | 使用内 | 0 | 化制度 | 0 28 | SENRIM C | 0 264 | AP HILA |
| 第56条 重大非战等 | ー次系のフィー ドアンドブリー ド | ほう酸注入タンク | 常設耐費重要重大非均衡止 設備 | A/B | • |) দাশক্য | 년 11월 11월 11월 11월 11월 11월 11월 11월 11월 11 | <u></u> | দাসক্ষ | о К | 如對我 | 0 | 년濟家 | <u>ال</u> |) 서관광 | 태 왕 | े इ. | 使困避 | 0 | Manas | 0 | 秘制發 | 0 \$ | WH C | 0 | 内容性毒 |
| の現象に必要となる休 の供給設備 | 海水を用いた袖 助給水ビットへ の油給 | 可機程大型送水ポンプ車 | 可搬型重大事品等对処设值 (防止) | 展外 | 34 ¹⁰ | 総勝なし (国御等) | 0 341KAU2 | 0 MR | 影響なし | ر بر | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 38 | SHERE C | | ് പുട്ടു () എടും | 影響なし (開口窓閉止) | 0 | 防火带内 (分散配置) | 0 | 3-IKASK | 0 54 | 57 IK M 7 | 分散 | 分散危险 |
| | 燃料収替用水ビ ットから補助給 | 補助給水ビット | 常設備該重要重大事場防止 設備 常設重大事場緩和設備 | R/B | • |) NBB | · 68년 14 |) _{테키} | দা স্থায় 🖉 | - Fr | 使居内 | 0 | 使困避 | <u>ل</u> ة | · 전문년 | দান্নক্স | ି ୟ | 缝尾内 | 0 | 使服闷 | 0 | 使同归 | 0 6 | - 탄환황 | | 化物质 |
| | 水ビットへの水 減切替 | 代料絡納容器スプレイボンプ | 常設耐能重要重大非規約止 設備 常設重大非易緩和設備 | R/B | ° | 動品内 | () 建居内 | · ~ ~ | を記述 | h () | 進星内 | 0 | 進屋内 | 0 1 | 환 류内 | 0 SBRIM | े स्र | 继属内 | 0 | 修品内 | 0 | 能居内 | 0 8 | 登내어 〇 | 0 MB H | 使用内 |
| 凡例 〇:各外當非象6 又は各外當非 | こ対し安全機能を維持 (象による損傷を考慮) | 民間○:各外部弁察に対し次会機能を組みできる スは各分の第十条にある目的をき返した知みでも、対応する認証从明対象施設が各外部作家に対し安全機能を組みできる(防止記憶) | 男対象施設が各外部事象に対し | 安全機能を維持。 | できる (財 | 5止認知) | | | | (注): 侠 | 団造燃料ビット | 監視カメラ | (注):他用清燃料ビット監視カメラ空冷装置は可能型重大事故等対処設備 | 型重大事故 | 等対処設備 | | | | | | | | | | | |

共-7-19

| | | | | | | | | | | | X+921 | 目的現象による影響 | | | | | | | | | 外部人。 | 外部人為事象による影響 | | |
|---|-------------------------------|------------------------|----------------------------------|--|---|---|------------------------|----|--------|---|-------|-----------------|---|---|---|----------|-----------------|----------|------------------|---|------|------------------------|----|-----------------------|
| 3423年4月基準 | <u>a</u> | 重大事故等对处認知 | 分散 | 保管·設置 | 風 (台風) | | 能够 | | 経営 | 降水 | | 截雪 | 業 | \mid | 火山の影響 | र र | 制作的非象 | 44 | 旋林火災 | 体死 | 近期 | 日期等の火災 | 4 | 任能ガス |
| | | | | | 絆 防護方法 価 | _{方法} 詳 佰 | 防護方法 | 建価 | 防護方法 | 湃 慲 | 推進 | 防護方法 | 游 防護方法 循 | (注 第 | 助義方法 | 推進 | 防護方法 | 推進 | 助進方法 | 將 助進力法 | 計構 | 防蔑方法 | 建築 | 助義方法 |
| (1)(2)(3)(3)(3)(4)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5) | 燃料取得用水ビ ットから海水へ の水説切替 | 可接根大型送水ボンブ車 | 可撤费重大事场等对组設備 (防止) | 服外 | 総響なし (回時時等) | なし 1巻) 〇 | 分散配置 | 0 | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 0 幼骸龟翼 |) wi | 単語なし (通切に除尻) | ۰ ۲ | 影響なし (開口部閉止) | 0 | 訪火带内 分散配置) | 分散角梁 | 0 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| 第末: 株式(トへ。 | 縦水を用いた熱 料収待用水ビッ □ トへの補給 | 可接型大型送水ボンプ車 | 可機度重大非易等対処設備 (協止・載和) |) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | (金銅組) つな器组 () | なし (物) | 分散配置 | 0 | 影響なし | | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 分散起罪 | |) 影響なし (適切に除尻) | ् . अ | 影響なし (開口部閉止) | 0 | 助火带内 (分散和202) | 0 39 RK M3K | 0 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| | | B -格納容器スプレイポンプ | 常設解读重要重大事構成止 設備 | A/B (| 0 SB4 | ি পালক | 發展內 | 0 | 使用内 | 後屋内 | 0 | 建屋内 | () 建居内 | ہ ہ | N MAR | 0 | 建星内 | 0 | 5 Hilling | 0 BERM | 0 | 建星内 | 0 | 他叫叫 |
| 代格》 | E | 呂-格納容器スプレイ冷却器 | 常設個谈重要重大事結防止 設備 | A/B | 0 <u>8</u> 84 | ি পাশক | 使困惑 | 0 | 机制度 | の基準内 | 0 | 缝屋内 | () 建屋内 | े स | 利用剤 | 0 | 使尿内 | 0 | 탄탄관 | () 환료/M | 0 | 建居内 | 0 | 经局内 |
| (B) | | B-格納容器再新環サンプ | 常設解读重要重大事構動止 設備 | 0 N3 | 0 3 8H | 씨범장 | 使困惑 | 0 | 使困境 | () 建屋内 | 0 | 缝屋内 | () 建居内 | े स | 修正的 | 0 | 建屋内 | 0 | 使用外 | MHW O | 0 | 建居内 | 0 | 经局付 |
| | 1 | B-格納容器再循環サンプスク リーン | 常設解读重要重大事構防止 設備 | c/V | 0 2 84 | (한국) 신 (한국) (한국) (한국) (한국) (한국) (한국) (한국) (한국) | 建屋内 | 0 | 建屋内 | () 建屋内 | 0 | 建屋内 | () 建屋内 | ه ۲ | が皆要く | 0 | 使星内 | 0 | 使同外 | (한편) | 0 | 建居内 | 0 | 建同外 |
| | 7 | A-高圧注入ポンプ | 常設耐貴重要重大事場訪止 設備 | 9/B | - 1 | ি পালক্ষ | 네酒癖 | 0 | 内洲亚 | দান্সক্র 🛛 | 0 | 树香菇 | দান্দ্রন্থ 🔿 | ы N | দাসক্র | 0 | 使尿内 | 0 | ~ 년생공 | MBN III | 0 | 使图示 | 0 | 사하고 |
| | 14. | 可搬型大型送水ボンプ車 | 可搬型重大非易等对包装备 (防止) | 展外 | 影響なし (原酬報等) | なし (薬) | 分散配置 | 0 | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 0 分散配置 | <u>ः</u> | 総響なし(適切に除尻) | े . इ | 影響なし (開口部閉止) | • D | 助火带内 (分散起置) | 0 <u>948698</u> | 0 | 分散起置 | 0 | 分散配置 |
| 東大事政等要となる水 | 代替再销票进标 (A-SIP) | A-格納容器再新環サンプ | 常設銅貨重要重大非胡防止 設備 | c/v | の経済 | O MI | 發展內 | 0 | ALC: N | () 建屋内 | 0 | 缝尾内 | 建屋内 | ۰ ۲ | M M M | 0 | 使尿内 | 0 | 机制制 | Manas | 0 | 建居内 | 0 | 经济利益 |
| 1012011020110201100 | 1 | A 一格納容器再循環サンプスク リーン | 常設個貴重要重大事構動止 設備 | c/V (| 0 <u>1</u> | () () () () () () () () () () () () () (| 發展內 | 0 | 他同时 | 金星内 | 0 | 建屋内 | () 後屋内 | м 0 | が出現 | 0 | 他居内 | 0 | 使居内 | の 建品内 | 0 | 建品内 | 0 | 能同内 |
| | ** | ほう酸注入タンク | 常設個貨重要重大事場訪止 設備 | A/B | 0 ABH | ি পালক্ষ | 句習發 | 0 | 同時頃 | () 继묘内 | 0 | 使居内 | 년 西亚 | м | N MEN | 0 | 绝尾内 | 0 | M관광 | МНЖ 0 | 0 | 秘密 | 0 | 经局付 |
| 新用いた。 | 第★や用いた使 田滨燃料パット Ⅲ への沿米 | 可被型大型送水ポンプ車 | 可撤型重大非易等对包款值 (防止) | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | ○ 総響なし (回時等) | なし (物) | 分散配置 | 0 | 影響なし | ○ 総響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 分散配置 | | 総響なし (適切に除成) | <u>ः</u> | 影響なし (開口部閉止) | 0 | 防火带内 (分散危险) | 0 SHKAUN | 0 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| 60.00 | 使用済営科ビッ | 可被型大型送水ポンプ車 | 可機型重大非益等対処設備 (截在) | 居外 | 影響なし (18曲等) | なし (薬) | 分散配置 | 0 | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし 適切に除す) | ○ 幼骸配置 | ۰ ۲ | ・ | े . व | 影響なし (開口部関止) | • D | 助火排内 (分散起跑) | 分散風災 | 0 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| <u>`</u> | | 可機型スプレイノズル | 可接到重大非易等对包设值 (截4) | 展外 | 総響なし (原動電等) | なし (薬) | 分散配置 | 0 | 影響なし | 影響なし | 0 | _ | 0 分散配置 | <u>ः</u> | | े . इ | 影響なし (開口部関止) | • S 0 | | 分散角型 | 0 | 分散起置 | 0 | 分散配置 |
| 验料1 | 82 | 可機型大容量液水送水ポンプ車 | 可搬型重大非结等对処股值 (截和) | - 1 | ・ ・ | なし 1巻) 〇 | 动物植物 | 0 | 影響なし | | 0 | 影響なし (適切に除す) | ○ 幼骸配器 | े आ | 影響なし(適切に除灰) | 0 | 影響なし (開口第関止) | 0 | 助火带内 (分散起置) | 0 9 IK 632 | 0 | 分散配置 | 0 | 分散危险 |
| (数件) (容) | 成用1455年(本 等) ~の放水 | 放水稻 | 可被型重大非结等对処設備 (截和) | 居外 | 影響なし (回時等) | なし 1巻) | 分散配置 | 0 | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 分散配置 | ر ۲۳ | ・ | े . अ | 影響なし (開口部関止) | 0 | 1 | O SHEADER | 0 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| 展开, | | 可機質大容量商水送水ボンプ車 | 可搬型重大非结等对処設備 (截和) | 居外 (| 影響なし (回時等) | なじ 〇 11巻) 〇 | 分散配置 | 0 | 影響なし | | 0 | 影響なし (適切に除す) | ○ 幼骸配置 | - wi | 0 | 0 | 影響なし (開口部関止) | 0 | 的火带内 (分散死罪() | 0 34 RK MBW | 0 | 分散配置 | 0 | 分散危险 |
| 800 | 及び7=ユフス 第への放水 1 1 | 放水程 | 可搬型重大非结等共见设值 (截年) | 居外 (| | なし (物) | 分散配置 | 0 | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除す) | ○ 幼骸配置 |) w | 影響なし (適切に除民) | 0 | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火带内 (分散起罩) | 分散電気 | 0 | 分散起置 | 0 | 分散配置 |
| | * | 代特州常用冤電機 | 常設個環重更重大非局的止 設備 常設重大事局越和設備 | 5 % B | () () () () () () () () () () () () () (| なし (等) | 代格設備 (ディーゼル発 電機) | 0 | 影響なし | | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 影響なし 〇 (避住設備) 核地設備) | در 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 - 1000 | | 0 | 影響なし (開口部閉止) | • | 时带对 | 代格設備) (ディーゼ)) 発電機) | 0 44 | 代格設備 (ディーゼル発 電機) | 0 | 代格設備 ディーゼル発 電機) |
| 枝林。 | | 射地温地林鏡線指数水井一ナデ | 4 | (北市) (1) | 影響なし | с 1# | 影響なし | 0 | 影響なし | | 0 | 影響なし | りり前りりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりりり | ਂ 1 | の整整なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | (1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1) | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし |
| 載 (交) の給電 | 5 4 2 | ディーゼル発電機燃料油移送ボ ンプ | 常設個導重要重大非協助止 設備 常設重大事話緩和設備 | 10/B | ۰ ههه | ি পালক | 使居内 | 0 | 机制制 | · 1813년 · 1 | 0 | 村洲蚕 | 년 전 建 政 〇 | े स | W 計算 | 0 | 使屠凶 | 0 | ~ 년환공 | МШ | 0 | 机制制 | 0 | 使同时 |
| 第57条 電源設備 | 12 | 可機型タンクローリー | 可搬型重大非结等对処設備 (防止・緩和) |) 16世 | | なじ (数1) | 分散配置 | 0 | 影響なし | (1)(1)(2)(3)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4)(4) | 0 | 影響なし (適切に除雪) | 分散起避 | ا# | 単語なし (適切に際成) | د ۲ | 影響なし (開口部関止) | • S 0 | [[訪火排]]4 | 2) 分散重祝 | 0 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| | μ. | 可被型代替電流庫 | 可被型重大事品等对処款備 (防止・緩和) | 16M | (登録(4)) (1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(| なし (数) | 分散起置 | 0 | 影響なし | 第響なし | 0 | 影響なし (適切に除す) | ○ 幼骸配器 |) w | 影響なし (適切に酸灰) | 0 | 影響なし (明ロ部関止) | 0 | 防火排列 (分散起置) | 分散角型 | 0 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| - 日 - - - - - - - - - - - - - | 可機型代替電源 車による代替電 | 射地資油特認能認識的消費 | 常設耐濃重要重大非胡紡止 設備 常設重大非胡緩和設備 | (北市) (西下) | | 0 つね | 影響なし | 0 | 影響なし | 1 旅餐なし | 0 | 影響なし | いな難線 | ਂ 1 | の影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | (1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1)(1) | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし |
| 縦 (交) の給電 | | ディーゼル発電機燃料油修送ボ ンプ | 常設個違重要重大非協防止 設備 常設重大事話越和認備 | 102/B | দাস্রন্থ 🔿 | े भ | 서놀좡 | 0 | 同語服 | 한편報 | 0 | 树栖蚕 | নান্দ্রক্ত 🔿 | <u></u> भ | N/MAR (| 0 | 殖屋内 | 0 | Mara | 14191 O | 0 | 机料制 | 0 | 化铅树 |
| | 14 | 可被型タンクローリー | 可搬型重大非常等外包設備 |) 【外】 | 影響なし (1000-0000) | 12 O | 分散起置 | 0 | 影響なし | の職権で | С | 影響なし | 00000000000000000000000000000000000000 | 0 181 | 、影響なし | 0 | 影響なし | C | 防火带内 | C 4416-6117 | C | 211 (1999) 45 | 0 | Co-16-62100 |

| Matrix Matrix< | | | | | | | | | | 自然毛 | 自然現象による影響 | | | | | | | | 外部人為 | 外部人為事象による影響 | - | |
|---|-----------|---|-----------------------|----------------------------------|------|----|-----------------------|----|-----|-----|-----------------|---|------|----------|-----------------|-------|--|-----------------------|--------|------------------------|-----|------------------------|
| Image: constraint of the sector is not in the sec | 設置許可基礎 | | 重大中陆的对处国际的 | 幼園 | | зţ | 论答 | | | | 截雪 | | * | H | 生物学的事象 | | | 研究 | 忽- | 口場等の火災 | 4 | 体ガス |
| the state fragment of the state stat | | | | | _ | | 防護方法 | 詳価 | | | 防護方法 | _ | _ | | 防護方法 | | | 助義方法 | | 防蔑方法 | | 訪義方法 |
| Matrix lattices and analysis of a second and a second | | 蓄電池(非常 用)による直 液電調からの | 蓄電池 (非常用) | 常設制資産要重大非結結止 設備 常設重大事結緩和設備 | | | 机制造 | 0 | | | 建居内 | 0 | | | 使用的 | | | 建居内 | 0 | 建居内 | 0 | 能同外 |
| Image: second | | 新 後備着信池によ る代特信派(直 流)からの給信 | | 常設耐資重要重大非結約止 設備 常設重大事結緩和設備 | | | 继属内 | 0 | | | 後居内 | 0 | | | 建居内 | | 2000 - 100 - | 秘密화 | 0 | 使用的 | 0 | 後開州 |
| Matrix fragments Matrix fragments< | | | 可機型直流電源用途電機 | 可機型重大非結等於処設備 (防止・截和) | | | 分散配置 | | د. | | 影響なし (適切に除雪) | | | <u> </u> | 影響なし (開口部閉止) | | | 分散而望 | 1.000 | 分散配置 | | 分散危深 |
| | | 可機型位流電波 用発電機及び可 細型がかめ期 | | 可操想重大事法等对组设值 (防止+截和) | | | 缝屋内 | 0 | | | 缝屋内 | 0 | | | 继尾内 | | 1.000 | 進星内 | 0 | 建品内 | 0 | 化时间 |
| $ \frac{1}{10000000000000000000000000000000000$ | | me. Findless were による代格電源 (直流)からの 給電 | | 常設個线重要重大非結結止 設備 常設重大事結緩和設備 | | | 影響なし | | | | 影響なし | | | | 影響なし | | | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし |
| $ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | | | 可被型タンクローリー | 可機型重大事結等 其処設備 (防止・截和) | | | 分散配置 | | | | 影響なし (適切に除信) | 0 | | | 影響なし (開口部閉止) | 0 | | 分散過程 | 2200 | 分散配置 | | 分散配置 |
| 4 4 4 6 | | | 代码非常用発電機 | 常設個貴重要重大非規約止 設備 常設重大事易緩和設備 | | | 代格設備 (ディーゼル 電機) | 0 | 2 | | 影響なし (適切に除雪) | 0 | | | 影響なし (開口部閉止) | 0 | 0 | 代書設備 (ディーゼル 電機) | 0 | 代格設備 (ディーゼル発 電機) | 0 | 代特設備 (ディーゼル発 電機) |
| $ \frac{1}{10000000000000000000000000000000000$ | | | 可機型代替電源庫 | 可機型重大事品等於処設備 (防止・緩和) | | | | | | | 影響なし (適切に除雪) | 0 | | | 影響なし (開口窓閉止) | 0 | 1000 | | 11000 | 分散配置 | | 分散配置 |
| Mark for the formation of the form | | | ディーゼル発電機整料油防油構 | 常設耐費重要重大非結結止 設備 常設電大事結緩和設備 | | | 影響なし | | د ا | | 影響なし | | | | 影響なし | | | | 0 | 影響なし | | 影響なし |
| $ \frac{1}{122} 1$ | | 代替所内電気設備による交流の | | 可機型重大事法等对処設備 (防止・緩和) | | | 分散配置 | | د. | | 影響なし (適切に除雪) | | - | | 影響なし (開口第関止) | | 12 - C | | | 分散配置 | | 分散配置 |
| $ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | 第57条 電源設備 | 11 | 代特所内電気設備変圧器 | 常設耐費重要重大非規約止 設備 常設重大事品額和設備 | | | 使展内 | 0 | | | 缝屑内 | 0 | | | 缝屋内 | - | | 村園寨 | 0 | 时图事 | 0 | 内的委 |
| $ \begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$ | | | 化特所内電気設備分電盤 | 常設耐設重要重大非結結止 設備 常設重大生結緩和設備 | | | 继尾内 | 0 | | | 继属内 | 0 | | | 使星的 | | | 使同语 | 0 | 서관雪 | 0 | 化物学 |
| $ \frac{1}{2} - 1$ | | | 代料給納容器スプレイボンプ変 圧器酸 | 常設耐費重要重大非結結止 設備 常設重大事結緩和設備 | | | | 0 | | | 後尾内 | 0 | | | 進屋内 | | 100 | 使用해 | 0 | 途氓内 | 0 | 使用外 |
| (4647 2 7 = 1)- (1687 C 4) (176 C 4) (1896 C 1 (10 - 10)) (1996 C 1 (10 | | 燃料の補給に用 いる設備 (可ment たいか | 1F | 常設耐貴重要重大非結結止 設備 常設重大事結緩和設備 | (地下) | | 影響なし | | د ا | | 影響なし | | | | 影響なし | | | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし |
| $ = \frac{1}{2} - \frac$ | | 1-11-15よる 液み上げ) | | 可操型重大事法等对包设值 (防止+截和) | | | 分散配置 | | د ا | | 影響なし (適切に除雪) | | - | | 影響なし (開口部閉止) | | | 分散通道 | | 分散配置 | | 分散配置 |
| $ \frac{7}{27} - 4 \times 8 \times 10 \times 10 \times 10^{-10} \times 1$ | | 燃料の補給に用 | | 常設個谈重要重大事胡助止 設備 常設重大事結緩和設備 | | | 影響なし | | | | 影響なし | | | | 影響なし | 0.011 | | 影響なし | 0 | 影響なし | 200 | 影響なし |
| 대한민준 2011 대한민준 10 UNPECT U | | この設置 (ディーガラ発 信機感林士等が ようよいドゥスの | | 常設爾貴重要重大非局約止 設備 常設重大事局緩和設備 | | | 後展内 | 0 | | | 建屋内 | 0 | | | 建屋内 | | | 建居内 | 0 | 修品内 | Ö | 建品内 |
| ディーゼルを組織 席28 配換用 C 短編用 C 短編用 C 短編用 C 短編用 C 26 M C 26 26 26 26 26 26 26 26 | | み上げ | | 可機型重大事法等对処設備 (約止・截和) | | | 分散配置 | | | | 影響なし (適切に除雪) | | - | | 影響なし (開口窓閉止) | | 10 - C | 分散通知 | 2000 C | 分散配置 | | 分散配置 |
| ディーセルを定該機能特別的油油 第22番目26年の145月 1 | | | ディーゼル発電機 | 常設個貴重要重大非胡助止 設備 常設重大事結緩和設備 | | | 發展內 | 0 | | | 缝屋内 | 0 | | | 建品 | 1.1.1 | 1000 B | 使困避 | 0 | 建居内 | 0 | 建国内 |
| | | ディーゼル発信 機による給信 | | 常設耐貴重要重大非結結止 設備 常設重大非結緩和設備 | | | 影響なし | | | | 影響なし | | | | 影響なし | | | | | 影響なし | | 影響なし |
| | | | ディーゼル発電機燃料抽移送ボ ンプ | 常設爾貴重要重大非局防止 設備 常設重大事局緩和設備 | | | 途尾内 | 0 | | | 後屋内 | 0 | | | 建屋内 | | 1 | | 0 | 使用内 | 0 | 建同外 |

民間〇:各外部事業に対しな小価値を組防できる 又は各外部事業に注意相優を考慮した場合でも。対応する認計基単計業施設が各外部事業に対し並今機能を値封できる(認力型編) こは各外部事業にごき相優を考慮して、特別2個による機能通信持を安全上支部のない期間での修復等の対応が可能(編和2個) 一、他の項目にて各児 米 なり、第了ゆう健用、N1:第了ゆう補助機構, CN:第子が指摘者出し、DN:ディーゼル発出機構場, CP/8:約5期本は7.2億属

| | | | | | | | | | | | 自然現象に | 自然現象による影響 | | | | | | | | | 外部) | 外部人為非象による影響 | 新田 | | Γ |
|-------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|----------------------------------|-------|-------------------------------|----------|------|---------------|--|-----|----------|--|-----------------|----|-------|-------------|------------|------------------|---|-----------|---------|-------------|----|----------|---|
| 32873年=134795 | | 重大事故等对处理法的 | 3/載 | 保管・設置 | 展 (台風) | | 竜巻 | 報送 | | 降水 | 額 | ÷. | 推推 | * | 構造の目的 | 4:46% | 学的事象 | 森林火災 | ()) | 研究 | 1. T | 韓工場等の火災 | 3 | 有能ガス | Π |
| | | | | | 湃 助義方法 領 | 法律 | 防護方法 | 部 術 助後 | 防装方法 詳 | | 深 値 | 防護方法 靜 | | 新福 | 防漠方法 | 新 第 第 | | ar Da | 時進方法 詳 | | 大 詳 | 防漠方法 | 推進 | 助義方法 | |
| | まで中国やい | 1. 於冷却林温度(広域一高温 側) | 常設耐費重要重大非場防止 設備 常設重大非易緩和設備 | 6/V | MBA | 0 | 经居利 | 0 MB | ি প্রিক্সি | 经居内 | 6 | () 전철왕 | 修理内 | 0 | 绝际内 | 0 | (基本) | 0 | O MBA | Point C | 0 | 建原内 | 0 | 内的事 | |
| | が容器内の面 度) | 1、於冷却林温度(以成一低温 创) | 常設耐度重要重大事場動止 設置 常設重大事格緩和設備 | 0 N3 | দান্সক্র 🖯 | 0 | 서관광 | - M | ি পশ্ৰু | 서발發 | ¥ 0 | 이 서철황 | 년(1919) (| 0 | 网络 | 0 |) 씨쌈활 | - 1 | া শালক | Million C | 0 | MMW | 0 | Prish 33 | |
| | 圧力計測(原子 頻常器内の圧 力) | 1 次冷却林压力(広域) | 常設個貴重要重大非結防止 設備 常設重大非結緩和設備 | 0 N3 | দান্দ্রন্থ 🔿 | 0 | 使苦闷 | | ্ প্লিম্ব | 發展內 | •• • | () () () () () () () () () () () () () (| が苦張 | 0 | 使苦闷 | 0 | 建屋内 | | 0 MBB | 使用的 | 0 | 机图数 | 0 | 1414 | |
| | 木位計測(原子 | 加压器水位 | 常設耐貨重要重大事務防止 設備 | c/V < | () 建居内 | 0 | 建屋内 | 0 101 | ADRIM O | 缝屋内 | • | 金属内 〇 | 後尾内 | 0 | 建局内 | 0 | 建屋内 | <u>ः</u> स् | C MBB | Mana | 0 | 机制载 | 0 | APPA T | |
| | 9.容器内の水 位) | 原子炉管器水位 | 常設耐能重要重大事故防止 設備 | c.v | () 建내어 | 0 | 建屋内 | 0 SBH | ABRIM O | 建屋内 | • | 金属内 〇 | 使用内 | 0 | 使用的 | 0 | 建屋内 | 0 28 | ШRM () | 0 BUN | 0 | 使用内 | 0 | 使用小 | |
| | | 高田注人能量 | 常設耐震重要重大非物防止 設備 常設重大非动感和設備 | A/B | 0 SBRIM | 0 | 建屋内 | 0 SBH | জেল্প 🔾 | 继属内 | 6 | (金属内) ○ | 後尾内 | 0 | 他居内 | 0 | 金屋内 (| 0 8 | © Milita | 6 REM | 0 | 网络 | 0 | NIMAS | |
| | 注水駐計測 (原子炉容器へ | 他居住人能量 | 常設耐波重要重大事場防止 設置 常設重大事品緩和設備 | A/B | দাসক্ষ 🖯 | 0 | 허관국 | 1111 1111 | া পালক | 네酒宴 | ş 0 | 이 서말화 | N I習研研 | 0 | 树洲镇 | 0 | 使居内 | | O Milling | Manage | 0 | 使感到 | 0 | 建树外 | |
| | の注水量) (原子炉格納容 器への注水量) | 代科絵納容器スプレイポンプ出 口名算道量 | 常設耐貴重要重大非趨防止 設備 常設重大非易緩和設備 | A/B | MHHW O | 0 | 经居场 | -198 | 1 1년 (11년 11년 11년 11년 11년 11년 11년 11년 11년 | 發展內 | • • | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | が苦張 | 0 | 稳星内 | 0 | 建居内 | | · 아망하 | 使用的 | 0 | 使居内 | 0 | 使用外 | |
| | | B 一称納容器スプレイ冷却器出 口給算流量(M 用) | 常設耐波重要重大事結构止 設備 常設重大事結緩和設備 | A/B | দান্নক্র 🕓 | 0 | 아콤家 | -148 - | ্য ধ্যমন্ত্র | 经居内 | • | 이 번원화 | 서콤歌 | 0 | 的品质 | 0 | 建居内 | | () () () () () () () () () () () () () (| 建局内 | 0 | 使用内 | 0 | 建码内 | |
| | 温度計測(原子 炉格納容器内の 温度) | 絡納容器内温度 | 常設耐貴重要重大非認防止 設備 常設重大非易緩和設備 | 6/N | · 원태년 | 0 | 修星内 | -1498 | ্রিদ্ধাপ 🔾 | 建居内 | • | 登局内 〇 | 修星内 | 0 | 稳居内 | 0 | 建屋内 | <u>ञ्</u> च ् | 建屋内 | 修居内 | 0 | 建居内 | Ö | 建国内 | |
| | 圧力計測(原子 | 成子如格納容器圧力 | 常設耐貴重要重大事場防止 設備 常設重大事品緩和設備 | R/B | MH44 | 0 | が出来 | | ্রিদ্ধাপ 🔾 | 使出發 | | ~ 서범왕 | が苦報 | 0 | 内的 | 0 | 「「「「」」 | | 아버린 | 46.64 | 0 | が出発 | 0 | MPH | |
| 第58条 計裝設備 | 炉格納容器内の 圧力) | 格納容器圧力(MHI) | 常設個貴重要重大非結防止 設備 常設重大非結緩和該備 | R/B | NI BARK | · · | 허감되장 | | ্রিদ্ধাপ ্ | 建居内 | • • | · | 6년21일 | 0 | 树脂树 | 0 | 「「「「」」 | | 他呆 内 〇 | が出現 | 0 | 建昂西 | 0 | 经出现 | |
| | | 格納容器再前環サンプ水位(広 域) | 常設個貴重要重大非結結止 設備 常設重大非結緩和該備 | 0 N3 | Phi Harak | <u> </u> | 허골레 | ر ال | ্য দাসমূ | 建居内 | 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 6년2 년 3월 | 0 | 的影响 | 0 | 動展内 | R | 使用内 | が出意 | 0 | 时期的 | 0 | 建城州 | |
| | 水位計測(原子 炉格納容器内の 水位) | 格納容器再前環サンプ水位(狭 域) | 常設耐費重要重大非初防止 設備 常設重大非初級和設備 | c/v | MRM O | · · | 使居内 | - M | Mail | 發展內 | • | 서품() | 修理内 | 0 | 使居内 | 0 | 金星内 (| 0 1 | Millität | 46月1月 | 0 | 好新聞 | 0 | Manas | |
| | | 格納容器水位 | 常設重大事結緩和設備 | c/v (| () 建居内 | 0 | 建屋内 | 0 <u>8</u> 84 | 建屋内 〇 | 途屋内 | • | 建屋内 〇 | > 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 (| 0 M | 金属内 〇 | 金星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建局内 | Π |
| | | 原子如下部キャビティ水位 | 常設重大事格緩和設備 | c/v | 建居内 | 0 | 建屋内 | 0 | 追尿内 〇 | 建屋内 | <u>ء</u> | 後展内 | が見込 | 0 | 机制度 | 0 | 修尿内 |) () | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | MNN C | 0 | 建原内 | 0 | 使同外 | Τ |
| | 水素濃度計測 (原子炉格納容 器内の水素濃 度) | | 可搬型重大非易等对処款值 (截和) | 8/8 | 0 State | 0 | 進展内 | - SEW | টের/শ ্ | 建碱内 | 6 0 | 途尾内 | - প্রচারদে | 0 | 的影响 | 0 | - দিল্লি | | 0 Million | 41213F | 0 | 환태가 | 0 | 内的事 | |
| | 水素濃度計測 (アニュラス内 の水素濃度) | 可提型アニュラス水素濃度計測 ユニット (アニュラス水素濃度) | 可搬型重大非易等对処股值 (越和) | R/B | দান্দ্রক্ত 📀 | 0 | 使苦爱 | 0 | ্ পশ্লক্ষ | 建居内 | 0 | () 전환() () () () () () () () () () () () () (| 修理内 | 0 | 使苦闷 | 0 | (新星内) | | © ₩₩₩ | 다. 태朝朝 | 0 | 使用的 | 0 | SE Hely | |
| | 子別」開出建築 | 格納済器内高レンジエリアモニ タ(低レンジ) | 常設個資重要重大非局防止 設備 常設重大事格緩和設備 | c/v | ына 1914 | 0 | 建居内 | 0 100 | BERM O | 经居内 | • | © МВФ | 後居内 | 0 | 他居内 | 0 | 後居内 | 0 MB | BRIM | 使用内 | 0 | 建居内 | 0 | Prist as | |
| | 2. 位置を通ってい 放射線量率) | 格納容器内高レンジエリアモニ タ(高レンジ) | 常設個貴重更重大非局防止 設備 常設重大非易緩和設備 | 6/V | না জন্ম | 0 | 使困避 | - MB | ি পিশ্ববি | 继尾内 | ş 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 修理内 | 0 | 建屋内 | 0 | (基本) | | 0 村田建 | 使用的 | 0 | 机制制 | 0 | NBNWS | |
| | | 出力領域中性子來 | 常設虧謢重要重大事場防止 設備 | ¢/V (| () 建居内 | 0 | 後居内 | 0 <u>38</u> 4 | (한) 전) 전) 전) 전) 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 | 途屋内 | 0 | <u>њ</u> ЕМ О | 後屋内 | 0 | 继星内 | 0 | 金属内 | 0 () | 金属内 〇 | 後周州 | 0 | 使用内 | 0 | 使图4 | |
| | 田力計劃(米臨 界の維持又は監 視) | 中間的成中性子束 | 常設耐能重要重大事構的止 設備 | c.v | अंग्रेस भ | 0 | 缝屋内 | 0 1 | ঞ্চিরাপ 🔾 | 建屋内 | ° | <u>ф</u> ыр | 全原内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | - - | C Milling | (Build | 0 | 서깨끃 | 0 | 经附到 | |
| | | 中性子猴領域中性子素 | 常設耐貨重要重大非規約止 設備 | ¢.// | の展開 | 0 | 建屋内 | 0 1 | 他 尼内 〇 | 继属内 | 0 | <u>ек</u> ин О | 使用内 | 0 | 建屋内 | 0 | 建屋内 | <u>ی</u> | () | (Ekily | 0 | 内别赛 | 0 | 经局外 | |
| 凡例 ○:各外部事業に対し安全機能を維持できる | に対し安全機能を組 | 掛できる | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

民間 〇:含米部体案に対し安全機能を描述できる 又は各体部体案により当時を考慮した場合でも、対応する認計規則対象施設が各体部体案に対し安全機能を維持できる(約止送機) 又は各体部体験により当時を考慮した場合が確して、体型設備による機能競科や安全士と抑いない原則での修復等の対応が可能(機能設備、防止でも緩和でもない設備) 一:他の項目にて依照 ※ 8.8:版子が提用、M.8:版子が指用感情。CM:原子や精神質點、BG8:デノーゼル発電機構成。GP/8:新国本計ソプ使用

| | 1411 | 属 (台属) | 後 他 | * | があり | | 隆 木 | 日間残寒による砂香 | LL OVO | 茶 (1) | -kih | 難得の | があたい | 2011-00 | 旋抹水筋 | - | 67.55 | 14個人の4 | 小市へ会生家による設置 | 化盐油 |
|---|-----------------|--------|----------------------|---|---|-----------|--------------------|---|----------------|-----------------------|---|------|----------------------------------|---|------|-----|-------------------|--------|-------------|---|
| | 简质* 第 | 8 | 20 21 22 23 | 10.05 防護方法 詳 編 | (##A) # 助義方法 | <u>18</u> | 呼 本 防護方法 | 新 新 新 第 加 渡 方法 | 装置 | ^{帝山} 訪護方法 | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 時進方法 | 201-101-101 201 401 401 | 7-10-1 | 時代大兴 | * 5 | 瑞光 助義力法 | 1 | 時間方法 | 非 114.21 へ (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) |
| 可搬型重大事场等对知识值 (防止+截和) | A/B 私急時対策所 | 서방영 | | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | Nimar O | E () | 使屋内 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | | 년놀帝 | E () | 使屋内 | | ~ 사람좋 | 村園歌 | 0 | 使喝闷 | E () | NIM | NWW O |
| 常設耐濃重要重大事結防止 設備 | c/V O | 的星的 | | <u>ф</u> ын () | M SERVICE | 0 | 建屋内 | の展開 | े स | 使居内 | 0 | 的图察 | <u>ل</u> ة | 아프화 | 机制制 | 0 | Millings | 0 | 能限内 | Print O |
| 常設耐濃重要重大事績防止 設備 | с.// О | 使居内 | 0 | 後屋内 | 村田邸 | 0 | 後屋内 | () 建屋内 | о _М | 建屋内 | 0 | 使回应 | 0 18 | <u>њ</u> ки () | 使出外 | 0 | 建局内 | 0 | 使尿内 | () 建晶体 |
| 常設耐能重要重大非規防止 設備 常設重大事結緩和設備 | R/B O | 村洲軍 | 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | Fed in Fight | 0 | 使居内 | · 년 哲 雍 | <u></u> ਅ | 同語事 | 0 | 同語家 | 0 1 | 이 번째화 | 同語歌 | 0 | 使属内 | 0 | 서해장 | দানাক্ত 🗌 🔿 |
| 常設耐費重要重大事場約止 設備 | R/B O | 서관국 | F | 이 위절활 | দ্যান্দ্রক্র | 0 | 建屋内 | দাস্রক্ষ 🛛 🔿 | े स | 同習事 | 0 | 网络 | 0 1 | 이 서관화 | NH | 0 | 建碱剂 | 0 | 서까종 | - BENERY |
| 常設耐費重要重大事結約止 設備 常設重大事格緩和設備 | R/B O | 서관대 | 0 | ি শিল্পক | MERGE | 0 | 绝尾内 | · (한밤네 | े स | 经运动 | 0 | 的原因 | <u>्</u> | ি শিল্পক | 서한국 | 0 | 서희광 | 0 | দাসক | MBN O |
| 常設耐淡重要重大事結防止 設備 | R/B O | 他是内 | 0 | 继尾内 〇 | ABHRIM (| 0 | 建屋内 | · · · · · · · · · · · · · · · | 0 M | 村居政 | 0 | 的运行 | <u>ل</u> ه | () () () () () () () () () () () () () (| 建局内 | 0 | 使国内 | 0 | 时附载 | () 建城村 |
| 可搬型重大非结等对処跌備 (防止・緩和) | 8/8 緊急時対策所 ○ | 使出的 | 0 | 金屋内 〇 | が出現 | 0 | 途屋内 | () 建居内 | े स | 缝屋内 | 0 | 建居内 | 0 1 | 아퍼포함 | 使出动 | 0 | 使出建 | 0 | 校習歌 | () 建局内 |
| 常設耐費重要重大事材的止 設備 | с. ^у | 财活现 | | 建居内 | দা স্কার্য 🔿 | 0 | 建屋内 | が苦歌 | े स्र | 财酒事 | 0 | 财资保 | ر ال | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 使出动 | 0 | 缝锅内 | 0 | 缝塌内 | NHH IF |
| 常設個貴重要重大非規約止 設備 | R/B O | 建居内 | 0 | () () () () () () () () () () () () () (| ABREM | 0 | 途屋内 | 後足内 | । । | 缝屋内 | 0 | を見る | <u>ه</u> | () () () () () () () () () () () () () (| 建局内 | 0 | 使用的 | 0 | 建居内 | MBH WE O |
| 常設個錢重要重大事胡約止 設備 當於重大事務網和到值 | 0 O | 허범명 | ¥۲ (| · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | Prinds < | 0 | 建固 | の理想 | े स | 经运动 | 0 | 使居内 | ر الله | ি শিলক | 建晶内 | 0 | 村別務 | 0 | 許淵發 | Manas |
| 常設個貨重要重大事場的止 設備 常設重大事格緩和設備 | R/R O | MINUS | · | ি পালক | Manda V | 0 | 使居内 | 0 <u> </u> | ্ | 财理 | 0 | Made | 0 8 | ি প্লিয়ন্থ | 時間 | 0 | 使居内 | 0 | 時間線 | MPH TS O |
| 常設個貴重要重大非規防止 設備 | A/B O | 和品牌 | 0 | ④ 化四、 | ABREM (| 0 | 途屋内 | () 後屋内 | ज | 缝星内 | 0 | 建居内 | <u>ه</u> | () () () () () () () () () () () () () (| 低品的 | 0 | 使用的 | 0 | 建屋内 | MBH IS |
| 常設耐濃重要重大事結防止 設備 常設重大事格緩和該備 | R/B O | 财活现 | • | 修 居内 | দা স্কারিয় 🕓 | 0 | 使居内 | · (111) · · · · · · · · · · · · · · · · · · | े स्र | 财酒事 | 0 | 同語傳 | ر الله ال | 이 번째(1) | 同時 | 0 | 建居内 | 0 | 서밝혔 | M#149 |
| 常設確認重要重大事故防止 設備以外の 常設重大事為防止設備 常設重大事為該社設備 | R/B O | 好謝發 | | 途尾内 | が苦発 | 0 | 發展內 | (後居内 | ੇ ਜ਼ | 년팔꽃 | 0 | 建品內 | <u>م</u> | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 经局内 | 0 | 建局内 | 0 | 使原内 | 金融外 |
| 可搬型重大非结等对処設備 (防止・緩和) | R/B O | 何困惑 | 0 | () () () () () () () () () () | MERRY | 0 | 使居内 | 에 발표 전 | े भ | 何国致 | 0 | 机制度 | 0 M | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 서범광 | 0 | 使出动 | 0 | 使用内 | () 建国内 |
| 常設備設重要重大事故防止 設備以外の 常設重大事為防止設備 常設重大事為該加設備 | R/B O | 네 환경 | R | 〇 秋田内 | 년 발 활 | 0 | 如理教 | · () () () () () () () () () () | े भ | 村習發 | 0 | 机制造 | <u>ه</u> | () 新聞 | 極場內 | 0 | 德県内 | 0 | 机制造 | () 建油油 |
| 可機型重大事故等対処設備 (防止・截和) | R/B A/B | 机制度 | ~ | · | | 0 | 缝屋内 | が苦歌 | ् स | 後星内 | 0 | 建屋内 | 0 1 | · | 建屋内 | 0 | 建居内 | 0 | 隆년서 | 0 BEHN |
| 常設重大非荷藏和設備 | R/B A/B | 使用内 | · · | 金居内 | भूभुभूष | 0 | 途屋内 | · (한편) | ্ | 後屋内 | 0 | 的原始 | <u>्</u> | <u>е</u> ми | 使변화 | 0 | 继属内 | 0 | 修用内 | 0 BERN |
| 可被理重大非易等对処跌備 (防止・截和) | A/B 緊急時対策所 | 内出现 | 0 | ~ 씨팜歌 | が出現 | 0 | 後尾内 | が苦歌 | े स | 使苦闷 | 0 | 他居内 | 0 | 한편화 | 同時發 | 0 | 建居内 | 0 | 修展内 | NHHW O |
| 可被型風或山街線20、徐納客器 再獲電ユニット入口温度/出口 温度) | A/B 緊急時対策所 | 内部領 | | · | Pri Harris | 0 | 建屋内 | 後居内 | о М | 的题象 | 0 | 科習慣 | ر ال | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 机制制 | 0 | 缝帽内 | 0 | 缝锅内 | দায় 🔿 |
| 常設重大非結緩和設備 | A/B O | 建屋内 | 1 | 途尾内 | Fel Berg Fel | 0 | 建屋内 | () 後尾内 | भ | 建屋内 | 0 | 建碱内 | <u>ل</u> ه | <u>ф</u> ын () | 使用的 | 0 | 使属内 | 0 | 机制造 | দালক্ষ |
| 常設重大事為緩和設備 | 緊急時対策所 | 机制制 | R () | () () () () () () () () () () () () () (| 「「「「「」」の「「」」では、「」」の「「」」では、「」」の「」」では、「」」のでは、「」」のでは、「」」のでは、「」」のでは、「」」のでは、「」」のでは、「」」のでは、「」」のでは、「」」のでは、「」」の | 0 | 建屋内 | () () () () () () () () () () () () () (| <u>्</u> | 使困避 | 0 | 的同时 | <u>ي</u> | 金屋内 〇 | 建碱内 | 0 | 建局内 | 0 | 使居内 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · |

(注):使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置は可搬型重大事故等対処設備

| | 有海ガス | 助義方法 | PL BOR | PA IN THE | 使出内 | 的習慣 | দাস্যন্ধ | 행동内 | 建国生 | 化同时 | 使同外 | AP HIM | 使用小 | 经 期利利 | 经管环结合 | 绝同对 | 建刷件 | Prish ap | 1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1- | 影響なし |
|-------------|---------------|---------|----------------------------------|---|--|---|---|---|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|----------------------------------|---------------------------|--|----------------------------|----------------|--|------------|
| | 4 | 新聞 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 外部人為事象による影響 | 近隣工場等の火災 | 防漠方法 | 建原内 | 机制制 | 使居内 | 修品内 | 탄영관 | 同語事 | 建居内 | 建局内 | 使用内 | 훈료内 | 经居内 | 使出动 | 建屋内 | 허鸿흉 | 机图象 | Fel Mars | 秘망화 | 影響なし |
| 外部人。 | 記録 | 推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 体况 | 助進力法 | 处局内 | 使呆沙 | 使居地 | 他居内 | 탄탄년 | 서물광 | 단면공 | 经局内 | 進星内 | 建居内 | 使出现 | 的制制 | 他居内 | 机制造 | 建局外 | 机制造 | 서버용 | 影響なし |
| _ | | 推進 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 森林火災 | 訪進方法 | 时期事 | 서환국 | 建屋内 | 使用外 | 서까꽃 | 서밝혔 | 後星内 | 使用内 | 建屋内 | 建星内 | 机制造 | 建屋内 | 机制度 | 사관(국 | 包括 | 材酒宴 | 서바깥 | 影響なし |
| | | 推備 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 生物学的事象 | 訪護方法 | 缝扇内 | 绝尾内 | 继帰内 | 後展内 | 建属内 | 發展內 | 建屋内 | 缝屋内 | 缝屋内 | 缝屋内 | 缝刷内 | 建城内 | 缝屎内 | 缝屋内 | 建局内 | 缝碾内 | 進展内 | 影響なし |
| | \mid | 新福 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 火山の影響 | 訪護方法 | 缝候内 | 继尾内 | 继星内 | 後尾内 | 缝屋内 | 建内 | 使居内 | 使居内 | 他吗 | 稳局内 | 使调制 | 使困难 | 村洲御 | 建屋内 | 建品内 | 使成内 | 建屋内 | 影響なし |
| | μ | ¥ 笛 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 常常 | 助進方法 | 何别敬 | 机制度 | 经展内 | 秘忌內 | 建屋内 | が習得 | 缝屋内 | 继尾内 | 進屋内 | 继尾内 | 能展内 | 机制造 | 缝屋内 | 建屋内 | 發展內 | 缝属内 | 建星内 | 影響なし |
| 難 | $\mid\mid$ | 詳価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 自然現象による影響 | 航雪 | 防護方法 | 使屠虐 | 建屋内 | 後居内 | 处居内 | 나바다 | 使居内 | 建内 | 建屋内 | 建屋内 | 修星内 | 建屋内 | 建内 | 建品内 | 缝屋内 | 後居内 | 나바팖 | 德場內 | 影響なし |
| βų | \mid | 詳価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 降水 | 防護方法 | 建屋内 | 後屋内 | 继星内 | 後居内 | 使用户 | 徒尾内 | 後居内 | 後居内 | 後居内 | 後居内 | が見違い | 使困境 | が居住 | 後属内 | 後居内 | 다. 2011년 1월 | 修服内 | 影響なし |
| | \mathbb{H} | 1 第 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 経営 | 防護方法 | 建屋内 | 缝屋内 | 继星内 | 绝尾内 | 使增好 | 德屋内 | 後居内 | 绝居内 | 後尾内 | 继程内 | 建品内 | 和智利 | 他居内 | が習得 | 内田野 | Frd Brack | 的影响 | 影響なし |
| | H | 詳価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 花客 | 助幾方法 | 化制造 | 化学校 | 使品外 | 化制度 | を見る | 的理论 | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 建居内 | 建屋内 | 建屋内 | 建屋内 | 後居内 | 使四位 | 建屋内 | 使居内 | 油修を実施 |
| | | 2010年 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | (副台) 副 | b) 助義方法 | 建屋内 | 년 19 | 使居地 | 後居内 | 和習家 | 서習發 | 後居内 | | 建居内 | 「「「「」」の「「」」 | PLINES (| M MAR | PL BURN | দ্বাস্থ্ য | 後居内 | দ্যালয়্য | ধ্যস্ত্রমূ | い影響なし |
| | Ц Ж#Х * | 建築 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 保管•政資 | NO INT | ık. A/B | ık A/B | ıl: A/B | ıl: A/B | łŁ ۱۳/۱۹ | ıt: R/B | ıt: ۸/8 | ık. A/B | ık. A/B | ık A/B | ıl: A/B | ıl: A/B | 60 V/B | 68 7/B | 備 人/B | R/B | R/B | 居外 |
| | 分類 | | 常設面換重要重大事格防止 設備 常設重大事格緩和設備 | 常設面換重要重大事檢防止 設備 常設重大非益總和設備 | 常設病院重要重大事法防止 設備以外の 常設重大事法転1-20億 | 常設函設重要重大事績防止 設備以重要で大事績防止 常設電大事績防止設備 | 常設動調重要重大事結防止 設備以外の 常設重大事活防止設備 常設重大事活緩和設備 | 常設動設重要重大事故防止 設備以外の 常設重大事品防止設備 常設重大事品緩和設備 | 常設個貴重要重大事結防止 設備 常設重大事結緩和設備 | 常設個換重要重大事結時止 設備 常設重大半結緩和設備 | 常設爾德重要重大事物防止 設備 常設重大事格緩和設備 | 常設耐造重要重大事結防止 設備 常設重大事結緩和設備 | 常設個達重要重大事結時止 設備 常設重大事結緩和設備 | 常設耐造重要重大事結防止 設備 常設重大事基緩和設備 | 可搬型重大事故等对処设值 (防止・緩和以外) | 可操犯 武大非易等对知识做 (防止:+截和以外) | 可被党重大事故等对知论像 (防止+截和以外) | 常設重大非佔越和設備 | 常設重大非易感和認識 | 常設重大半苔鸌和設備 |
| | 重大事故等対処以關 | | - A, B傳輸電圧 | A, Bー市流コントロールセン タ母線電圧 | A - 高圧注人ポンプ及び袖冷却 器油機冷却水流量 | A - 高圧注入ポンプ電動機能機 冷却水流量 | 原子尔油機冷却水冷却器油機冷 却液水流量 | A, B一原子如油機治規水供給 保管液量 | 中央制御室進へい | 中央制御室非常用簡潔ファン | 中央制御室給気ファン | 中央制御室着環ファン | 中央創創室非常用簡量フィルタ ユニット | 中央剥削室給気ユニット | (VS) 16036F50004 Ju | 酸素酸度 • 二酸化炭素酸成計 | (Y S) (क्रांओं)उन्होंने (ज | ニュラス空気浄化ファン | アニュラス党気浄化フィルタユ ニット | 941 X 100 |
| | ILA | | - 9 | A. 24 | その他 (重大非故等対 A- (重大非故等対 器) M-D-師命を活用す 器) | | | A. | ŧ | ÷ | | (中央調査室後) 気空調設備) 中3 | 4 H | ÷ | _ | 居住柱の確保 居住柱の確保 (中央詞創室内 の酸素及び二酸 能。 北 定 の創 定 の創 定 | 将集の持ち込み 防止 | 7- | | |
| | 2423年9月34月 | | | | | 第58条 計模設備 6 7 | ~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~ | | | | 2 | ~~~~ | | | ~ _ | 子が過音的にとどまる ための説像 ための説像 な | <i>a</i> - 68 | * | ~~~~ | |

| | | | | | | | | | | | 自然现 | 自然現象による影響 | | | | | | | | | M.10 | 外部人為非金による影響 | の影響 | |
|--------------------------|--|---------------------------------------|-----------------------------|-------------------|--|--------|-----------|-------------|------------------|--------------------------|--------|-----------------|---|----------|-----------------|----------|-----------------|----------|----------------|-------------|---|-------------------|----------|-------------|
| 2000 Sec. 10.00 | | 重大用品質等材質問題的 | 分類 | 保管・設置 | 属(台属) | | 在客 | 採港 | 10 | 業 | | 能低 | 雜縱 | \vdash | 火山の影響 | 1 | 修学的事業 | 放林 | 旋林火災 | 44 K | | 丘隣工場等の火 | ()) | 有能ガス |
| | | | | 10.05° 394 (66 | | ¥ 第 | 訪幾方法 | 詳 価 助 | 坊法 | 課 防護方法 価 | ¥ 第 | 訪義方法 | 課 助養方法 価 | 法解 | | 第 | 防漠方法 | 部 価 取 | 法 | 詳 価 価 | 助義方法 辞 | 訪幾方法 | 左 詳 備 | 助義方法 |
| | | B-アニュラス空気浄化ファン | 常設重大非結緩和設備 | R/B O | 使用内 | 0 | 6 Hereity | | জিল্লাপ (| 後尾内 | 0 | 後星内 | 에 꼽황 🔹 🔿 | 0 | 村西鉄 | 0 | 後星内 | 0 | 아버징 | 0 | (1111) (1111) | 使困避 | 0 | いいま |
| 第59条 運転山が原 | 放射性物質の濃 度低減 (全交流動力電 | B-アニュラス空気浄化フィル タユニット | 常設重大非偽緩和設備 | R/B | 後展内 | 0 | 使居内 | 0 | <u>Ф</u> КИ (| · 建居内 | 0 | 後尾内 | · 년 종종 () | 0 | 使居内 | 0 | 使居内 | 0 | 신카핑 | 0 | া পালক | 同時番 | 0 | 科科教 |
| 1-9.00.00.00 ための設備 | 縦又は血液電源 が喪失した場 合) | アニュラス全量排気を操作用可 機型窒素ガスポンベ | 可換型重大非法等於処設備 (截和) | R/B | を開始 | 0 | 能展内 | 0 | জন্মন | 後展内 | 0 | 後星内 | 建屋内 | 0 | 後屋内 | 0 | 後屋内 | 0 | 能局州 | 0 181 | 金居内 〇 | 修用内 | 0 | 使困难 |
| | | 财政利益 | 常設重大非結緩和設備 | () 164 | い影響なし | 0 | 捕修を実施 | | 影響なし | 1 新餐なし | 0 | 影響なし | (1)(1)(2)(3)(4)(4)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5)(5) | د o | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし | | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし |
| | 放射線融の測定 (可機型モニタ リングポストに よる放射線量の 代替描定) | 可被買モニタリングポスト | 可接受重大事品等对组织值 (影正:• 總加以外) | 緊急時対策所 | 後居内 | 0 | 登品内 | • | 後 居内 (| · 26년/4 | 0 | 後居内 | 修星班 | 0 | 绝屈内 | 0 | 途尾内 | 0 | 建居内 | 0 | 後配付 | 後居内 | 0 | 建局外 |
| | 放射線融の測定 (可機型モニタ リングポストに よる放射線量の 譜定) | 可被判モニタリングポスト | 可被理重大事品等就知识值 (影正:•题和以外) | 緊急時対策所 | 後居内 | 0 | が居参 | | 小田邸 | · 86년년 | 0 | 後居内 | 後居内 | 0 | 绝唱内 | 0 | 继尾内 | 0 | 發展內 | 147 | 이 사망광 | 後居内 | 0 | 使图动 |
| | | 可搬型ダスト・よう素サンプラ | 可接望重大事故等对処設備 (防止・緩和以外) | 緊急時対策所 | が出現 | 0 | 绝尾内 | ¥ | জিল্লাপ | () 建居内 | 0 | 後居内 | が星珍 | <u> </u> | 科語 | 0 | 後星内 | 0 | 使用的 | 0 181 | 0 MHH | 建居内 | 0 | 机制制 |
| | 放射性特質の濃 度の測定 | Nal(11) シンチレーションサーベ イメータ | 可搬型重大非结等对処设值 (防止・緩和以外) | 緊急時対策所 | を見る | 0 | 修居内 | ¥ | 建居内 | 後居内 | 0 | 後居内 | が星珍 | 0 | 使品的 | 0 | 後屋内 | • | Mana | 0 | • • • • • • • • • • • • • • • • • • • | 서관광 | 0 | 化田利 |
| | | (6) 将泉サーベイメータ | 可接型重大事故等对処設備 (防止・緩和以外) | 緊急時対策所 | 後居内 | 0 | 化星母 | ¥ | জন্মান্দ | 後居内 | 0 | 登屋内 | が異歌 | 0 | 使用的 | 0 | 金星内 | • | 使用的 | 0 | () () () () () () () () () () () () () (| 使用内 | 0 | 化四 |
| | | 可接望ダスト・よう素サンプラ | 可機型重大非易等於処設備 (防止:+截和以外) | 緊急時対策所 | 後開始 | 0 | 修展内 | ¥ | <u>উদ্</u> মান্দ | 後展内 | 0 | 後屋内 | () 建屋内 | 0 | 後屋内 | 0 | 後屋内 | 0 | 使居内 | 0 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 建居内 | 0 | 外图录 |
| | | Nal(11) シンチレーションサーベ イメータ | 可搬型重大非结等对処股值 (防止・緩和以外) | 緊急時対策所 | を展開 | 0 | 他居内 | 8 | SBEPA C | 後展内 | 0 | 後居内 | <>> 建居内 | 0 | 经局部 | 0 | 使居内 | • | 追居内 | 0 | @ MBB | ALC: NO DE COMUNI | 0 | いいま |
| 第60条 監視測定設 備 | | の 内外サーベイメータ | 可機型重大非法等対処設備 (防止:+緩和以外) | 緊急時対策所 | 後開始 | 0 | 修居内 | ¥ | রুদ্রান (| () 建居内 | 0 | 後屋内 | 신문화 〇 | 0 | 建屋内 | 0 | 後屋内 | 0 | 탄탄권 | 0 | () 日本 | 建居内 | 0 | 化图录 |
| | 放射性物質の濃 度及び放射線量 の測定 | a 繰シンチレーションサーベイ メータ | 可搬型重大非结等对処股值 (防止:+截和以外) | 緊急時対策所 | Per la | 0 | 绝尾内 | 8 | W RM | 0 8 5.6614 | 0 | 建居内 | 환료/4 | 0 | 科学研究 | 0 | 绝尾内 | 0 | 使服务 | 0 | ি শিল্পক | 建原州 | 0 | 内积平等 |
| | | 日齢サーベイメータ | 可搬型重大非结等共処設備 (防止・緩和以外) | 緊急時対策所 | ABRIN (| 0 | 绝尾内 | 8 | ABREM C | () 進展内 | 0 | 後居内 | 建屋内 | 0 | 他居内 | 0 | 绝尾内 | 0 | 使困避 | 0 | 19 (Paral Caral Cara Cara | 建居内 | 0 | 使用付 |
| | | 電梯箱サーベイメータ | 可搬型重大非结等共见设值 (防止:+緩和以外) | 緊急時対策所 | Prisede C | 0 | 经属内 | ¥ | 動展内 | ् इ.स.म. | 0 | 建居内 | क्रिसम् | 0 | 经增长 | 0 | 绝现内 | 0 | 低限内 | 0 | EMIN O | 建原料 | 0 | 经期间 |
| | | 小型強行進行 | 可搬型重大非结等共処設備 (防止:+截和以外) | 屈外 () | 影響なし (MBØ等) | 0 | 分散配置 | 0 | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし (適切に除き) | () 幼散配置 | о ж | 影響なし (適切に除戻) | 0 | 影響なし (開口部関止) | 0 | 防火排付 (分散机置) | 0 9/lk | 分散船 梁 | 分散配置 | м 0 | 分散配置 |
| | 風向、風速その 他の気象条件の 間に(可様型気 象観測設備によ る気象観測項目 の代特測定) | in the first set of the second second | 可被型重大市场等於包設備 (防止+截和以外) | 緊急時対策所 | 서 발생 | 0 | ABHRING (| | 御居内 | · 생활 | 0 | 後眼内 | 서習發 〇 | <u> </u> | 绝限内 | 0 | 继唱内 | 0 | 使用内 | 198 | 德福州 | 内田寨 | 0 | 经马利 |
| | 風向、風速その 他の気象条件の 闇定(可被理気 象裁測設備によ る霧盆時対策所 付近の気象観測 項目の闇沱) | 特别的资料的资料 的资料 | 可被型形大市语等对短腔的 (防止、截和以外) | 聚金時対策 所 〇 | 니철帝 | 0 | NIMAR | ¥ () |) পাইপক্ক | <u>থ</u> ান্নর্জ্ঞ | 0 | দাস্পত্বহ | ·사범광 | 0 | 신뢰研 | 0 | 신환교훈 | 0 | 使福祉 | 18) O | ···································· | 서濟委 | 0 | 신한 광 |
| A.M.O:各外部水傘に対し安全機能を維持できる | いたの機能を組 | 韩元音名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

共-7-25

| Image: processe in the state of th | | | | | | | | | | | 自然現 | 自然現象による影響 | | | | | | | | _ | | 外部人為 | 外部人為事象による影響 | * | |
|--|--|--|---|---|--|--------------------------------|--------|---------------|--|---|-------|--------------------------|---|----------------------|-----|------------|------|-------|---|------------------|---------------|----------|--------------|----|--------------|
| Image: constraint of the | 3523Forf.8591 | 1 | 重大事故的转换证书值 | 幼稚 | | Ħ | | Π | | | | 航雪 | | | ЖII | H | 生物学的 | 16.40 | ~ | | 44.52 | 変更 | 工場等の火災 | 4 | 自進ガス |
| Image: state in the s | | | | | _ | | | | | | | 防護方法 | _ | 城方法 | _ | | | | | | 助進方法 | | 防漠方法 | 建価 | 助義方法 |
| Image: state in the s | | | 緊急時対策所進へい | 常設重大非結緩和設備 | | | | 影響なし (| 監査 | 2 | 0 | | | 郷なし | 0 | <u>,</u> 8 | | | | 3 | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし |
| Marting transmission Marting t | | 居住性の確保 | 可機型希設緊急時対策所空気浄 化ファン | | 緊急時対策所 | | 0 | 建屋内 | (A) | | 0 | 建屋内 | | 修足内 | | | | | | 1255 | 经局内 | in state | 使用内 | 0 | 建局内 |
| Matrix Matrix< | | (緊急時対策所 減へい及び緊急 | 可機型希波器急助対策所空気浄 化フィルタユニット | 可搬型重大非结等对処設備 (截年) | | | 0 | 修繕内 | 1499 | | 0 | 他是内 | | 修星内 | | | | | | 11/2 | 能展内 | 0 | 经用户 | 0 | 能開始 |
| joint and solution | | 衛」 | 濕磷磷酸素 | 可搬型重大非结等对処跌備 (截在) | 緊急時対策所 | | 0 | · 전문과 | 198 | | 0 | 後屋内 | | 使屋内 | | | | | | 8555 | 년놀란 | 0 | 化四丁 | 0 | Mawas |
| Martial formation for the sector of th | | | 压力計 | 常設重大事故等対処設備 (防止・緩和以外) | | | 0 | 建屋内 | - 1 | | 0 | 使星内 | | 使星内 | | | | | | 2 2 2 | 使居内 | 0 | 使用的 | 0 | 化的内 |
| The field of | 第61条 緊急訴対策 所 | 現住性の確保 (緊急時対策所 内の機械濃度及 び二酸比炭素濃 度の額定) | 後本線攻・二般化以本線成計 | 可被理重大非法等并包括值 (防止+幅和以外) | 緊急時対策所 | | 0 | 아말화 | | | 0 | 잔떠서 | | 신물활 | | | | | | | 登場內 | 0 | 使居内 | 0 | 使同位 |
| Functional Instantional Instantina Instantional Instantional | | 以住性の確保 (放射線量の面 定及び気象視 額) | 緊急時対策所可撤型エリアモニ タ | 可搬现 武大 华杨等 对 処設備 (総和) | 緊急時対策所 | | 0 | Ŭ | | | 0 | 使苦闷 | | 机制造 | | | | | | | 시 바 录 | 0 | 和田政 | 0 | A 나라서 |
| Interface Interface <t< td=""><td></td><td></td><td>デーク以集計算機</td><td>常設重大非結緩和設備 常設重大非結等対処設備 (防止・緩和以外)</td><td></td><td></td><td>0</td><td>建屋内</td><td>19) ()</td><td></td><td>0</td><td>修局内</td><td></td><td>修星内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>使用内</td><td>0</td><td>能限内</td><td>0</td><td>修动处</td></t<> | | | デーク以集計算機 | 常設重大非結緩和設備 常設重大非結等対処設備 (防止・緩和以外) | | | 0 | 建屋内 | 19) () | | 0 | 修局内 | | 修星内 | | | | | | | 使用内 | 0 | 能限内 | 0 | 修动处 |
| Facetal Exercision Endert En | | 情報の記紙 | 1 I | 常没重大非结碱和溴值 常設重大非法等对处设值 (防止・碱和以外) | | | 0 | | | | 0 | 缝尾内 | | 使星边 | | | | | | 2003 | 建居州 | 0 | 机制备 | 0 | 사망시 좋 |
| (mode) (mod) (mod) (mod) <td></td> <td></td> <td>データ表示編末</td> <td>常設重大非紡績和設備</td> <td></td> <td></td> <td>0</td> <td>建国内</td> <td>- 197</td> <td></td> <td>0</td> <td>建星内</td> <td></td> <td>使居内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>使居内</td> <td>0</td> <td>使出内</td> <td>0</td> <td>使用内</td> | | | データ表示編末 | 常設重大非紡績和設備 | | | 0 | 建国内 | - 197 | | 0 | 建星内 | | 使居内 | | | | | | | 使居内 | 0 | 使出内 | 0 | 使用内 |
| Mature and according building Mature according building Mature according | | 電源の確保 | 解急時対策所用免防機 | 可搬型重大非结等对包設值 (截在) | | | | 918.60.90 (| 帰留 | r | | 総勝なし (適切に除雪) | | 计数据过程 | | | Ŭ | | | | 分散和到 | 10000 | 分散配置 | 0 | 分散配置 |
| Media Terretorianis Media | | | AN 141 (171 (181 (18) | 常設備設重要重大事務認方止 設備以外の 常設重大事務約止設備 常設重大事務額和設備 | - | | 0 | | | | 0 | 後屋内 | | 산물관 | | | | | | | 建碱付 | 0 | Manas | 0 | 校開發 |
| (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) (-) | | | 術型軟体電話 | 可機型重大非易等対処設備 (防止・緩和) | | | 0 | 修繕内 | 199 () | | | 他居内 | | 修星内 | | | | | | - 1999 - 1999 | 使用建 | 1000 | 经期间 | 0 | 化图书 |
| The sector is a constant of the sector is a constant | | | シークペイキ | 可搬型重大事法等对処款備 (防止・緩和) | 安選 新 編 等 選 | | | tenery. | · | r | | 影響なし (建屋内, 適切 に除雪) | | 현료(内.))(Kife2))(| | 随机 | | ШШ | | 191 17 | 建局内4. 分散机机 | 1.222 | 建属内。 分散起置 | 0 | 影響なし |
| Model Model <th< td=""><td></td><td>発電所内の道信 連絡をする必要 のまず無所も必</td><td>携行型通話装置</td><td>可機型重大非结等対処設備 (防止・緩和)</td><td></td><td></td><td>0</td><td>能尿内</td><td>御</td><td></td><td>0</td><td>他是内</td><td></td><td>修星内</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>好對著</td><td>0</td><td>建品内</td><td>0</td><td>机制度</td></th<> | | 発電所内の道信 連絡をする必要 のまず無所も必 | 携行型通話装置 | 可機型重大非结等対処設備 (防止・緩和) | | | 0 | 能尿内 | 御 | | 0 | 他是内 | | 修星内 | | | | | | | 好對著 | 0 | 建品内 | 0 | 机制度 |
| FUNCTION Description | | ののの場所と進 信述締を行うた めの設備 | イャレータイト | 常設制資産要重大事為防止 設備以外の 常設重大事為防止設備 常設重大事為該和認備 | | | 0 |) NING | | | 0 | 使居内 | | 修局内 | | | | | | 32 | 建내려 | 0 | 经居内 | 0 | 使用的 |
| 0 88.04 0 | 第62条 通信連続を 行うために必要な設備 | | テレビ会議システム(指押1所・ 移機所用) | 常設研設重要重大事場約止 設備以外の 常設重大事場動止設備 常設重大事場額和正設備 | | | 0 | - Milling | 198 | | 0 | 好習歌 | | 使居内 | | | | | | 2000 C | 使用持 | 0 | 使用外 | 0 | 能開始 |
| 0 88.0H 0 | | | デーク以集計算機 | 常設重大非結緩和設備 | | | 0 | 修屋内 | - - | | 0 | 缝屋内 | | 使尿内 | | | | | | | 建碱内 | 0 | 经属内 | 0 | 经同时 |
| 0 88:01 0 | | | データ表示编术 | 常設重大非結緩和設備 | _ | | 0 | 後足内(| 1 | | 0 | 继星内 | | 修足内 | | | | | | | 建局内 | 0 | 建屋内 | 0 | 使用外 |
| 0 200414 0 200414 <td></td> <td></td> <td>衛星電話設備</td> <td>常設重大非結緩和設備</td> <td>A/B 緊急時対策所</td> <td></td> <td>0</td> <td>建屋内</td> <td>- -</td> <td></td> <td>0</td> <td>缝屋内</td> <td></td> <td>使尿内</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>使展内</td> <td>0</td> <td>Minas</td> <td>0</td> <td>内的羽</td> | | | 衛星電話設備 | 常設重大非結緩和設備 | A/B 緊急時対策所 | | 0 | 建屋内 | - - | | 0 | 缝屋内 | | 使尿内 | | | | | | 1 | 使展内 | 0 | Minas | 0 | 内的羽 |
| 0 28404 0 | | 発電所外(社内 外)の道信連絡 | 衛星數基電話 | 可撤型重大非结等对処设值 (截年) | A/B 緊急時対策所 | | 0 | 進展内(| <u>ل</u> | | 0 | 進展內 | | 修屋内 | | | | | | 18 | 建原内 | 0 | 建原内 | 0 | Marth |
| 0 82M/H 0 82/H 0 82/H 0 82/H 0 82/H 0 82/H 0 | | をする必要のある場所と通信進 | | 常設重大非故等対処設備 (防止・緩和以外) | | | 0 | 建屋内 | 0 1 | | 0 | 经居内 | | 修屋内 | | | | | | | 建碱内 | 0 | 机制制 | 0 | 化图片电子 |
| ା ଅଭାମ ା ଦ | | 絵を行うための 設備 | | 常設重大非故等対処設備 (防止・緩和以外) | | | 0 | 進展内(| 199 | | 0 | 经居内 | | 修星内 | | | | | | 12753 | 使用内 | 0 | 机制制 | 0 | 使用内 |
| 民間 〇:各外部中級に対しな強化を組織を組みできる 又は各外部中国にことが組体を考慮した場合でも、対応するが時人期の体系に対しな分離化を組みできる(以上設備) 又は各外部中国にことが組体を考慮して、代表2個にこえる機能組みや安全主人的のない期間での情報等の対応が可能(最和認備、防止でも認知でもない政権) 一:他の14日にで表現 | | | 限38 伝送サーバ | 常設重大事故等対処設備 (防止・截和以外) | | | 0 | 建屋内 | 0 100 | | 0 | 進展內 | | 修足内 | | | | | | 1000 C | 建原内 | 0 | 使出的 | 0 | 经 H8H |
| | RM O:各外部事業 又は各外部 又は各外部 一:他の項目に ※ R/8:第7991 | に対し安全機能を維 事象による損傷を考! 事象により損傷を考! て整理 並見、AB:原子が補 | はできる 速した場合でも、対応する設計基件 速して、代料設備による機能値持々 値して、代料設備による機能値持々 前の差量、C//: 原子炉整備容器、D | 専身権観辺が各外部事象に対し や安全上支約のない期間での外 10.48:ディーゼル発電機建員。 | し安全機能を維持で 多後等の対応が可能 (3P/8: 循環水ボ) | さきる(防止説像) 主(緩和設備、防止 ンプ建屋 | でも緩和でも | ない設備) | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | 保管·設設 協师 [#] | 満 | | 展(台尾) 即第十2年 | | 竜巻 助能力法 | | 冰結 転離七年 | 降水 | test. | 2.10.8 | | 落出 約第144 | * | 火山の影響 広義大法 | | de destration de las | 森林火災 詳 15章 4 | 1 | _ | | 外部人為事象による影響 近隣工場等の火災 評 11.111111111111111111111111111111111 | | 有诸ガス 防衛長神 |
|---|---|---|---|--|-----------------|-------------------|---|-------------|----------|-------------|---------------|--|-------------|----------|---------------|-----------|----------------------|-----------------|--------------------------------------|--------|-----|--|--------------|--------------|
| 第二次通道的 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 年 1 | 世 田 | 第 1 1 | 助進方法 備 建屋内 〇 | · 海 〇 | 統進方法 | | | 防護方法 建居内 | | 防護防衛 建屋内 | | 助置为法 備 備 (1) | 關護方法 建屋内 | 5 | 防護方法 | : تھ ا | 防護方法 | | いまた 動業が法 価 価 例 の の | 的進力法 | | 的. 然 .55 | . E O | 结遇 结构 化 |
| 第221年大学品級単規2268 常定価値で加速 第226 たパーローン たパーローン たパーローン 221年月日 10 221年月日 11 | - Minato O No | - Milliaga O Hilliaga O | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 使居的 | - | 0 | 0 | 继星内 | <i>뛗</i> | 松居内 | | <u>(</u> () () () () () () () () () () () () () (| 建屋内 | 0 | 建屋内 | 0 | 修屋内 | - - | ি প্রায় | Manas | 0 | Milting | 0 | NENTS |
| t: でい の 建築内 の 建築内 の 建築開始 | с.// Авнич O Авнич | · 20年10 · 20年10 · 20月10 · 20月 | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 後居内 | | ~ | 0 | 建屋内 | <u>ا</u> | 發展內 | | () () () () () () () () () () () () () (| 建局内 | 0 | 建屋内 | 0 | 後屋内 | - |) MBI | 建屋内 | 0 | 使居内 | 0 | 化物外 |
| 常認識情報現代卡林總44: 2.4 你说不大学体验和證例 你说不大学体验和證例 | c// 0 级用内 | 〇 移居内 | () 小田田 | | 使困难 | | 0 | 金星内 | | 後居内 | | 後居内 〇 | 继星内 | 0 | 建屋内 | 0 | 继用内 | | 0 MH4 | 後居内 | 0 | 發展內 | 0 | 你的我 |
| 常認識的的情報者,作為認知: 2014 C/V 〇 整備時刊 〇 整備時刊 | C/V 0 5054614 0 | O MEMORY O | ালয় | | 6년2 년 35 | | 0 | 使苦闷 | <u>ي</u> | 使居内 | - | · (이 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 전 | 使居内 | 0 | 使困境 | 0 | 使用内 | | O MRM | 년(11월) | 0 | MHT | 0 | いわれ変 |
| 常認識確確確確化。 25個 常認者大手的最高級報題。 のパーク の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一般的目前 の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一の一 | с. V 3. Авнеч О 3. Видеч | · · · · · · · · · · · · · · · | · · · · · · · · · · · · · · · · · · · | 新星内 | | | 0 | 使困境 | | 使服务 | 0 8 | () () () () () () () () () () () () () (| 继星内 | 0 | 建居内 | 0 | 建丙 | | ен м () | 使用的 | 0 | 使用内 | 0 | 经时间 |
| 法認識提供変更大事品認真正 設備 常設備大事品認真正 の 2010 〇 2010日 〇 2010日 〇 常設備大事品認識和設備 | - NUMAR C NUMAR C N'3 | |) | い習慣 | - | 0 | 0 | 机制砂 | <u>ه</u> | 使居内 | | 이 번불(第) | 建居内 | 0 | 机制钢 | 0 | 建内 | | ি শিল্পক | 和时期 | 0 | 建居内 | 0 | いけれる |
| 常認確認確認を生体結晶が止 25個 常語で化大体結晶和26個 第27個 25個 25個 25個 25個 25個 25個 25個 25 | R/B O 4204414 O 42046144 | | (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 後展内 | | 0 | | 使困境 | <u>ه</u> | 使居内 | 0 18 | 여러 (1997) | 继星内 | 0 | 使困惑 | 0 | 使用内 | 0 | ⊖ Mata | が出る | 0 | 使用诗 | 0 | 科特科型 |
| 第220回転電気(単大生気配)止 設備 第226円、中価値(和2000) 第226円、中価値(和2000) | 現外 ○ 影響なし ○ 影響なし · | 影響なし り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り り | 影響なし 〇 影響なし (| 影響なし | | 0 | | 影響なし | | 影響なし | | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし | 影響なし | r 0 | 影響なし | 0 | 影響なし |
| 常記録提供便形大市総約止 26個以外の 22個以外の 常定で大市総計に設備 常定で大中総計に設備 常定で大中総計に設備 | 三日本 (1998年1日) (1998年11日) (1998年110月) (19988年110月) (19988年110月) (1998年110月) (19988471000000000000000 | · 約編なし ○ 約編なし | 影響なし ○ 影響なし | ◎ | | 0 | | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし |
| 常読載時期現代形式時間は. 適時以外の 常調においい 常認代すが時期に設備 常認代すが時期に設備 | 日本 (1) 総轄なし (1) 総轄なし (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | · 旅橋ない · か橋ない · ・ | 影響なし の 影響なし | 影響なし | | | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | | 総響なし | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | 影響なし | د o | 影響なし | 0 | 影響なし |
| 常設備設備受援手が作品的止 電磁構成後手が作品的止 設備ならし ○ 影響なし ○ 素定者かで非品額に設備 | 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 | 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 | 影響なし | · | | 0 | | 形響なし | 0 | 影響なし | | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | | 総 | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし |
| 常認識問題を受けてきるが正 の18日のからの 出来 ○ 影響なし ○ 影響なし ○ の25日の第一 | 一 17番号 (11) 111 111 111 1111 1111 11111 11111111 | ・ いた はない () (17) (17) (17) (17) (17) (17) (17) (| - つな編結 〇 つな編結 | ()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()()() | - | 0 | _ | 影響なし | iat o | 影響なし | ▲ 33 〇 | の「おりません」 | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし | 編 相 〇 | 影響なし | 影響なし | 0 | 影響なし | 0 | 影響なし |

民国〇:各外部事業に対し文小価値を維持できる 又は各外部事業に注意相段を考慮した場合でも、対応する認計基単式発電設が各外部事業に対し文令機能を維持できる(防止設備) こは各外部事業に注意相段を考慮して、代料設備による機能価値持を安全上支部のない範囲での確認が可能らが可能(施産設備)、防止でも成れてもない設備) 一:他の項目でで発見 米市:第二字が提供、N1:第二字が能助整備に、N1:既子が統領容器」のN1:ディーセス免疫機能構成, 0P/95:新属水ボンプ進展 共-8 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について

1. 概要

「実用発電用原子炉及びその附属設備の位置,構造及び設備の基準に関する規則」(以下「設置許可基準規則」という。)第四十三条第2項第三号にて,常設重大事故防止設備は,共通要因によって 当該設備に対応する設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないこ とを要求している。また,同規則第四十三条第3項第七号にて,可搬型重大事故防止設備は,共通要 因によって,設計基準事故対処設備の安全機能,使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は 常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその 機能が損なわれることがないことを要求している。

泊発電所3号炉の重大事故防止設備が、単一の火災によっても上記の要求に適合していることを以下に示す。また、これを踏まえて、内部火災が発生した場合の重大事故等対処設備に対する基本的な防護方針を以下に示す。

2. 基本事項

[要求事項]

実用発電用原子炉及びその附属施設の位置,構造及び設備の基準に関する規則

(重大事故等対処設備)

第四十三条

- 2 重大事故等対処設備のうち常設のもの(重大事故等対処設備のうち可搬型のもの(以下「可 搬型重大事故等対処設備」という。)と接続するものにあっては、当該可搬型重大事故等対処 設備と接続するために必要な発電用原子炉施設内の常設の配管、弁、ケーブルその他の機器を 含む。以下「常設重大事故等対処設備」という。)は、前項に定めるもののほか、次に掲げる ものでなければならない。
 - 三 常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。
- 3 可搬型重大事故等対処設備に関しては,第一項に定めるもののほか,次に掲げるものでなけ ればならない。
 - 七 重大事故防止設備のうち可搬型のものは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安 全機能、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事 故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそ れがないよう、適切な措置を講じたものであること。

1 基本的な防護方針の整理

重大事故等対処施設に対する火災防護としては,設置許可基準規則第四十一条に従い,火災により 重大事故等に対処するために必要な機能を損なうおそれがないよう,火災の発生防止対策及び火災感 知・消火対策を実施する。

一方,設置許可基準規則第四十三条第2項第三号を火災の観点からみると,常設重大事故防止設備 は、単一の火災によって当該設備の機能と設計基準事故対処設備の安全機能とが同時喪失しないこと を要求している。また,設置許可基準規則第四十三条第3項第七号を火災の観点からみると,可搬型 重大事故防止設備は、単一の火災によって当該設備の機能と設計基準事故対処設備の安全機能とが同 時喪失しないこと,及び当該設備の機能と使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能とが同時喪 失しないこと,さらには当該設備の機能と常設重大事故防止設備の重大事故等対処に必要な機能とが 同時喪失しないことを要求している。

これらを踏まえ、内部火災が発生した場合の重大事故等対処設備に対する基本的な防護方針を以下 に整理する。この際、運転員等による各種対応操作^{※1}に関しても、火災による影響を考慮の上、期待 することとする。

方針 I 【独立性】

:重大事故防止設備は、内部火災によって、対応する設計基準事故対処設備等の機能^{※2}と同時にその機能が損なわれるおそれのないこと

方針 II 【修復性】

- :重大事故等対処設備であって重大事故防止設備でない設備は,修復性等も考慮の上,でき る限り内部火災に対する頑健性を確保すること
- 方針Ⅲ【重大事故等対処設備のみによる安全性確保】
 - :内部火災が発生した場合においても,設計基準事故対処設備等の機能に期待せずに,重大 事故等対処設備によりプラントの安全性に関する主要な機能^{※3}が損なわれるおそれのない こと
- ※1:火災の影響により電動弁の遠隔操作機能が喪失した場合に,現場の環境状況を考慮の上,運 転員等が現場へアクセスし,消火活動後,手動にて弁操作を実施する,等
- ※2:設計基準事故対処設備の安全機能及び使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能
- ※3:「未臨界移行」、「燃料冷却」、「格納容器除熱」及び「使用済燃料ピット注水」機能とする
- 2.2 方針への適合性確認の流れ

2.1に示した防護方針への適合性の確認においては、まず、設置許可基準規則第三十七条以降の 各条文に該当する重大事故等対処施設を抽出し、それらを「防止設備」、「緩和設備」及び「防止でも 緩和でもない設備」に分類する。これらの分類を行った上で、方針 I 及び II への適合性を確認する一 次評価と、方針 II への適合性を確認する二次評価の二つの段階にて確認する。

(1) 方針 I への適合性の確認(一次評価)

方針 I への適合について確認すべき対象は「防止設備」に分類された設備であり、以下のような 流れでその適合性を確認する。

- ② :各条文の「防止設備」が、単一の火災による影響でその安全機能を維持できるか
- ②:①にて維持できない場合は、単一の火災で当該防止設備に対応する設計基準事故対処設備等の機能が同時に喪失していないか
- ③:②にて同時に喪失していた場合は、各種対応を実施する
- (2) 方針IIへの適合性の確認(一次評価)

方針Ⅱへの適合について確認すべき対象は「緩和設備」及び「防止でも緩和でもない設備」に分 類された設備であり、以下のような流れでその適合性を確認する。

- 各条文の「緩和設備」又は「防止でも緩和でもない設備」が、単一の火災による影響でその 安全機能を維持できるか
- ②:①にて維持できない場合は、修復性等を考慮したできる限りの頑健性を確保する

(3) 方針IIIへの適合性の確認(二次評価)

方針IIIへの適合性については、以下のような流れで確認する。

- :火災による影響を考慮した上で、設計基準事故対処設備等の機能に期待せず、重大事故等 対処設備によって「未臨界移行」、「燃料冷却」、「格納容器除熱」及び「使用済燃料ピット注 水」機能が維持できるか
- ②:①にて維持できない場合は、各種対応を実施する

- 3. 火災による重大事故等対処設備の独立性・修復性
- 3.1 重大事故防止設備の火災による設計基準事故対処設備等への影響(独立性)

設置許可基準規則第四十三条第2項第三号を火災の観点からみると,常設重大事故防止設備は,単 ーの火災によって当該設備の機能と設計基準事故対処設備の安全機能とが同時喪失しないことを要求 している。また,設置許可基準規則第四十三条第3項第七号を火災の観点からみると,可搬型重大事 故防止設備は,単一の火災によって当該設備の機能と設計基準事故対処設備の安全機能とが同時喪失 しないこと,及び当該設備の機能と使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能とが同時喪失しな いこと,さらには当該設備の機能と常設重大事故防止設備の重大事故等対処に必要な機能とが同時喪 失しないことを要求している。

このため、まずは単一の火災によって可搬型重大事故防止設備の機能と設計基準事故対処設備の安 全機能が同時に喪失しないこと、当該設備の機能と使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能が 同時に喪失しないこと、及び当該設備の機能と常設重大事故防止設備の重大事故等対処に必要な機能 が同時に機能喪失しないことを確認する。

次に、単一の火災によって常設重大事故防止設備の機能と設計基準事故対処設備の安全機能が同時 に喪失しないことを示す。

なお,上記の確認は,重大事故防止設備の各機能について,火災によって当該設備の機能と,当該 設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備の安全機能が同時に喪失しないことを確認するこ とによって,任意の単一火災によって,重大事故防止設備の機能と設計基準事故対処設備の安全機能 が同時に喪失しないことを示す。

3.1.1 可搬型重大事故防止設備の火災による設計基準事故対処設備等への影響 重大事故防止設備のうち可搬型のものを第1表に示す。

| 可搬型 | 型重大事故防止設備 | 関連条 | 代替する機能を有する |
|---------------------|--------------------------|-----|---|
| 対応手段 | 設備 | 文 | 設計基準事故対処設備 |
| 加圧器逃がし弁の 機能回復 | 加圧器逃がし弁操作用可搬型窒素 ガスボンベ | 4 6 | 制御用空気圧縮機 |
| | 加圧器逃がし弁操作用バッテリ | | 蓄電池(非常用) |
| 代替炉心注水(可搬型 ポンプ車) | 可搬型大型送水ポンプ車 | 4 7 | 余熱除去ポンプ, 余熱除去冷却器, 高圧注入ポンプ, 燃料取替用水ピット, 全交流動力電源, 原子炉補機冷却水系, 格納容器再循環サンプス クリーン |

第1表 可搬型重大事故防止設備(1/4)

| 可搬型 | 型重大事故防止設備 | 関連条 | 代替する機能を有する |
|-------------------------------------|--|------------|--|
| 対応手段 | 設備 | 文 | 設計基準事故対処設備 |
| 代替再循環運転(A- SIP(海水冷却)) | 可搬型大型送水ポンプ車 | 47 56 | 全交流動力電源, 原子炉補機冷却水系 |
| 格納容器内自然対流冷 却(C/V再循環ユニ ット:海水) | 可搬型大型送水ポンプ車 | 4 8 4 9 | 原子炉補機冷却海水ポン プ,原子炉補機冷却水ポン プ,全交流動力電源 |
| 代替補機冷却(SIP (海水冷却)) | 可搬型大型送水ポンプ車 | 48 | 原子炉補機冷却海水ポン プ,原子炉補機冷却水ポン プ,全交流動力電源 |
| 格納容器内自然対流冷 却(C/V再循環ユニ ット:CCW) | 原子炉補機冷却水サージタンク加 圧用可搬型窒素ガスボンベ | 49 | 格納容器スプレイポンプ, 格納容器スプレイ冷却器, 安全注入ポンプ再循環サ ンプ側入口C/V外側隔 離弁 |
| 使用済燃料ピットへの 注水 | 可搬型大型送水ポンプ車 | 54 56 | 使用済燃料ピットポンプ, 使用済燃料ピット冷却器, 燃料取替用水ポンプ, 燃料取替用水ピット, 2次系補給水ポンプ, 2次系純水タンク |
| 使用済燃料ピットの監 視 | 使用済燃料ピット水位(可搬型) 使用済燃料ピット可搬型エリアモ ニタ | 54 | 使用済燃料ピット水位 使用済燃料ピットエリア モニタ |
| 海水を用いた補助給水 ピットへの補給 | 可搬型大型送水ポンプ車 | 56 | 補助給水ピット |
| 燃料取替用水ピットか ら海水への水源切替 | 可搬型大型送水ポンプ車 | 56 | 燃料取替用水ピット |
| 海水を用いた燃料取替 用水ピットへの補給 | 可搬型大型送水ポンプ車 | 56 | 燃料取替用水ピット |
| 代替非常用発電機によ る代替電源(交流)か らの給電 | 可搬型タンクローリー | 57 | ディーゼル発電機 |

第1表 可搬型重大事故防止設備(2/4)

| 可搬型 | 第1 表 可撤至重入事政防止設備 型重大事故防止設備 | 関連条 | 代替する機能を有する |
|---|---|-----|---|
| 対応手段 | 設備 | 文 | 設計基準事故対処設備 |
| 可搬型代替電源車によ る代替電源(交流)か らの給電 | 可搬型代替電源車 可搬型タンクローリー | 57 | ディーゼル発電機 |
| 可搬型直流電源用発電 機及び可搬型直流変換 器による代替電源(直 流)からの給電 | 可搬型直流電源用発電機 可搬型直流変換器 可搬型タンクローリー | 57 | ディーゼル発電機, 蓄電池(非常用) |
| 代替所内電気設備による交流の給電 | 可搬型代替電源車 可搬型タンクローリー | 57 | 所内電気設備 |
| 燃料の補給に用いる設 備(可搬型タンクロー リーによる汲み上げ) | 可搬型タンクローリー | 57 | ディーゼル発電機燃料油 貯油槽 |
| 燃料の補給に用いる設 備 (ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプによ る汲み上げ) | 可搬型タンクローリー | 57 | ディーゼル発電機燃料油 貯油槽 |
| 圧力計測(最終ヒート シンクの確保) | 原子炉補機冷却水サージタンク圧 力(可搬型) ^{※1} | 58 | 原子炉補機冷却水サージ タンク圧力(AM用) |
| 温度計測(最終ヒート シンクの確保) | 可搬型温度計測装置(格納容器再循 環ユニット入口温度/出口温度) | 58 | 主要パラメータの予備 ^{※1} 格納容器内温度 ^{※1} 原子炉格納容器圧力 ^{※1} |
| 水位計測(使用済燃料 ピットの監視) | 使用済燃料ピット水位(可搬型) | 58 | 使用済燃料ピット水位(A M用) ^{※1} 使用済燃料ピット可搬型 エリアモニタ ^{※1} 使用済燃料ピット監視カ メラ ^{※1} |
| 線量計測(使用済燃料 ピットの監視) | 使用済燃料ピット可搬型エリアモ ニタ | 58 | 使用済燃料ピット水位(A M用) ^{※1} 使用済燃料ピット監視カ メラ ^{※1} |
| 温度, 圧力, 水位及び 流量に係わるものの計 測 | 可搬型計測器 | 58 | 各計器 |

| 第1表 〕 | 可搬型重大事故防止設備 | (3/4) |
|-------|-------------|-------|
|-------|-------------|-------|

| 可搬型 | 型重大事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|------------------|-----------|-----|------------|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備 |
| 発電所内の通信連絡を | 衛星携帯電話 | | |
| する必要のある場所と | トランシーバ | 6.2 | 宙起化ム乳港体 |
| 通信連絡を行うための 設備 | 携行型通話装置 | 62 | 運転指令設備等 |

第1表 可搬型重大事故防止設備(4/4)

第1表の設備のうち,可搬型大型送水ポンプ車,可搬型タンクローリー,可搬型代替電源車,可搬 型直流電源用発電機は,原子炉建屋,原子炉補助建屋,ディーゼル発電機建屋,循環水ポンプ建屋, 代替非常用発電機等とは距離的に離れた場所に配備することとしており,これらの設備に火災が発生 しても,各重大事故防止設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備,使用済燃料貯蔵槽の冷 却機能若しくは注水機能,又は常設重大事故防止設備に影響を及ぼすおそれはない。すなわち,2. 2(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。(第41条火災による損傷の防止41-6添付資料1)

加圧器逃がし弁操作用可搬型窒素ガスボンベは原子炉建屋 T.P.17.8m に,加圧器逃がし弁操作用バ ッテリは原子炉補助建屋 T.P.10.3m に設置している。一方,当該ボンベが代替する機能を有する設計 基準事故対処設備である制御用空気圧縮機は原子炉建屋 T.P.10.3m に設置している。したがって,加 圧器逃がし弁操作用可搬型窒素ガスボンベと制御用空気圧縮機は分散配置されており,火災により同 時に機能喪失することはない。また,加圧器逃がし弁操作用バッテリが代替する機能を有する設計基 準事故対処設備である蓄電池(非常用)は原子炉補助建屋 T.P.10.3m の加圧器逃がし弁操作用バッテ リとば別の区画に設置されている。したがって,火災によって加圧器逃がし弁操作用バッテリと蓄電池 (非常用)が同時に機能喪失することはない。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に 喪失しないと判断する。(第1図)

原子炉補機冷却水サージタンク加圧用可搬型窒素ガスボンベは原子炉建屋 T.P.43.6m に設置してい る。一方,当該ボンベが代替する機能を有する設計基準事故対処設備である格納容器スプレイポンプ は原子炉補助建屋 T.P.-1.7m に,格納容器スプレイ冷却器は原子炉補助建屋 T.P.2.3m に,安全注入 ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁は原子炉建屋 T.P.10.3m に設置している。したがって, 原子炉補機冷却水サージタンク加圧用可搬型窒素ガスボンベと格納容器スプレイポンプ,格納容器ス プレイ冷却器及び安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁は分散配置されており,火災 により同時に機能喪失することはない。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失し ないと判断する。(第2図)

使用済燃料ピット水位(可搬型)及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、それぞれ当該計測 設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備である使用済燃料ピット水位及び使用済燃料ピッ トエリアモニタが機能喪失した場合にも使用済燃料ピットを監視可能なように配備するものである。

これらの計測設備は、火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用等の対策等を講じる。また、 感知・消火対策として当該計測設備を保管,設置する原子炉建屋,原子炉補助建屋,燃料取扱棟につ いては異なる2種類の感知器を設置するとともに、消防法に基づく消火設備を設置している。さら に、これらの計器のケーブルは電線管の使用等により分離している。また、各監視パラメータは第2 表のとおり位置的分散を図る。(第3-1図,第3-2図)

| 計測設備 | 評価 |
|-------------|---------------------------------|
| 使用済燃料ピット水位 | ・使用済燃料ピット水位(可搬型)の保管場所と使用済燃料ピット水 |
| (可搬型) | 位は約15mの離隔距離 |
| 使用済燃料ピット可搬型 | ・使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは使用済燃料ピットエリアモ |
| エリアモニタ | ニタとは別の火災区画に保管 |

第2表 使用済燃料ピットの監視の計測設備の位置的分散について

以上より,単一の火災によって「使用済燃料ピット水位(可搬型)及び使用済燃料ピット水位」, 「使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピットエリアモニタ」は,それぞれ同時に機 能を喪失することなく確保できる。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しない と判断する。

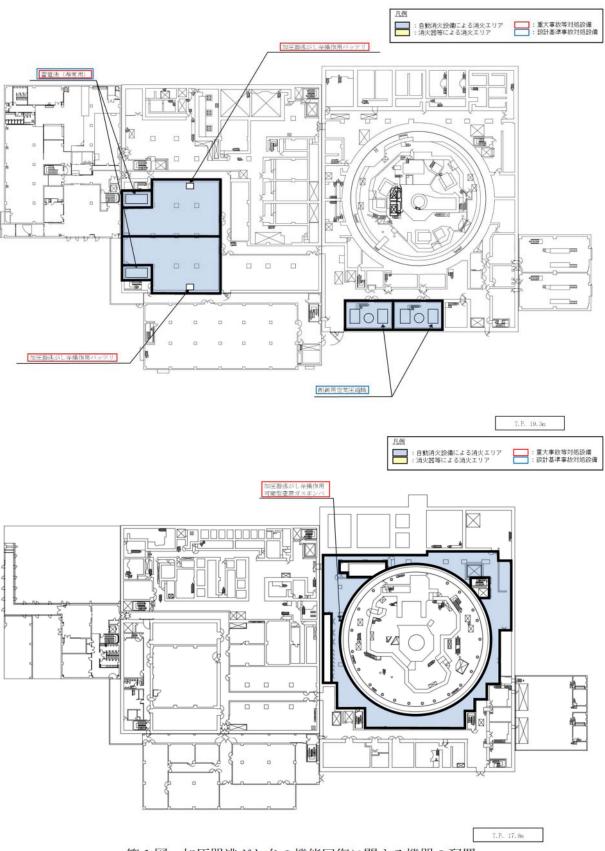
可搬型直流変換器は原子炉補助建屋 T.P.10.3m に設置している。一方,当該設備が代替する機能を 有する設計基準事故対処設備である蓄電池(非常用)は原子炉補助建屋 T.P.10.3m の可搬型直流変換 器とは別の区画に,常設重大事故防止設備である後備蓄電池は原子炉補助建屋 T.P.14.8m に設置して いる。したがって,可搬型直流変換器と蓄電池(非常用)及び後備蓄電池は分散配置されており,火 災により同時に機能喪失することはない。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失 しないと判断する。(第4図)

原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)及び可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット 入口温度/出口温度),使用済燃料ピット水位(可搬型),使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは, 重大事故等対処設備のうち計装設備として3.1.2(28)計装設備[58条]にて影響を整理す る。

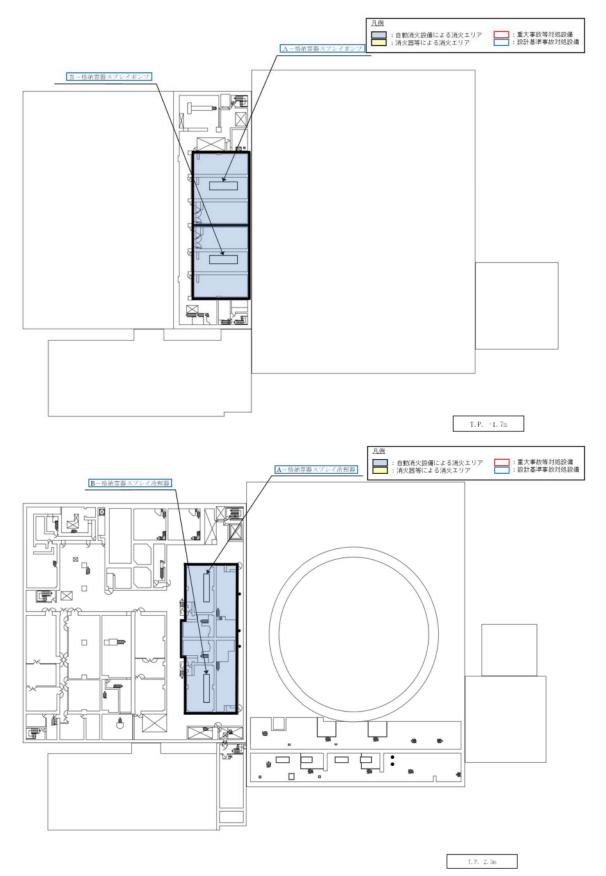
可搬型計測器は、当該計測器が代替する機能を有する重大事故等に対処するために監視が必要な各 計器(主要設備の計測が困難となった場合の代替監視パラメータを含む。)の直流電源が喪失した場 合にも重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測可能なように配備するものである。 可搬型計測器は、当該計測器が代替する機能を有する重大事故等に対処するために監視が必要な各計 器(主要設備の計測が困難となった場合の代替監視パラメータを含む。)の電源設備(非常用交流電 源設備,常設代替電源設備,可搬型代替電源設備,所内常設蓄電式直流電源設備,可搬型直流電源設 備)を配置する火災区画とは別の火災区画として原子炉補助建屋に配置していることから、単一の火 災によってそれぞれが同時に機能喪失することはない。さらに、可搬型計測器は、原子炉補助建屋に 配置しているものに加え、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用の19個を緊急時 対策所にも配備し、位置的分散を図っている。すなわち、2.2(1)②において安全機能が同時に 喪失しないと判断する。

携行型通話装置は原子炉補助建屋に保管しているが、当該設備が代替する機能を有する設計基準対 象施設である運転指令設備は電気建屋に設置しており、位置的分散が図られていることから、火災に よって発電所内の通信連絡機能が喪失することはない。

また,衛星携帯電話は原子炉補助建屋(中央制御室)及び緊急時対策所(指揮所)に保管し,トラ ンシーバは緊急時対策所(指揮所)及び屋外に保管しているが,当該設備が代替する機能を有する設 計基準対象施設である運転指令設備は電気建屋に設置しており,位置的分散が図られていることか ら,火災によって発電所内の通信連絡機能が喪失することはない。すなわち,2.2(1)②におい て安全機能が同時に喪失しないと判断する。(第5図)

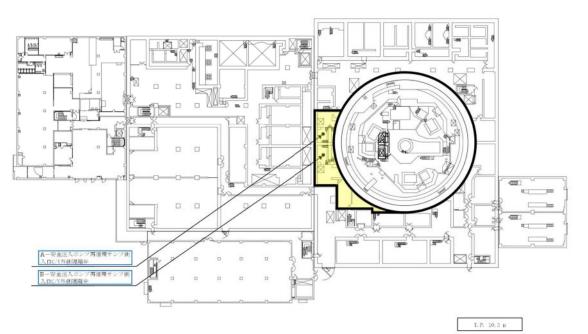


第1図 加圧器逃がし弁の機能回復に関する機器の配置

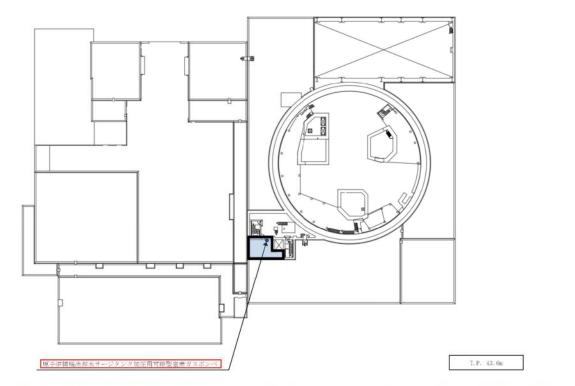


第2図 格納容器内自然対流冷却(C/V再循環ユニット:CCW)に関する機器の配置(1/2)

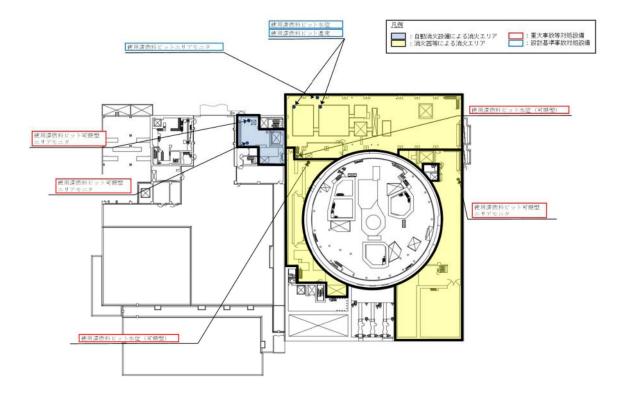








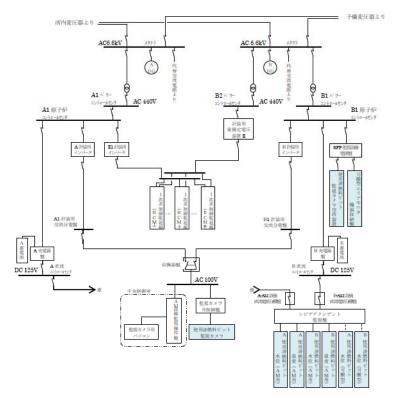
第2図 格納容器内自然対流冷却(C/V再循環ユニット:CCW)に関する機器の配置(2/2)



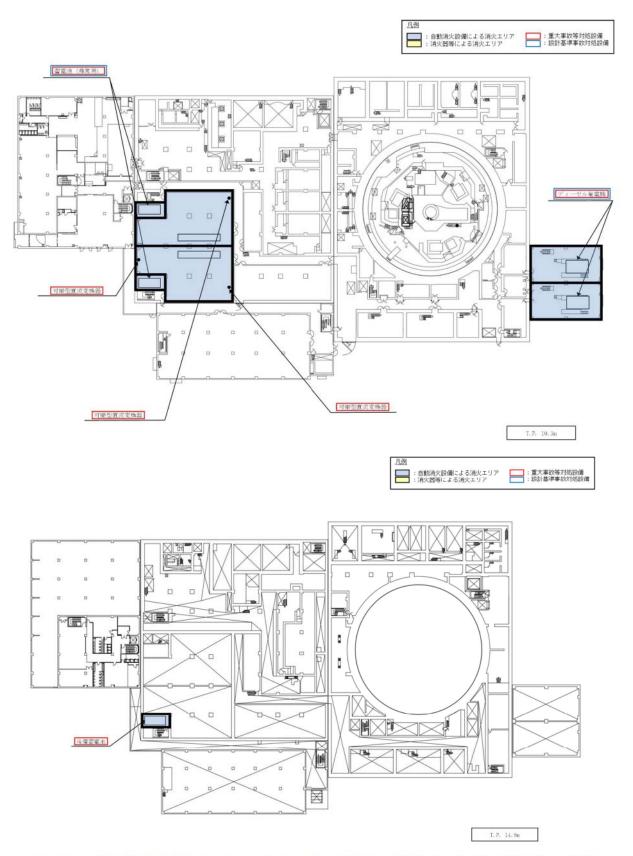
T.P. 33.1m

Γ

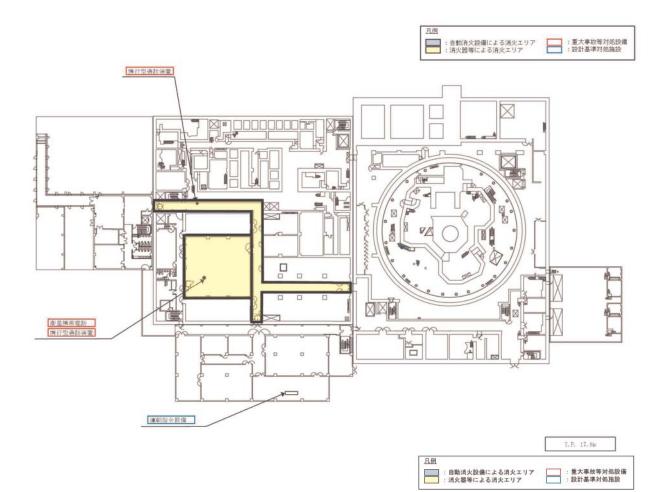
第3-1図 使用済燃料ピットの監視に関する機器の配置

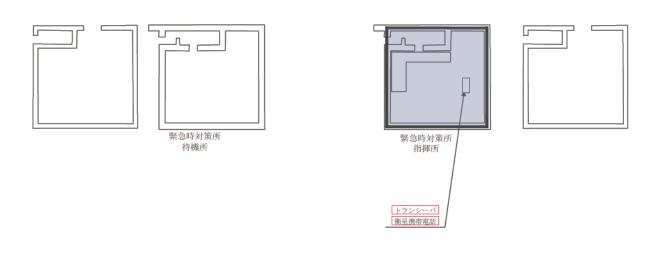


第3-2図 使用済燃料ピットの監視の計測設備の電源構成概略図



第4図 可搬型直流変換器とディーゼル発電機, 蓄電池(非常用)及び後備蓄電池の配置





緊急時対策所 T.P. 39 m エリア

第5図 衛星携帯電話、トランシーバ、携行型通話装置と運転指令設備の配置

3.1.2 常設重大事故防止設備の火災による設計基準事故対処設備等への影響 重大事故防止設備のうち常設のものを第3表に示す。

| | 第3表 书設里入事政防止設備 (1) 重大事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|-------------|--------------------------------|-----|--|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備 |
| ×11-0-1-1× | 原子炉トリップスイッチ | | 原子炉安全保護盤, |
| 手動による原子炉緊急 | 制御棒クラスタ | 44 | 安全保護系のプロセス計 |
| 停止 | 原子炉トリップ遮断器 | | 装,炉外核計装 |
| | 共通要因故障対策盤(自動制御盤) | | |
| | (ATWS緩和設備) | | |
| | 主蒸気隔離弁 | 1 | |
| | 電動補助給水ポンプ | 1 | |
| | タービン動補助給水ポンプ | 1 | 制御棒クラスタ, |
| | 補助給水ピット | 1 | 原子炉トリップ遮断器, |
| 原子炉出力抑制(自動) | 主蒸気逃がし弁 | 44 | 原子炉安全保護盤, |
| | 主蒸気安全弁 | 1 | 安全保護系のプロセス計 |
| | 加圧器逃がし弁 | 1 | 装,炉外核計装 |
| | 加圧器安全弁 | 1 | |
| | 蒸気発生器 | 1 | |
| | 主蒸気管 | 1 | |
| | 主蒸気隔離弁 | | |
| | 電動補助給水ポンプ |] | 制御棒クラスタ, |
| | タービン動補助給水ポンプ |] | |
| | 補助給水ピット | | |
| 原子炉出力抑制(手動) | 主蒸気逃がし弁 | | 原子炉トリップ遮断器, 原乙炉安合促進般 |
| 原丁炉百万抑刺(于勤) | 主蒸気安全弁 | 44 | 原子炉安全保護盤, 安全保護系のプロセス計 |
| | 加圧器逃がし弁 |] | 安主保護家のクロセス計 装, 炉外核計装 |
| | 加圧器安全弁 | | 衣, 加771201衣 |
| | 蒸気発生器 | | |
| | 主蒸気管 | | |
| | ほう酸タンク | | 判御持カニュカ |
| ほう酸水注入(ほう酸 | ほう酸ポンプ | | 制御棒クラスタ, 原子炉トリップ遮断器, |
| タンク→充てんライ | 緊急ほう酸注入弁 | 4 4 | 原子炉安全保護盤, |
| ン) | 充てんポンプ | | 尿」 / / ダ 至 休 暖 盈, 安 全 保 護 系 の プ ロ セ ス 計 |
| | ほう酸フィルタ | | 表, 炉外核計装 |
| | 再生熱交換器 | | 2477 /7 / TZART 24 |

第3表 常設重大事故防止設備(1/13)

| 常設 | 第3表 吊設里入事政防止設備 (2) 重大事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|--|--|--------------|---|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備 |
| ほう酸水注入(燃料取 替用水ピット→充てん ライン) | 燃料取替用水ピット 充てんポンプ 再生熱交換器 | 44 | 制御棒クラスタ, 原子炉トリップ遮断器, 原子炉安全保護盤, 安全保護系のプロセス計 装, 炉外核計装 |
| ほう酸水注入(燃料取 替用水ピット→安全注 入ライン) | 高圧注入ポンプ ほう酸注入タンク 燃料取替用水ピット | 44 | 制御棒クラスタ, 原子炉トリップ遮断器, 原子炉安全保護盤, 安全保護系のプロセス計 装, 炉外核計装 |
| 1 次系のフィードアン ドブリード(高圧注入 ポンプ) | 高圧注入ポンプ 加圧器逃がし弁 燃料取替用水ピット 余熱除去ポンプ 余熱除去冷却器 格納容器再循環サンプスクリーン ほう酸注入タンク | 4546 | 電動補助給水ポンプ, タービン動補助給水ポン プ, 補助給水ピット, 主蒸気逃がし弁 |
| 蓄圧注入 | 蓄圧タンク 蓄圧タンク出口弁 | 45 46 | 電動補助給水ポンプ, タービン動補助給水ポン プ, 補助給水ピット, 主蒸気逃がし弁 |
| 蒸気発生器 2 次側によ る炉心冷却(タービン 動補助給水ポンプの機 能回復) | タービン動補助給水ポンプ 主蒸気逃がし弁 補助給水ピット 蒸気発生器 タービン動補助給水ポンプ駆動蒸気 入口弁 主蒸気管 | - 45 - 46 | タービン動補助給水ポン プ, 直流電源, 主蒸気逃がし弁, 全交流動力電源(制御用空 気) |

| 第3表 | 常設重大事故防止設備 | (2/13) |
|-----|------------|--------|

| 常設 | 重大事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|---|--|------|------------------------------|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備 |
| 蒸気発生器 2 次側によ る炉心冷却(電動補助 給水ポンプの機能回 復) | 電動補助給水ポンプ 主蒸気逃がし弁 補助給水ピット 蒸気発生器 主蒸気管 | 4546 | 主蒸気逃がし弁, 全交流動力電源, 直流電源 |
| 蒸気発生器 2 次側によ る炉心冷却 | 電動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ 補助給水ピット 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器 主蒸気管 | 46 | 加圧器逃がし弁 |
| 加圧器逃がし弁の 機能回復 | 加圧器逃がし弁 | 4 6 | 加圧器逃がし弁, |
| 1次冷却系統の減圧 (SG伝熱管破損発生 | 主蒸気逃がし弁* | 4 6 | 主蒸気逃がし弁 |
| 時, IS-LOCA発 生時) | 加圧器逃がし弁* | | 加圧器逃がし弁 |
| 余熱除去系統の隔離 (IS-LOCA発生 時) | 余熱除去ポンプ入口弁* | 4 6 | 余熱除去ポンプ入口弁 |
| 炉心注水(CHP) | 充てんポンプ* | | 余熱除去ポンプ, 高圧注入ポンプ, |
| (1次冷却材喪失事象 が発生している場合, | 燃料取替用水ピット * | 4 7 | 燃料取替用水ピット, 格納容器再循環サンプスク |
| 運転停止中の場合) | 再生熱交換器 * | | リーン, 余熱除去冷却器 |
| 代 | B-格納容器スプレイポンプ | | 余熱除去ポンプ, 高圧注入ポンプ, |
| (1次冷却材喪失事象) が発生している場合, | 燃料取替用水ピット | 4 7 | 燃料取替用水ピット, 格納容器再循環サンプスク |
| が 兎 モ し て い る 場合, 運転停止中の場合) | B-格納容器スプレイ冷却器 | | リーン, 余熱除去冷却器 |

| | 第3表 | 常設重大事故防止設備(3/13 |) |
|--|-----|-----------------|---|
|--|-----|-----------------|---|

*重大事故等時に使用する設計基準事故対処設備

| 常設 | 重大事故防止設備 | 関連条 | 代替する機能を有する |
|---|-----------------|-----|---------------------------|
| 対応手段 | 設備 | 文 | 設計基準事故対処設備 |
| 代替炉心注水(代替C SP) | 代替格納容器スプレイポンプ | | 余熱除去ポンプ, 高圧注入ポンプ, |
| (1次冷却材喪失事象) が発生している場合, | 燃料取替用水ピット | 4 7 | 燃料取替用水ビット, 格納容器再循環サンプス |
| 運転停止中の場合) | 補助給水ピット | | クリーン, 余熱除去冷却器 |
| | 高圧注入ポンプ* | | |
| 再循環運転(SIP) | 格納容器再循環サンプ* | | 余熱除去ポンプ, |
| (1次冷却材喪失事象 | 格納容器再循環サンプスクリーン | | 示热际五小 > > >, 余熱除去冷却器, |
| が発生している場合、 | * | 47 | |
| 運転停止中の場合) | 安全注入ポンプ再循環サンプ側入 | | 余熱除去ポンプ再循環サ ンプ側入口弁 |
| | 口C/V外側隔離弁* | | |
| | ほう酸注入タンク* | | |
| | B-格納容器スプレイポンプ | | |
| 代替再循環運転(B- | B-格納容器再循環サンプ | | 余熱除去ポンプ, |
| CSP) | B-格納容器再循環サンプスクリ | 17 | 余熱除去冷却器, |
| (1次冷却材喪失事象 | - <i>v</i> | 56 | 余熱除去ポンプ再循環サ |
| が発生している場合, | B-格納容器スプレイ冷却器 | | ンプ側入口弁 |
| 運転停止中の場合) | B-安全注入ポンプ再循環サンプ | | |
| | 側入口C/V外側隔離弁 | | |
| 炉心注水(S I P) | 高圧注入ポンプ* | | 格納容器再循環サンプス |
| (1次冷却材喪失事象 | 燃料取替用水ピット * | 4 7 | クリーン, |
| が発生している場合, | ほう酸注入タンク* | | 余熱除去ポンプ, |
| 運転停止中の場合) | | | 余熱除去冷却器 |
| 代替炉心注水(CHP (自己冷却)) | B - 充てんポンプ | | |
| (1次冷却材喪失事象 | 燃料取替用水ピット | 4 7 | 全交流動力電源, 原子炉補機冷却水系 |
| が発生している場合, 運転停止中の場合) | 再生熱交換器 | | |

第3表 常設重大事故防止設備(4/13)

*重大事故等時に使用する設計基準事故対処設備

| 常設 | 重大事故防止設備 | 関連条 | 代替する機能を有する |
|--|-----------------|-----|--|
| 対応手段 | 設備 | 文 | 設計基準事故対処設備 |
| | A-高圧注入ポンプ | | |
| 代替再循環運転(A- | A-格納容器再循環サンプ | | |
| S I P (海水冷却)) | A-格納容器再循環サンプスクリ | 47 | 全交流動力電源, |
| (1次冷却材喪失事象 | - <i>y</i> | 56 | 至交流動力電源, 原子炉補機冷却水系 |
| が発生している場合, | A-安全注入ポンプ再循環サンプ | 50 | 一示 1 / 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 |
| 運転停止中の場合) | 側入口C/V外側隔離弁 | | |
| | ほう酸注入タンク | | |
| 蒸気発生器2次側によ | 電動補助給水ポンプ* | | |
| る炉心冷却(補助給水 | タービン動補助給水ポンプ* | | |
| ポンプ) | 補助給水ピット* | 47 | 余熱除去ポンプ, |
| (1次冷却材喪失事象 | 主蒸気逃がし弁* | / | 余熱除去冷却器 |
| が発生していない場 | 蒸気発生器* | | |
| 合,運転停止中の場合) | 主蒸気管* | | |
| | 余熱除去ポンプ* | | |
| 低圧時再循環 | 余熱除去冷却器* | | - (重大事故等時に使用可 |
| (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) | 格納容器再循環サンプ* | 47 | - (重八事旼寺時に使用引 能である場合) |
| 211 263 (12) 24 XE TA | 格納容器再循環サンプスクリーン | | |
| | * | | |

| 第3表 | 常設重大事故防止設備 | (5/13) | |
|----------------------|------------|--------|--|
| 714 - 2 4 | | (-// | |

* 重大事故等時に使用する設計基準事故対処設備

| 常設 | 重大事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|---|--|----------|--|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備 |
| 蒸気発生器 2 次側によ る炉心冷却(補助給水 ポンプ) | 電動補助給水ポンプ タービン動補助給水ポンプ 補助給水ピット 主蒸気逃がし弁 蒸気発生器 主蒸気管 | 4 8 | 原子炉補機冷却海水ポン プ, 原子炉補機冷却水ポンプ |
| 格納容器内自然対流冷 却(C/V再循環ユニ ット:海水) | C, D-格納容器再循環ユニット | 48 49 | 原子炉補機冷却海水ポン プ, 原子炉補機冷却水ポンプ |
| 代替補機冷却(SIP (海水冷却)) | A-高圧注入ポンプ | 48 | 原子炉補機冷却海水ポン プ, 原子炉補機冷却水ポンプ |
| 格納容器内自然対流冷 却(C/V再循環ユニ ット:CCW) (炉心の著しい損傷防 止) | C、D-格納容器再循環ユニット C、D-原子炉補機冷却水ポンプ C、D-原子炉補機冷却水冷却器 原子炉補機冷却水サージタンク C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ 出口ストレーナ C、D-原子炉補機冷却水冷却器海 水入口ストレーナ | 49 | 格納容器スプレイポンプ, 格納容器スプレイ冷却器, 安全注入ポンプ再循環サン プ側入口C/V外側隔離弁 |
| 代替格納容器スプレイ (代替CSP) (炉心の著しい損傷防 止) | 代替格納容器スプレイポンプ 燃料取替用水ピット 補助給水ピット | 49 | 格納容器スプレイポンプ, 燃料取替用水ピット |
| 格納容器スプレイ 格納容器スプレイ再循 環 | 格納容器スプレイポンプ* 格納容器スプレイ冷却器* 燃料取替用水ピット* 格納容器再循環サンプ* 格納容器再循環サンプスクリーン* | 49 | - (重大事故等時に使用可 能である場合) |

| 第3表 | 常設重大事故防止設備(6/13) | |
|-----|------------------|--|
|-----|------------------|--|

* 重大事故等時に使用する設計基準事故対処設備

| 常設 | 重大事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|---|------------------|----|-------------------------------------|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備 |
| 使用済燃料ピットの監 | 使用済燃料ピット水位 (AM用) | 54 | 使用済燃料ピット水位 |
| 視 | 使用済燃料ピット温度 (AM用) | 54 | 使用済燃料ピット温度 |
| | 燃料取替用水ピット | | |
| 1次系のフィードアン | 高圧注入ポンプ | 56 | 補助給水ピット(枯渇又は |
| ドブリード | 加圧器逃がし弁 | 50 | 破損) |
| | ほう酸注入タンク | | |
| 燃料取替用水ピットか | 補助給水ピット | | 燃料取替用水ピット(枯渇 |
| ら補助給水ピットへの 水源切替 | 代替格納容器スプレイポンプ | 56 | 又は破損) |
| 代替非常用発電機によ | 代替非常用発電機 | | ゴノービッ 及重機(人去法 |
| る代替電源 (交流) から | ディーゼル発電機燃料油貯油槽 | 57 | ディーゼル発電機(全交流 動力電源) |
| の給電 | ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ |] | <i>到八电你</i>) |
| 可搬型代替電源車によ | ディーゼル発電機燃料油貯油槽 | | ディーゼル発電機(全交流 |
| る代替電源 (交流) から の給電 | ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ | 57 | 動力電源) |
| 蓄電池 (非常用) による 直流電源からの給電 | 蓄電池(非常用) | 57 | ディーゼル発電機(全交流 動力電源) |
| 後備蓄電池による代替 電源 (直流) からの給電 | 後備蓄電池 | 57 | ディーゼル発電機(全交流 動力電源)及び蓄電池(非常 用) |
| 可搬型直流電源用発電 機及び可搬型直流変換 器による代替電源(直 流)からの給電 | ディーゼル発電機燃料油貯油槽 | 57 | ディーゼル発電機(全交流 動力電源)及び蓄電池(非常 用) |

第3表 常設重大事故防止設備(7/13)

| 常設重大事故防止設備 | | 関連 | 代替する機能を有する |
|--|------------------|----|--------------------|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備 |
| | 代替非常用発電機 | | |
| | ディーゼル発電機燃料油貯油槽 | | |
| 代替所内電気設備によ | 代替所内電気設備変圧器 | 57 | 所内電気設備 |
| る交流の給電 | 代替所内電気設備分電盤 | 57 | //I//电×lity/曲 |
| | 代替格納容器スプレイポンプ変圧器 | | |
| | 盤 | | |
| 燃料の補給に用いる設 備 (可搬型タンクローリ ーによる汲み上げ) | ディーゼル発電機燃料油貯油槽 | 57 | ディーゼル発電機燃料油貯 油槽 |
| 燃料の補給に用いる設備(ディーゼル発電機燃 | ディーゼル発電機燃料油貯油槽 | 57 | ディーゼル発電機燃料油貯 |
| () インゼル光電機感 料油移送ポンプによる 汲み上げ) | ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ | 57 | 油槽 |
| | ディーゼル発電機* | | ディーゼル発電機 |
| ディーゼル発電機によ る給電 | ディーゼル発電機燃料油貯油槽* | 57 | ディーゼル発電機燃料油貯 油槽 |
| ·シ //山 电 | ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ | | ディーゼル発電機燃料油移 |
| | * | | 送ポンプ |

*重大事故等時に使用する設計基準事故対処設備

| 第3表 | 常設重大事故防止設備 | (9/1) | 3) |
|-----|------------|-------|----|
|-----|------------|-------|----|

| 常設重大 | 第3衣 吊設里入爭戰防止計 事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|-----------------------|--------------------------------|----|--|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備※1 |
| 温度計測(原子炉容器 | 1次冷却材温度(広域-高 温側) | 58 | 1次冷却材温度(広域-低温側) |
| 内の温度) | 1次冷却材温度(広域-低 温側) | 50 | 1次冷却材温度(広域-高温側) |
| 圧力計測(原子炉容器 内の圧力) | 1 次冷却材圧力(広域) | 58 | 1 次冷却材温度(広域-高温側) 1 次冷却材温度(広域-低温側) |
| 水位計測(原子炉容器 | 加圧器水位 | | 原子炉容器水位 1次冷却材圧力(広域) 1次冷却材温度(広域-高温側) |
| 水位計測(原于炉谷益 内の水位) | 原子炉容器水位 | 58 | 加圧器水位 1次冷却材圧力(広域) 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側) |
| | 高圧注入流量 | | 燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| 注水量計測(原子炉容 器への注水量) | 低圧注入流量 | | 燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| | 代替格納容器スプレイポン プ出口積算流量 | 58 | 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| | B – 格納容器スプレイ冷却 器出口積算流量(AM用) | | 燃料取替用水ピット水位 加圧器水位 原子炉容器水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |

| 常設重大 | 事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|--------------------------|--|----|---|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備※1 |
| | 代替格納容器スプレイポン プ出ロ積算流量 | | 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| 注水量計測(原子炉格 納容器への注水量) | B-格納容器スプレイ冷却 器出口積算流量(AM用) | 58 | 燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| | 高圧注入流量 | | 燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| | 低圧注入流量 | | 燃料取替用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| 温度計測(原子炉格納 容器内の温度) | 格納容器内温度 | 58 | 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力(AM用) |
| 圧力計測(原子炉格納 | 原子炉格納容器圧力 | 58 | 格納容器圧力(AM用) 格納容器内温度 |
| 容器内の圧力) | 格納容器圧力 (AM用) | | 原子炉格納容器圧力 格納容器内温度 |
| 水位計測(原子炉格納 容器内の水位) | 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | 58 | 格納容器再循環サンプ水位(狭域) 原子炉下部キャビティ水位 格納容器水位 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 B-格納容器スプレイ冷却器出口積 算流量(AM用) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流 量 |
| | 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) | | 格納容器再循環サンプ水位(広域) |
| 線量計測(原子炉格納 容器内の放射線量率) | 格納容器内高レンジエリア モニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリア モニタ(高レンジ) | 58 | 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) |

第3表 常設重大事故防止設備(10/13)

| 常設重大事 | 耳故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|------------------------|---------------------------|----|--|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備※1 |
| | 出力領域中性子束 | | 中間領域中性子束 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側) ほう酸タンク水位 |
| 出力計測(未臨界の維 持又は監視) | 中間領域中性子束 | 58 | 出力領域中性子束 中性子源領域中性子束 ほう酸タンク水位 中間領域中性子束 |
| | 中性子源領域中性子束 | | ほう酸タンク水位 |
| | 蒸気発生器水位(狭域) | | 蒸気発生器水位(広域) 1次冷却材温度(広域-低温側) 1次冷却材温度(広域-高温側) |
| 水位計測(最終ヒート シンクの確保) | 蒸気発生器水位(広域) | 58 | 蒸気発生器水位(狭域) 1次冷却材温度(広域-低温側) 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材圧力(広域) |
| | 原子炉補機冷却水サー ジタンク水位 | | 格納容器再循環ユニット入口温度/出 口温度 |
| 注水量計測(最終ヒー トシンクの確保) | 補助給水流量 | 58 | 補助給水ピット水位 蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) |
| | 原子炉格納容器圧力 | | 格納容器圧力(AM用) 格納容器内温度 |
| 圧力計測(最終ヒート シンクの確保) | 主蒸気ライン圧力 | 58 | 1次冷却材温度(広域-低温側) 1次冷却材温度(広域-高温側) |
| | 原子炉補機冷却水サー ジタンク圧力(可搬型) | | 主要パラメータの予備 |
| 水位計測(格納容器バ イパスの監視) | 蒸気発生器水位(狭域) | 58 | 蒸気発生器水位(広域) 主蒸気ライン圧力 補助給水流量 |

第3表 常設重大事故防止設備(11/13)

| 常設重大事 | 事故防止設備 | 関連 | 代替する機能を有する |
|-----------------------|---------------------|----|---|
| 対応手段 | 設備 | 条文 | 設計基準事故対処設備※1 |
| 水位計測 (水源の確保) | 燃料取替用水ピット水 位 | 58 | 格納容器再循環サンプ水位(広域) B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流 量(AM用) 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流 量 |
| | ほう酸タンク水位 | | 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 補助給水流量 |
| | 補助給水ピット水位 | | 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流 量 |
| 水位計測(使用済燃料 ピットの監視) | 使用済燃料ピット水位 (AM用) | 58 | 使用済燃料ビット水位(可搬型) 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ |
| 温度計測(使用済燃料 ピットの監視) | 使用済燃料ピット温度 (AM用) | 58 | 使用済燃料ピット水位(AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ |
| 状態監視(使用済燃料 ピットの監視) | 使用済燃料ピット監視 カメラ | 58 | 使用済燃料ピット水位(AM用) 使用済燃料ピット水位(可搬型) 使用済燃料ピット温度(AM用) 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ |

第3表 常設重大事故防止設備(12/13)

| 常設重大事故防止設備 | | 関連 | 代替する機能を有する |
|---|--|------------|--|
| 対応手段 | 設備 | | 設計基準事故対処設備 |
| その他 (重大事故等対処設備 を活用する手順等の着 手の判断基準として用 いる補助的な監視パラ メータ) | 6-A, B母線電圧 A, B-直流コントロールセンタ母線電圧 A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却 水流量 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海 水流量 | 58 | 6-A, B母線電圧 A, B-直流コントロール センタ母線電圧 A-高圧注入ポンプ及び油 冷却器補機冷却水流量 A-高圧注入ポンプ電動機 補機冷却水流量 原子炉補機冷却水冷却器補 機冷却海水流量 原子炉補機冷却水供給母管 流量 |
| 居住性の確保 (中央制御室換気空調 設備) | 中央制御室遮へい中央制御室非常用循環ファン中央制御室給気ファン中央制御室循環ファン中央制御室非常用循環フィルタユニット中央制御室給気ユニット | - 59 | 中央制御室遮へい中央制御室非常用循環ファン中央制御室給気ファン中央制御室循環ファン中央制御室非常用循環フィルタユニット中央制御室給気ユニット |
| 発電所内の通信連絡を する必要のある場所と 通信連絡を行うための 設備 | 衛星電話設備 インターフォン テレビ会議システム(指揮所・待機所 間) | 6 2 6 2 | 運転指令設備等 - |

第3表 常設重大事故防止設備(13/13)

第3表の設備のうち、制御棒クラスタ、補助給水ピット、主蒸気安全弁、加圧器安全弁、蒸気発生 器、主蒸気管、ほう酸タンク、ほう酸フィルタ、再生熱交換器、燃料取替用水ピット、余熱除去冷却 器、格納容器再循環サンプ、格納容器再循環サンプスクリーン、ほう酸注入タンク、蓄圧タンク、格 納容器スプレイ冷却器、C、D-格納容器再循環ユニット、C、D-原子炉補機冷却水冷却器、原子 炉補機冷却水サージタンク、C、D-原子炉補機冷却海水ポンプ出口ストレーナ、C、D-原子炉補 機冷却水冷却器海水入口ストレーナ、中央制御室遮へい、中央制御室非常用循環フィルタユニット、 中央制御室給気ユニットは金属等の不燃性材料で構築されていること、内部の液体の漏えいを防止す るためのパッキンが装着されている場合でもパッキン類のシート面は機器内の液体と接触しており大 幅な温度上昇は考えにくいことから、火災発生のおそれはない。すなわち、2.2(1)①において 安全機能が喪失しないと判断する。

上記以外の常設重大事故防止設備について,当該設備の機能と,当該設備が代替する機能を有する 設計基準事故対処設備等の機能が火災によって同時に喪失しないことを以下に示す。 (1)手動による原子炉緊急停止[44条]

「手動による原子炉緊急停止」は、ATWSが発生するおそれがある場合又は当該事象が発生した 場合に、手動にて原子炉トリップスイッチ(中央制御盤手動操作)操作により、原子炉を緊急停止す るための常設設備であり、当該設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備は原子炉安全保護 盤、安全保護系のプロセス計装及び炉外核計装による原子炉自動トリップ機能である。

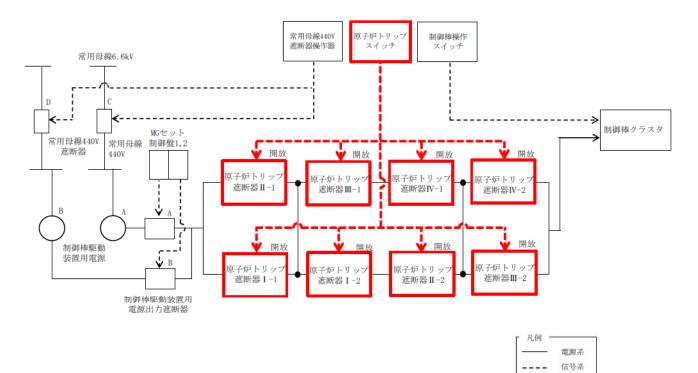
手動による原子炉緊急停止,原子炉自動トリップ機能とも,火災の発生防止対策として難燃ケーブ ルの使用,過電流による過熱防止対策等を講じている。また,感知・消火対策として異なる2種類の 感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置している。

制御棒クラスタについては,原子炉容器内に設置されており,不燃性材料で構成されていることか ら,火災により本機能に影響が及ぶおそれはない。

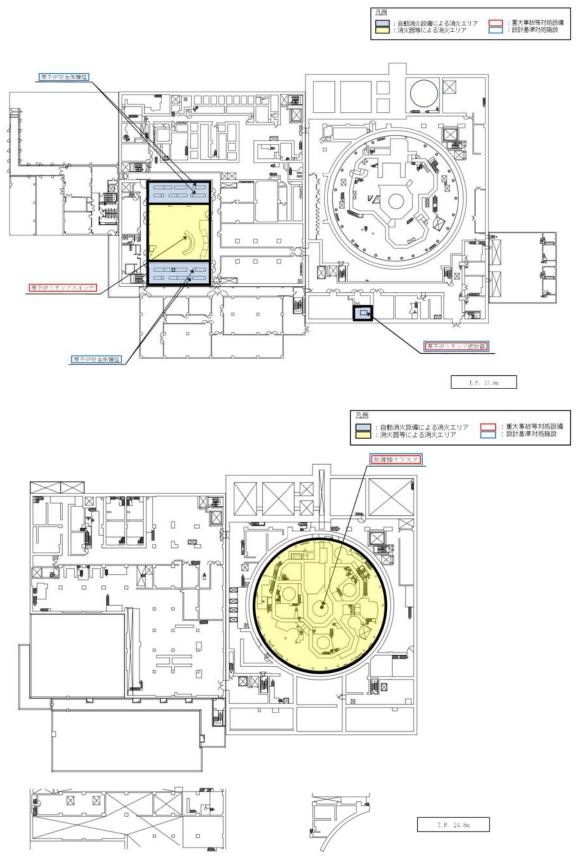
また,制御棒クラスタについては,フェイルセーフ設計となっており,火災によって制御棒駆動装置のケーブルが損傷した場合も,自重により落下することで炉心に挿入されることから,火災により 本機能に影響が及ぶおそれはない。

さらに,原子炉トリップスイッチ及び原子炉トリップしゃ断器と,原子炉安全保護盤は,異なる火 災区画に設置されている。(第6図,第7図)

以上より,単一の火災によって手動による原子炉緊急停止の機能,原子炉自動トリップ機能は同時 に喪失することなく確保可能である。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しな いと判断する。



第6図 手動による原子炉緊急停止 系統概要図



第7図 手動による原子炉緊急停止に関する機器の配置(1/1)

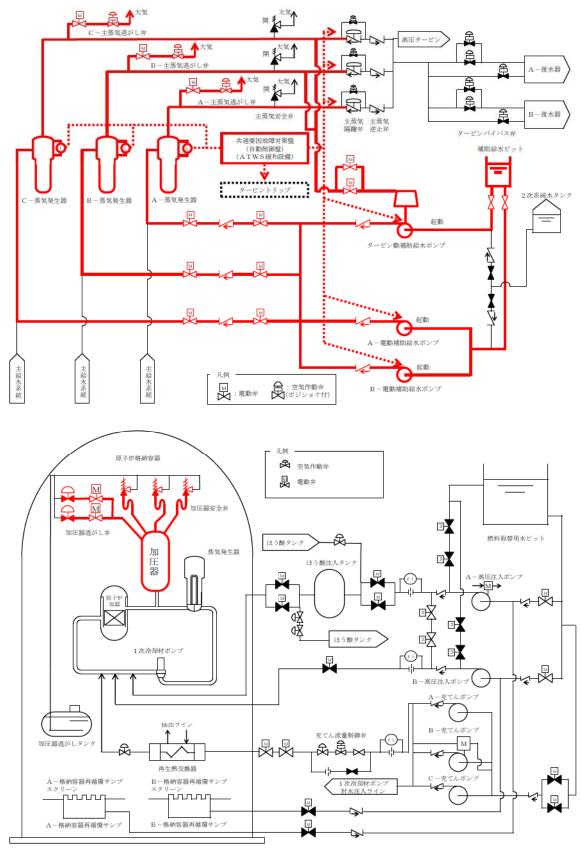
(2) 原子炉出力抑制(自動),原子炉出力抑制(手動)[44条]

「原子炉出力抑制(自動)」は、ATWSが発生するおそれがある場合又は当該事象が発生した場合に、共通要因故障対策盤(自動制御盤)(ATWS緩和設備)の作動により原子炉出力を抑制するとともに、原子炉冷却材圧力バウンダリ及び格納容器の健全性を維持するための常設設備、「原子炉出力抑制(手動)」は、共通要因故障対策盤(自動制御盤)(ATWS緩和設備)が自動作動しない場合で、かつ中央制御室から原子炉トリップスイッチ(中央制御盤手動操作)による原子炉緊急停止ができない場合に、中央制御室から手動操作によりタービン手動トリップ、主蒸気隔離弁の閉操作及び補助給水ポンプの起動を行うことで原子炉出力を抑制するとともに、原子炉冷却材圧力バウンダリ及び格納容器の健全性を維持するための常設設備であり、当該設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備は制御棒クラスタ、原子炉トリップ遮断器、原子炉安全保護盤、安全保護系のプロセス計装、炉外核計装による原子炉自動トリップ機能である。

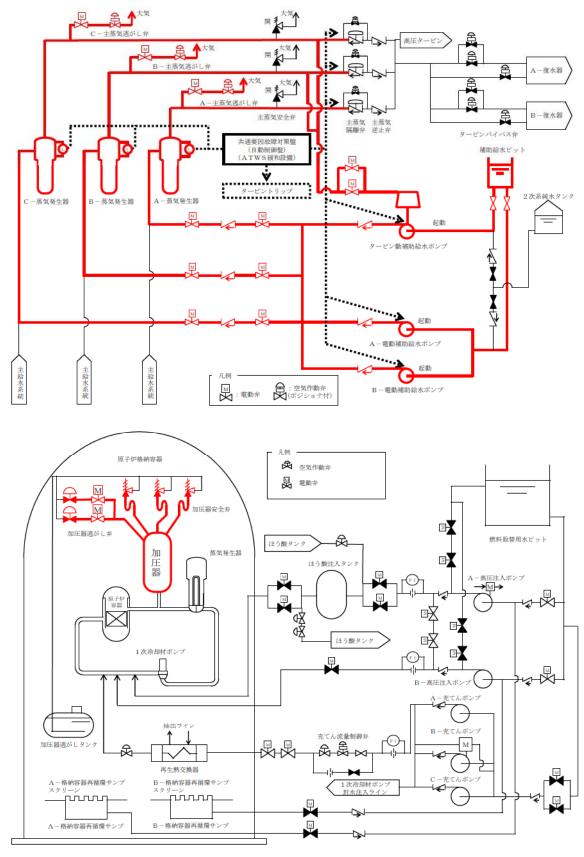
原子炉出力抑制(自動)及び原子炉出力抑制(手動),原子炉自動トリップ機能とも,火災の発生 防止対策として難燃ケーブルの使用,過電流による過熱防止対策等を講じている。また,感知・消火 対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器 を設置している。

さらに、主蒸気隔離弁、電動補助給水ポンプ、タービン動補助給水ポンプ、主蒸気逃がし弁及び加 圧器逃がし弁と、制御棒クラスタ、原子炉トリップ遮断器及び原子炉安全保護盤は、異なる火災区画 に設置されている。加えて、原子炉出力抑制(自動)及び原子炉出力抑制(手動)は減速材温度係数 の負の反応度帰還効果により原子炉出力を抑制する手段であり、原子炉自動トリップ機能とはそれぞ れ異なる原理で原子炉出力を抑制する。(第8-1図,第8-2図,第9図)

以上より,単一の火災によって原子炉出力抑制(自動)及び原子炉出力抑制(手動)並びに原子炉 自動トリップ機能は同時に喪失することなく確保可能である。すなわち,2.2(1)②において安 全機能が同時に喪失しないと判断する。

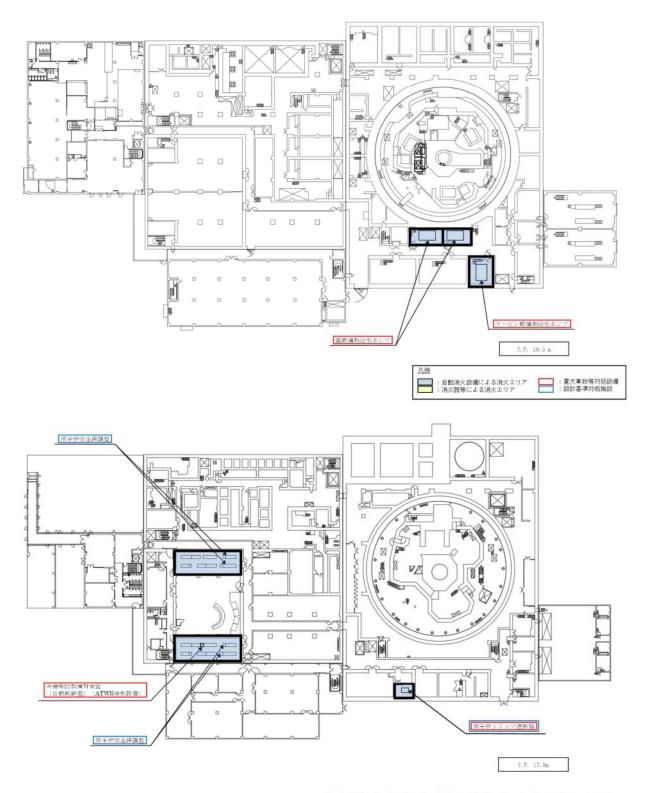


第8-1図 原子炉出力抑制(自動) 系統概要図

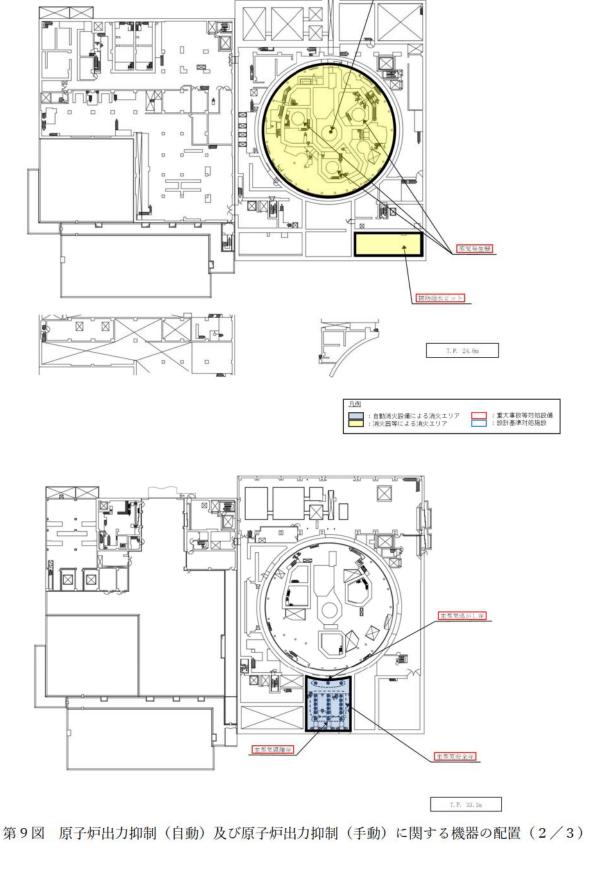


第8-2図 原子炉出力抑制(手動) 系統概要図

| 凡例 | |
|-----------------|------------|
| :自動消火設備による消火エリア | :重大事故等対処設備 |
| :消火器等による消火エリア | ;設計基準対処施設 |



第9図 原子炉出力抑制(自動)及び原子炉出力抑制(手動)に関する機器の配置(1/3)



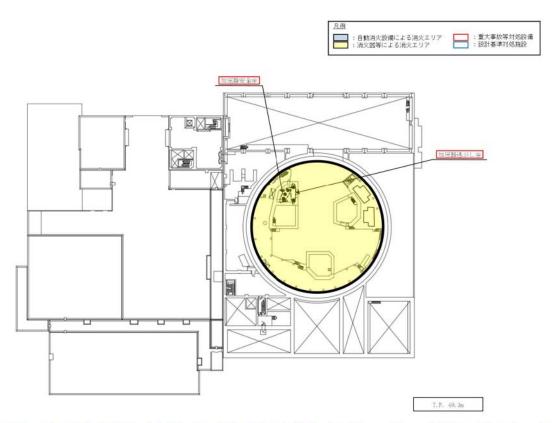
凡例

: 自動消火設備による消火エリア : 消火器等による消火エリア

制御棒クラスタ

:重大事故等対処設備 :設計基準対処施設

共 8- 38



第9図 原子炉出力抑制(自動)及び原子炉出力抑制(手動)に関する機器の配置(3/3)

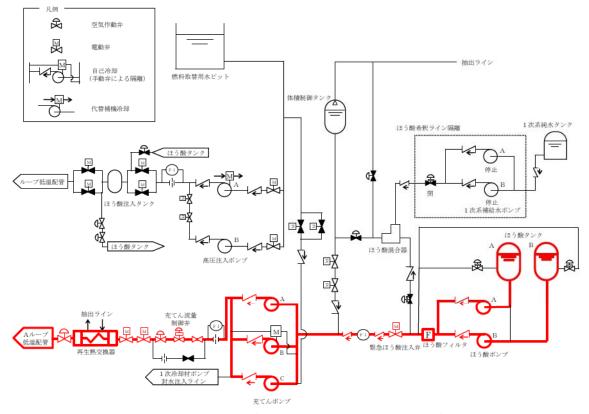
(3) ほう酸水注入 [44 条]

「ほう酸水注入」は、ATWSが発生するおそれがある場合又は当該事象が発生した場合に、原子 炉の出力抑制を図った後、原子炉を未臨界状態とするために化学体積制御設備又は非常用炉心冷却設 備によりほう酸水の注入を行い負の反応度を添加するための常設設備であり、当該設備が代替する機 能を有する設計基準事故対処設備は制御棒クラスタ、原子炉トリップ遮断器、原子炉安全保護盤、安 全保護系のプロセス計装、炉外核計装による原子炉自動トリップ機能である。

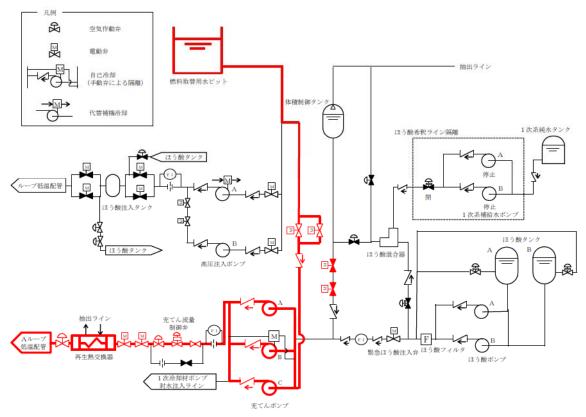
ほう酸水注入機能,原子炉自動トリップ機能とも,火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使 用,過電流による過熱防止対策等を講じている。また,感知・消火対策として異なる2種類の感知器 及び煙の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置している。

さらに、ほう酸ポンプ、緊急ほう酸注入弁、充てんポンプ及び高圧注入ポンプと、制御棒クラス タ、原子炉トリップ遮断器及び原子炉安全保護盤は、異なる火災区画に設置されている。加えて、ほ う酸水注入はほう酸水の注入を行い負の反応度を添加する手段であり、原子炉自動トリップ機能によ る制御棒クラスタの挿入とはそれぞれ異なる原理で原子炉を未臨界状態とする。(第10-1図、第 10-2図、第10-3図、第11図)

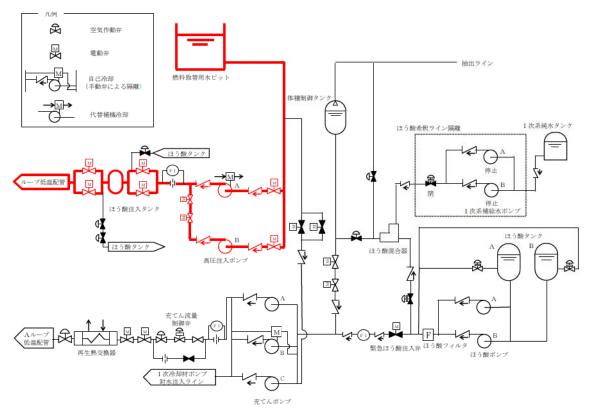
以上より,単一の火災によってほう酸水注入及び原子炉自動トリップ機能は同時に喪失することなく確保可能である。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。



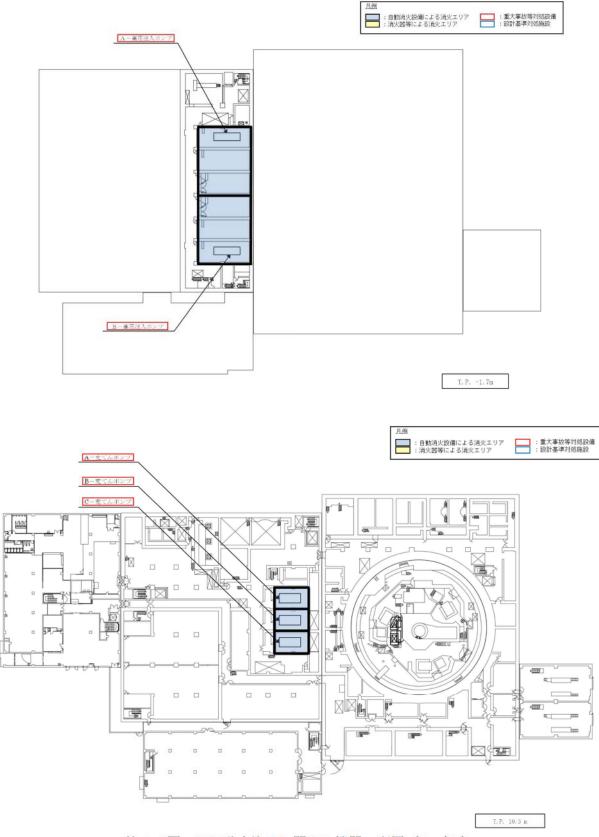
第10-1図 ほう酸水注入(ほう酸タンク→充てんライン) 系統概要図



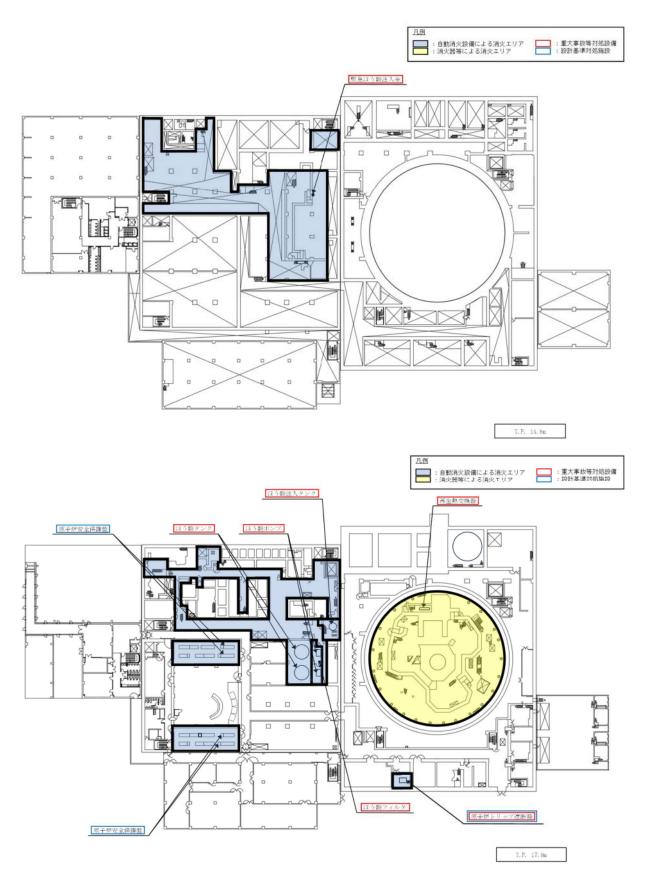
第10-2図 ほう酸水注入(燃料取替用水ピット→充てんライン) 系統概要図



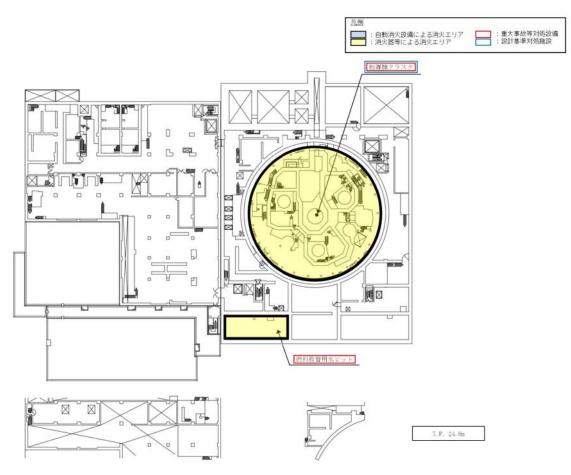
第10-3図 ほう酸水注入(燃料取替用水ピット→安全注入ライン) 系統概要図



第11図 ほう酸水注入に関する機器の配置(1/3)



第11図 ほう酸水注入に関する機器の配置(2/3)



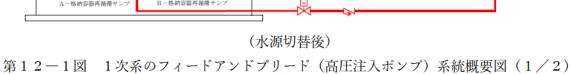
第11図 ほう酸水注入に関する機器の配置(3/3)

(4) 1次系のフィードアンドブリード(高圧注入ポンプ), 蓄圧注入[45条][46条]

「1次系のフィードアンドブリード(高圧注入ポンプ)」は、蒸気発生器2次側による原子炉の冷却機能が喪失した場合、燃料取替用水ピット水を高圧注入ポンプにより原子炉へ注水する操作と加圧器逃がし弁の開操作により原子炉格納容器内部へ1次冷却材を放出する操作を組合せて原子炉を冷却するための設備、「蓄圧注入」は、1次冷却系の減圧後に蓄圧タンクの保持圧力によりタンク内のほう酸水が注入され、注入が完了すれば蓄圧タンク出口弁を閉止する設備であり、当該設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備は「蒸気発生器2次側による炉心冷却」に用いる設備である。

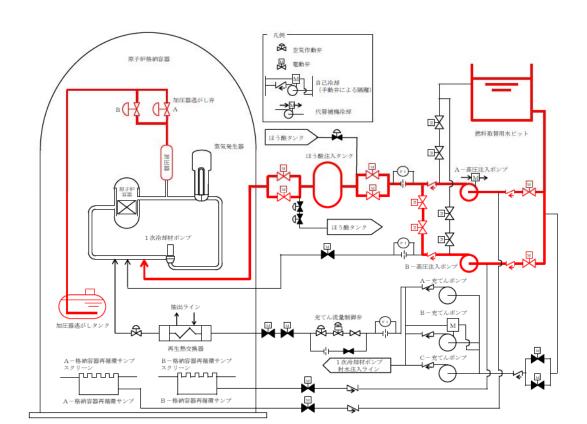
1次系のフィードアンドブリード(高圧注入ポンプ)に用いる設備, 蓄圧注入に用いる設備, 蒸気 発生器2次側による炉心冷却に用いる設備とも,火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用, 過 電流による過熱防止対策等を講じている。また, 感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙 の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置している。さらに, 高圧注入ポン プ,余熱除去ポンプ, 加圧器逃がし弁及び蓄圧タンク出口弁と, 電動補助給水ポンプ, タービン動補 助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁は, 異なる火災区画に設置されている。加えて, 1次系のフィード アンドブリード(高圧注入ポンプ)及び蓄圧注入と蒸気発生器2次側による炉心冷却はそれぞれ異な る流路を使用する。(第12-1図, 第12-2図, 第12-3図, 第13図)

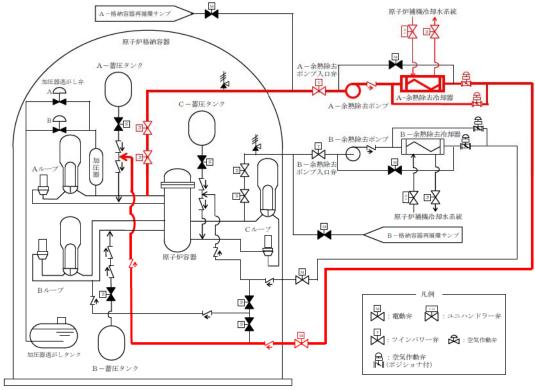
以上より,単一の火災によって1次系のフィードアンドブリード(高圧注入ポンプ)及び蓄圧注入 並びに蒸気発生器2次側による炉心冷却の機能は同時に喪失することなく確保可能である。すなわ ち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。



1例 🔂 空気作動弁 ₩ 電動弁 原子炉格納容器 自己冷却 (手動弁による隔離) ୷୷ ở 加圧器逃がし弁 代替補機冷却 ſŀ 燃料取替用水ビット ほう酸タンク 蒸気発生器 × ほう酸注 × K - 高圧注入ポンプ A →M→ <-▶ м ٩Å ほう酸タンク × 1 次冷却材ポンプ -💽-高圧注入ポン Π м てんポンフ 抽出ラ 48.50-[⁽ⁱ⁾] 1 充てん流量制御弁 м 加圧器逃がし MM 惫 ->> нŀн \sim 再生熱交換器 A-格納容器再循環サンプ スクリーン B-格納容器再循環サン スクリーン സസ м B-格納容器再循環サン A-格納容器再循環サンフ

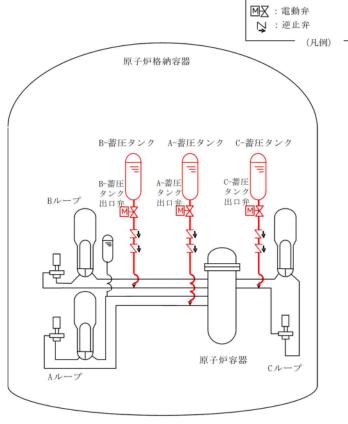
(水源切替前)



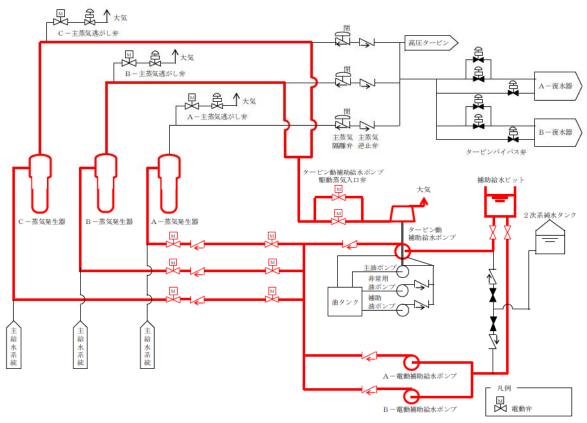


(余熱除去運転)

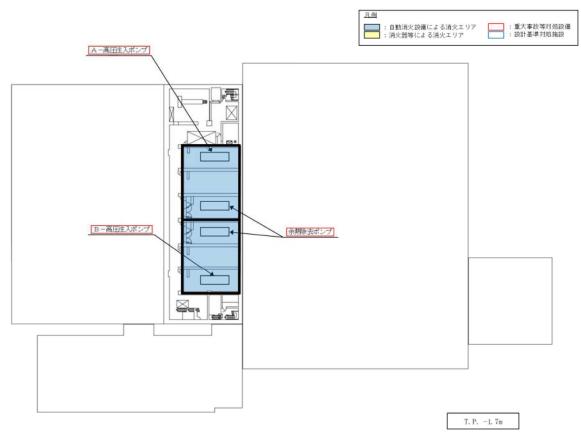
第12-1図 1次系のフィードアンドブリード(高圧注入ポンプ)系統概要図(2/2)



第12-2図 蓄圧注入系統概要図



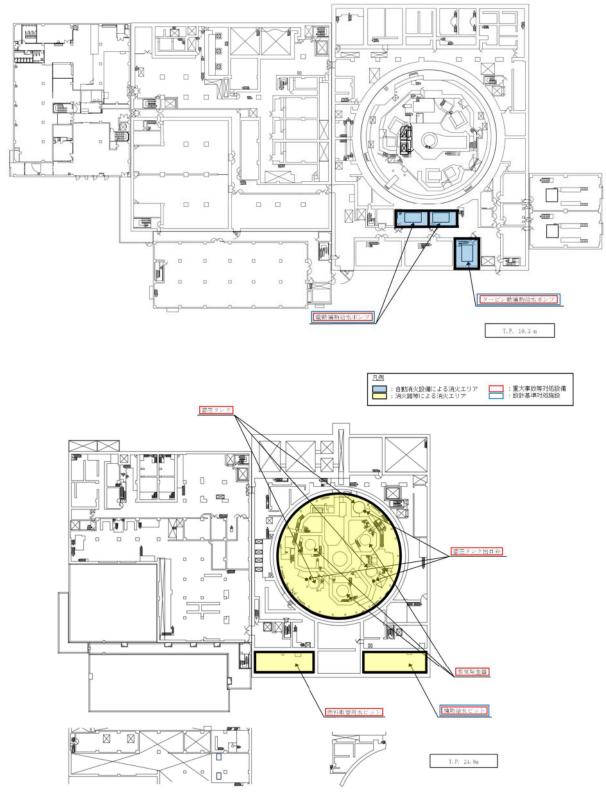
第12-3図 蒸気発生器2次側による炉心冷却系統概要図



第13図 1次系のフィードアンドブリード及び蓄圧注入に関する機器の配置(1/3)

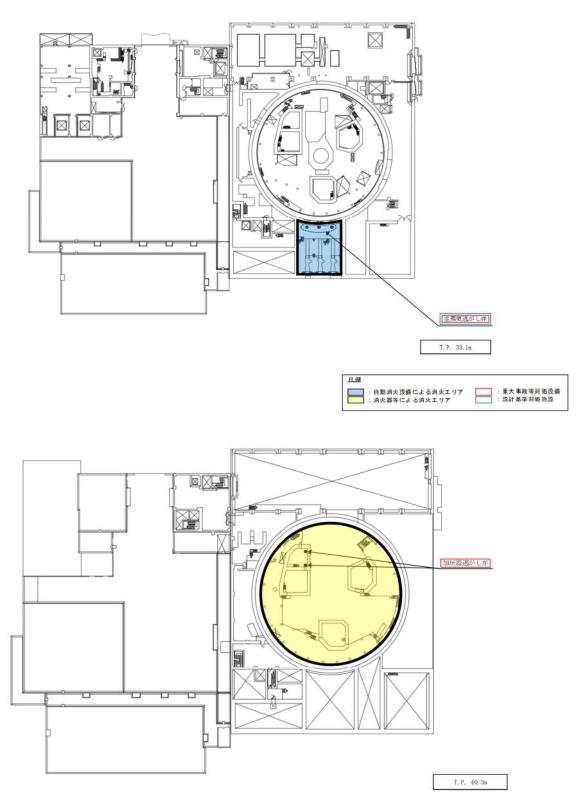
共 8- 48

| 凡例 | and an and a second and a second |
|------------------------------------|----------------------------------|
| : 自動消火設備による消火エリア : 消火器等による消火エリア | :重大事故等対処設備 :設計基準対処施設 |



第13図 1次系のフィードアンドブリード及び蓄圧注入に関する機器の配置(2/3)





第13図 1次系のフィードアンドブリード及び蓄圧注入に関する機器の配置(3/3)

(5) 蒸気発生器 2 次側による炉心冷却(タービン動補助給水ポンプの機能回復,電動補助給水ポンプの機能回復)[45 条][46 条]

「蒸気発生器2次側による炉心冷却(タービン動補助給水ポンプの機能回復,電動補助給水ポンプ の機能回復)」は、補助給水ポンプの機能が喪失した場合に、現場手動操作によりタービン動補助給 水ポンプの機能を回復させるか、又は代替非常用発電機から給電することにより電動補助給水ポンプ の機能を回復させ、原子炉の冷却を行う手段である。

蒸気発生器2次側による炉心冷却に用いる設備は、(4)に示すように、火災の発生防止対策とし て難燃ケーブルの使用、過電流による過熱防止対策等を講じている。また、感知・消火対策として異 なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置してい る。さらに、電動補助給水ポンプ、タービン動補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁と、高圧注入ポン プ、余熱除去ポンプ、加圧器逃がし弁は、異なる火災区画に設置されている。加えて、蒸気発生器2 次側による炉心冷却と1次系のフィードアンドブリードはそれぞれ異なる流路を使用する。

以上より,単一の火災によって蒸気発生器2次側による炉心冷却(タービン動補助給水ポンプの機能回復,電動補助給水ポンプの機能回復)及び1次系のフィードアンドブリードの機能は同時に喪失 することなく確保可能である。すなわち,2.2(3)①において燃料冷却機能が同時に喪失しない と判断する。

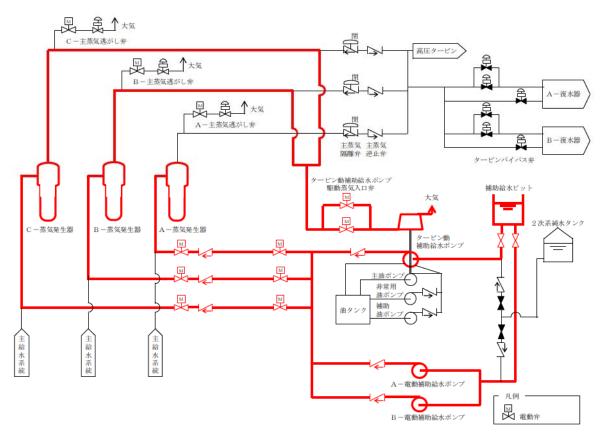
(6)蒸気発生器2次側による炉心冷却[46条]

「蒸気発生器2次側による炉心冷却」は、加圧器逃がし弁による1次冷却系の減圧機能が喪失した 場合、蒸気発生器2次側による炉心冷却を用いた1次冷却系の減圧を行うための設備であり、当該設 備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備は加圧器逃がし弁である。

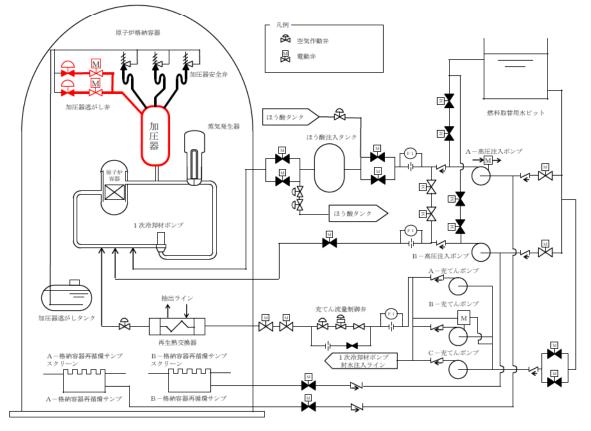
蒸気発生器2次側による炉心冷却に用いる設備,加圧器逃がし弁とも,火災の発生防止対策として 難燃ケーブルの使用,過電流による過熱防止対策等を講じている。また,感知・消火対策として異な る2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置してい る。

さらに、電動補助給水ポンプ、タービン動補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁と、加圧器逃がし弁 は、異なる火災区画に設置されている。加えて、蒸気発生器2次側による炉心冷却と加圧器逃がし弁 はそれぞれ異なる流路を使用する。(第14-1図、第14-2図、第15図)

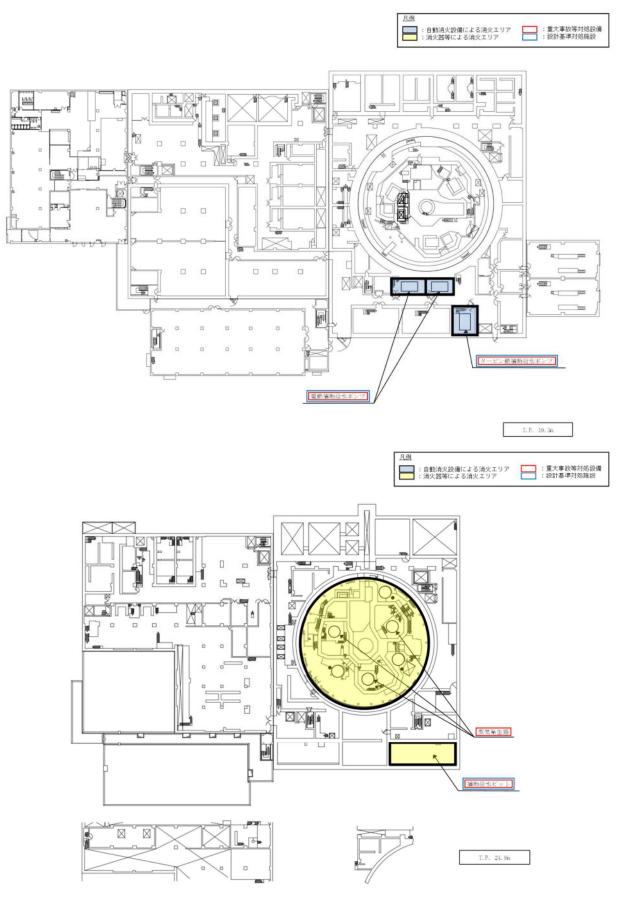
以上より,単一の火災によって蒸気発生器2次側による炉心冷却及び加圧器逃がし弁の機能は同時 に喪失することなく確保可能である。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しな いと判断する。



第14-1図 蒸気発生器2次側による炉心冷却系統概要図

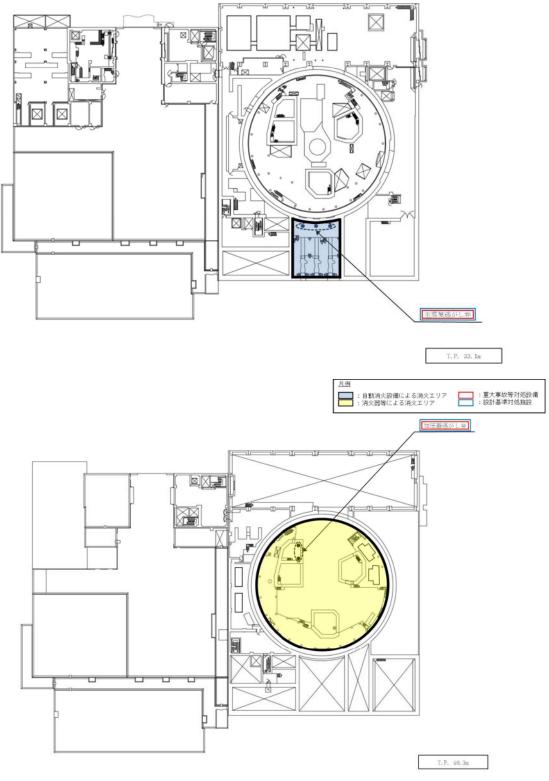


第14-2図 加圧器逃がし弁 系統概要図



第15図 蒸気発生器2次側による炉心冷却に関する機器の配置(1/2)





第15図 蒸気発生器2次側による炉心冷却に関する機器の配置(2/2)

(7)加圧器逃がし弁の機能回復[46条]

「加圧器逃がし弁の機能回復」は、1次冷却系の減圧設備である加圧器逃がし弁の機能が喪失した 場合に、加圧器逃がし弁の機能を回復させ、1次冷却系の減圧を行うを行う手段である。

なお,本機能回復には可搬型重大事故防止設備である加圧器逃がし弁操作用可搬型窒素ガスボンベ 及び加圧器逃がし弁操作用バッテリを使用する。

加圧器逃がし弁の機能回復は、(6)に示すように、蒸気発生器2次側による炉心冷却に用いる設備、加圧器逃がし弁とも、火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用、過電流による過熱防止対策等を講じている。また、感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難 となる場所に自動消火設備又は消火器を設置している。

さらに,加圧器逃がし弁と,電動補助給水ポンプ,タービン動補助給水ポンプ及び主蒸気逃がし弁 は,異なる火災区画に設置されている。加えて,加圧器逃がし弁と蒸気発生器2次側による炉心冷却 はそれぞれ異なる流路を使用する。

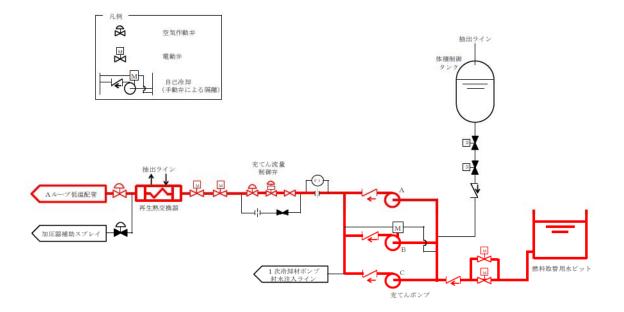
以上より,単一の火災によって加圧器逃がし弁及び蒸気発生器2次側による炉心冷却の機能は同時 に喪失することなく確保可能である。すなわち,2.2(3)①において燃料冷却機能が同時に喪失 しないと判断する。 (8) 炉心注水(CHP) [47条]

「炉心注水(CHP)」は、運転中の1次冷却材喪失事象時において、余熱除去ポンプ及び高圧注 入ポンプの故障等により炉心注水機能が喪失した場合、余熱除去ポンプ若しくは高圧注入ポンプによ る再循環で格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合、運転停止中において、余熱 除去ポンプ又は余熱除去冷却器の故障等により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、 充てんポンプにより炉心注水を行うための設備であり、当該設備が代替する機能を有する設計基準事 故対処設備は余熱除去ポンプ、高圧注入ポンプによる炉心注水機能及び再循環機能並びに余熱除去ポ ンプによる崩壊熱除去機能である。

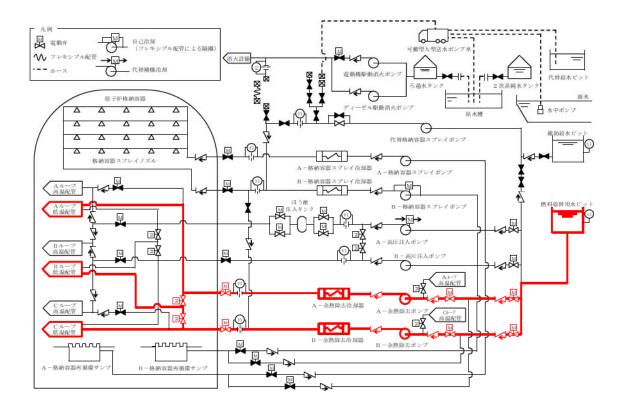
炉心注水(CHP),余熱除去ポンプ・高圧注入ポンプによる炉心注水機能及び再循環機能並びに 余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能とも,火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用,過電流 による過熱防止対策等を講じている。また,感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充 満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置している。

さらに,充てんポンプと,余熱除去ポンプ及び高圧注入ポンプは,異なる火災区画に設置されている。加えて,炉心注水(CHP)と余熱除去ポンプ,高圧注入ポンプによる炉心注水機能及び再循環 機能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能はそれぞれ異なる流路を使用する。(第16-1~ 6図,第17図)

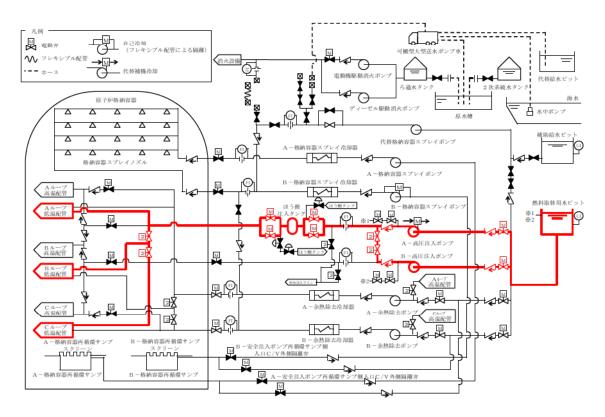
以上より,単一の火災によって炉心注水(CHP)の機能,余熱除去ポンプ,高圧注入ポンプによ る炉心注水機能及び再循環機能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能は同時に喪失することな く確保可能である。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。



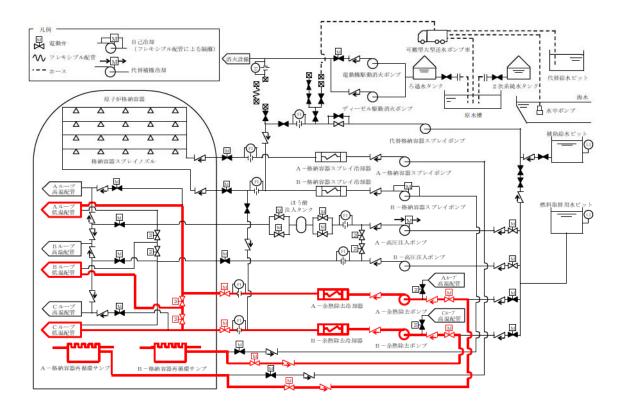
第16-1図 炉心注水(CHP)系統概要図



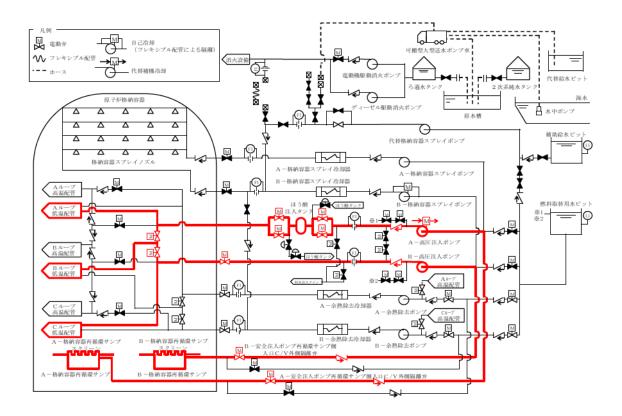
第16-2図 余熱除去ポンプによる炉心注水系統概要図



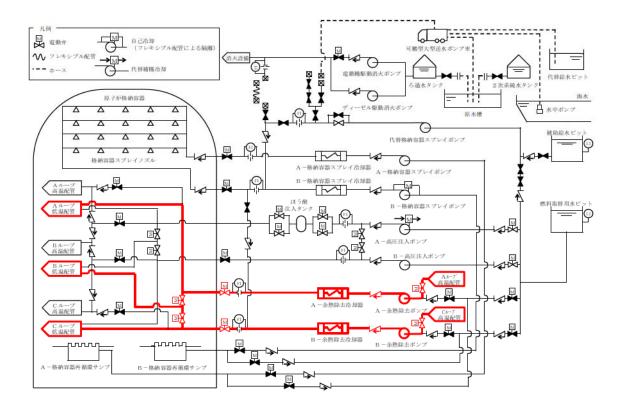
第16-3図 高圧注入ポンプによる炉心注水系統概要図



第16-4図 余熱除去ポンプによる再循環運転系統概要図



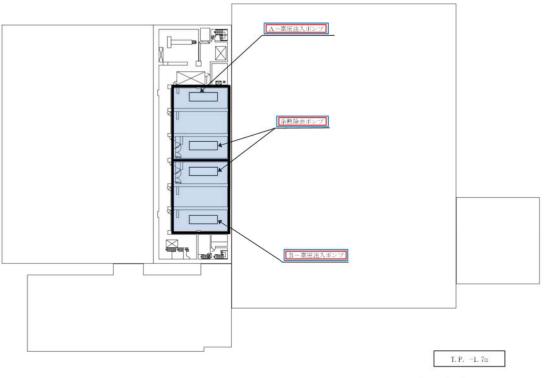
第16-5図 高圧注入ポンプによる再循環運転系統概要図



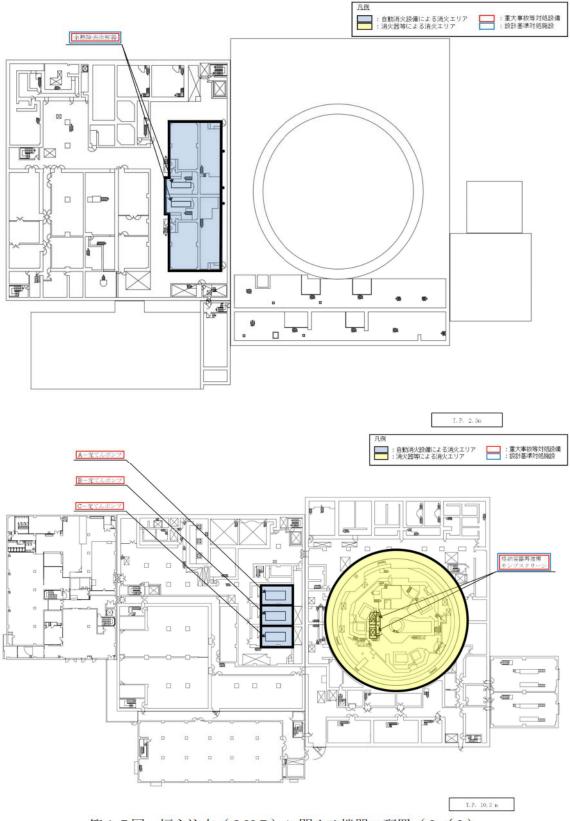
第16-6図 余熱除去運転(余熱除去設備による崩壊熱除去)系統概要図

:自動消火設備による消火エリア : 消火器等による消火エリア

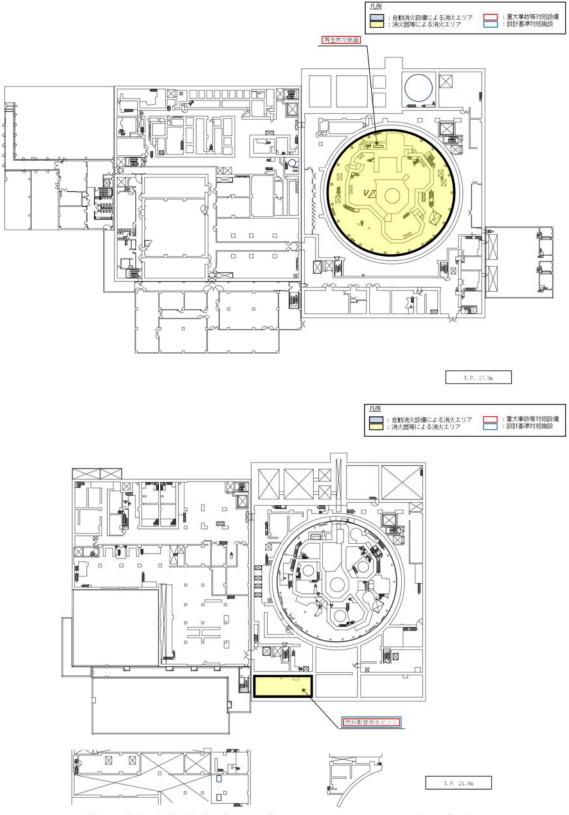
:重大事故等対処設備 :設計基準対処施設



第17図 炉心注水(CHP)に関する機器の配置(1/3)



第17図 炉心注水 (CHP) に関する機器の配置 (2/3)



第17図 炉心注水(CHP)に関する機器の配置(3/3)

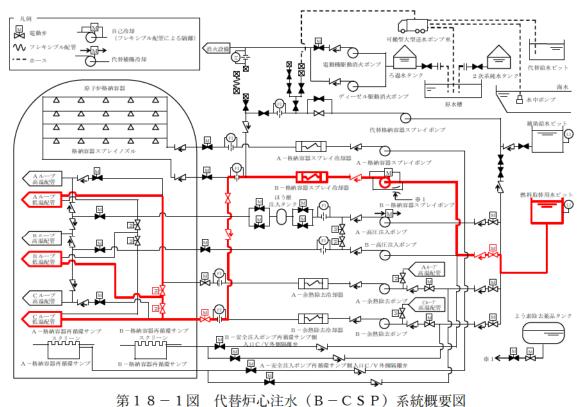
(9)代替炉心注水(B-CSP)[47条]

「代替炉心注水(B-CSP)」は、運転中の1次冷却材喪失事象時において、余熱除去ポンプ及 び高圧注入ポンプの故障等により炉心注水機能が喪失した場合、余熱除去ポンプ若しくは高圧注入ポ ンプによる再循環で格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合、運転停止中におい て、余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器の故障等により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失し た場合、B-格納容器スプレイポンプにより代替炉心注水を行うための設備であり、当該設備が代替 する機能を有する設計基準事故対処設備は余熱除去ポンプ、高圧注入ポンプによる炉心注水機能及び 再循環機能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能である。

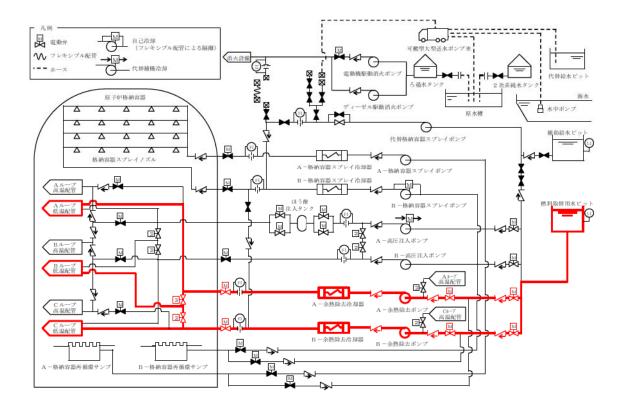
代替炉心注水(B-CSP), 余熱除去ポンプ・高圧注入ポンプによる炉心注水機能及び再循環機 能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能とも,火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使 用,過電流による過熱防止対策等を講じている。また,感知・消火対策として異なる2種類の感知器 及び煙の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置している。

さらに、B-格納容器スプレイポンプと、A-余熱除去ポンプ及びA-高圧注入ポンプは、異なる 火災区画に設置されている。なお、B-格納容器スプレイポンプと、B-余熱除去ポンプ及びB-高 圧注入ポンプは、同一の火災区画に設置されているが、それぞれ別の部屋に設置しているとともに上 記のような感知・消火対策を実施しているため、火災発生時には早期の消火が可能である。(第18 -1~6図、第19図)

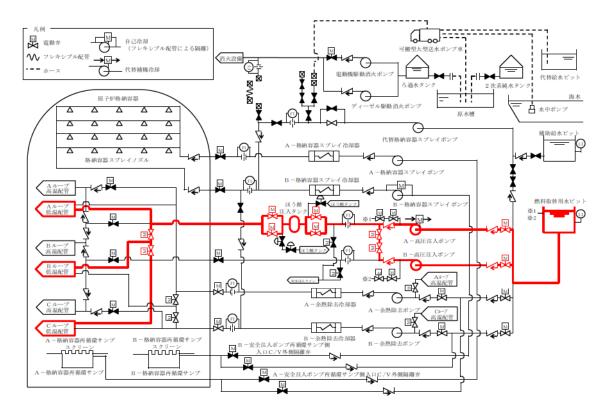
以上より,単一の火災によって代替炉心注水(B-CSP)の機能,余熱除去ポンプ,高圧注入ポ ンプによる炉心注水機能及び再循環機能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能は同時に喪失す ることなく確保可能である。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断 する。



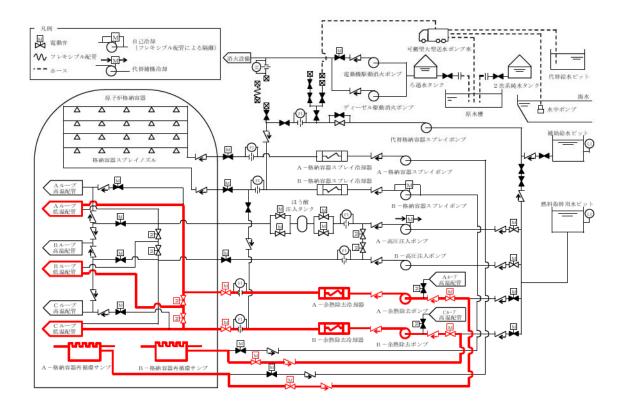
共 8- 62



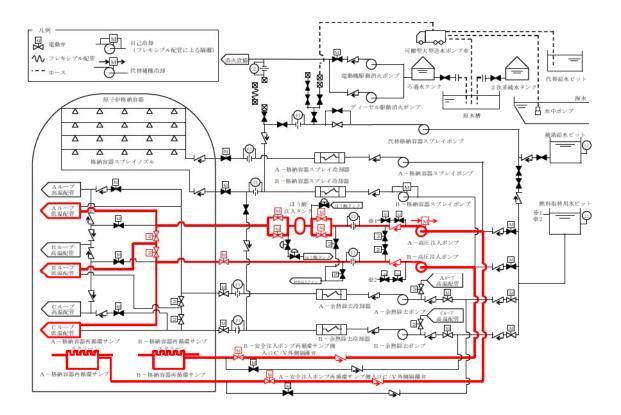
第18-2図 余熱除去ポンプによる炉心注水系統概要図



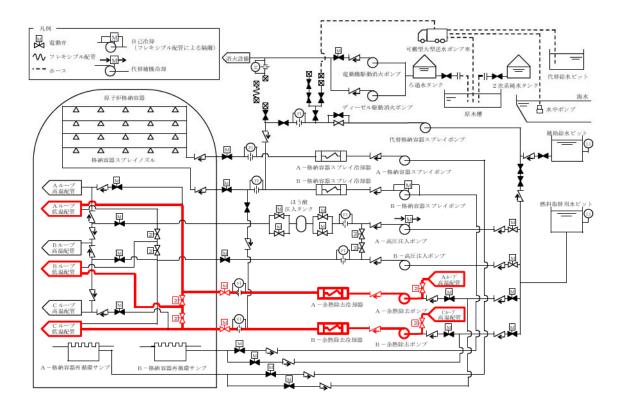
第18-3図 高圧注入ポンプによる炉心注水系統概要図



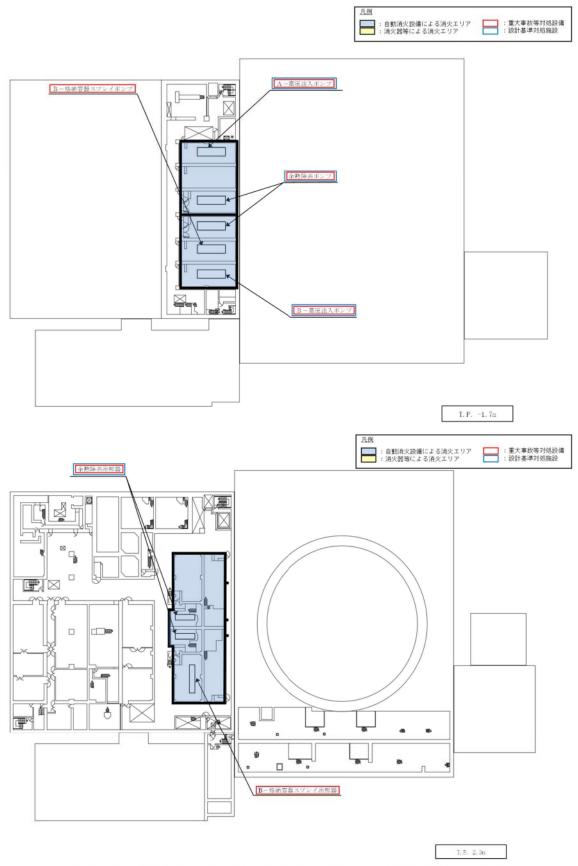
第18-4図 余熱除去ポンプによる再循環運転系統概要図



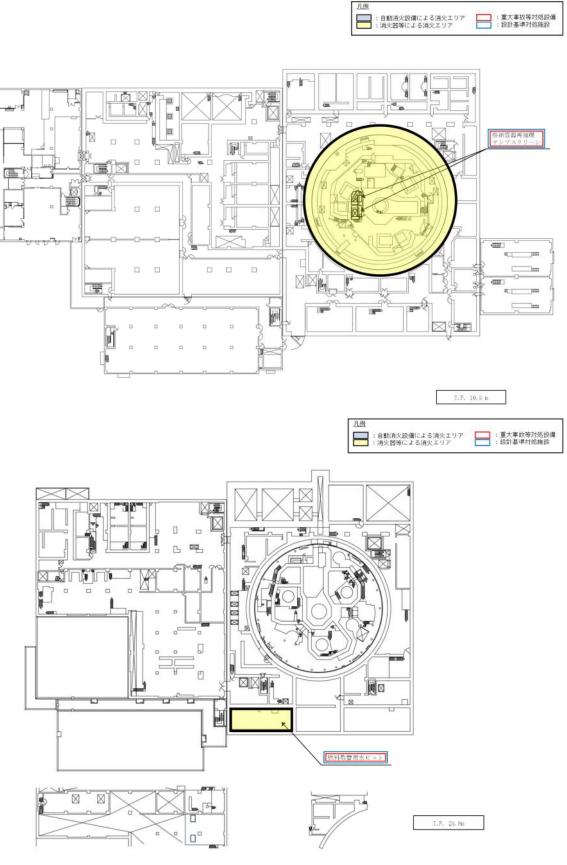
第18-5図 高圧注入ポンプによる再循環運転系統概要図



第18-6図 余熱除去運転(余熱除去設備による崩壊熱除去)系統概要図



第19図 代替炉心注水(B-CSP)に関する機器の配置(1/2)



第19図 代替炉心注水(B-CSP)に関する機器の配置(2/2)

(10)代替炉心注水(代替CSP)[47条]

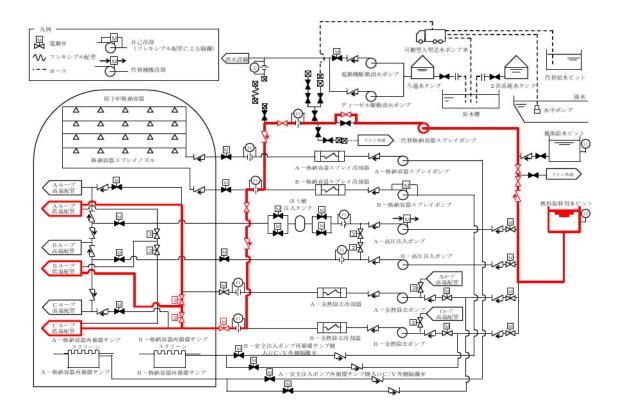
「代替炉心注水(代替CSP)」は、運転中の1次冷却材喪失事象時において、余熱除去ポンプ及 び高圧注入ポンプの故障等により炉心注水機能が喪失した場合、余熱除去ポンプ若しくは高圧注入ポ ンプによる再循環で格納容器再循環サンプスクリーン閉塞の兆候が見られた場合、全交流動力電源又 は原子炉補機冷却機能が喪失した場合、運転停止中において、余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器の 故障等により余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、全交流動力電源又は原子炉補機冷 却機能が喪失した場合、代替格納容器スプレイポンプにより代替炉心注水を行うための設備であり、 当該設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備は余熱除去ポンプ、高圧注入ポンプによる炉 心注水機能及び再循環機能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能である。

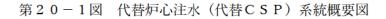
代替炉心注水(代替CSP),余熱除去ポンプ・高圧注入ポンプによる炉心注水機能及び再循環機 能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能とも,火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使 用,過電流による過熱防止対策等を講じている。また,感知・消火対策として異なる2種類の感知器 及び煙の充満により消火困難となる場所に自動消火設備又は消火器を設置している。

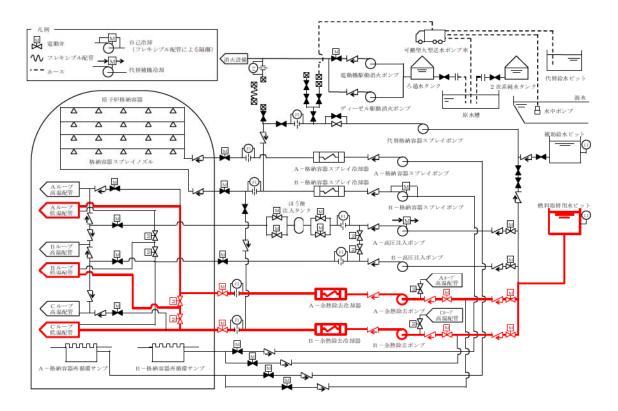
さらに,代替格納容器スプレイポンプと,余熱除去ポンプ及び高圧注入ポンプは,異なる火災区画 に設置されている。(第20-1~6図,第21図)

代替格納容器スプレイポンプは、冷却水が不要な設計であり原子炉補機冷却機能が喪失した場合に も運転でき、全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能が喪失した場合においても代替電源設備である 代替非常用発電機から給電できる。(補足説明資料47-6)

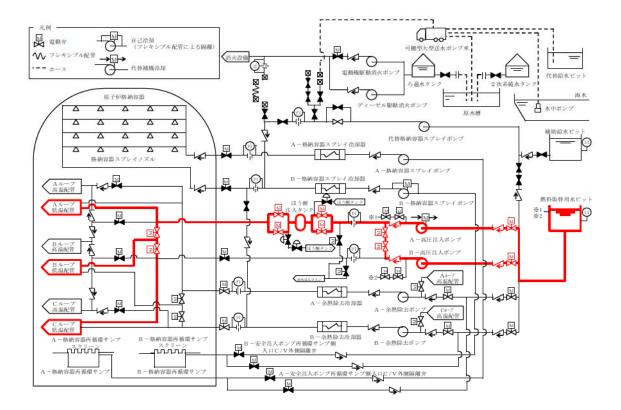
以上より,単一の火災によって代替炉心注水(代替CSP)の機能,余熱除去ポンプ,高圧注入ポ ンプによる炉心注水機能及び再循環機能並びに余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能は同時に喪失す ることなく確保可能である。すなわち,2.2(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断 する。



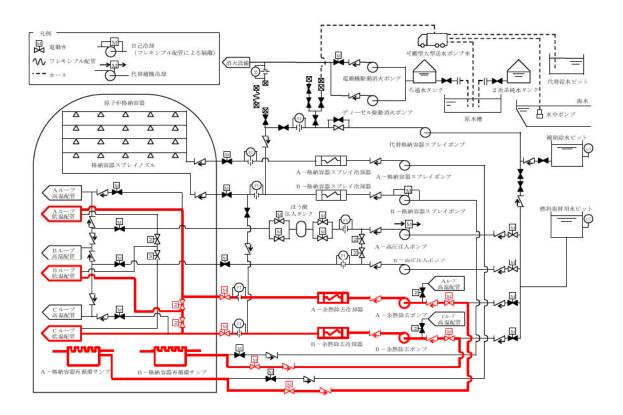




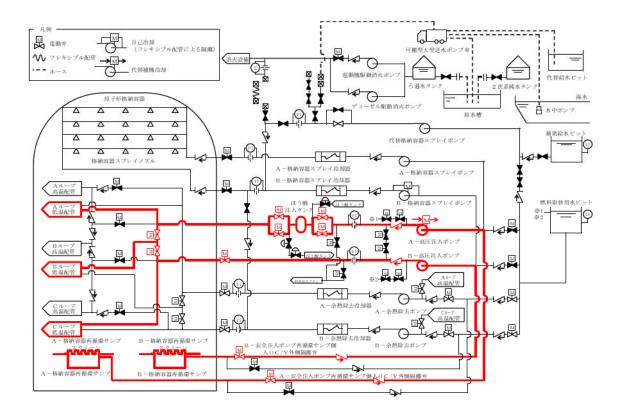
第20-2図 余熱除去ポンプによる炉心注水系統概要図



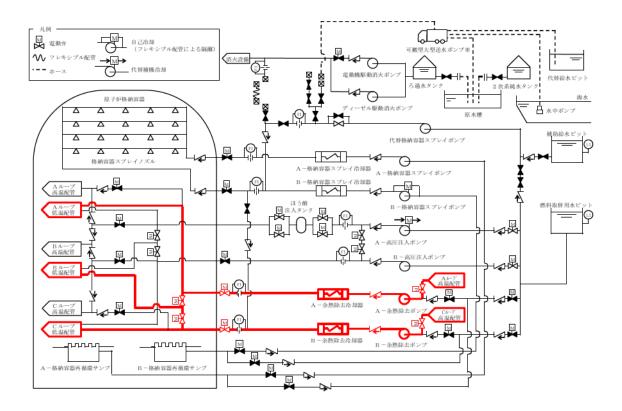
第20-3図 高圧注入ポンプによる炉心注水系統概要図



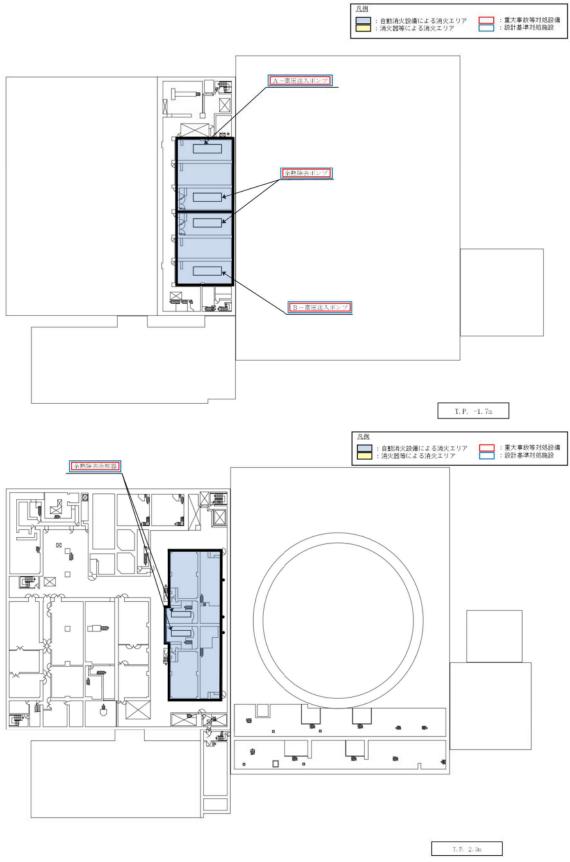
第20-4図 余熱除去ポンプによる再循環運転系統概要図



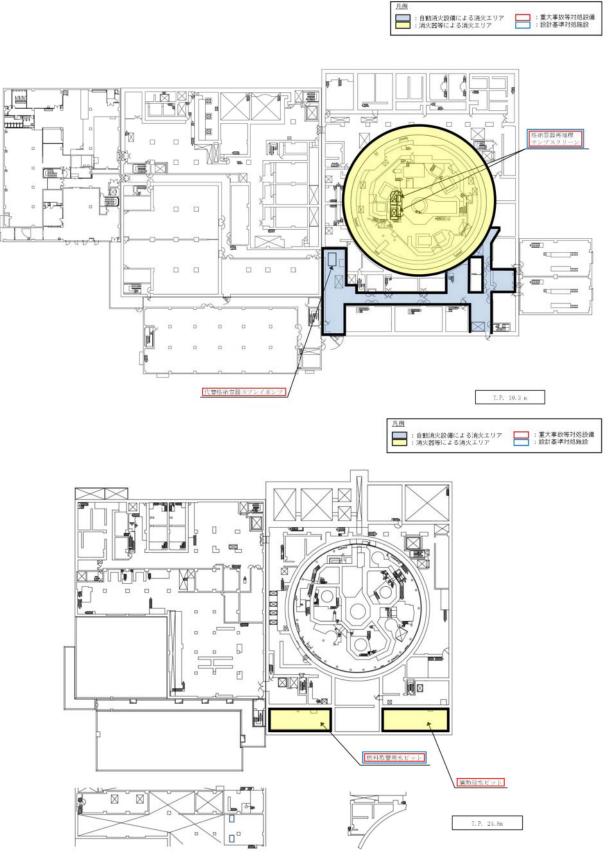
第20-5図 高圧注入ポンプによる再循環運転系統概要図



第20-6図 余熱除去運転(余熱除去設備による崩壊熱除去)系統概要図



第21図 代替炉心注水(代替CSP)に関する機器の配置(1/2)



第21図 代替炉心注水(代替CSP)に関する機器の配置(2/2)

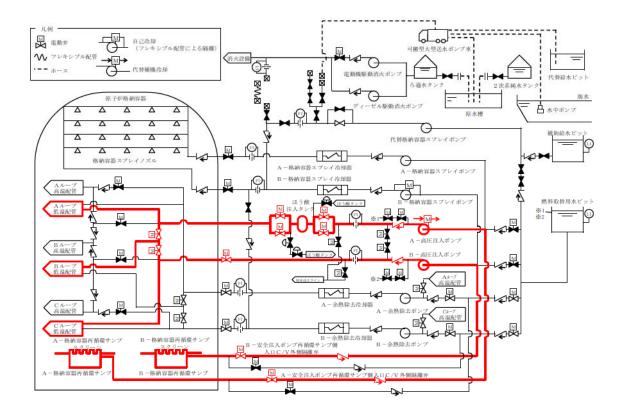
(11) 再循環運転(SIP) [47条]

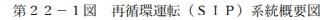
「再循環運転(SIP)」は、運転中の1次冷却材喪失事象時において、余熱除去ポンプ、余熱除 去冷却器又は余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁の故障等により余熱除去設備の再循環による炉心 冷却機能が喪失した場合、運転停止中において、余熱除去ポンプ又は余熱除去冷却器の故障等により 余熱除去設備による崩壊熱除去機能が喪失した場合、高圧注入ポンプにより再循環運転を行うための 設備であり、当該設備が代替する機能を有する設計基準事故対処設備は余熱除去ポンプによる再循環 機能及び余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能である。

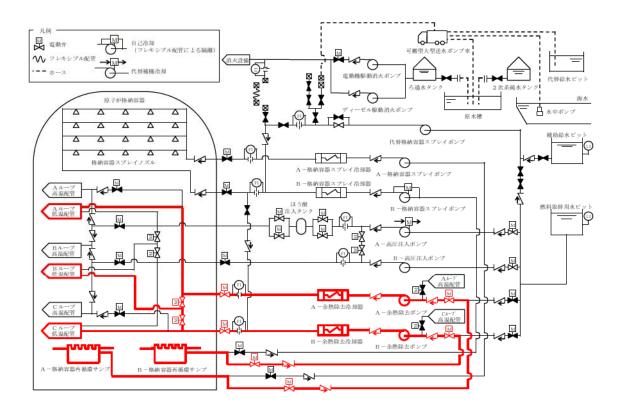
再循環運転(SIP),余熱除去ポンプによる再循環機能及び余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機 能とも,火災の発生防止対策として難燃ケーブルの使用,過電流による過熱防止対策等を講じてい る。また,感知・消火対策として異なる2種類の感知器及び煙の充満により消火困難となる場所に自 動消火設備又は消火器を設置している。

さらに、高圧注入ポンプと、余熱除去ポンプは、A系統とB系統で互いに異なる火災区画に設置さ れている。なお、同一系統の高圧注入ポンプと余熱除去ポンプは、同一の火災区画に設置されている が、それぞれ別の部屋に設置しているとともに上記のような感知・消火対策を実施しているため、火 災発生時には早期の消火が可能である。(第22-1図、第22-2図、第22-3図、第23図) また、安全注入ポンプ再循環サンプ側入口C/V外側隔離弁と余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁 は、同一の火災区画に設置されているが、当該区画には火災源がなく、安全注入ポンプ再循環サンプ 側入口C/V外側隔離弁と余熱除去ポンプ再循環サンプ側入口弁のケーブルは電線管等に布設して分 離している。

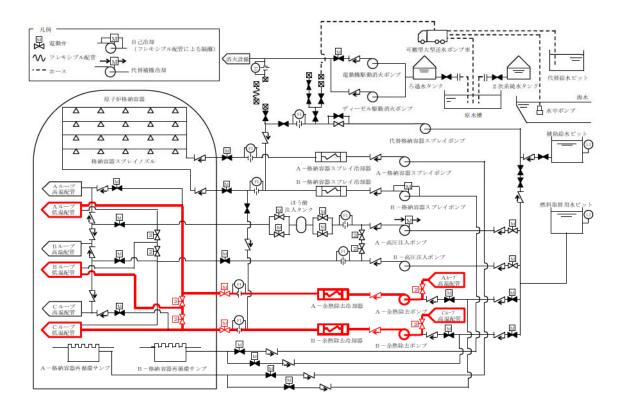
以上より,単一の火災によって再循環運転(SIP)の機能,余熱除去ポンプによる再循環機能及 び余熱除去ポンプによる崩壊熱除去機能は同時に喪失することなく確保可能である。すなわち,2. 2(1)②において安全機能が同時に喪失しないと判断する。



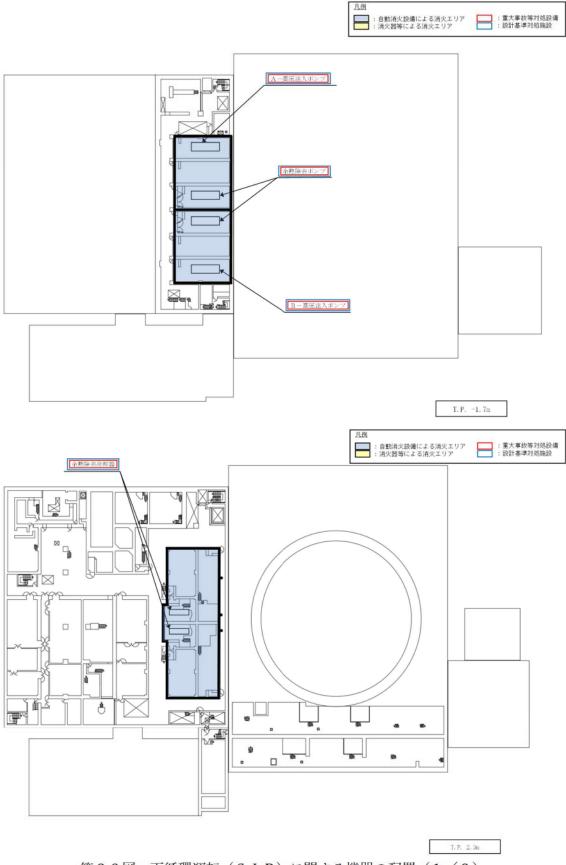




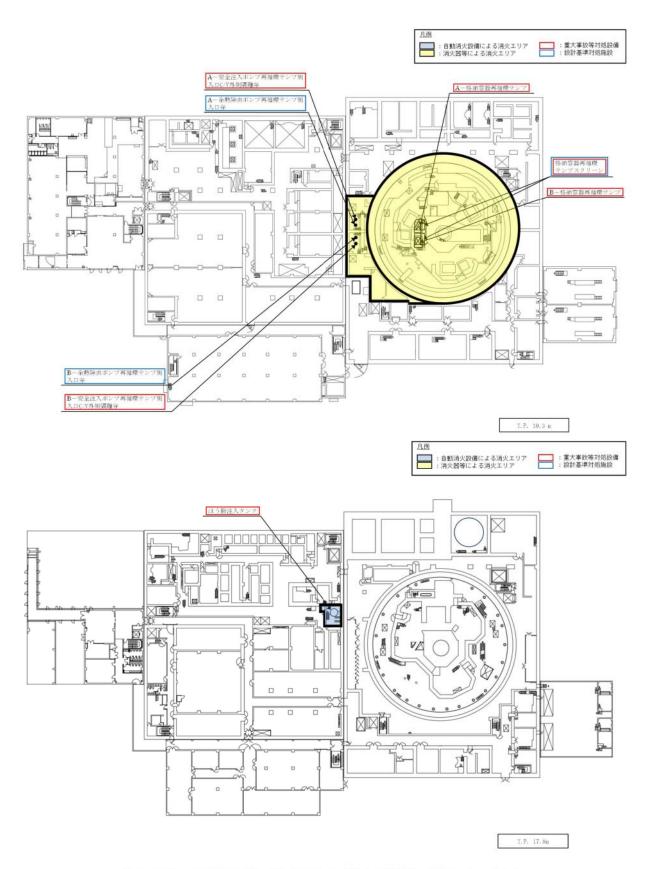
第22-2図 余熱除去ポンプによる再循環運転系統概要図



第22-3図 余熱除去運転(余熱除去設備による崩壊熱除去)系統概要図



第23図 再循環運転(SIP)に関する機器の配置(1/2)



第23図 再循環運転(SIP)に関する機器の配置(2/2)